

令和 3 年度  
東広島市市民満足度調査  
報 告 書

令和 3 年 11 月  
東広島市



## 目 次

I	調査の概要	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査の設計	1
	3. 回収状況	1
	4. 標本誤差	1
	5. 報告書の見方	2
II	基本的な属性	3
III	調査の分析	5
	1. 現在の住環境について	5
	2. 市政運営について	27
	3. 市が実施している施策の満足度と重要度について	30
	4. SDGsについて	41
	5. 市の広報活動について	47
	6. 地域コミュニティ活動の参加状況について	69
	7. 住民自治協議会について	88
	8. 困りごとがあった時の相談先について	90
	9. 男女共同参画について	93
	10. 消費生活について	104
	11. ごみの減量・資源化について	121
	12. 市内の大学との連携について	127
	13. 運動・スポーツについて	132
	14. 生涯学習について	143
	15. 防災について	151
	<資料編>	159

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「第五次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用することを目的として実施した。

## 2. 調査の設計

(1) 調査地域	東広島市全域
(2) 調査対象	東広島市内に居住している18歳以上の男女個人
(3) 標本数	2,500人
(4) 抽出方法	層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出)
(5) 調査方法	郵送配布・郵送回収によるアンケート調査
(6) 調査期間	令和3年7月5日(月)～令和3年8月23日(月)

## 3. 回収状況

(1) 配布数	2,500件(うち未着数8件)
(2) 有効回収数	1,125件
(3) 有効回収率	45.1% (※前回調査：53.8%、前々回調査：46.1%)

## 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(東広島市の18歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(回答サンプル数)及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は、±2.98%以内となる。

<算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数(東広島市の18歳以上の男女)  
n=比率算出の基数(回答サンプル数)  
p=回答の比率(0≤p≤1)

<早見表>

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.36	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00
200	±3.08	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07
500	±1.95	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
1,000	±1.38	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
1,125	±1.30	±1.79	±2.39	±2.73	±2.92	±2.98
5,000	±0.62	±0.85	±1.13	±1.30	±1.39	±1.41
10,000	±0.44	±0.60	±0.80	±0.92	±0.98	±1.00

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

## 5. 報告書の見方

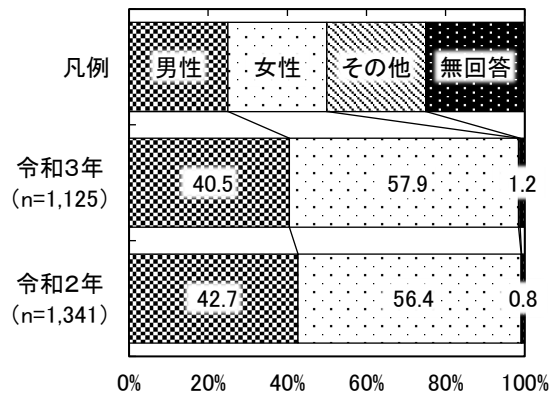
- (1) 図表中に示す n は、回答数総数のことである。
- (2) 割合比は n を 100.0% として算出し、図表中の構成比(%)は、小数点第 2 位以下を四捨五入したため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0% を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いため、原則としてクロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象としている。  
 ※居住地別の「志和地区」、「福富地区」、「豊栄地区」「河内地区」は 50 サンプル未満であるが、コメントの対象としている。  
 ※限定質問で全体のサンプル数が少ない場合は、コメントの対象としている。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、全体及び属性間の集計結果と比較し、特徴または傾向がみられるものを記している。
- (6) 経年変化分析については、令和 2 年度調査結果(前回調査結果)を起点として変化分析を示し、参考値としてそれ以前の年度の調査結果をあわせて掲載している。
- (7) 表・グラフの属性別データは、無回答を除いて掲載しているため、回答数総数と属性の内訳の合計は一致しない。

## II 基本的な属性

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

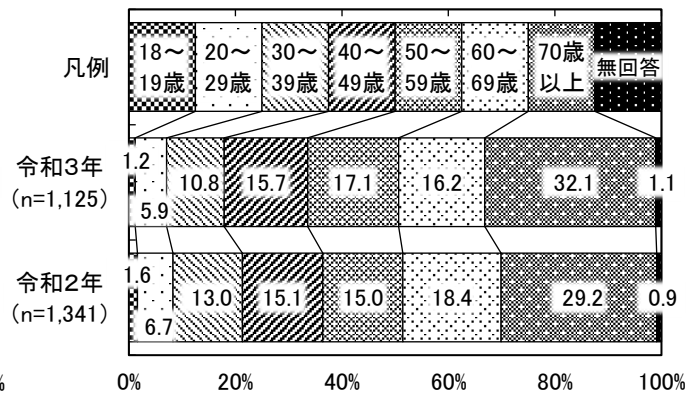
### (1) 性別

図1 性別



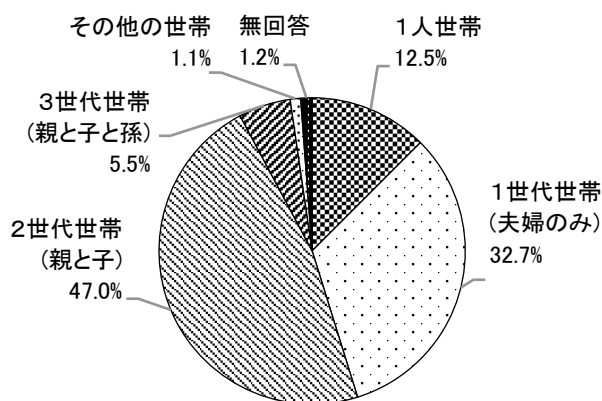
### (2) 年齢

図2 年齢



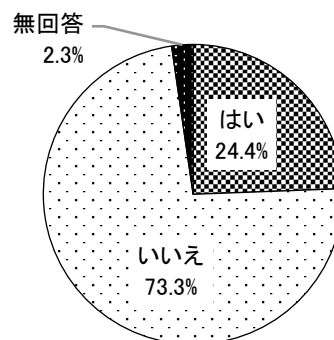
### (3) 家族構成

図3 家族構成  
[n=1, 125]



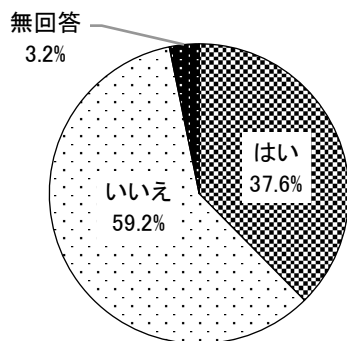
### (4) 18歳未満の子どもの同居の有無

図4 18歳未満の子どもの同居の有無  
[n=1, 125]



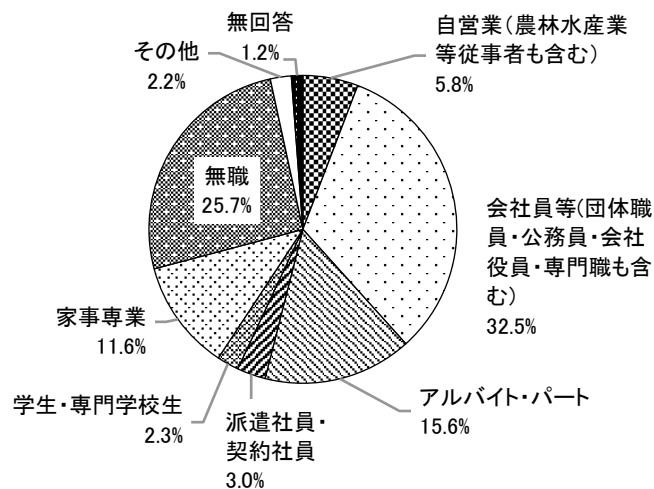
### (5) 65歳以上の方の同居の有無

図5 65歳以上の方の同居の有無  
[n=1, 125]



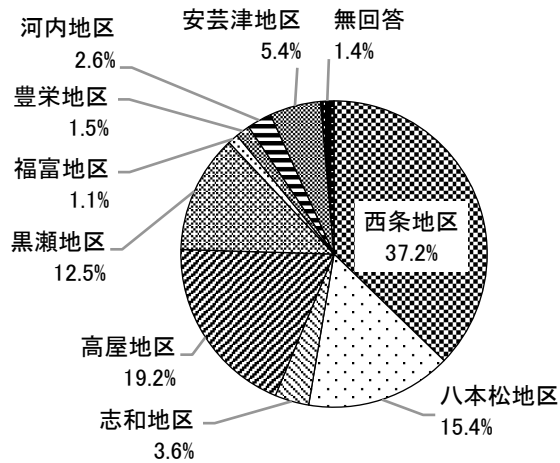
### (6) 職業

図6 職業  
[n=1, 125]



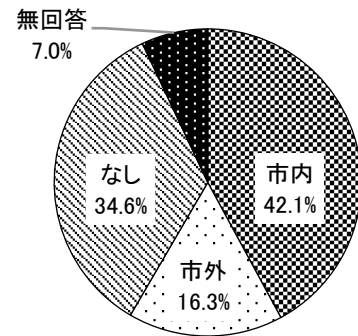
(7) 居住地区

図7 居住地区  
[n=1, 125]



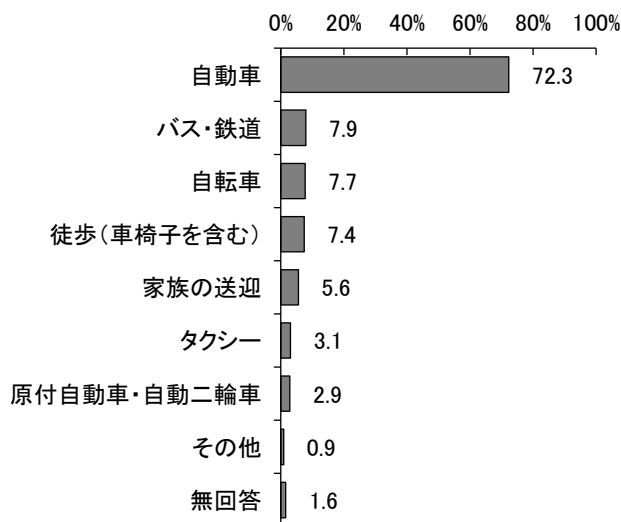
(8) 通勤、通学先

図8 通勤・通学先  
[n=1, 125]



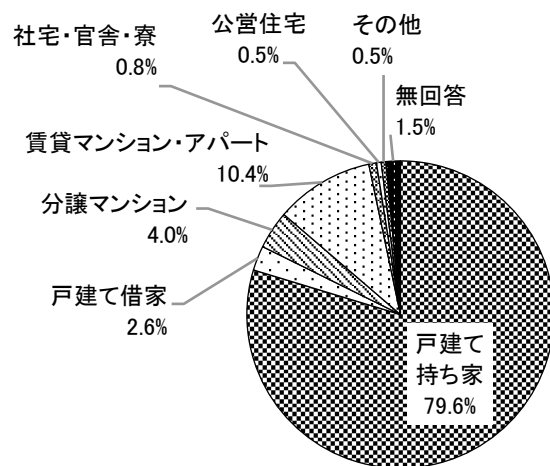
(9) 主な移動手段

図9 主な移動手段<複数回答>  
[n=1, 125]



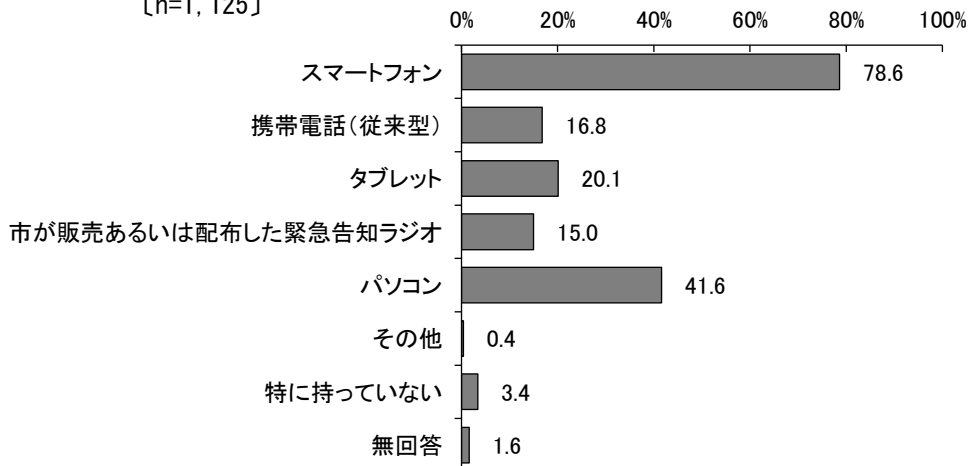
(10) 居住形態

図10 居住形態  
[n=1, 125]



(11) お持ちの端末

図11 お持ちの端末<複数回答>  
[n=1, 125]



### Ⅲ 調査の分析

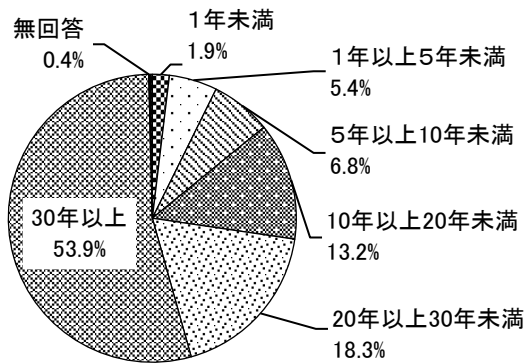
#### 1. 現在の住環境について

##### (1) 居住年数

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

居住年数については、「30年以上」が53.9%で最も高く、次いで、「20年以上30年未満」が18.3%、「10年以上20年未満」が13.2%、「5年以上10年未満」が6.8%、「1年以上5年未満」が5.4%、「1年未満」が1.9%となっている。10年以上は、85.4%を占めている。

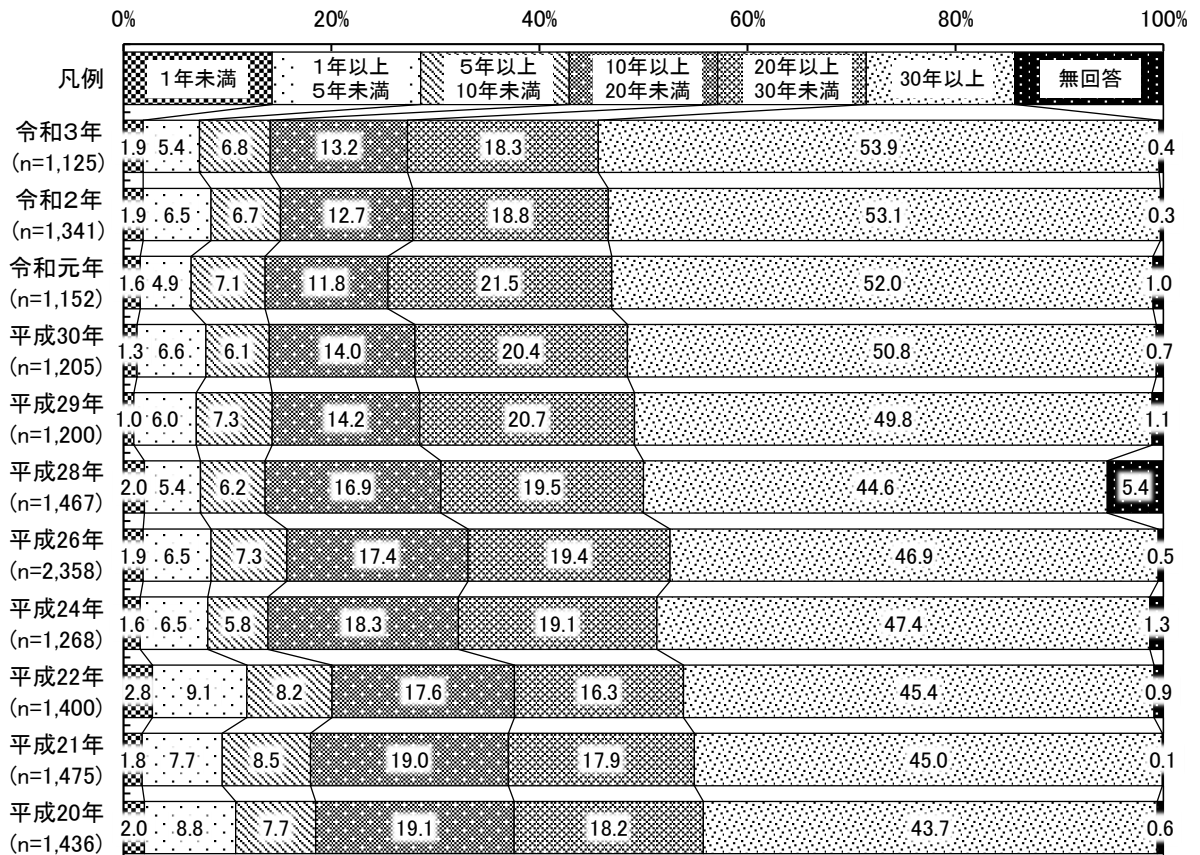
図1-1 居住年数 [n=1,125]



#### 【経年変化】

令和2年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図1-2 居住年数／経年変化





【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

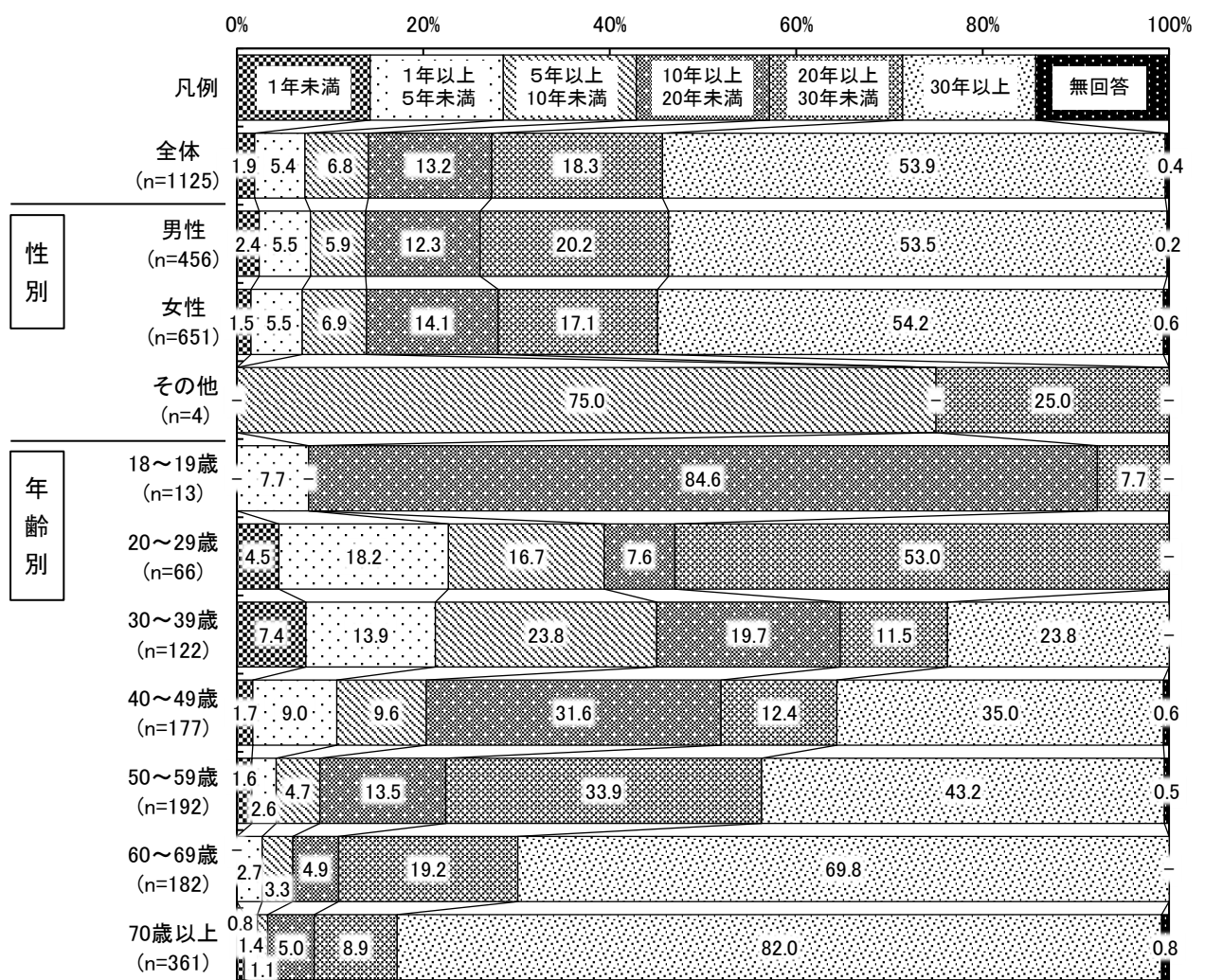
性別では、「20年以上30年未満」は『男性』が『女性』より3.1ポイント高いが、顕著な差はない。

年齢別では、「1年以上5年未満」は『20～29歳』が18.2%と12.8ポイント、「5年以上10年未満」は『30～39歳』が23.8%と17.0ポイント、「10年以上20年未満」は『40～49歳』が31.6%と18.4ポイント、「20年以上30年未満」は『50～59歳』が33.9%と15.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「30年以上」は『70歳以上』が82.0%と28.1ポイント全体より高く、各年齢層の中で最も高い。「30年以上」は年齢が上がるほど高くなっている。

※性別の『その他』および年齢別の『18～19歳』はサンプル数が少ないので、コメントしない。以下同様。

図1-3 居住年数／性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

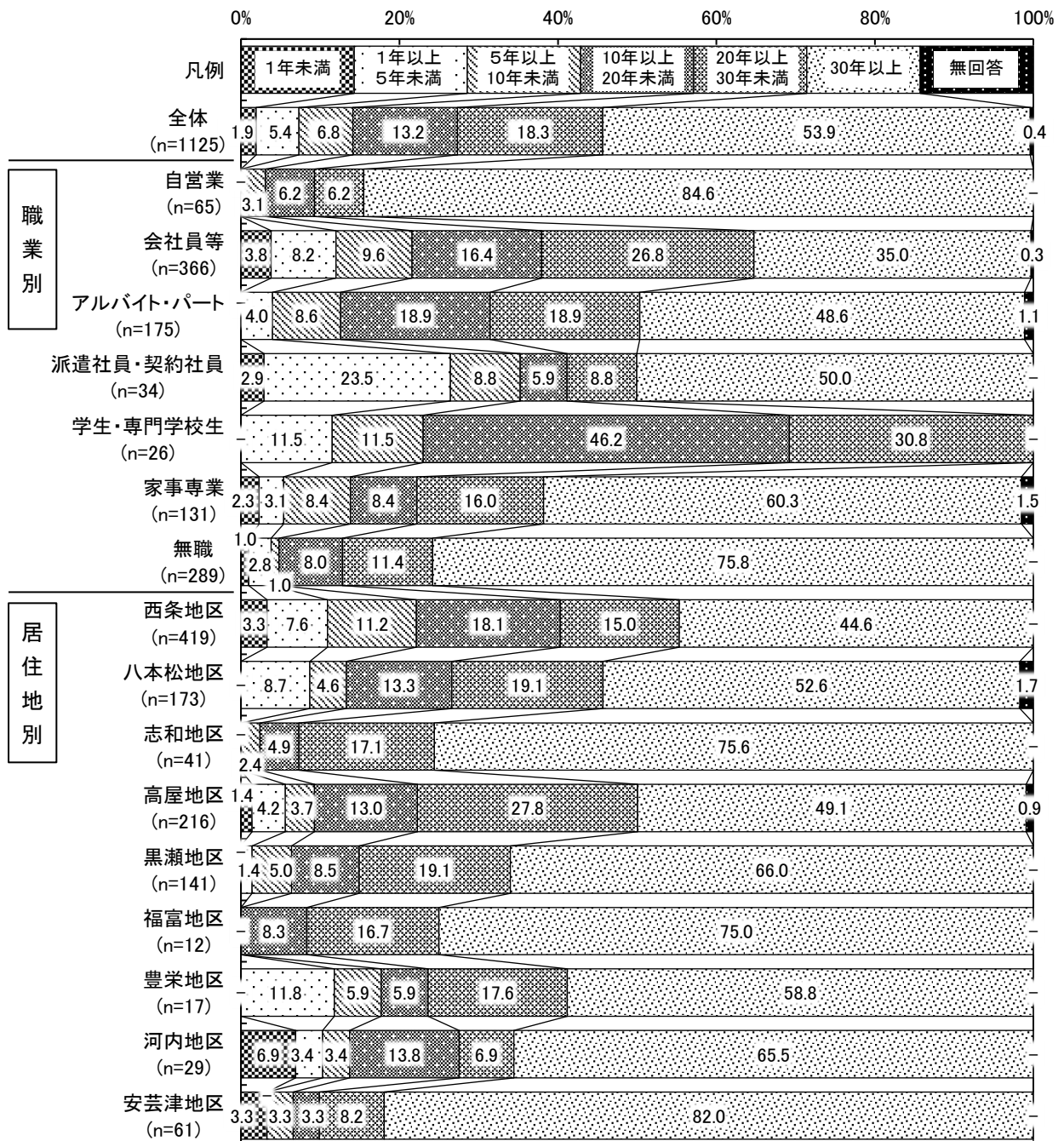
職業別では、「30年以上」は『自営業』が84.6%と30.7ポイント、『無職』が75.8%と21.9ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「1年未満」は『河内地区』が6.9%と5.0ポイント、「1年以上5年未満」は『豊栄地区』が11.8%と6.4ポイント、「20年以上30年未満」は『高屋地区』が27.8%と9.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「30年以上」は『安芸津地区』が82.0%、『志和地区』が75.6%、『福富地区』が75.0%と、これらの地区では全体より20ポイント以上高い。

※『派遣社員・契約社員』『学生・専門学校生』はサンプル数が少ないので、コメントしない。以下同様。

図1-4 居住年数／職業別・居住地別



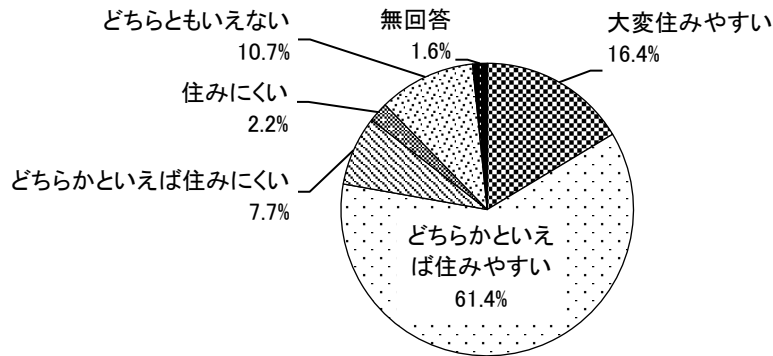
(2) 住み心地

問2 あなたは、東広島市の「住み心地」についてどう感じていますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

住み心地については、「大変住みやすい」が16.4%、「どちらかといえば住みやすい」が61.4%で、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は、77.8%と8割弱を占める。

「どちらかといえば住みにくい」は7.7%、「住みにくい」は2.2%であった。

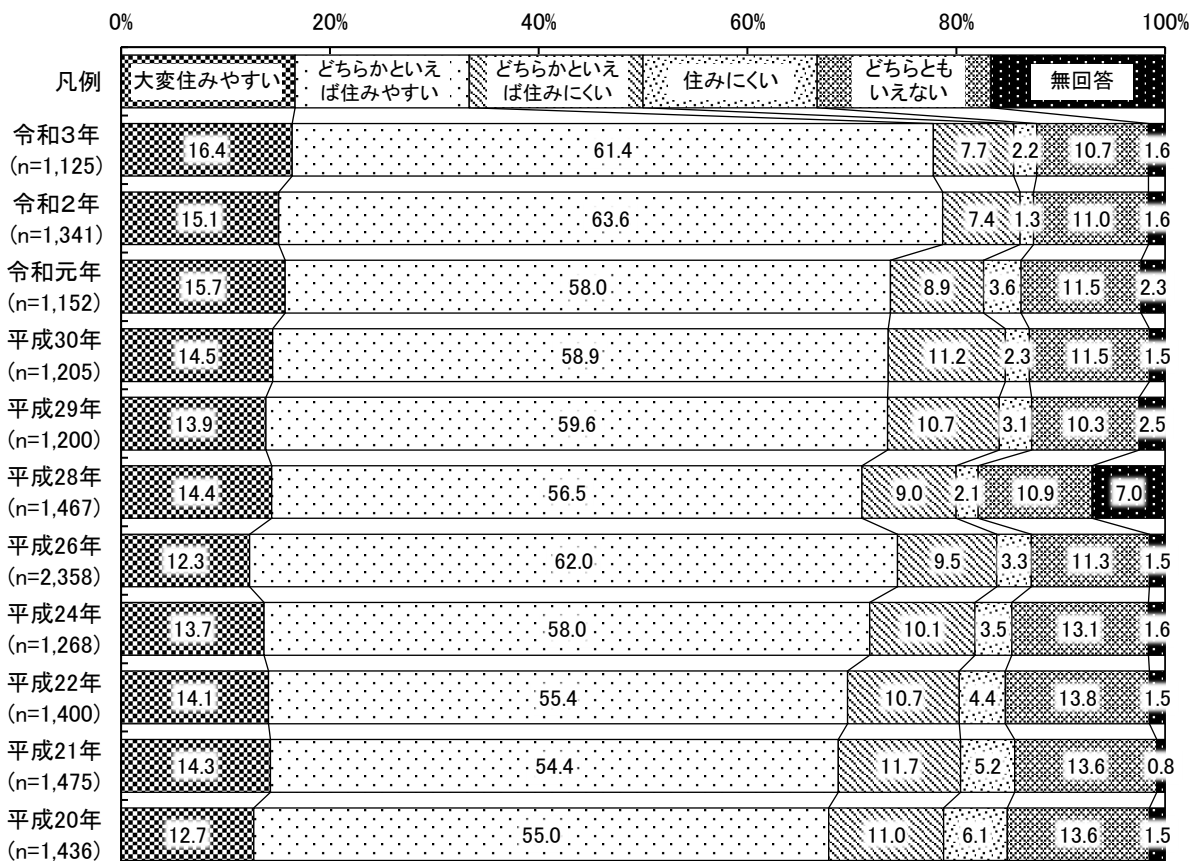
図2-1 住み心地 [n=1,125]



【経年変化】

令和2年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図2-2 住み心地／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

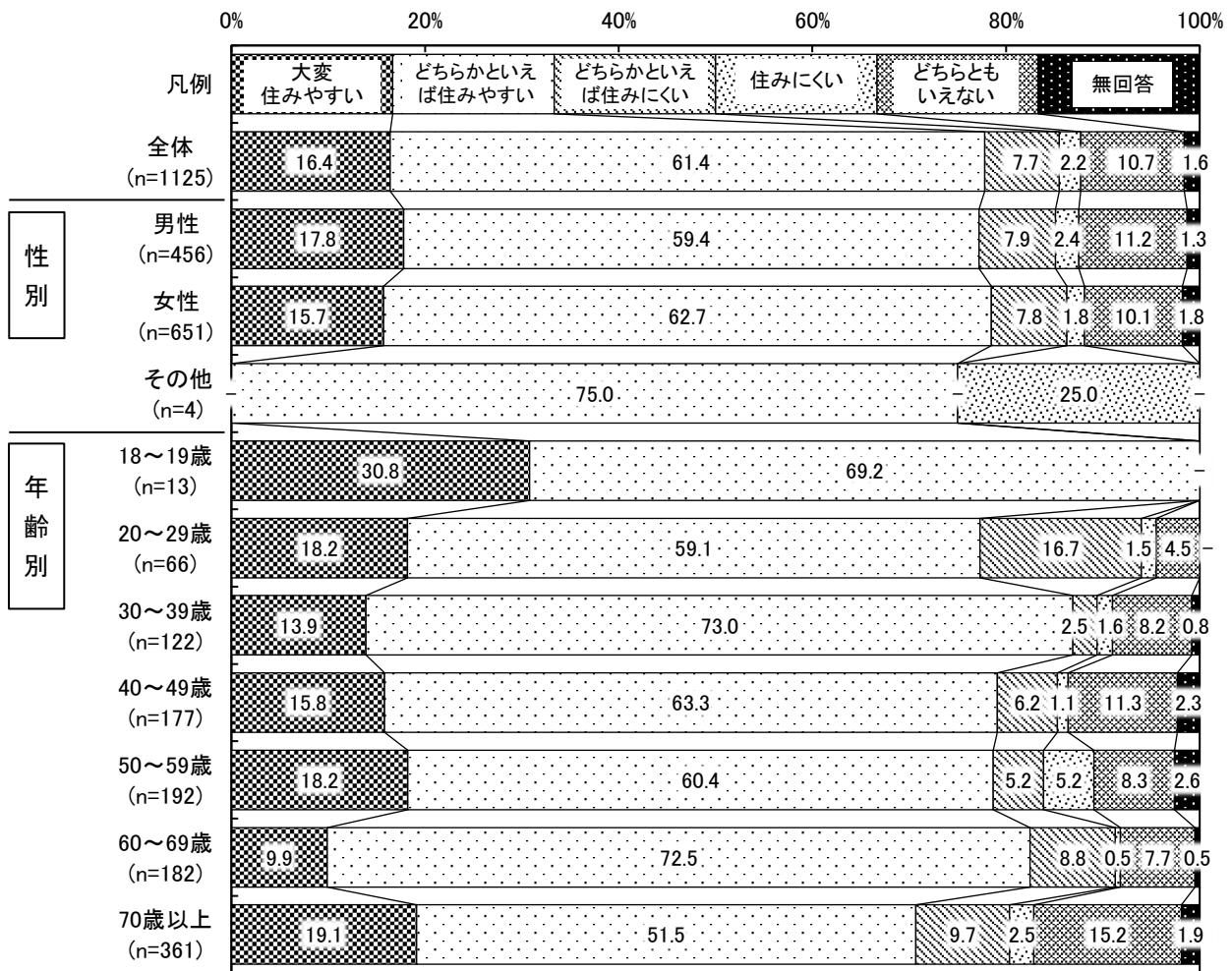
性別では、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は『男性』77.2%、『女性』78.4%と男女とも7割を超えている。

年齢別では、「どちらかといえば住みやすい」は『30～39歳』では73.0%と11.6ポイント、『60～69歳』が72.5%と11.1ポイント、それぞれ全体より高い。一方、「どちらかといえば住みにくい」は『20～29歳』が16.7%と9.0ポイント全体より高くなっている。

“住みやすい”は『30～39歳』が86.9%と9.1ポイント全体より高い。

“住みにくい”（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は、『20～29歳』が18.2%と全体より8.3ポイント高い。次いで“住みにくい”が高い年齢は『70歳以上』の12.2%、『50～59歳』の10.4%となっている。

図2-3 住み心地／性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

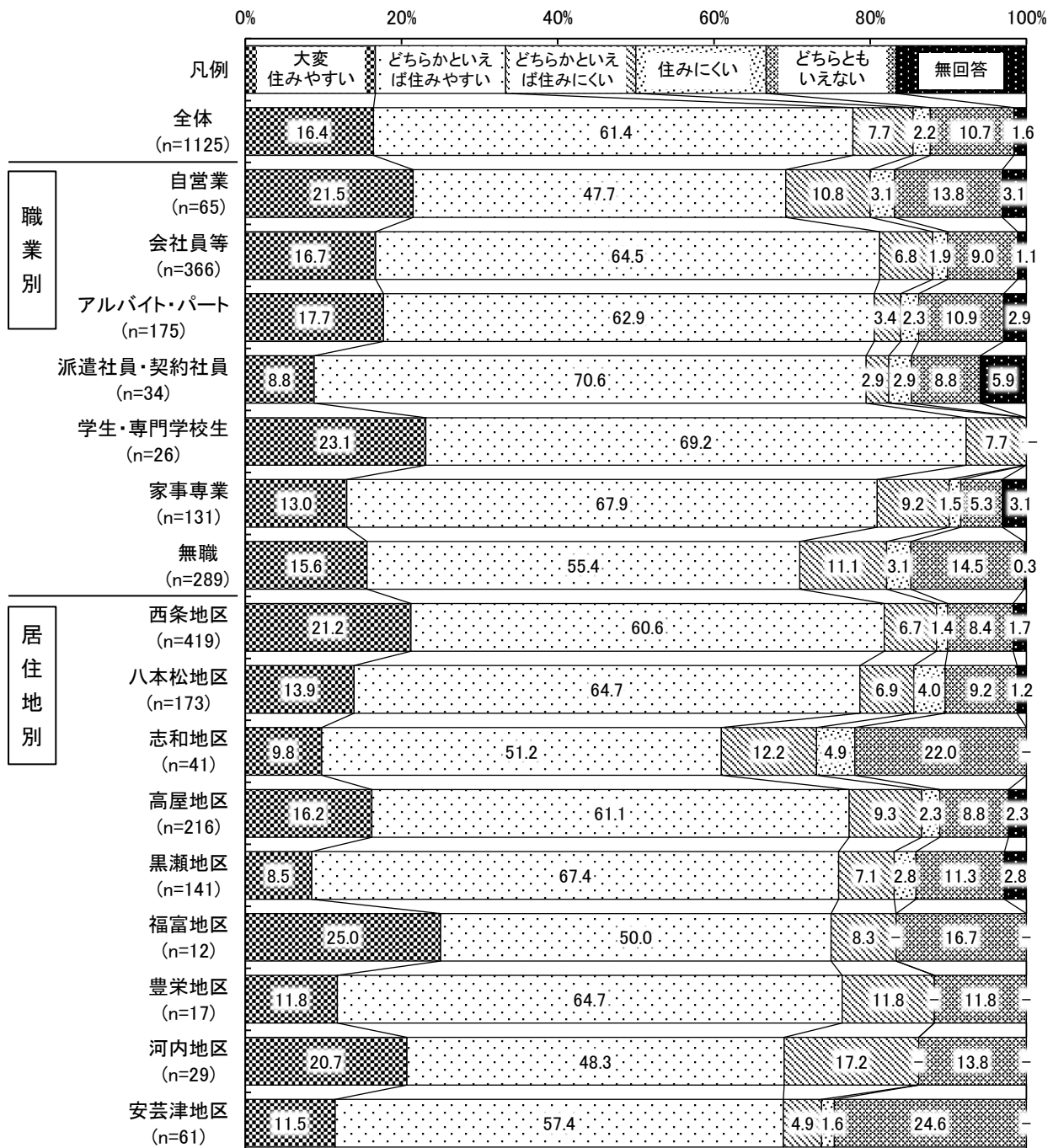
職業別では、“住みやすい”は『自営業』が69.2%と8.6ポイント、『無職』が71.0%と6.8ポイント、それぞれ全体より低い。

居住地別では、「大変住みやすい」は『福富地区』が25.0%と8.6ポイント、「どちらかといえば住みやすい」は『黒瀬地区』が67.4%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

“住みやすい”は『西条地区』が81.8%と全体より4.0ポイント高く、各地区の中で最も高くなっている。“住みやすい”が最も低かったのは、『志和地区』の61.0%で16.8ポイント全体より低く、次いで『安芸津地区』の68.9%、『河内地区』の69.0%が低くなっている。

“住みにくい”は『河内地区』が17.2%、『志和地区』が17.1%と他の地区より高い。

図2-4 住み心地／職業別・居住地別



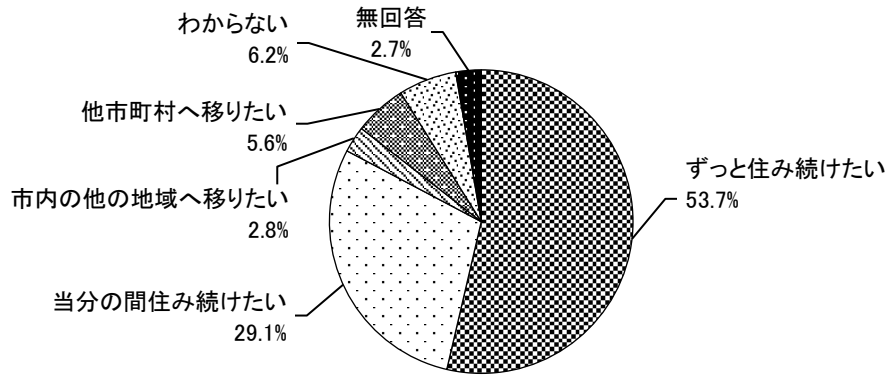
(3) 居住意向

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

居住意向については、「ずっと住み続けたい」が53.7%で最も高く、次いで、「当分の間住み続けたい」が29.1%で、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は、82.8%と8割以上を占める。

「他市町村へ移りたい」は5.6%、「市内の他の地域へ移りたい」は2.8%であった。

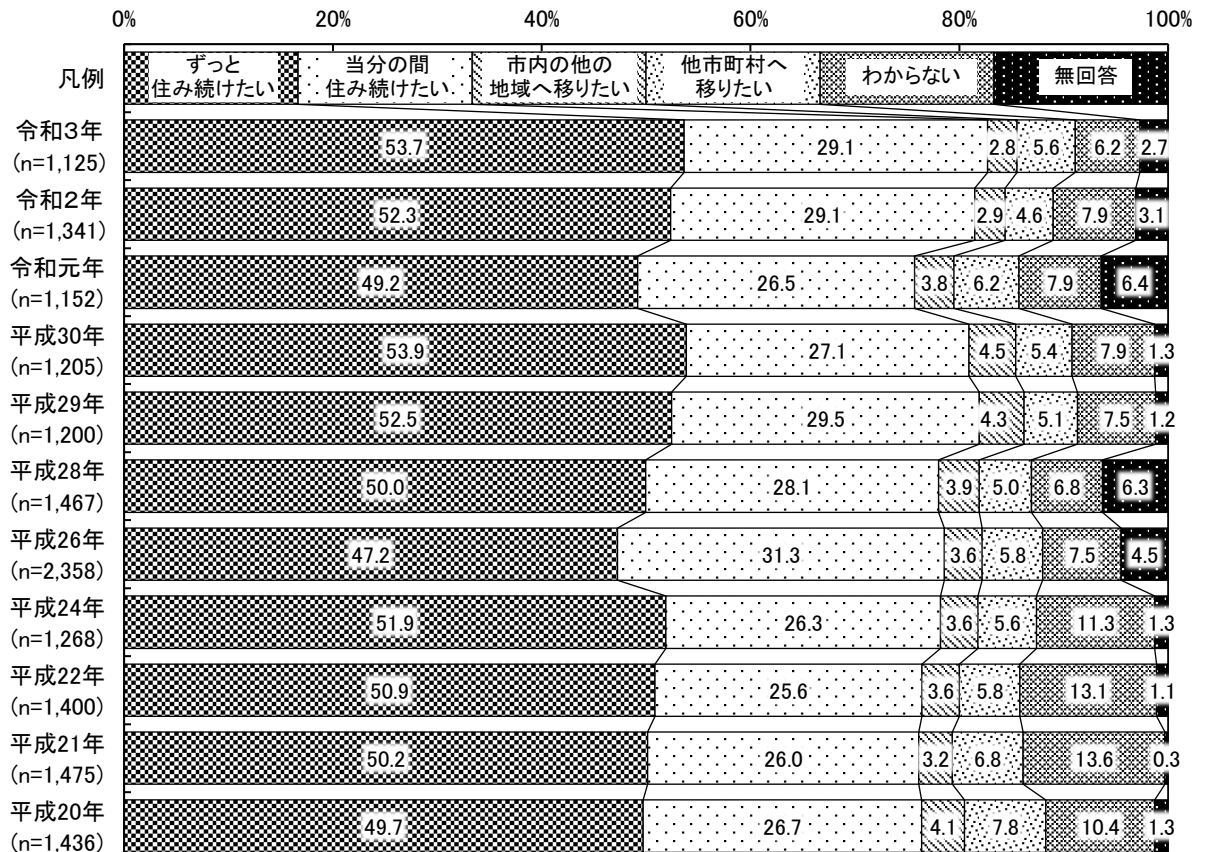
図3-1 居住意向 [n=1,125]



【経年変化】

令和2年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図3-2 居住意向／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

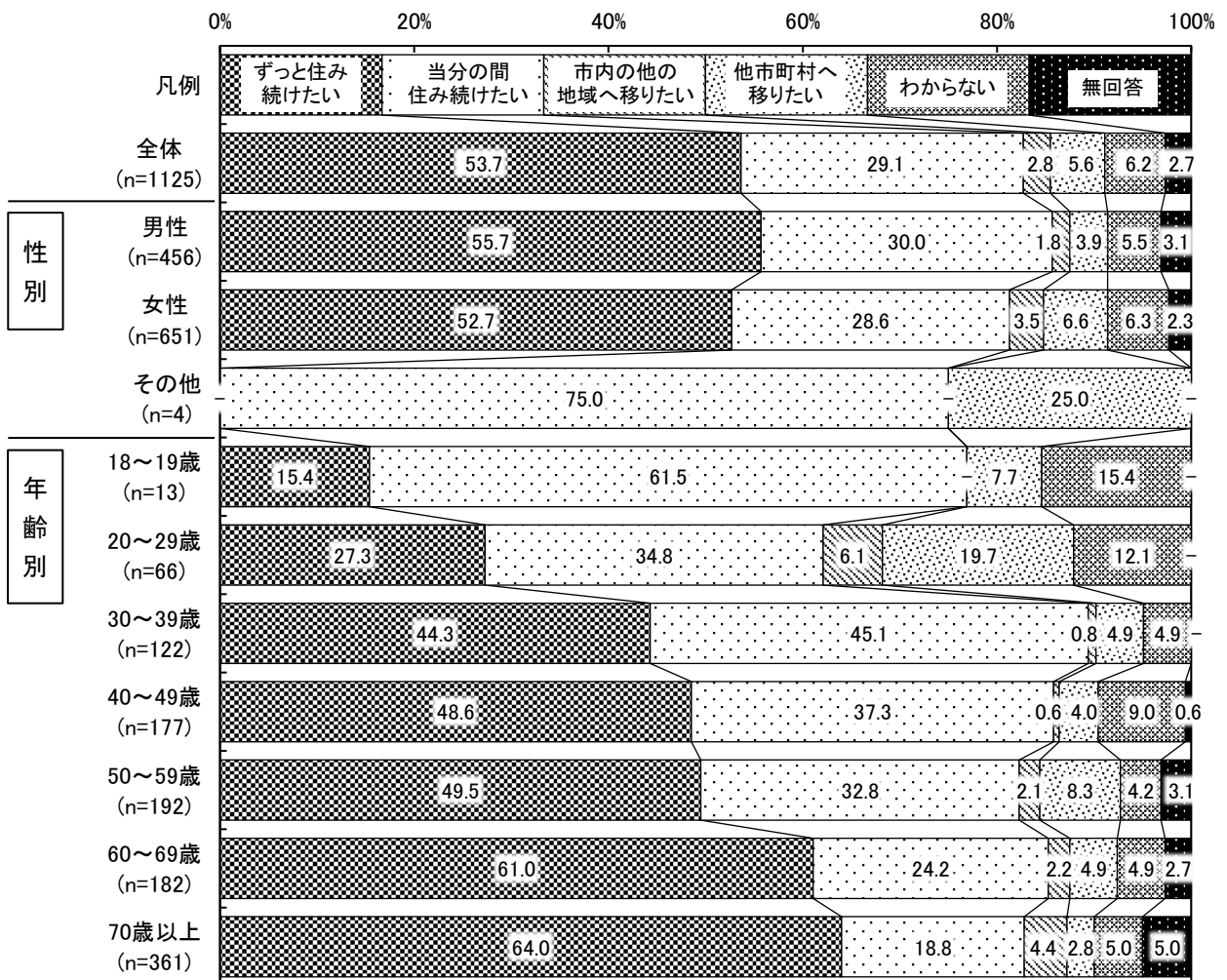
性別では、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は『男性』85.7%、『女性』81.3%と『男性』が『女性』より4.4ポイント高い。

年齢別では、「ずっと住み続けたい」は『70歳以上』が64.0%と各年齢層の中で最も高く、年齢が上がるほど高くなっている。「当分の間住み続けたい」は『30～39歳』が45.1%と16.0ポイント、『40～49歳』が37.3%と8.2ポイント、『20～29歳』が34.8%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「他市町村へ移りたい」は『20～29歳』が19.7%と14.1ポイント全体より高い。次に高いのは『50～59歳』の8.3%となっている。

“住み続けたい”は『20～29歳』が62.1%と20.7ポイント全体より低く、各年齢層の中で最も低い。

図3-3 居留意向／性別・年齢別



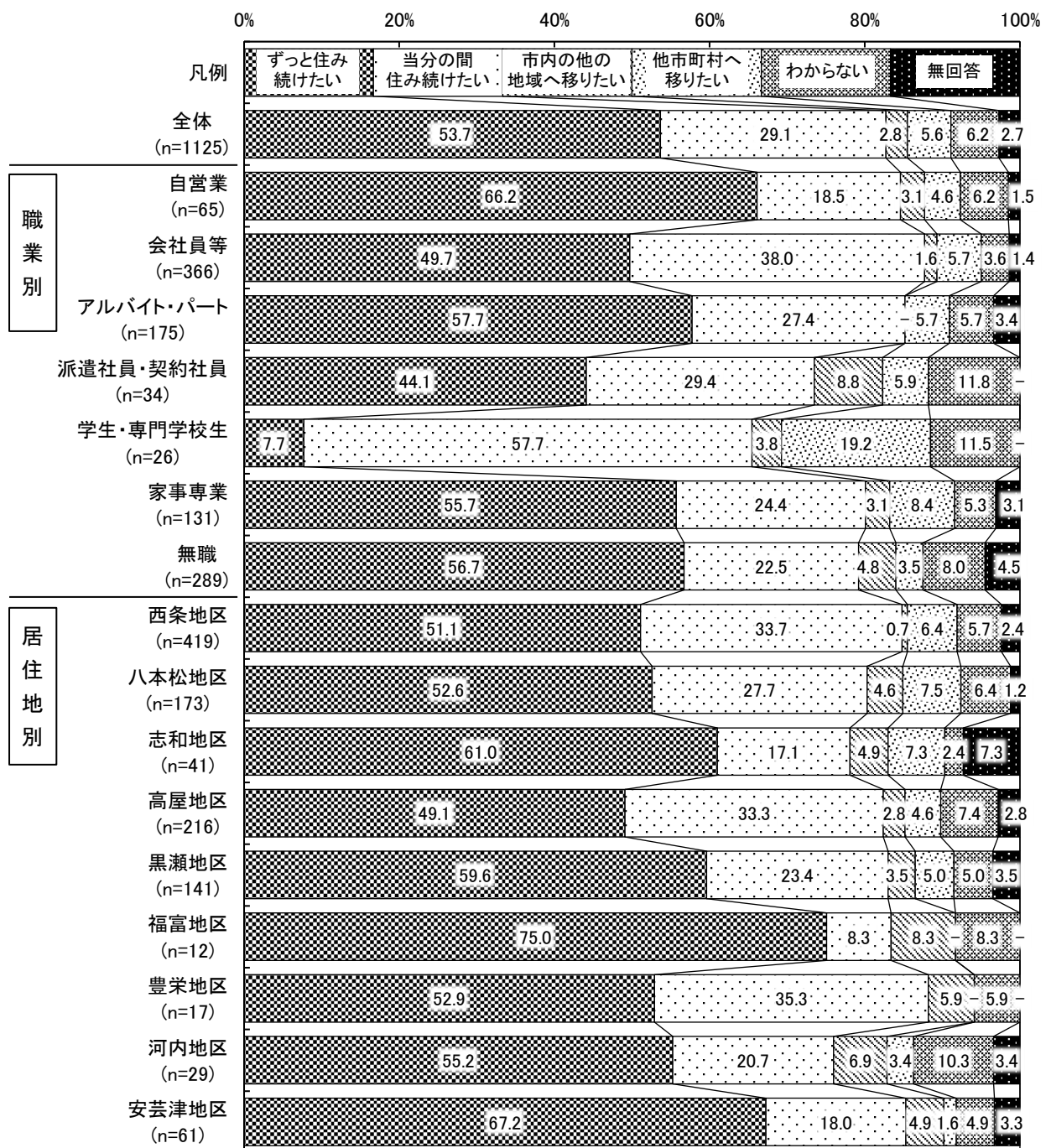
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「住み続けたい」については顕著な差は見られないが、「ずっと住み続けたい」は『学生・専門学校生』が7.7%と46.0ポイント全体より低く、他の属性と比較して特に低い。また、サンプル数が少なく参考値となるが、「他市町村へ移りたい」についても『学生・専門学校生』は19.2%と13.6ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「ずっと住み続けたい」は『福富地区』が75.0%と21.3ポイント、『安芸津地区』が67.2%と13.5ポイント、『志和地区』が61.0%と7.3ポイント、『黒瀬地区』が59.6%と5.9ポイント、それぞれ全体より高い。

「当分の間住み続けたい」は『豊栄地区』が35.3%と6.2ポイント、「市内の他の地域へ移りたい」は『福富地区』が8.3%と5.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図3-4 居住意向／職業別・居住地別





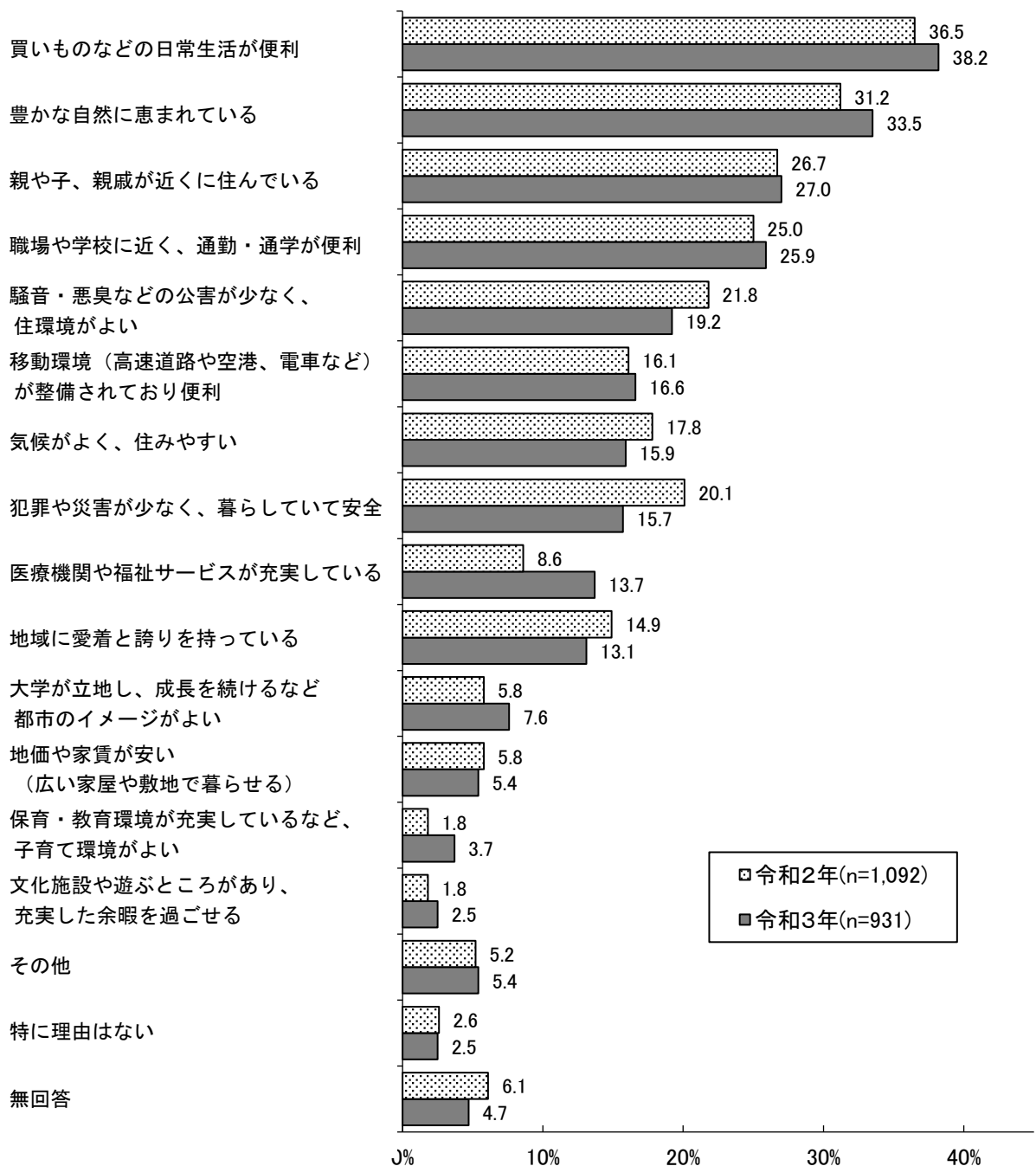
(4) 住み続けたい理由

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。  
 問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」の回答者(該当件数931件)に住み続けたい主な理由についてたずねると、「買い物などの日常生活が便利」が38.2%と最も高く、次いで、「豊かな自然に恵まれている」が33.5%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が27.0%、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が25.9%、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」が19.2%となっている。

図3-5 住み続けたい理由<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『女性』が『男性』より9.8ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『30～39歳』が47.7%と9.5ポイント全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『50～59歳』が38.6%、『60～69歳』が39.4%、『70歳以上』が38.8%と、それぞれ全体より5ポイント以上高い。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『20～29歳』が41.5%と14.5ポイント全体より高い。

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『20～29歳』が46.3%、『30～39歳』が49.5%、『40～49歳』が48.0%と、それぞれ20ポイント以上全体より高く、『50～59歳』についても38.0%と12.1ポイント全体より高い。

「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『60～69歳』が25.2%と全体より6.0ポイント高い。

「気候がよく、住みやすい」は『70歳以上』が23.4%と全体より7.5ポイント高い。

「医療機関や福祉サービスが充実している」は『70歳以上』が25.8%と全体より12.1ポイント高い。

「保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい」は『30～39歳』が13.8%と10.1ポイント全体より高い。

表3-1 住み続けたい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		買い物などの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	親や子、親戚が近くに住んでいる	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	気候がよく、住みやすい	犯罪や災害が少なく、暮らして安全	医療機関や福祉サービスが充実している	地域に愛着と誇りを持っている	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=931)		38.2	33.5	27.0	25.9	19.2	16.6	15.9	15.7	13.7	13.1	7.6	5.4	3.7	2.5	5.4	2.5	4.7
性別	男性(n=391)	32.5	<b>35.5</b>	26.3	28.4	20.5	15.3	14.3	14.3	12.3	14.8	8.7	5.9	3.6	3.1	6.6	2.3	4.3
	女性(n=529)	<b>42.3</b>	31.6	27.2	24.4	18.7	17.4	16.6	16.6	14.7	12.1	6.8	4.9	3.6	1.9	4.5	2.6	5.1
	その他(n=3)	66.7	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=10)	50.0	30.0	70.0	20.0	10.0	10.0	-	40.0	-	40.0	10.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=41)	39.0	17.1	<b>41.5</b>	<b>46.3</b>	22.0	9.8	9.8	9.8	7.3	12.2	-	9.8	-	-	4.9	4.9	7.3
	30～39歳(n=109)	47.7	19.3	31.2	<b>49.5</b>	9.2	13.8	6.4	6.4	8.3	7.3	8.3	9.2	<b>13.8</b>	5.5	4.6	1.8	4.6
	40～49歳(n=152)	40.1	25.7	30.9	<b>48.0</b>	13.2	17.1	10.5	10.5	8.6	6.6	9.2	4.6	7.2	2.0	8.6	1.3	3.3
	50～59歳(n=158)	38.0	<b>38.6</b>	27.2	<b>38.0</b>	20.9	19.6	13.3	15.2	5.7	10.8	4.4	6.3	3.8	1.9	3.8	1.9	5.1
	60～69歳(n=155)	34.2	<b>39.4</b>	23.9	11.0	25.2	20.0	16.8	18.7	10.3	16.1	8.4	5.2	-	1.3	6.5	4.5	5.2
	70歳以上(n=299)	35.8	<b>38.8</b>	21.4	5.4	22.4	15.1	<b>23.4</b>	20.1	<b>25.8</b>	17.7	8.7	3.7	0.7	2.7	4.7	2.3	5.0

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「豊かな自然に恵まれている」は『自営業』が49.1%と15.6ポイント全体より高い。

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が44.5%と18.6ポイント、『アルバイト・パート』が37.6%と11.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域に愛着と誇りを持っている」は『自営業』が23.6%と10.5ポイント全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『西条地区』、「豊かな自然に恵まれている」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高い。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『豊栄地区』、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『志和地区』、『福富地区』、『河内地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高い。「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『高屋地区』、「気候がよく、住みやすい」は『志和地区』、『安芸津地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっている。

表3-2 住み続けたい理由／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		買い物などの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	親や子、親戚が近くに住んでいる	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	気候がよく、住みやすい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	医療機関や福祉サービスが充実している	地域に愛着と誇りを持っている	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=931)		38.2	33.5	27.0	25.9	19.2	16.6	15.9	15.7	13.7	13.1	7.6	5.4	3.7	2.5	5.4	2.5	4.7
職業別	自営業(n=55)	21.8	<b>49.1</b>	27.3	9.1	14.5	5.5	21.8	14.5	16.4	<b>23.6</b>	10.9	1.8	3.6	1.8	7.3	3.6	7.3
	会社員等(n=321)	36.8	29.3	30.8	<b>44.5</b>	18.4	15.9	9.7	10.3	8.7	10.3	8.4	5.9	5.3	2.8	5.6	2.2	3.7
	アルバイト・パート(n=149)	<b>44.3</b>	28.9	27.5	<b>37.6</b>	18.8	16.1	13.4	<b>20.8</b>	9.4	8.7	4.0	4.7	4.7	0.7	4.7	3.4	5.4
	派遣社員・契約社員(n=25)	<b>44.0</b>	36.0	28.0	<b>36.0</b>	24.0	16.0	24.0	4.0	-	4.0	12.0	<b>12.0</b>	-	-	4.0	-	8.0
	学生・専門学校生(n=17)	47.1	17.6	52.9	29.4	11.8	11.8	-	29.4	-	29.4	5.9	5.9	5.9	-	-	-	11.8
	家事専業(n=105)	<b>47.6</b>	35.2	22.9	8.6	18.1	<b>24.8</b>	21.9	18.1	<b>20.0</b>	13.3	9.5	5.7	5.7	4.8	3.8	1.0	4.8
	無職(n=229)	33.6	<b>37.6</b>	22.7	4.4	22.3	16.6	21.4	18.3	21.4	17.5	7.0	5.2	0.4	2.6	6.6	3.5	3.9
地域別	西条地区(n=355)	<b>49.6</b>	21.7	28.7	<b>33.2</b>	15.2	19.4	11.0	14.1	16.1	13.0	11.0	3.9	5.1	4.2	4.5	0.8	4.8
	八本松地区(n=139)	<b>35.3</b>	28.8	24.5	30.2	15.8	14.4	15.1	11.5	14.4	14.4	7.9	7.9	6.5	3.6	9.4	2.9	3.6
	志和地区(n=32)	9.4	<b>53.1</b>	25.0	9.4	<b>34.4</b>	3.1	<b>28.1</b>	25.0	12.5	<b>21.9</b>	-	<b>15.6</b>	-	-	3.1	3.1	3.1
	高屋地区(n=178)	37.1	<b>38.8</b>	24.7	25.8	20.2	<b>27.5</b>	10.1	16.3	12.4	8.4	5.1	3.4	3.9	1.1	1.7	3.9	6.2
	黒瀬地区(n=117)	36.8	<b>41.0</b>	24.8	18.8	24.8	8.5	19.7	21.4	12.0	6.8	7.7	7.7	-	-	5.1	3.4	6.8
	福富地区(n=10)	10.0	<b>70.0</b>	20.0	10.0	<b>50.0</b>	-	10.0	10.0	10.0	<b>30.0</b>	-	10.0	-	-	10.0	10.0	-
	豊栄地区(n=15)	13.3	<b>73.3</b>	40.0	20.0	20.0	-	20.0	13.3	-	20.0	-	13.3	-	-	-	6.7	-
	河内地区(n=22)	4.5	<b>59.1</b>	36.4	-	<b>36.4</b>	13.6	18.2	18.2	13.6	<b>18.2</b>	9.1	-	-	-	4.5	4.5	9.1
	安芸津地区(n=52)	23.1	42.3	28.8	11.5	17.3	1.9	<b>48.1</b>	15.4	9.6	<b>30.8</b>	-	3.8	-	-	<b>17.3</b>	1.9	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない（居住地別の福富地区、豊栄地区を除く）。

(5) 移転・転出したい理由

問3で、「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。

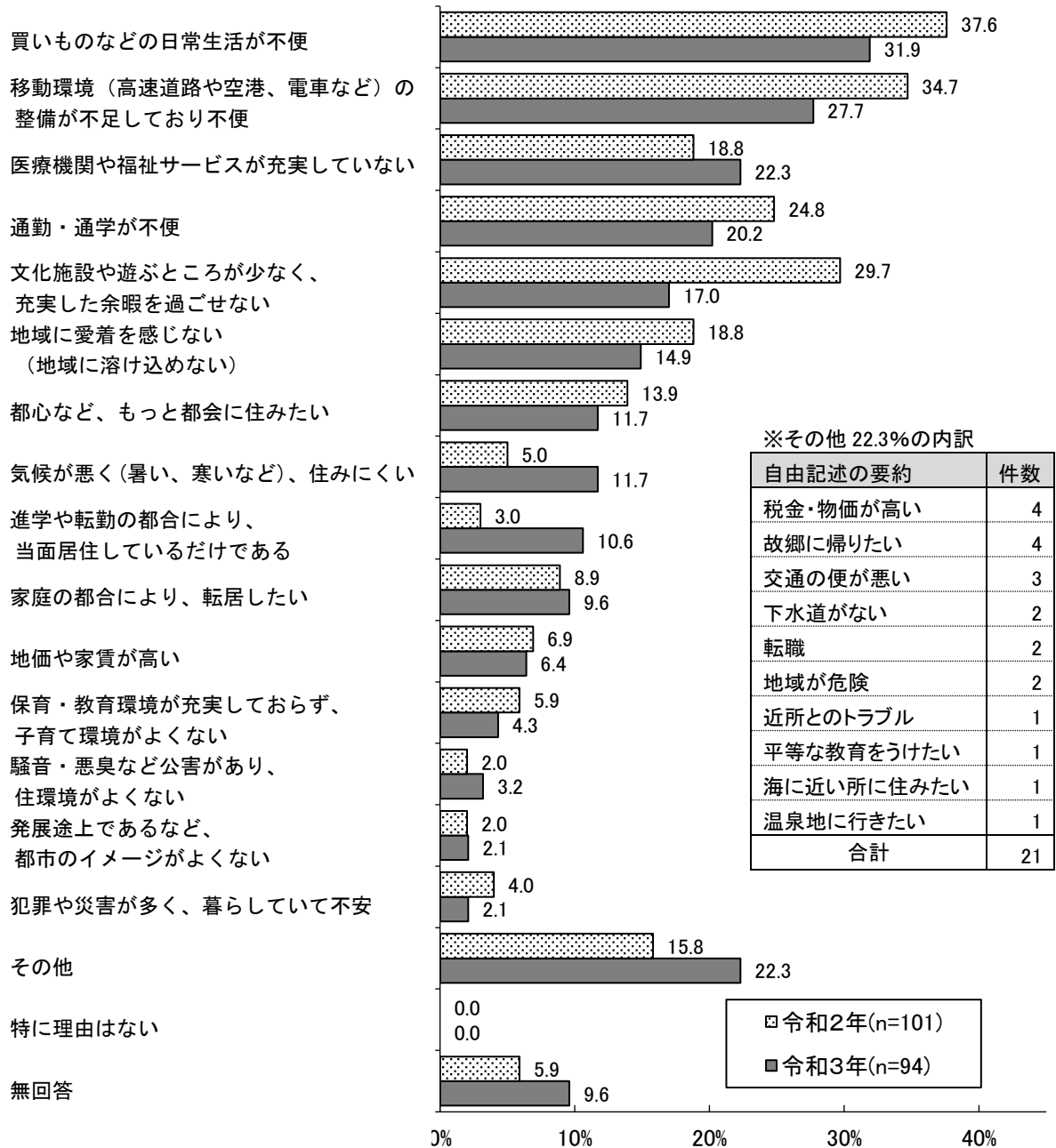
問3-2 移転・転出したい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」の回答者(該当件数94件)に移転・転出したい主な理由をたずねると、「買い物などの日常生活が不便」が31.9%と最も高く、次いで、「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」が27.7%、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が22.3%、「通勤・通学が不便」20.2%と高い。

令和2年度調査(前回)との比較では、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は29.7%から17.0%と12.9ポイント減少しており、最も前回との差が大きい。

図3-6 移転・転出したい理由<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「買い物などの日常生活が不便」、「医療機関や福祉サービスが充実していない」、「都心など、もっと都会に住みたい」はそれぞれ『女性』が『男性』より10ポイント以上高い。

一方、「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」、「進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである」、「家庭の都合により、転居したい」はそれぞれ『男性』が『女性』より5ポイント以上高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「買い物などの日常生活が不便」は『60～69歳』、『70歳以上』がそれぞれ53.8%と全体より21.9ポイント高い。

「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」、「通勤・通学が不便」、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は『20～29歳』が全体より10ポイント以上高い。

「地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない)」は『50～59歳』、「家庭の都合により、転居したい」は『60～69歳』が、それぞれ全体より10ポイント以上高い。

表3-3 移転・転出したい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		買い物などの日常生活が不便	移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	通勤・通学が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない)	都心など、もっと都会に住みたい	気候が悪く(暑い、寒いなど)、住みにくい	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	家庭の都合により、転居したい	地価や家賃が高い	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らして不安	犯罪や災害が多く、	特に理由はない	無回答	
全体(n=94)		31.9	27.7	22.3	20.2	17.0	14.9	11.7	11.7	10.6	9.6	6.4	4.3	3.2	2.1	2.1	22.3	-	9.6	
性別	男性(n=26)	23.1	<b>34.6</b>	11.5	23.1	15.4	15.4	3.8	11.5	15.4	<b>15.4</b>	7.7	3.8	3.8	3.8	-	19.2	-	11.5	
	女性(n=66)	<b>34.8</b>	25.8	27.3	18.2	16.7	15.2	12.1	9.1	7.6	6.1	4.5	3.0	1.5	3.0	24.2	-	9.1		
	その他(n=1)	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
年齢別	18～19歳(n=1)	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳(n=17)	11.8	<b>41.2</b>	17.6	<b>41.2</b>	<b>29.4</b>	-	11.8	11.8	<b>17.6</b>	11.8	-	5.9	-	-	-	23.5	-	5.9	
	30～39歳(n=7)	14.3	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	42.9
	40～49歳(n=8)	-	12.5	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	25.0
	50～59歳(n=20)	25.0	<b>35.0</b>	10.0	10.0	-	<b>30.0</b>	15.0	15.0	20.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	25.0	-	5.0
	60～69歳(n=13)	<b>53.8</b>	30.8	30.8	7.7	23.1	15.4	7.7	15.4	-	<b>23.1</b>	7.7	-	7.7	-	-	-	30.8	-	-
	70歳以上(n=26)	<b>53.8</b>	23.1	30.8	15.4	23.1	15.4	7.7	11.5	-	3.8	3.8	-	-	3.8	3.8	23.1	-	7.7	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「買いものなどの日常生活が不便」は『無職』、「医療機関や福祉サービスが充実していない」は「アルバイト・パート」、「通勤・通学が不便」は『会社員等』、「進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである」は『家事専業』がそれぞれ全体より10ポイント以上高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「買いものなどの日常生活が不便」、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」はそれぞれ『黒瀬地区』が全体より10ポイント以上高い。

表3-4 移転・転出したい理由／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		買いものなどの日常生活が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	通勤・通学が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都心など、もっと都会に住みたい	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	家庭の都合により、転居したい	地価や家賃が高い	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らして不安	犯罪や災害が多く、	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=94)		31.9	27.7	22.3	20.2	17.0	14.9	11.7	11.7	10.6	9.6	6.4	4.3	3.2	2.1	2.1	22.3	-	9.6	
職業別	自営業(n=5)	20.0	40.0	-	-	-	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	
	会社員等(n=27)	18.5	25.9	25.9	33.3	22.2	14.8	11.1	11.1	14.8	7.4	11.1	11.1	-	3.7	-	14.8	-	11.1	
	アルバイト・パート(n=10)	10.0	30.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-	10.0
	派遣社員・契約社員(n=5)	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0
	学生・専門学校生(n=6)	16.7	16.7	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
	家事専業(n=15)	26.7	26.7	13.3	13.3	13.3	20.0	20.0	13.3	26.7	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	-	-	13.3	-	13.3
	無職(n=24)	62.5	29.2	29.2	12.5	25.0	8.3	4.2	16.7	-	8.3	-	-	4.2	-	8.3	29.2	-	4.2	
地域別	西条地区(n=30)	16.7	23.3	13.3	3.3	20.0	23.3	13.3	10.0	20.0	6.7	13.3	6.7	3.3	3.3	-	20.0	-	16.7	
	八本松地区(n=21)	23.8	23.8	19.0	28.6	-	9.5	33.3	19.0	9.5	14.3	4.8	4.8	4.8	-	4.8	14.3	-	14.3	
	志和地区(n=5)	40.0	40.0	40.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	高屋地区(n=16)	37.5	12.5	25.0	12.5	18.8	12.5	-	12.5	12.5	12.5	6.3	-	-	6.3	-	-	37.5	-	-
	黒瀬地区(n=12)	58.3	58.3	-	25.0	8.3	-	-	8.3	-	8.3	-	8.3	8.3	-	8.3	33.3	-	8.3	
	福富地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	豊栄地区(n=1)	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区(n=3)	33.3	-	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安芸津地区(n=4)	50.0	50.0	75.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

【属性別の傾向】＜移りたい場所別＞

問3で『市内の他の場所へ移りたい』と回答した方と、『他市町へ移りたい』と回答した方の比較では、『市内の他の場所へ移りたい』と回答した方は、『他市町へ移りたい』と回答した方より、「買い物などの日常生活が不便」、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」、「医療機関や福祉サービスが充実していない」、「地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）」がそれぞれ10ポイント以上高く、差が大きい。

また、「進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである」についても、『他市町へ移りたい』と回答した方は15.9%であるのに対し、『市内の他の場所へ移りたい』と回答した方は0%となっており、差が大きくなっている。

表3-5 移転・転出したい理由／移りたい場所別＜複数回答＞

単位：%

	買い物などの日常生活が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	通勤・通学が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都心など、もっと都会に住みたい	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	家庭の都合により、転居したい	地価や家賃が高い	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らして不安	犯罪や災害が多く、	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=94)	31.9	27.7	22.3	20.2	17.0	14.9	11.7	11.7	10.6	9.6	6.4	4.3	3.2	2.1	2.1	22.3	-	9.6	
問3で「市内の他の地域へ移りたい」と回答した方(n=31)	51.6	35.5	32.3	19.4	19.4	22.6	6.5	16.1	-	12.9	3.2	-	3.2	3.2	3.2	16.1	-	-	
問3で「他市町へ移りたい」と回答した方(n=63)	22.2	23.8	17.5	20.6	15.9	11.1	14.3	9.5	15.9	7.9	7.9	6.3	3.2	1.6	1.6	25.4	-	14.3	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

※参考【属性別の傾向】問3で「市内の他の地域へ移りたい」と回答した方のみ

表3-6 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		買いものなどの日常生活が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	通勤・通学が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	家庭の都合により、転居したい	都心など、もっと都会に住みたい	都市のイメージがよくない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	犯罪や災害が多く、暮らして不安	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=31)		51.6	35.5	32.3	22.6	19.4	19.4	16.1	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2	3.2	-	-	16.1	-	-
性別	男性(n=8)	37.5	37.5	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	12.5	-	-
	女性(n=23)	56.5	34.8	39.1	17.4	17.4	17.4	17.4	8.7	8.7	4.3	4.3	-	4.3	-	-	17.4	-	-
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=4)	-	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	30～39歳(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～49歳(n=1)	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳(n=4)	75.0	75.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～69歳(n=4)	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-
	70歳以上(n=16)	56.3	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	-	6.3	-	-	18.8	-	-
職業別	自営業(n=2)	-	50.0	-	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会社員等(n=6)	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-
	アルバイト・パート(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	派遣社員・契約社員(n=3)	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学生・専門学校生(n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	家事専業(n=4)	50.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	無職(n=14)	64.3	28.6	42.9	14.3	21.4	21.4	21.4	7.1	7.1	-	-	7.1	7.1	-	-	14.3	-	-
地域別	西条地区(n=3)	33.3	66.7	-	66.7	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	八本松地区(n=8)	37.5	37.5	25.0	12.5	25.0	-	37.5	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-
	志和地区(n=2)	50.0	-	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高屋地区(n=6)	50.0	33.3	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-
	黒瀬地区(n=5)	60.0	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	-
	福富地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	豊栄地区(n=1)	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区(n=2)	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安芸津地区(n=3)	66.7	33.3	100.0	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



※参考【属性別の傾向】問3で「他市町へ移りたい」と回答した方のみ

表3-7 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	通勤・通学が不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない （地域に溶け込めない）	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	地価や家賃が高い	家庭の都合により、転居したい	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らして不安	犯罪や災害が多く、	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=63)		23.8	22.2	20.6	17.5	15.9	15.9	14.3	11.1	9.5	7.9	7.9	6.3	3.2	1.6	1.6	25.4	-	14.3	
性別	男性(n=18)	33.3	16.7	22.2	11.1	11.1	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	-	5.6	-	22.2	-	16.7	
	女性(n=43)	20.9	23.3	18.6	20.9	16.3	14.0	18.6	14.0	9.3	7.0	7.0	7.0	4.7	-	2.3	27.9	-	14.0	
	その他(n=1)	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=1)	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=13)	38.5	15.4	46.2	23.1	30.8	23.1	15.4	-	15.4	-	15.4	7.7	-	-	-	15.4	-	7.7	
	30～39歳(n=6)	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-	50.0
	40～49歳(n=7)	14.3	-	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	14.3	-	28.6
	50～59歳(n=16)	25.0	12.5	6.3	12.5	-	25.0	12.5	31.3	12.5	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	31.3	-	6.3
	60～69歳(n=9)	33.3	55.6	11.1	33.3	33.3	-	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	44.4	-	-
	70歳以上(n=10)	20.0	50.0	-	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	-	20.0
職業別	自営業(n=3)	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3
	会社員等(n=21)	23.8	14.3	33.3	23.8	19.0	19.0	14.3	14.3	9.5	14.3	4.8	14.3	-	4.8	-	14.3	-	14.3	
	アルバイト・パート(n=10)	30.0	10.0	20.0	40.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	-	-	40.0	-	10.0
	派遣社員・契約社員(n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	学生・専門学校生(n=5)	20.0	20.0	40.0	-	-	40.0	40.0	-	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	家事専業(n=11)	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	36.4	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	-	9.1	-	18.2
	無職(n=10)	30.0	60.0	-	10.0	30.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-	-	-	10.0	50.0	50.0	-	10.0
地域別	西条地区(n=27)	18.5	14.8	3.7	14.8	22.2	22.2	14.8	18.5	11.1	11.1	3.7	7.4	3.7	-	-	-	22.2	-	18.5
	八本松地区(n=13)	15.4	15.4	30.8	15.4	-	15.4	38.5	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	-	-	-	15.4	-	23.1
	志和地区(n=3)	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
	高屋地区(n=10)	-	30.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	50.0	-	-
	黒瀬地区(n=7)	71.4	57.1	28.6	-	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	14.3	28.6	-	14.3	
	福富地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	豊栄地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区(n=1)	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安芸津地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

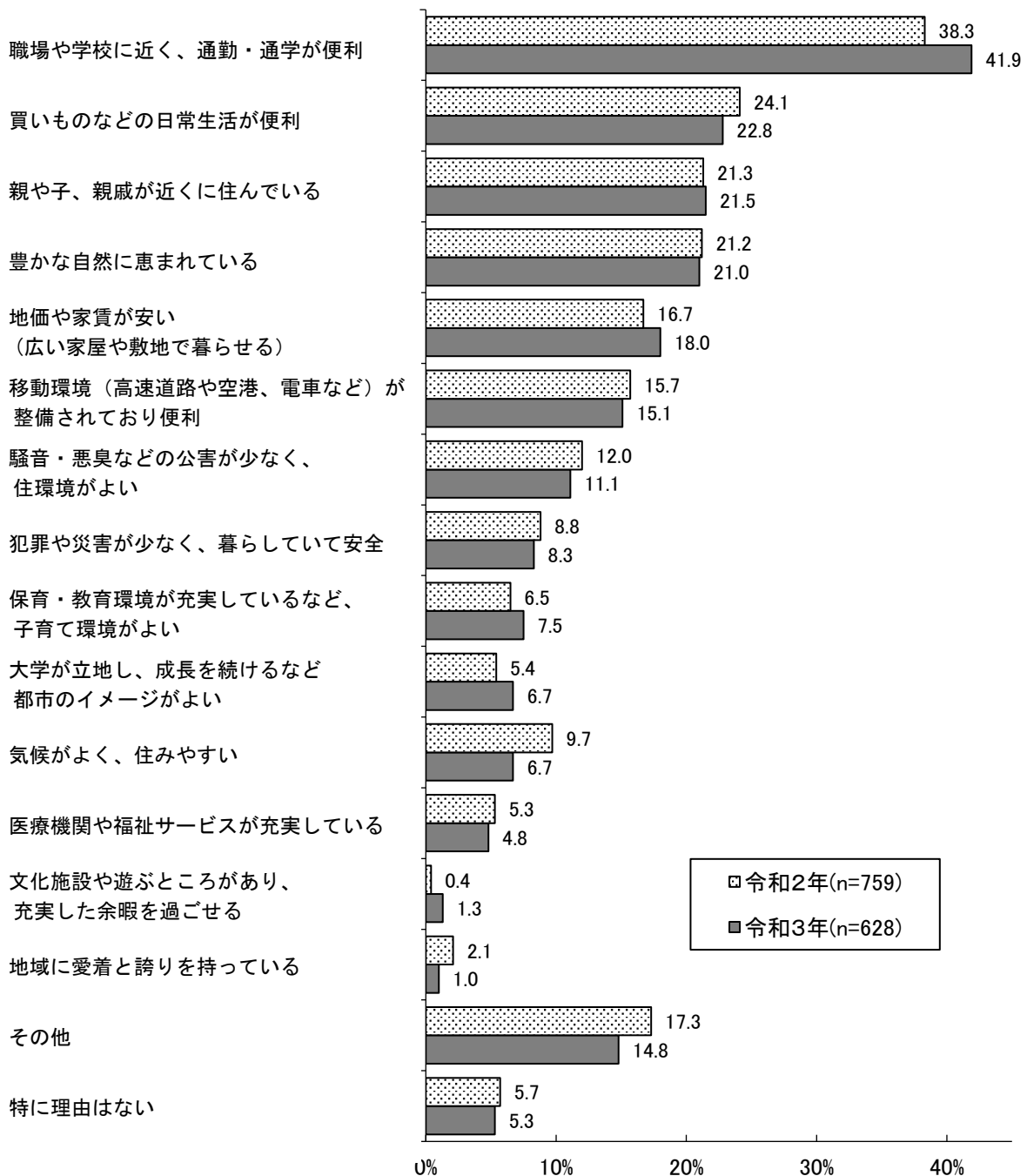
(6) 転居する際に重視したこと

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。  
 ※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。  
 問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。  
 (主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に転居して来られた方に対し、転居に際して重視したことをみると、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が41.9%と最も高く、次いで、「買い物などの日常生活が便利」が22.8%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が21.5%、「豊かな自然に恵まれている」が21.0%、「地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)」が18.0%となっている。

図4-1 転居する際に重視したこと<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」はそれぞれ『男性』が『女性』より5ポイント以上高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『40～49歳』が56.4%と14.5ポイント、「豊かな自然に恵まれている」は『70歳以上』が38.1%と17.1ポイント、「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」は『60～69歳』が28.0%と10.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表4-1 転居する際に重視したこと／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）	空港、電車などが整備されており便利	移動環境（高速道路や騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	子育て環境がよい	保育・教育環境が充実しているなど、	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	地域に愛着と誇りを持っている	その他	特に理由はない
全体(n=628)		41.9	22.8	21.5	21.0	18.0	15.1	11.1	8.3	7.5	6.7	6.7	4.8	1.3	1.0	14.8	5.3	
性別	男性(n=256)	<b>46.9</b>	22.3	22.7	21.1	20.3	18.8	16.0	7.8	7.0	7.0	6.3	3.5	1.2	0.8	12.1	4.3	
	女性(n=363)	<b>38.0</b>	23.4	20.4	20.9	16.3	12.1	8.0	8.5	7.4	6.3	6.9	5.8	1.4	1.1	17.1	6.1	
	その他(n=3)	66.7	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=2)	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=24)	<b>45.8</b>	20.8	20.8	12.5	20.8	12.5	-	-	-	-	-	4.2	4.2	-	16.7	12.5	
	30～39歳(n=81)	<b>50.6</b>	25.9	27.2	6.2	19.8	12.3	7.4	3.7	12.3	8.6	2.5	1.2	1.2	1.2	8.6	7.4	
	40～49歳(n=110)	<b>56.4</b>	29.1	17.3	10.0	7.3	18.2	4.5	7.3	<b>14.5</b>	4.5	4.5	4.5	2.7	0.9	14.5	3.6	
	50～59歳(n=125)	<b>46.4</b>	26.4	21.6	17.6	24.8	13.6	10.4	4.0	8.0	9.6	6.4	1.6	-	0.8	14.4	4.0	
	60～69歳(n=100)	<b>41.0</b>	16.0	17.0	21.0	<b>28.0</b>	<b>23.0</b>	<b>19.0</b>	12.0	5.0	7.0	5.0	5.0	2.0	1.0	15.0	5.0	
	70歳以上(n=181)	25.4	19.3	23.2	<b>38.1</b>	13.8	11.0	14.9	12.7	2.2	6.1	11.6	8.8	0.6	1.1	18.2	5.5	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が52.4%と10.5ポイント、「買い物などの日常生活が便利」は『自営業』が42.1%と19.3ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『安芸津地区』、「豊かな自然に恵まれている」、「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」は『黒瀬地区』、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『高屋地区』、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『志和地区』、『黒瀬地区』、「気候がよく、住みやすい」は『安芸津地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高い。

表4-2 転居する際に重視したこと／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	子育て環境がよい	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	地域に愛着と誇りを持っている	その他	特に理由はない
全体(n=628)		41.9	22.8	21.5	21.0	18.0	15.1	11.1	8.3	7.5	6.7	6.7	4.8	1.3	1.0	14.8	5.3	
職業別	自営業(n=19)	15.8	<b>42.1</b>	26.3	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	-	-	<b>26.3</b>	10.5	
	会社員等(n=229)	<b>52.4</b>	23.6	24.0	16.2	16.2	16.6	11.4	5.7	10.0	8.7	3.9	2.2	1.3	0.4	10.0	5.7	
	アルバイト・パート(n=99)	<b>43.4</b>	22.2	18.2	13.1	20.2	19.2	9.1	7.1	7.1	8.1	5.1	4.0	1.0	-	<b>20.2</b>	3.0	
	派遣社員・契約社員(n=19)	<b>42.1</b>	21.1	26.3	15.8	<b>31.6</b>	21.1	15.8	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	10.5
	学生・専門学校生(n=8)	62.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-
	家事専業(n=86)	<b>32.6</b>	25.6	16.3	<b>26.7</b>	16.3	11.6	9.3	12.8	7.0	7.0	7.0	3.5	3.5	1.2	<b>23.3</b>	2.3	
	無職(n=150)	<b>34.0</b>	17.3	22.0	<b>30.7</b>	18.7	12.0	14.7	10.7	4.0	4.0	11.3	<b>10.0</b>	0.7	1.3	14.7	6.0	
地域別	西条地区(n=254)	<b>46.1</b>	29.5	22.0	12.6	8.3	14.6	6.3	6.7	8.7	9.8	5.9	6.3	2.8	0.4	18.5	4.3	
	八本松地区(n=103)	<b>48.5</b>	27.2	22.3	21.4	23.3	13.6	8.7	9.7	7.8	4.9	2.9	5.8	-	1.0	9.7	4.9	
	志和地区(n=17)	11.8	-	23.5	<b>29.4</b>	17.6	5.9	<b>23.5</b>	11.8	-	-	5.9	-	-	-	<b>29.4</b>	11.8	
	高屋地区(n=129)	<b>42.6</b>	15.5	16.3	21.7	25.6	<b>26.4</b>	13.2	3.1	10.9	6.2	4.7	3.9	-	1.6	14.7	2.3	
	黒瀬地区(n=84)	34.5	19.0	14.3	<b>35.7</b>	<b>34.5</b>	7.1	<b>22.6</b>	<b>14.3</b>	1.2	2.4	10.7	1.2	1.2	-	7.1	11.9	
	福富地区(n=3)	-	33.3	-	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-	
	豊栄地区(n=5)	20.0	-	60.0	100.0	-	-	40.0	40.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	
	河内地区(n=7)	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	28.6
	安芸津地区(n=17)	17.6	5.9	<b>64.7</b>	17.6	5.9	-	11.8	11.8	-	-	-	<b>23.5</b>	5.9	-	5.9	17.6	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

【属性別の傾向】＜居住年数別＞

居住年数が『10年未満』は「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が48.1%と全体より6.2ポイント、「買い物などの日常生活が便利」が31.1%と全体より8.3ポイント、それぞれ高い。居住年数が『30年以上』では「豊かな自然に恵まれている」が29.9%と全体より8.9ポイント、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」が16.5%と5.4ポイント、それぞれ高くなっている。

表4-3 転居する際に重視したこと／居住年数別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	子育て環境がよい	保育・教育環境が充実しているなど、	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	地域に愛着と誇りを持っている	その他	特に理由はない
全体(n=628)		41.9	22.8	21.5	21.0	18.0	15.1	11.1	8.3	7.5	6.7	6.7	4.8	1.3	1.0	14.8	5.3	
居住年数	10年未満(n=135)	<b>48.1</b>	31.1	25.2	14.8	19.3	17.0	6.7	7.4	11.9	5.9	3.7	5.9	3.7	1.5	8.1	5.9	
	10年以上30年未満(n=261)	<b>45.2</b>	21.8	24.9	16.5	16.5	17.6	8.8	5.4	7.7	8.4	6.1	3.8	1.1	1.1	13.0	4.2	
	30年以上(n=231)	<b>34.2</b>	19.0	15.6	<b>29.9</b>	19.0	11.3	<b>16.5</b>	12.1	4.8	5.2	9.1	5.2	-	0.4	<b>20.8</b>	6.1	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いものを示す。

## 2. 市政運営について

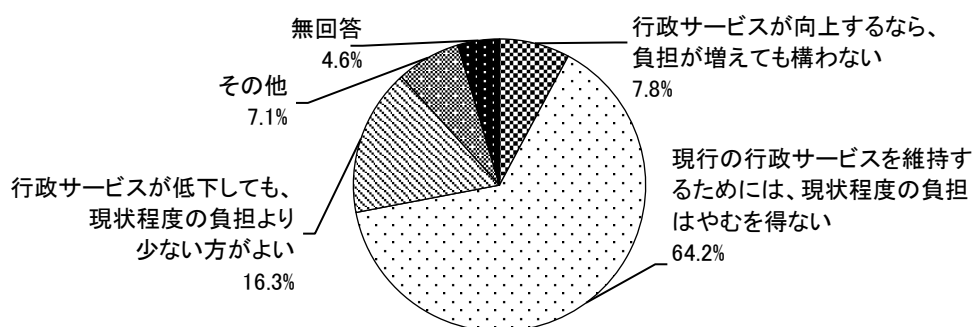
### (1) 今後の行政サービスのあり方

問5 国を始めとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つだけ選んで○をお付けください)

今後の行政サービスのあり方については、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」が64.2%と最も高く、6割以上を占める。次いで、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」が16.3%となっている。

「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は7.8%であった。

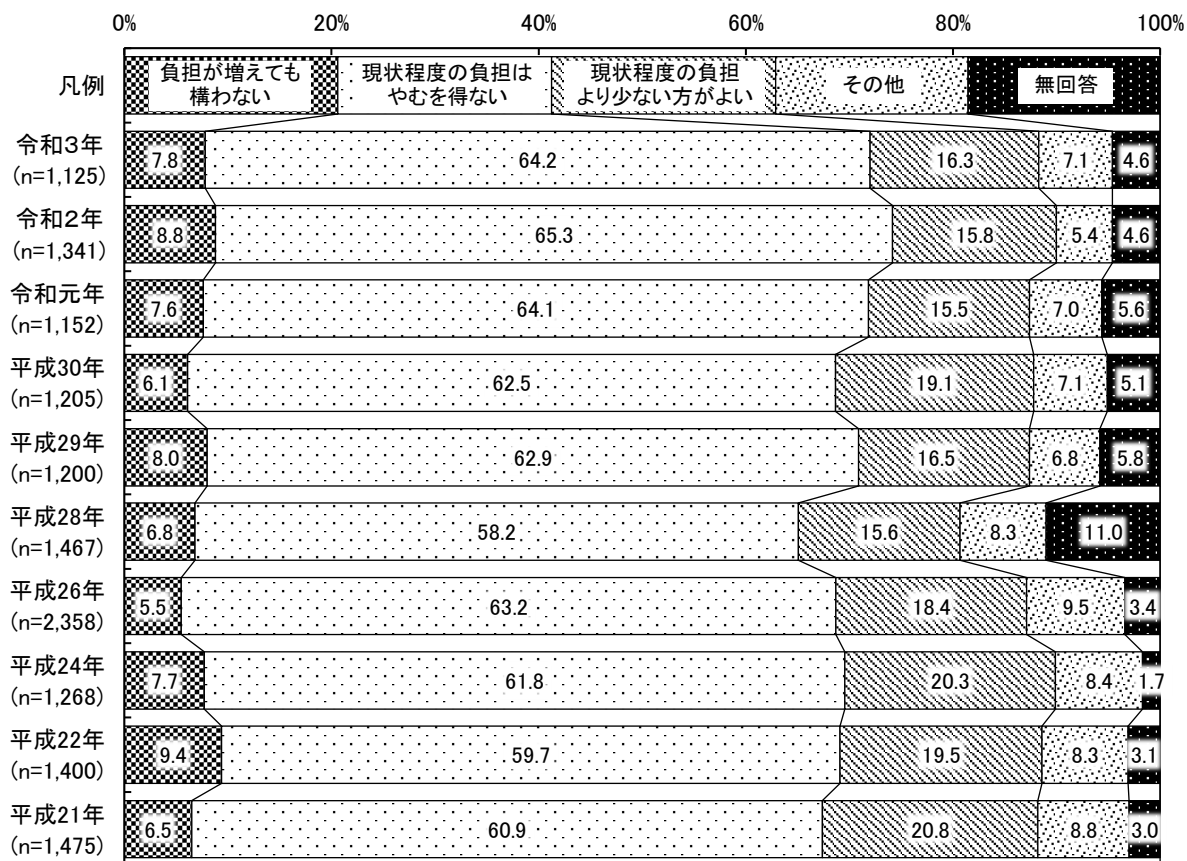
図5-1 今後の行政サービスのあり方 [n=1,125]



#### 【経年変化】

令和2年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図5-2 今後の行政サービスのあり方/経年変化

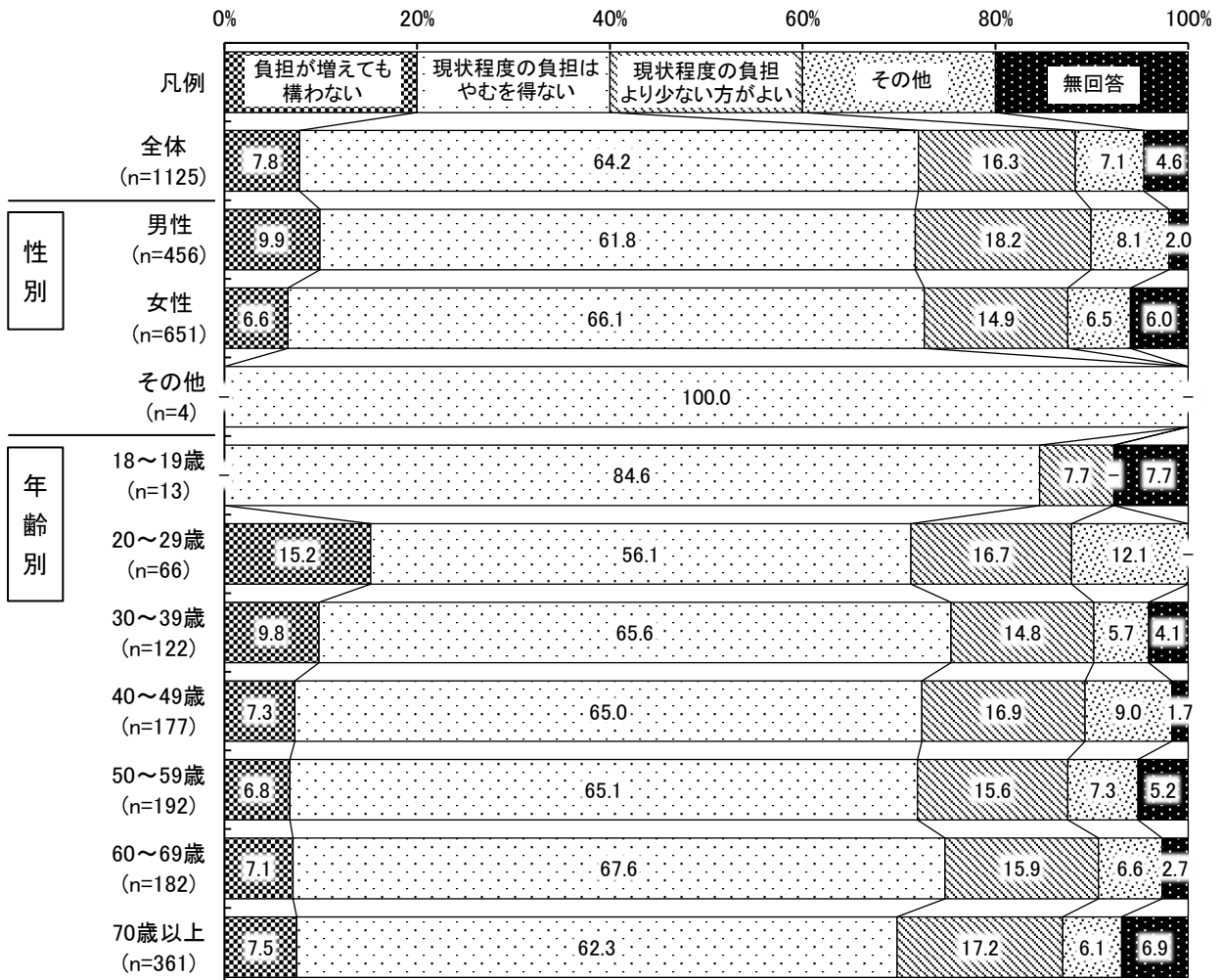


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『20～29歳』で15.2%と7.4ポイント全体より高く、一方、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『20～29歳』で56.1%と8.1ポイント全体より低くなっている。

図5-3 今後の行政サービスのあり方／性別・年齢別

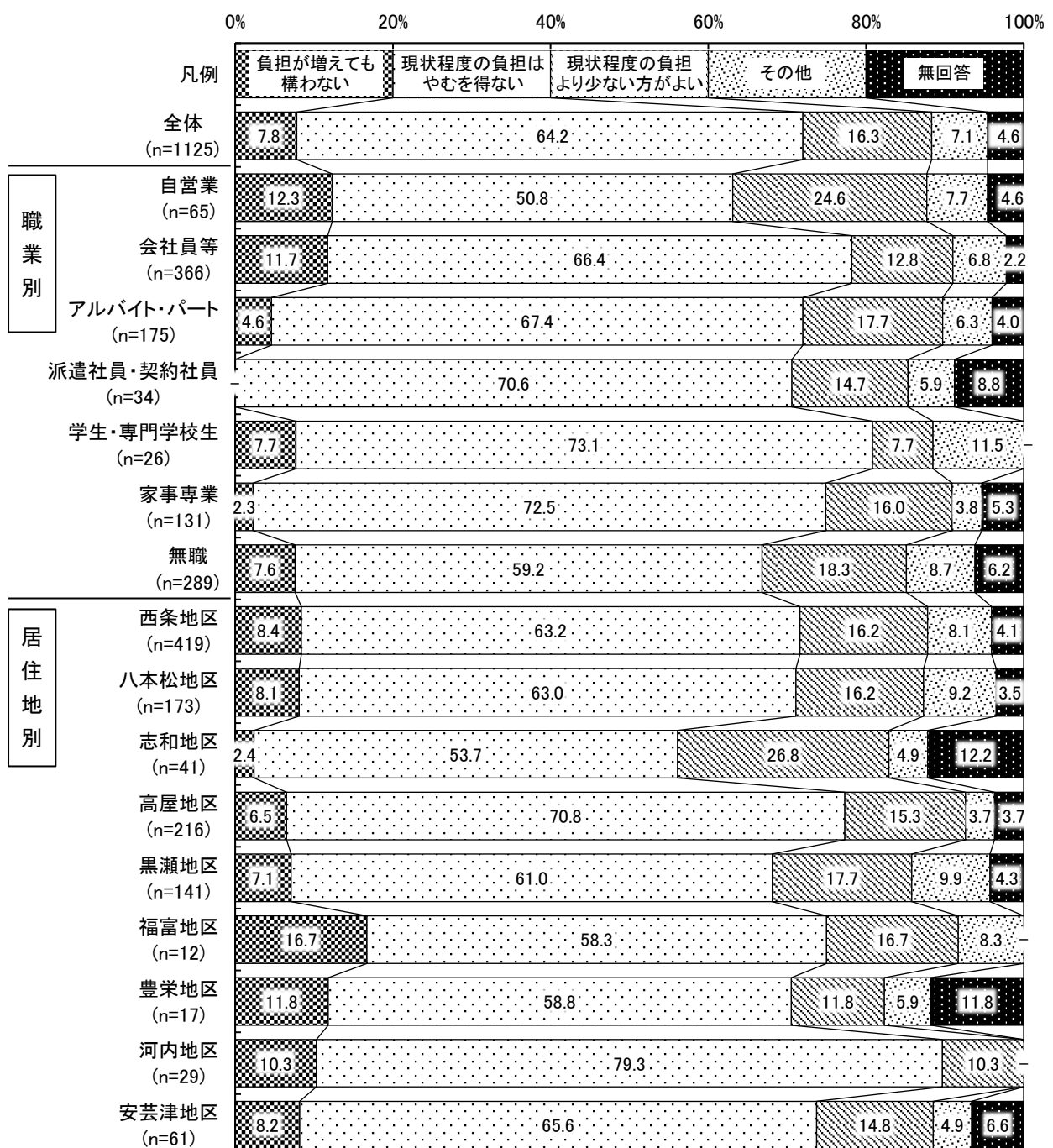


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『家事専業』が72.5%と8.3ポイント全体より高く、一方、『自営業』が50.8%と13.4ポイント全体より低くなっている。「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『自営業』が24.6%と8.3ポイント全体より高い。

居住地別では、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『福富地区』が16.7%と8.9ポイント全体より高い。「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『河内地区』が79.3%と15.1ポイント、『高屋地区』が70.8%と6.6ポイント、それぞれ全体より高く、一方、『志和地区』が53.7%と10.5ポイント全体より低い。「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『志和地区』が26.8%と10.5ポイント全体より高くなっている。

図5-4 今後の行政サービスのあり方／職業別・居住地別





### 3. 市が実施している施策の満足度と重要度について

#### (1) 施策の満足度と重要度

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。  
あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。  
また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。  
(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

#### ① 満足度と重要度の集計

##### 【単純集計結果】

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

##### 1. 満足度

満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{満足度} = (\text{「満足」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

##### 2. 重要度

重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{重要度} = (\text{「重要」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「あまり重要ではない」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「重要ではない」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

#### ② ニーズ度の算出

重要度と満足度との加重平均値の差を「ニーズ度」として算出した。

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} - \text{満足度}$$

#### ③ 満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、50の施策を散布図上に示したものが相関図である。

#### ④ 全体の集計結果

施策ごとの満足度と重要度の回答結果およびその点数化した際の得点は下記の通りである。

表6-1 満足度集計結果

単位：％、点

施策名	サンプル数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	満足+やや満足	満足度得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	1,024	3.1	16.5	68.4	9.1	2.9	19.6	0.078
1-2 地元企業の創出・強化	1,018	2.6	17.3	60.1	16.1	3.9	19.8	-0.016
1-3 商業・サービス業の集積・強化	1,020	2.8	19.0	57.6	16.7	3.8	21.9	0.004
1-4 産業集積の推進	1,008	2.0	14.9	64.4	14.9	3.9	16.9	-0.038
1-5 農業の強化	1,028	1.8	8.0	55.8	23.7	10.7	9.7	-0.337
1-6 森林の保全・整備	1,025	1.5	9.2	57.8	21.2	10.4	10.6	-0.300
1-7 漁業・養殖業の推進	1,000	0.9	6.2	77.3	12.0	3.6	7.1	-0.112
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	1,027	3.1	17.6	49.8	23.1	6.4	20.7	-0.121
1-9 労働・雇用環境の充実	1,021	2.2	11.5	52.4	24.3	9.7	13.6	-0.279
2-1 住みよい都市の形成	1,027	3.9	23.5	42.6	21.9	8.2	27.4	-0.070
2-2 緑あふれる環境整備	1,033	4.7	34.0	38.1	17.8	5.3	38.7	0.150
2-3 良好な住宅ストックの形成	1,021	2.8	15.7	60.6	15.7	5.2	18.5	-0.047
2-4 公共交通網の充実	1,042	2.7	16.7	25.4	32.4	22.7	19.4	-0.559
2-5 道路網の整備	1,051	3.3	21.5	27.5	31.3	16.4	24.8	-0.359
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	1,045	5.5	29.8	41.4	17.5	5.8	35.2	0.115
2-7 良質な水の供給・整備	1,038	10.4	30.1	40.8	12.9	5.8	40.5	0.264
2-8 汚水処理の推進	1,042	7.7	23.0	44.0	14.6	10.7	30.7	0.023
2-9 環境汚染の防止	1,029	5.2	17.1	59.3	13.9	4.5	22.4	0.048
2-10 自然環境・動植物の保全	1,030	4.9	19.0	55.5	15.3	5.2	23.9	0.029
2-11 地球温暖化防止の推進	1,032	2.8	12.0	62.4	16.6	6.2	14.8	-0.113
2-12 市民主体の地域社会の形成	1,028	2.7	16.8	64.4	12.9	3.1	19.6	0.031
2-13 市民参画の推進	1,020	2.7	10.7	73.3	10.5	2.7	13.4	0.002
2-14 多文化共生の推進	1,022	2.6	12.8	73.9	8.5	2.2	15.5	0.053
2-15 国際貢献・留学生支援	1,023	2.5	14.4	75.4	6.0	1.8	16.9	0.100
3-1 人権・平和行政の推進	1,024	3.5	11.8	74.9	8.3	1.5	15.3	0.076
3-2 保育サービスの充実	1,020	3.2	18.9	59.3	14.0	4.5	22.2	0.024
3-3 教育環境の整備・充実	1,026	4.5	20.5	55.0	15.6	4.5	25.0	0.049
3-4 学校教育の充実	1,026	4.5	17.4	58.3	15.4	4.4	21.9	0.022
3-5 青少年健全育成の推進	1,015	2.7	12.7	72.6	9.9	2.2	15.4	0.038
3-6 生涯学習活動の充実	1,028	3.5	17.0	66.8	10.4	2.2	20.5	0.091
3-7 芸術・文化の活性化	1,026	4.5	20.2	63.5	8.6	3.3	24.7	0.139
3-8 歴史・文化財の保護と活用	1,025	3.8	15.9	71.1	7.2	2.0	19.7	0.124
3-9 スポーツ環境の形成	1,031	4.1	17.2	62.9	12.2	3.6	21.2	0.059
4-1 大学や学生との交流・連携推進	1,021	3.3	16.1	72.2	7.1	1.3	19.4	0.130
4-2 移住・定住の促進	1,015	2.5	10.8	73.4	11.1	2.2	13.3	0.003
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	1,010	2.4	11.3	68.2	14.2	4.0	13.7	-0.060
4-4 地域の景観の保全・形成	1,012	2.9	17.3	64.7	11.5	3.7	20.2	0.042
4-5 広域・高速交通体系の強化	1,024	5.4	23.2	41.7	20.6	9.1	28.6	-0.048
4-6 情報通信技術の整備・活用	1,021	3.7	13.4	57.9	17.7	7.2	17.1	-0.114
5-1 防災の強化・推進	1,031	3.7	17.3	50.7	22.0	6.3	21.0	-0.100
5-2 市民の安全・安心社会の形成	1,026	3.2	17.7	60.9	14.3	3.8	21.0	0.022
5-3 消防・救急・救助体制の強化	1,044	6.5	25.0	53.0	12.0	3.5	31.5	0.190
5-4 地域医療の構築	1,038	5.0	25.5	43.8	18.3	7.3	30.5	0.026
5-5 健康づくりの推進	1,046	4.5	19.2	60.1	12.9	3.3	23.7	0.088
5-6 高齢者支援の推進	1,048	3.0	14.8	59.9	16.9	5.4	17.7	-0.071
5-7 障害者支援の推進	1,034	3.0	11.6	67.2	13.2	4.9	14.6	-0.055
5-8 地域福祉の形成	1,026	2.6	10.3	71.6	10.9	4.5	13.0	-0.043
5-9 子育て支援の充実	1,011	3.5	13.0	62.5	15.3	5.7	16.4	-0.069
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	1,011	2.5	13.1	64.7	14.7	5.0	15.5	-0.068
6-2 行政経営の向上	1,007	2.2	8.2	69.0	14.6	6.0	10.4	-0.139

※サンプル数は、総サンプル数の1,125件から無回答を除いた値。

51,300	3.6	16.8	59.0	15.2	5.5	20.3	-0.022
--------	-----	------	------	------	-----	------	--------

表6-2 重要度集計結果

単位：%、点

施策名	サンプル数	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要ではない	重要 ではない	重要+ やや重要	重要度 得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	986	26.7	30.1	38.6	3.2	1.3	56.8	0.776
1-2 地元企業の創出・強化	986	34.2	34.5	28.3	2.0	1.0	68.7	0.988
1-3 商業・サービス業の集積・強化	984	26.6	37.1	32.7	2.6	0.9	63.7	0.859
1-4 産業集積の推進	975	25.0	34.2	36.8	2.5	1.5	59.2	0.787
1-5 農業の強化	1,001	38.3	32.2	27.2	1.4	1.0	70.4	1.053
1-6 森林の保全・整備	997	35.1	33.1	29.5	1.3	1.0	68.2	1.000
1-7 漁業・養殖業の推進	973	20.7	29.6	43.6	4.1	2.1	50.3	0.627
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	992	28.9	36.8	28.6	4.1	1.5	65.7	0.875
1-9 労働・雇用環境の充実	993	51.2	27.3	20.4	0.5	0.6	78.4	1.279
2-1 住みよい都市の形成	985	40.4	38.5	19.3	1.4	0.4	78.9	1.171
2-2 緑あふれる環境整備	993	32.4	41.4	23.2	2.6	0.4	73.8	1.028
2-3 良好な住宅ストックの形成	985	21.1	32.2	40.6	4.8	1.3	53.3	0.670
2-4 公共交通網の充実	1,006	52.4	33.7	11.6	1.4	0.9	86.1	1.353
2-5 道路網の整備	1,007	49.8	36.4	12.0	1.2	0.6	86.2	1.336
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	1,003	43.9	36.7	17.7	1.2	0.5	80.6	1.222
2-7 良質な水の供給・整備	1,003	56.0	27.6	15.3	0.7	0.4	83.6	1.382
2-8 汚水処理の推進	1,010	47.7	30.4	20.9	0.6	0.4	78.1	1.245
2-9 環境汚染の防止	996	45.7	31.3	22.3	0.4	0.3	77.0	1.217
2-10 自然環境・動植物の保全	1,000	38.3	37.3	23.2	0.8	0.4	75.6	1.123
2-11 地球温暖化防止の推進	1,005	42.8	31.4	23.6	1.2	1.0	74.2	1.138
2-12 市民主体の地域社会の形成	1,002	22.1	35.3	37.6	3.8	1.2	57.4	0.733
2-13 市民参画の推進	990	17.0	29.0	49.2	3.6	1.2	46.0	0.569
2-14 多文化共生の推進	993	13.8	28.5	51.7	4.6	1.4	42.3	0.486
2-15 国際貢献・留学生支援	996	15.7	27.3	50.0	5.4	1.6	43.0	0.500
3-1 人権・平和行政の推進	997	25.8	30.7	39.6	2.6	1.3	56.5	0.770
3-2 保育サービスの充実	1,001	41.0	30.4	27.9	0.2	0.6	71.3	1.109
3-3 教育環境の整備・充実	1,006	44.3	27.8	26.7	0.5	0.6	72.2	1.148
3-4 学校教育の充実	1,006	47.5	25.6	26.2	0.1	0.5	73.2	1.196
3-5 青少年健全育成の推進	997	34.1	29.3	34.8	1.0	0.8	63.4	0.949
3-6 生涯学習活動の充実	1,002	23.0	33.0	39.9	3.1	1.0	56.0	0.739
3-7 芸術・文化の活性化	995	18.4	31.1	44.8	4.5	1.2	49.4	0.609
3-8 歴史・文化財の保護と活用	1,001	16.7	32.7	45.7	3.8	1.2	49.4	0.598
3-9 スポーツ環境の形成	1,001	20.4	35.2	40.8	2.8	0.9	55.5	0.713
4-1 大学や学生との交流・連携推進	992	15.2	32.8	45.6	4.6	1.8	48.0	0.549
4-2 移住・定住の促進	991	18.1	29.9	45.6	4.8	1.6	47.9	0.579
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	986	20.9	31.8	43.8	2.3	1.1	52.7	0.691
4-4 地域の景観の保全・形成	987	19.5	34.5	42.8	1.9	1.3	54.0	0.689
4-5 広域・高速交通体系の強化	1,000	36.1	36.8	24.3	2.2	0.6	72.9	1.056
4-6 情報通信技術の整備・活用	994	27.1	31.6	35.8	3.5	2.0	58.7	0.782
5-1 防災の強化・推進	1,002	57.4	26.9	14.6	0.6	0.5	84.3	1.401
5-2 市民の安全・安心社会の形成	996	44.6	31.9	22.3	0.6	0.6	76.5	1.193
5-3 消防・救急・救助体制の強化	1,012	55.3	27.2	16.9	0.2	0.4	82.5	1.369
5-4 地域医療の構築	1,011	60.4	26.3	12.6	0.3	0.4	86.7	1.461
5-5 健康づくりの推進	1,010	41.0	33.4	24.1	1.1	0.5	74.4	1.133
5-6 高齢者支援の推進	1,019	45.4	32.8	20.0	1.3	0.5	78.2	1.214
5-7 障害者支援の推進	1,012	42.7	31.2	24.4	1.2	0.5	73.9	1.144
5-8 地域福祉の形成	1,000	31.4	31.8	34.1	1.6	1.1	63.2	0.908
5-9 子育て支援の充実	993	46.5	28.3	23.7	0.4	1.1	74.8	1.187
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	987	23.7	33.7	38.7	2.5	1.3	57.4	0.760
6-2 行政経営の向上	983	30.2	30.6	37.0	1.1	1.0	60.8	0.879

※サンプル数は、総サンプル数の1,125件から無回答を除いた値。

49,842	34.3	32.0	30.7	2.1	0.9	66.3	0.966
--------	------	------	------	-----	-----	------	-------

## ⑤ 満足度と重要度の集計

### 【満足度】

満足度は、「2-7 良質な水の供給・整備」0.264、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」0.190、「2-2 緑あふれる環境整備」0.150、「3-7 芸術・文化の活性化」0.139、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.130、などが上位にあがっている。

一方、「2-4 公共交通網の充実」-0.559、「2-5 道路網の整備」-0.359、「1-5 農業の強化」-0.337、「1-6 森林の保全・整備」-0.300、「1-9 労働・雇用環境の充実」-0.279、などの満足度が低くなっている。

### 【重要度】

重要度は、「5-4 地域医療の構築」1.461、「5-1 防災の強化・推進」1.401、「2-7 良質な水の供給・整備」1.382、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」1.369、「2-4 公共交通網の充実」1.353、などが上位にあがっている。

一方、「2-14 多文化共生の推進」0.486、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.500、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.549、「2-13 市民参画の推進」0.569、「4-2 移住・定住の促進」0.579、などの重要度が低くなっている。

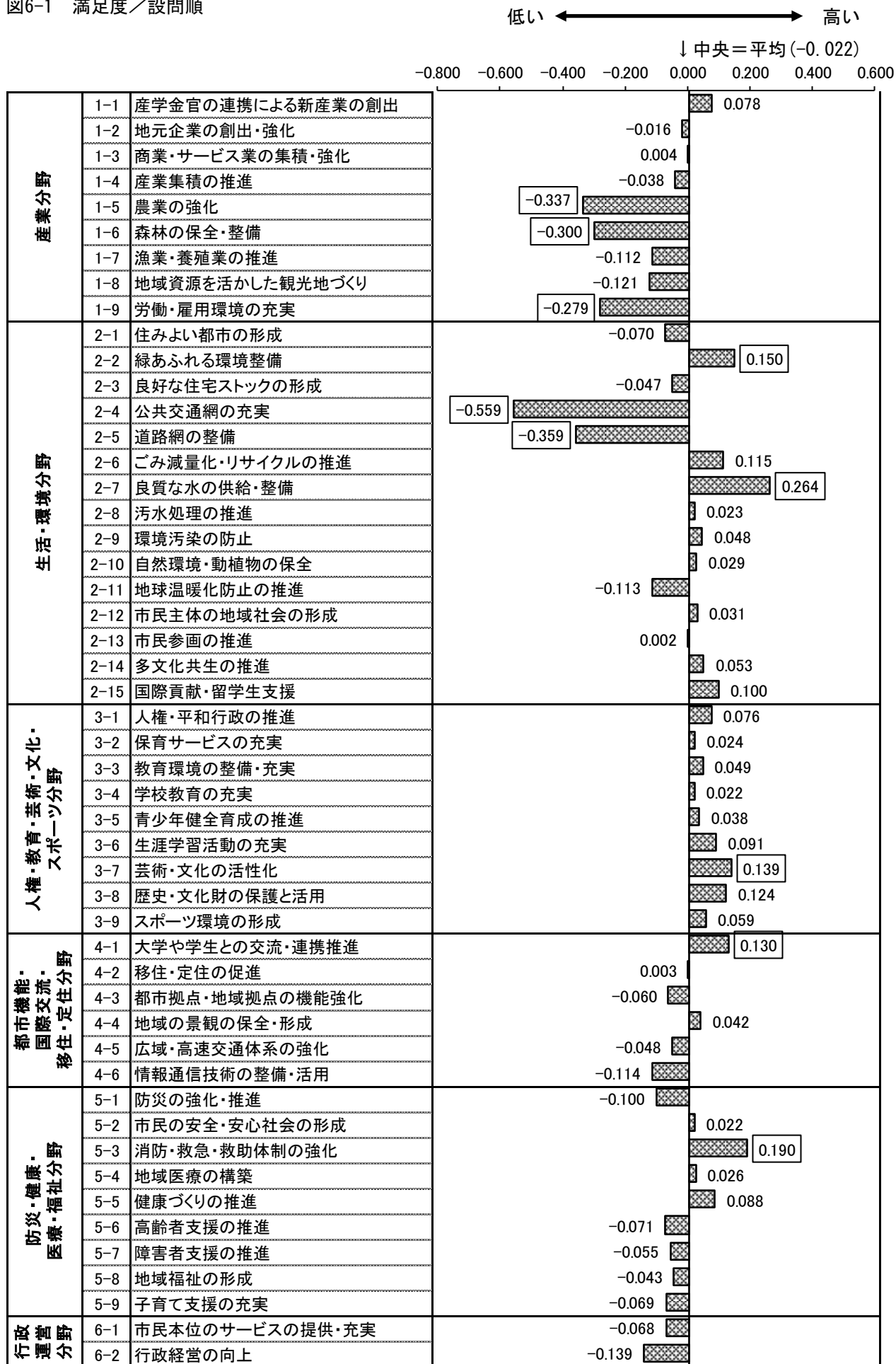
## ⑥ ニーズ度による分析

### 【ニーズ度】

ニーズ度は、「2-4 公共交通網の充実」1.911、「2-5 道路網の整備」1.694、「1-9 労働・雇用環境の充実」1.558、「5-1 防災の強化・推進」1.501、「5-4 地域医療の構築」1.435などが上位にあがっている。

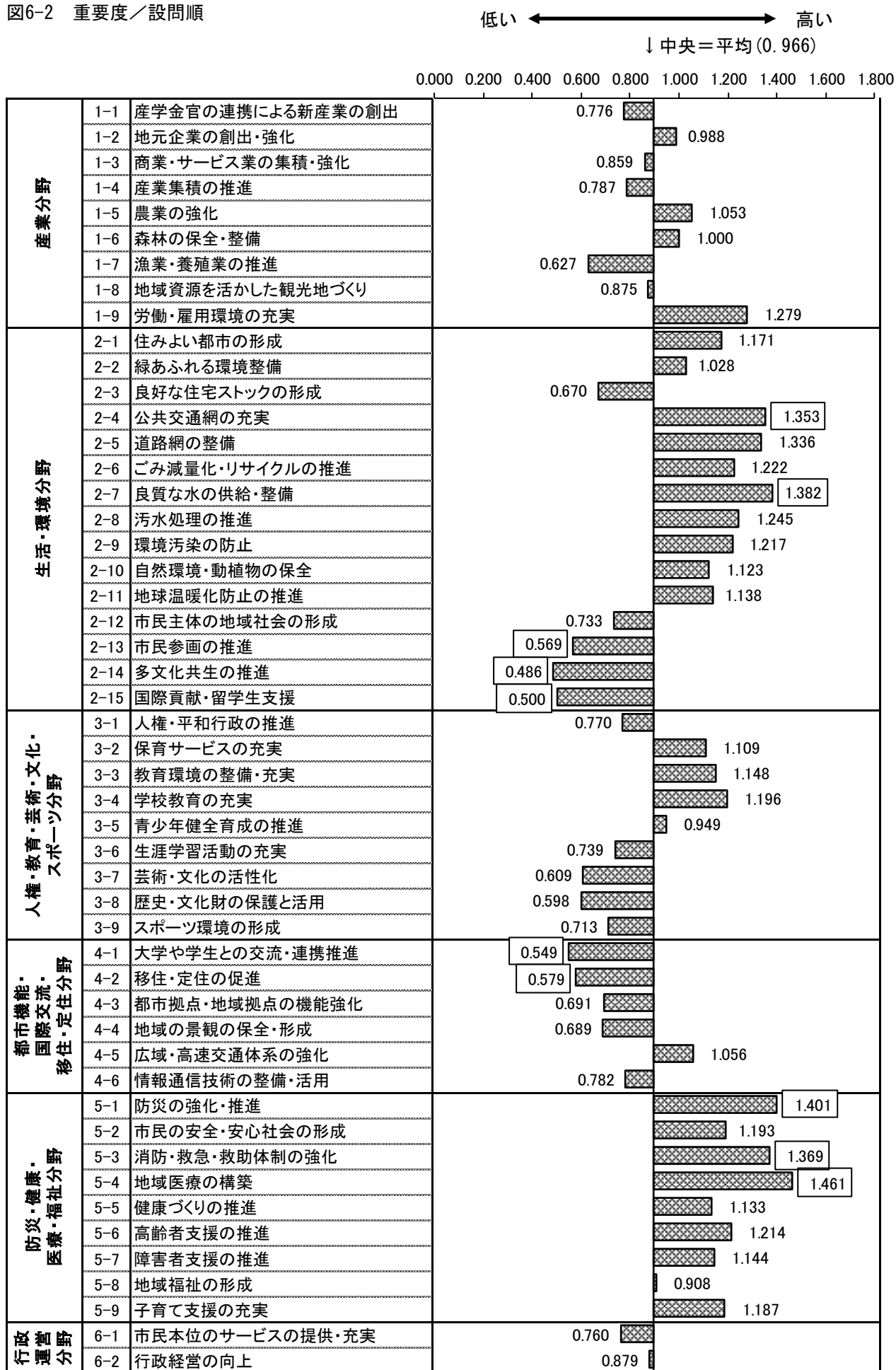
一方、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.400、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.419、「2-14 多文化共生の推進」0.434、「3-7 芸術・文化の活性化」0.470、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」0.474、などのニーズ度が低くなっている。

図6-1 満足度／設問順



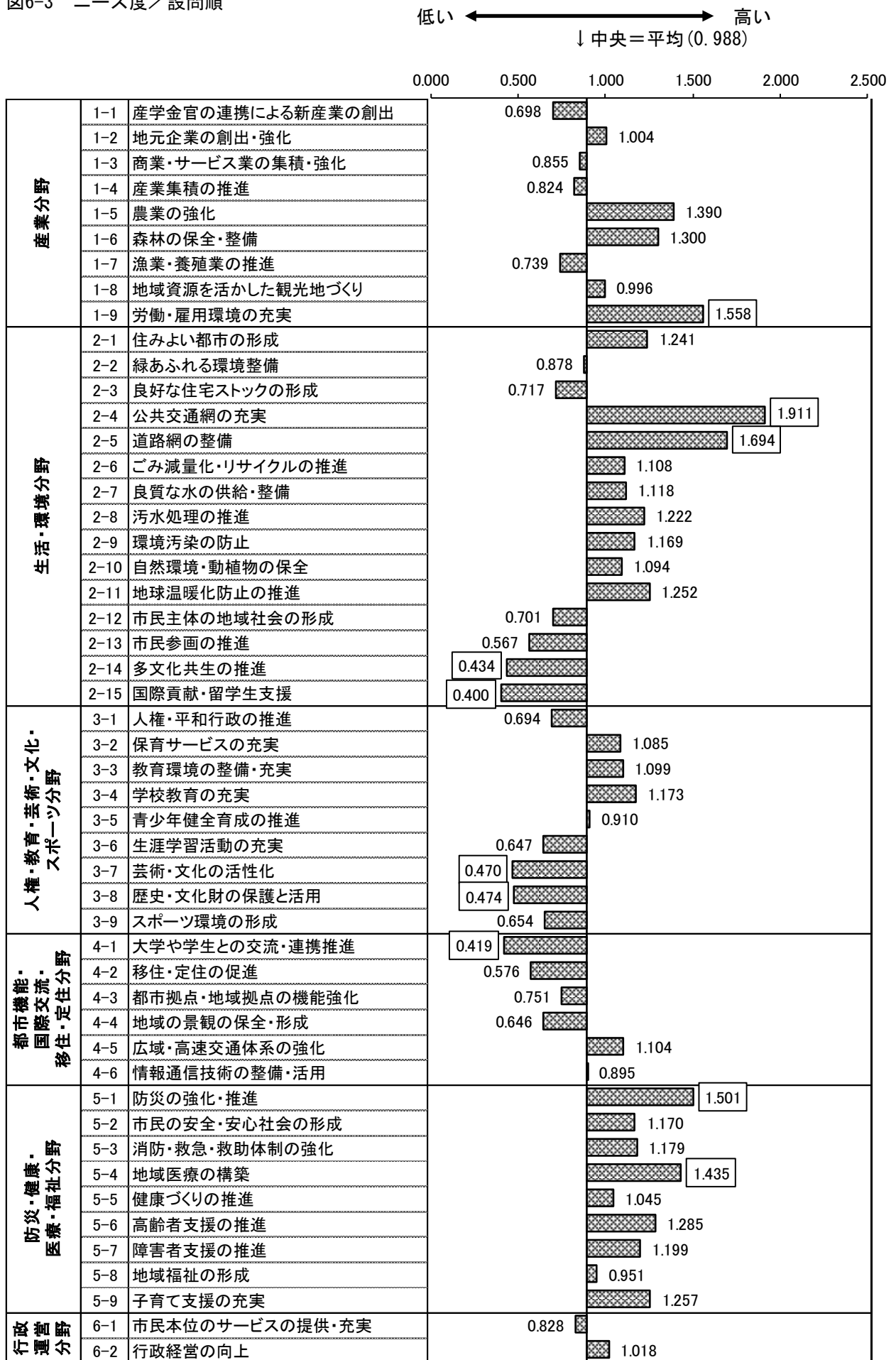
※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

図6-2 重要度／設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

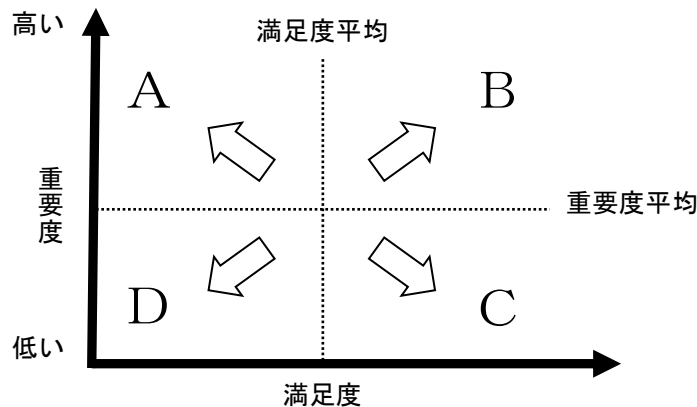
図6-3 ニーズ度/設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

## ⑦ 満足度と重要度の相関図による分析

### 【相関図による分析及び相関図の全体的な傾向】



縦軸に重要度、横軸に満足度を設定した相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、右下(C)、左下(D)の4方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

#### A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

- 「1-5 農業の強化」、「1-6 森林の保全・整備」、「1-9 労働・雇用環境の充実」、「2-1 住みよい都市の形成」
- 「2-4 公共交通網の充実」、「2-5 道路網の整備」、「2-11 地球温暖化防止の推進」、「4-5 広域・高速交通体系の強化」
- 「5-1 防災の強化・推進」、「5-6 高齢者支援の推進」、「5-7 障害者支援の推進」、「5-9 子育て支援の充実」

#### B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

- 「1-2 地元企業の創出・強化」、「2-2 緑あふれる環境整備」、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進」、
- 「2-7 良質な水の供給・整備」、「2-8 汚水処理の推進」、「2-9 環境汚染の防止」、「2-10 自然環境・動植物の保全」
- 「3-2 保育サービスの充実」、「3-3 教育環境の整備・充実」、「3-4 学校教育の充実」、
- 「5-2 市民の安全・安心社会の形成」、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」、「5-4 地域医療の構築」、
- 「5-5 健康づくりの推進」

#### C. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

- 「1-1 産学官の連携による新産業の創出」、「1-3 商業・サービス業の集積・強化」、
- 「2-12 市民主体の地域社会の形成」、「2-13 市民参画の推進」、「2-14 多文化共生の推進」、
- 「2-15 国際貢献・留学生支援」、「3-1 人権・平和行政の推進」、「3-5 青少年健全育成の推進」
- 「3-6 生涯学習活動の充実」、「3-7 芸術・文化の活性化」、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」
- 「3-9 スポーツ環境の形成」、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」、「4-2 移住・定住の促進」、
- 「4-4 地域の景観の保全・形成」

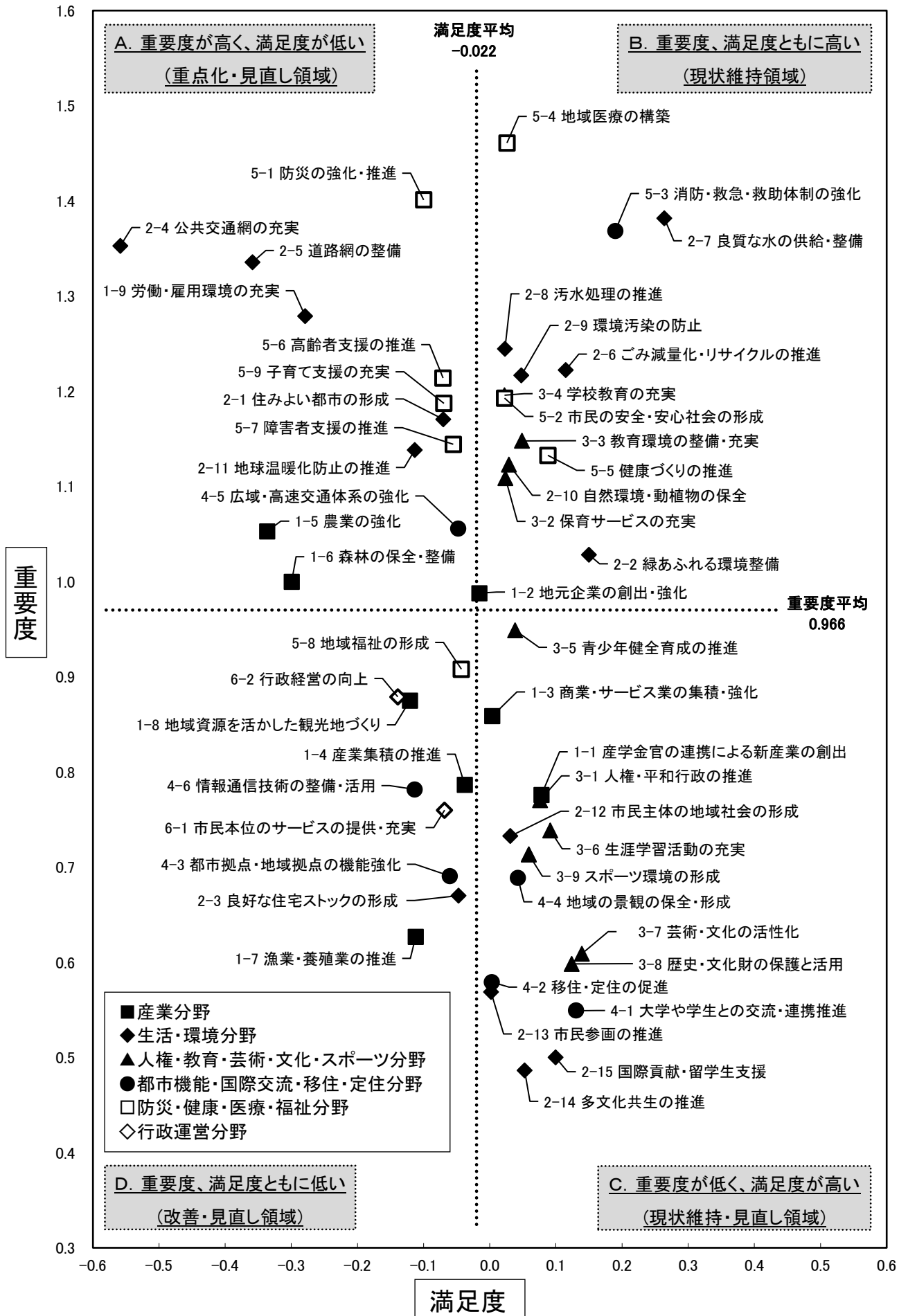
#### D. 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再認識するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

- 「1-4 産業集積の推進」、「1-7 漁業・養殖業の推進」、「1-8 地域資源を活かした観光地づくり」
- 「2-3 良好な住宅ストックの形成」、「4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化」、「4-6 情報通信技術の整備・活用」
- 「5-8 地域福祉の形成」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実」、「6-2 行政経営の向上」



図6-4 施策に対する満足度と重要度の相関図



## (2) 経年変化

### ① 満足度・重要度・ニーズ度の経年変化

#### 【満足度】

満足度は、50項目中14項目(全体の28.0%)が前回調査(令和2年度)より増加(改善)している。

特に「1-3 商業・サービス業の集積・強化 (+0.059)」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実 (+0.039)」、「4-1 大学や学生との交流・連携推進 (+0.028)」、「2-4 公共交通網の充実 (+0.023)」、「3-5 青少年健全育成の推進 (+0.019)」などの満足度が令和2年度の値からの増加(改善)している。

一方、「2-1 住みよい都市の形成 (-0.093)」、「2-3 良好な住宅ストックの形成 (-0.087)」、「2-9 環境汚染の防止 (-0.071)」、「2-12 市民主体の地域社会の形成 (-0.065)」、「2-5 道路網の整備 (-0.064)」などの満足度は低下している。このうち、+から-に転じた項目は、「2-1 住みよい都市の形成」と「2-3 良好な住宅ストックの形成」である。

#### 【重要度】

重要度は、50項目中50項目(全体の100%)が前回調査(令和2年度)より増加している。

特に「1-1 産学金官の連携による新産業の創出 (+0.170)」、「2-11 地球温暖化防止の推進 (+0.143)」、「2-9 環境汚染の防止 (+0.142)」、「1-6 森林の保全・整備 (+0.133)」、「2-10 自然環境・動植物の保全 (+0.132)」などの重要度が令和2年度の値から増加している。

一方、「1-3 商業・サービス業の集積・強化 (+0.004)」、「4-2 移住・定住の促進 (+0.005)」、「2-4 公共交通網の充実 (+0.007)」、「3-8 歴史・文化財の保護と活用 (+0.007)」、「3-3 教育環境の整備・充実 (+0.019)」などの増加幅が小さい。

#### 【ニーズ度】

ニーズ度は、50項目中46項目(全体の92.0%)が前回調査(令和2年度)よりも増加している。

ニーズ度は重要度と満足度の加重平均値の差であり、ニーズ度の増加は、重要度の増加に対して相対的に満足度が低下していることを意味している。ニーズ度の増加が高い項目の上位は、「2-9 環境汚染の防止 (+0.213)」、「2-11 地球温暖化防止の推進 (+0.200)」、「2-1 住みよい都市の形成 (+0.187)」、「1-7 漁業・養殖業の推進 (+0.186)」、「1-6 森林の保全・整備 (+0.186)」などであり、これらの項目は特に前回調査時点と比較して重点化・見直しの優先度が高くなっている項目と言える。

一方、「1-3 商業・サービス業の集積・強化 (-0.056)」、「2-4 公共交通網の充実 (-0.016)」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実 (-0.006)」、「4-2 移住・定住の促進 (-0.002)」のニーズ度は前回調査より低下しており、また「3-8 歴史・文化財の保護と活用 (+0.007)」についてはニーズ度の増加が最も小さくなっている。

表6-4 令和3年度と令和2年度調査の比較表

項 目			満足度			重要度			ニーズ度		
			令和2年度	令和3年度	増減上位	令和2年度	令和3年度	増減上位	令和2年度	令和3年度	増減上位
産業分野	1-1	産学金官の連携による新産業の創出	0.066	0.078		0.606	0.776	↑1	0.540	0.698	
	1-2	地元企業の創出・強化	-0.032	-0.016		0.924	0.988		0.956	1.004	
	1-3	商業・サービス業の集積・強化	-0.055	0.004	↑1	0.855	0.859	↓1	0.911	0.855	↓1
	1-4	産業集積の推進	-0.043	-0.038		0.699	0.787		0.741	0.824	
	1-5	農業の強化	-0.310	-0.337		0.924	1.053		1.235	1.390	
	1-6	森林の保全・整備	-0.247	-0.300		0.867	1.000	↑4	1.113	1.300	↑5
	1-7	漁業・養殖業の推進	-0.056	-0.112		0.496	0.627		0.552	0.739	↑4
	1-8	地域資源を活かした観光地づくり	-0.089	-0.121		0.840	0.875		0.929	0.996	
	1-9	労働・雇用環境の充実	-0.274	-0.279		1.160	1.279		1.434	1.558	
生活・環境分野	2-1	住みよい都市の形成	0.023	-0.070	↓1	1.077	1.171		1.053	1.241	↑3
	2-2	緑あふれる環境整備	0.192	0.150		0.940	1.028		0.749	0.878	
	2-3	良好な住宅ストックの形成	0.040	-0.047	↓2	0.595	0.670		0.554	0.717	
	2-4	公共交通網の充実	-0.582	-0.559	↑4	1.346	1.353	↓3	1.928	1.911	↓2
	2-5	道路網の整備	-0.295	-0.359	↓5	1.280	1.336		1.574	1.694	
	2-6	ごみ減量化・リサイクルの推進	0.145	0.115		1.122	1.222		0.978	1.108	
	2-7	良質な水の供給・整備	0.299	0.264		1.276	1.382		0.977	1.118	
	2-8	汚水処理の推進	0.077	0.023		1.172	1.245		1.095	1.222	
	2-9	環境汚染の防止	0.119	0.048	↓3	1.075	1.217	↑3	0.956	1.169	↑1
	2-10	自然環境・動植物の保全	0.064	0.029		0.991	1.123	↑5	0.927	1.094	
	2-11	地球温暖化防止の推進	-0.057	-0.113		0.995	1.138	↑2	1.052	1.252	↑2
	2-12	市民主体の地域社会の形成	0.096	0.031	↓4	0.655	0.733		0.559	0.701	
	2-13	市民参画の推進	0.015	0.002		0.468	0.569		0.453	0.567	
	2-14	多文化共生の推進	0.093	0.053		0.415	0.486		0.322	0.434	
2-15	国際貢献・留学生支援	0.098	0.100		0.400	0.500		0.302	0.400		
人権・教育・芸術・文化・スポーツ分野	3-1	人権・平和行政の推進	0.079	0.076		0.688	0.770		0.609	0.694	
	3-2	保育サービスの充実	0.046	0.024		1.051	1.109		1.005	1.085	
	3-3	教育環境の整備・充実	0.054	0.049		1.129	1.148	↓5	1.075	1.099	
	3-4	学校教育の充実	0.024	0.022		1.176	1.196		1.151	1.173	
	3-5	青少年健全育成の推進	0.019	0.038	↑5	0.921	0.949		0.902	0.910	
	3-6	生涯学習活動の充実	0.129	0.091		0.694	0.739		0.565	0.647	
	3-7	芸術・文化の活性化	0.158	0.139		0.565	0.609		0.407	0.470	
	3-8	歴史・文化財の保護と活用	0.123	0.124		0.591	0.598	↓4	0.468	0.474	↓5
	3-9	スポーツ環境の形成	0.109	0.059		0.646	0.713		0.537	0.654	
都市機能・国際交流・移住・定住分野	4-1	大学や学生との交流・連携推進	0.102	0.130	↑3	0.488	0.549		0.386	0.419	
	4-2	移住・定住の促進	-0.004	0.003		0.574	0.579	↓2	0.578	0.576	↓4
	4-3	都市拠点・地域拠点の機能強化	-0.041	-0.060		0.606	0.691		0.647	0.751	
	4-4	地域の景観の保全・形成	0.064	0.042		0.635	0.689		0.571	0.646	
	4-5	広域・高速交通体系の強化	-0.023	-0.048		0.965	1.056		0.989	1.104	
	4-6	情報通信技術の整備・活用	-0.128	-0.114		0.718	0.782		0.846	0.895	
防災・健康・医療・福祉分野	5-1	防災の強化・推進	-0.059	-0.100		1.319	1.401		1.378	1.501	
	5-2	市民の安全・安心社会の形成	0.057	0.022		1.146	1.193		1.089	1.170	
	5-3	消防・救急・救助体制の強化	0.224	0.190		1.305	1.369		1.081	1.179	
	5-4	地域医療の構築	0.051	0.026		1.398	1.461		1.347	1.435	
	5-5	健康づくりの推進	0.091	0.088		1.078	1.133		0.987	1.045	
	5-6	高齢者支援の推進	-0.021	-0.071		1.180	1.214		1.201	1.285	
	5-7	障害者支援の推進	-0.037	-0.055		1.082	1.144		1.119	1.199	
	5-8	地域福祉の形成	-0.050	-0.043		0.842	0.908		0.892	0.951	
	5-9	子育て支援の充実	-0.080	-0.069		1.137	1.187		1.217	1.257	
行政運営分野	6-1	市民本位のサービスの提供・充実	-0.107	-0.068	↑2	0.727	0.760		0.834	0.828	↓3
	6-2	行政経営の向上	-0.116	-0.139		0.788	0.879		0.904	1.018	
平均			0.000	-0.022		0.894	0.966		0.894	0.988	

※表中の網掛け部分は、令和2年度調査結果を上回る(満足度が改善した、重要度・ニーズ度が増した)項目を示す。  
 ※両年度の値を比較して値が増加した上位5項目に↑、また最も減少、または増加が少なかった5項目に↓を表示している。

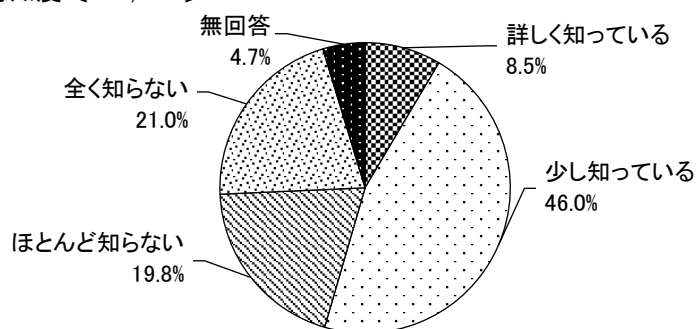
## 4. SDGsについて

### (1) SDGsの認知度

問7 東広島市では、SDGsの達成に向けた取組を推進することとしています。あなたは、「SDGs」という言葉をどの程度知っていますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

「SDGs」という言葉については、「詳しく知っている」は8.5%、「少し知っている」は46.0%で、“知っている”(「詳しく知っている」と「少し知っている」の合計)は54.5%と過半を占める。「ほとんど知らない」は19.8%、「全く知らない」が21.0%であった。

図7-1 SDGsの認知度 [n=1,125]

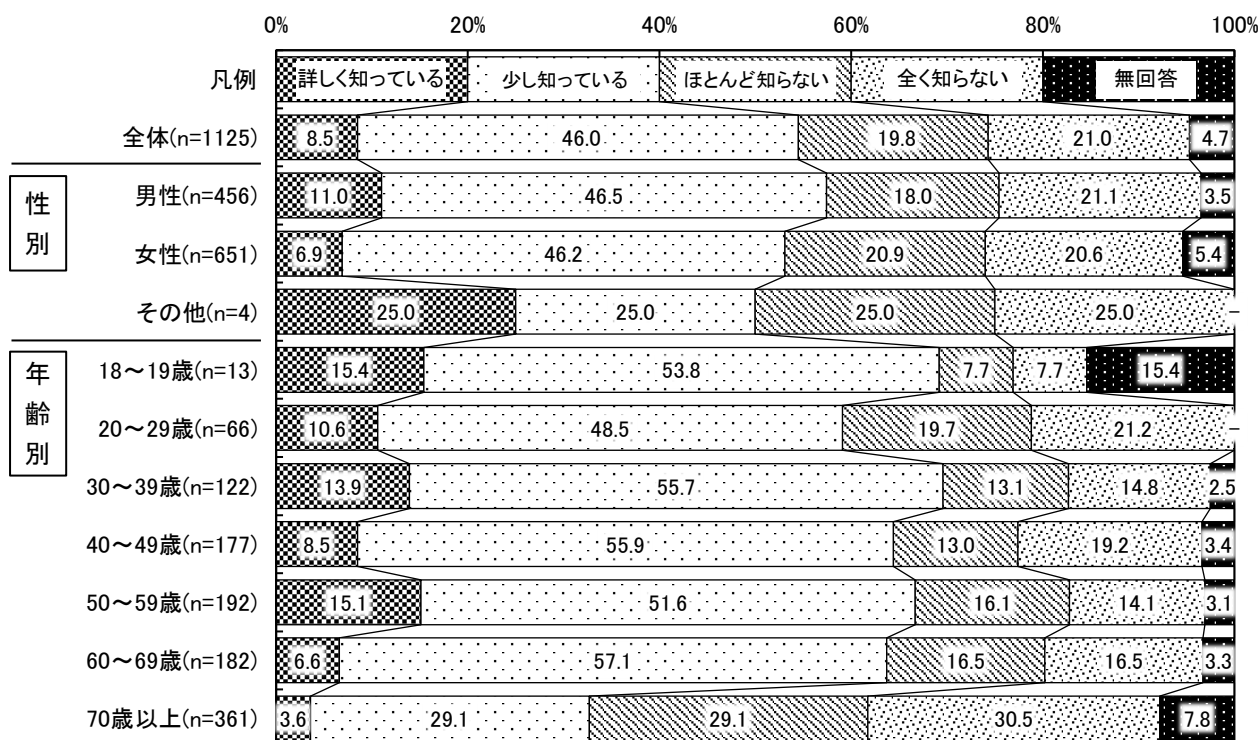


#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「詳しく知っている」は『男性』が『女性』より4.1ポイント高く、“知っている”は『男性』57.5%、『女性』53.1%と『男性』が『女性』より4.4ポイント高い。

年齢別では、“知っている”は『30～39歳』が69.6%と15.1ポイント、『50～59歳』が66.7%と12.2ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は32.7%と21.8ポイント全体より著しく低い。

図7-2 SDGsの認知度/性別・年齢別

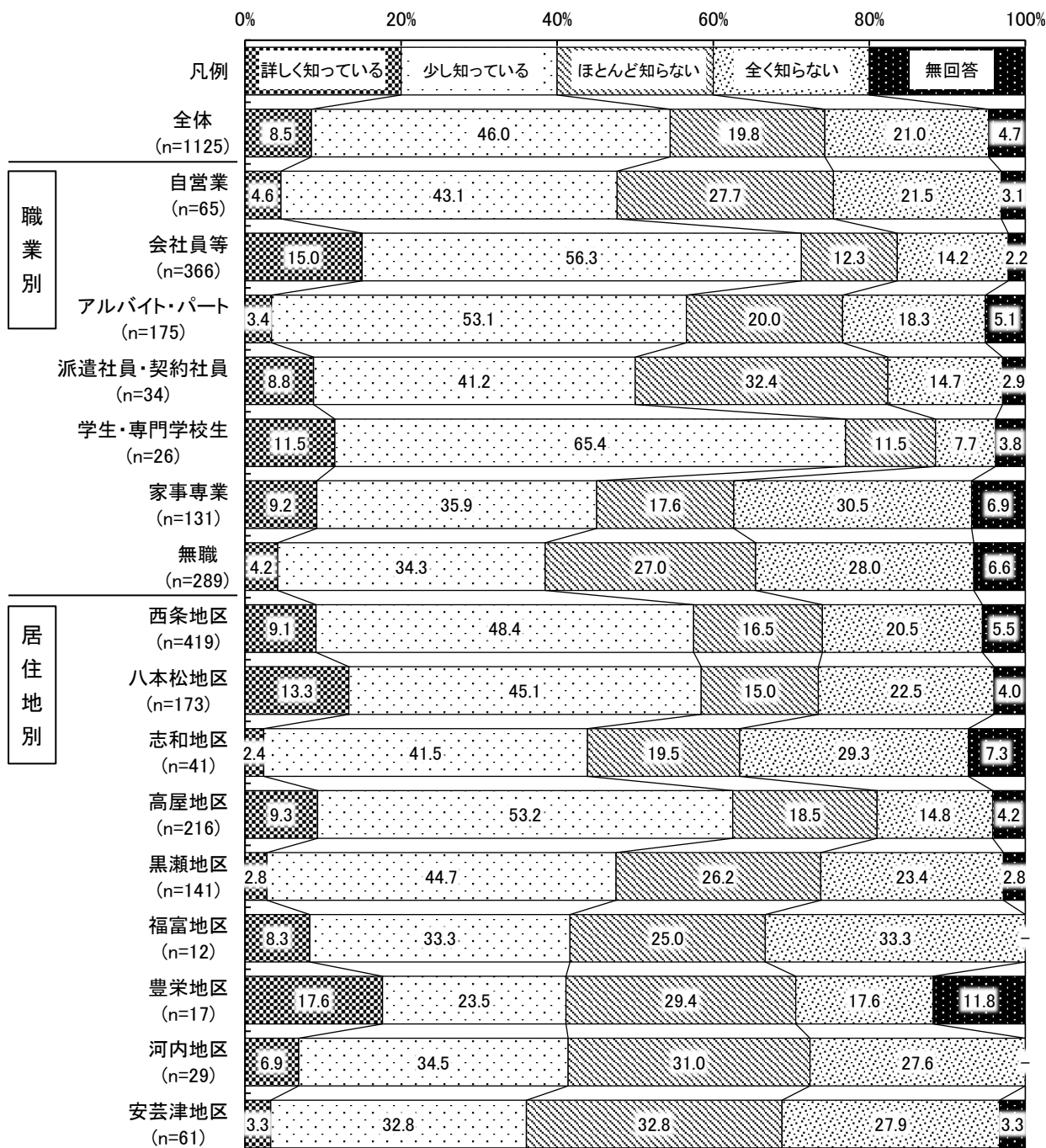


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“知っている”（「詳しく知っている」と「少し知っている」の合計）は『会社員等』が71.3%と16.8ポイント全体より高い。一方、『無職』は38.5%と全体より16.0ポイント、『家事専業』は45.1%と9.4ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

居住地別では、“知っている”は『高屋地区』が62.5%と8.0ポイント全体より高い。一方、『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』はそれぞれ10ポイント以上全体より低い。

図7-3 SDGsの認知度／職業別・居住地別

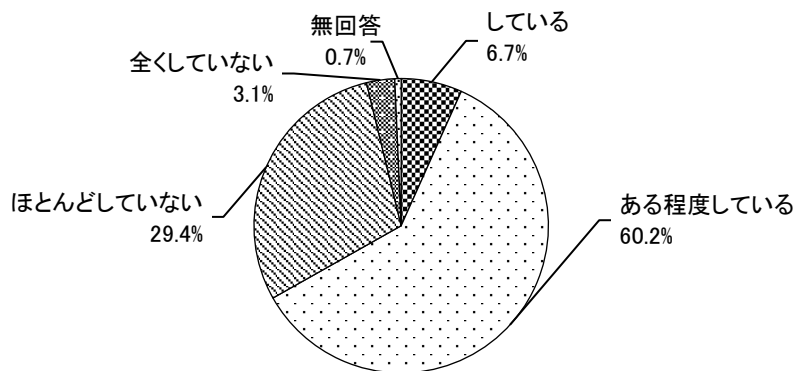


(2) SDGsの目標を意識した行動の実施状況

問7 で「1 詳しく知っている」「2 少し知っている」とお答えの方におたずねします。  
 問7-1 あなたは、普段の生活の中で、SDGsの目標を意識した行動をしていますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

SDGsの目標を意識した行動の実施状況については、「している」が6.7%、「ある程度している」が60.2%で、SDGsの目標を意識した行動を“している”(「している」と「ある程度している」の合計)は66.9%であった。「ほとんどしていない」は29.4%、「全くしていない」は3.1%で、“していない”(「全くしていない」と「ほとんどしていない」の合計)は32.5%となっている。

図7-4 SDGsの目標を意識した行動の実施状況 [n=613]

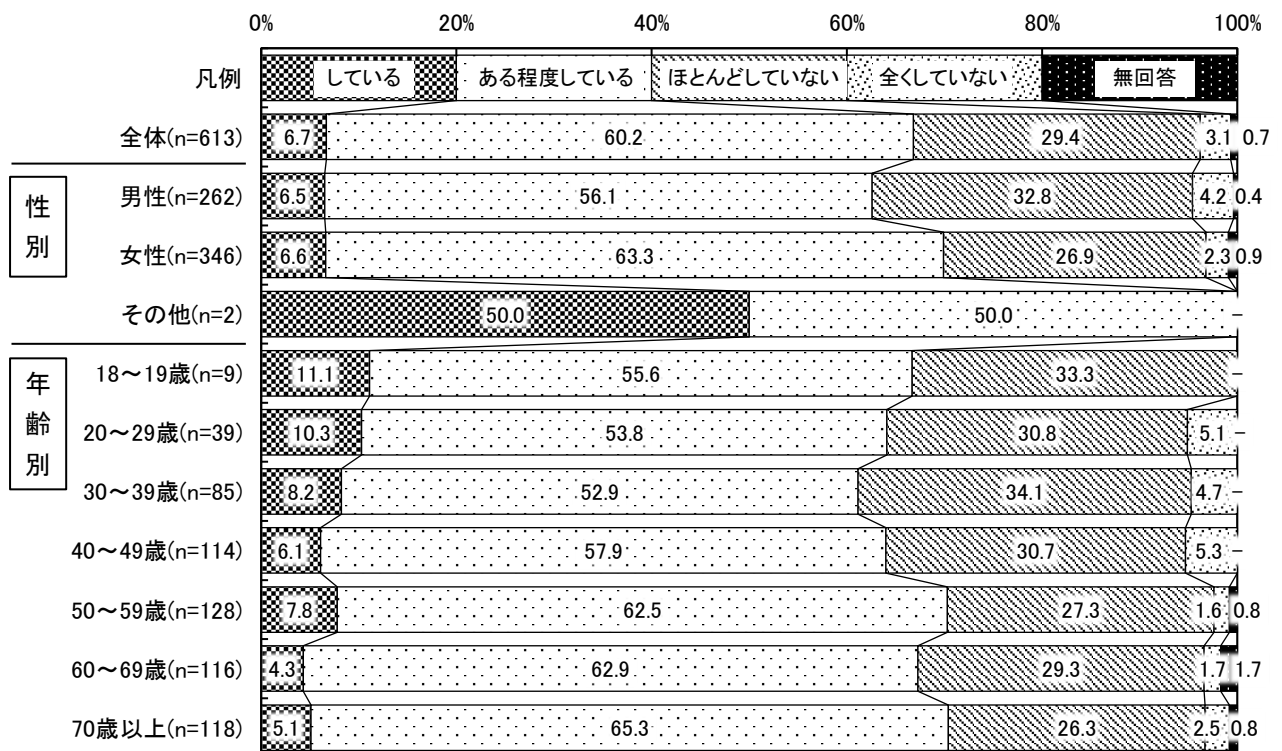


【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、“している”は『男性』62.6%、『女性』69.9%と『女性』が『男性』より7.3ポイント高い。

年齢別では、「ある程度している」は『70歳以上』が65.3%と5.1ポイント全体より高い。

図7-5 SDGsの目標を意識した行動の実施状況／性別・年齢別

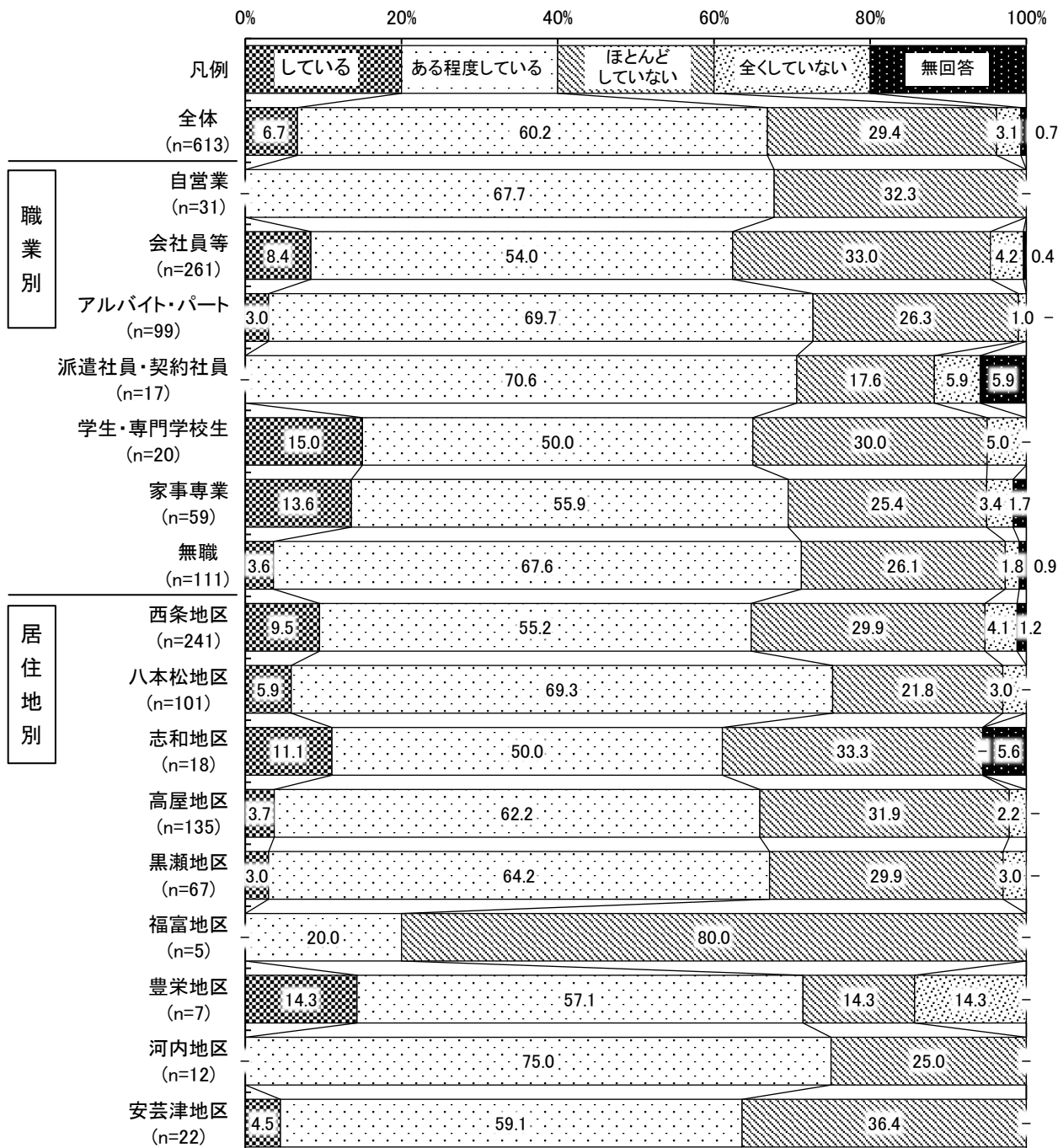


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“している”（「している」と「ある程度している」の合計）は『アルバイト・パート』が72.7%と5.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“している”は『八本松地区』が75.2%と8.3ポイント、『河内地区』が75.0%と8.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図7-6 SDGsの目標を意識した行動の実施状況／職業別・居住地別

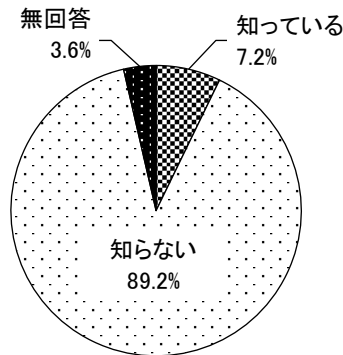


(3) 「SDGs 未来都市ひがしひろしま」特設ウェブサイトの認知状況

問8 東広島市は、「SDGs 未来都市ひがしひろしま」の特設ウェブサイトを令和3年3月よりオープンしています。あなたは、この特設ウェブサイトを知っていますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市「SDGs 未来都市ひがしひろしま」特設ウェブサイトの認知状況については、「知らない」が89.2%と9割弱を占めている。「知っている」は7.2%であった。

図8-1 「SDGs 未来都市ひがしひろしま」特設ウェブサイトの認知状況 [n=1,125]

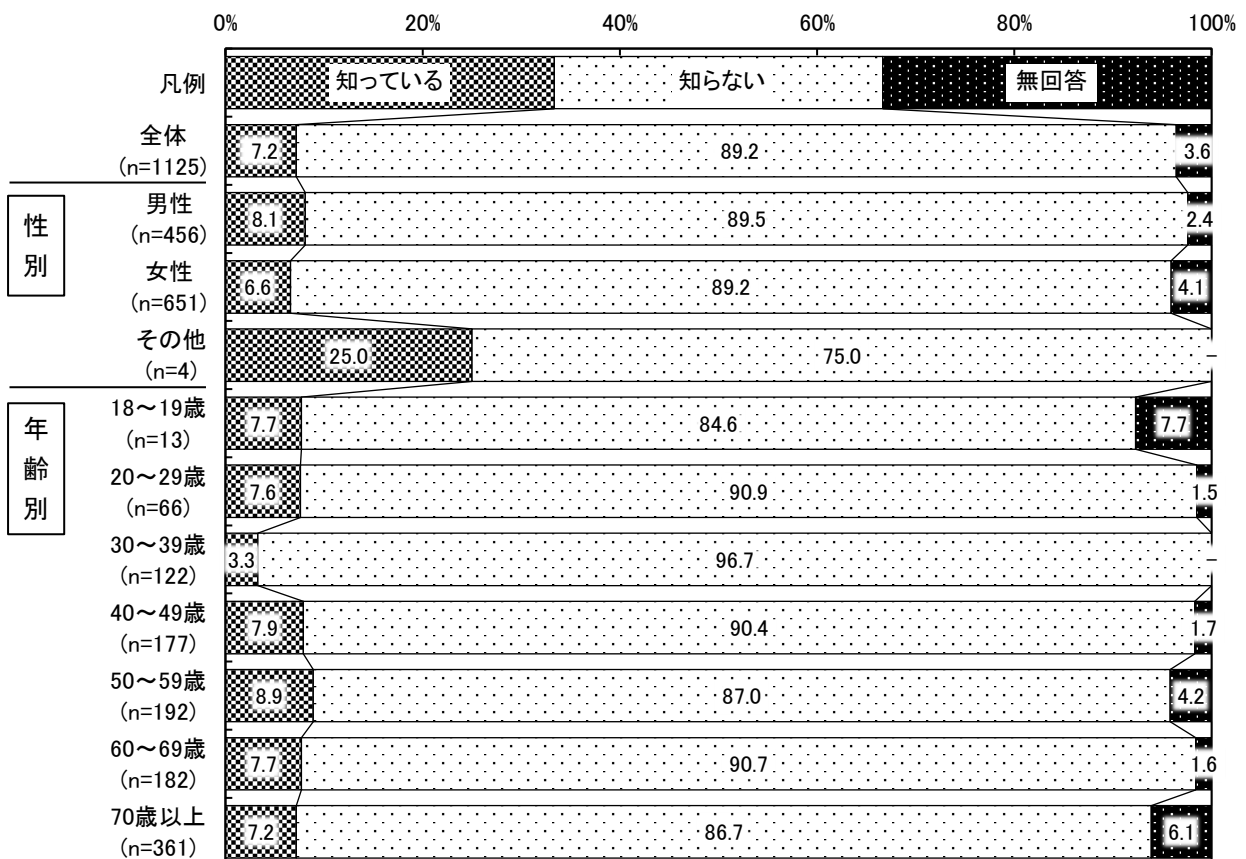


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「知らない」は『30～39歳』が96.7%と全体より7.5ポイント高い。

図8-2 「SDGs 未来都市ひがしひろしま」特設ウェブサイトの認知状況／性別・年齢別



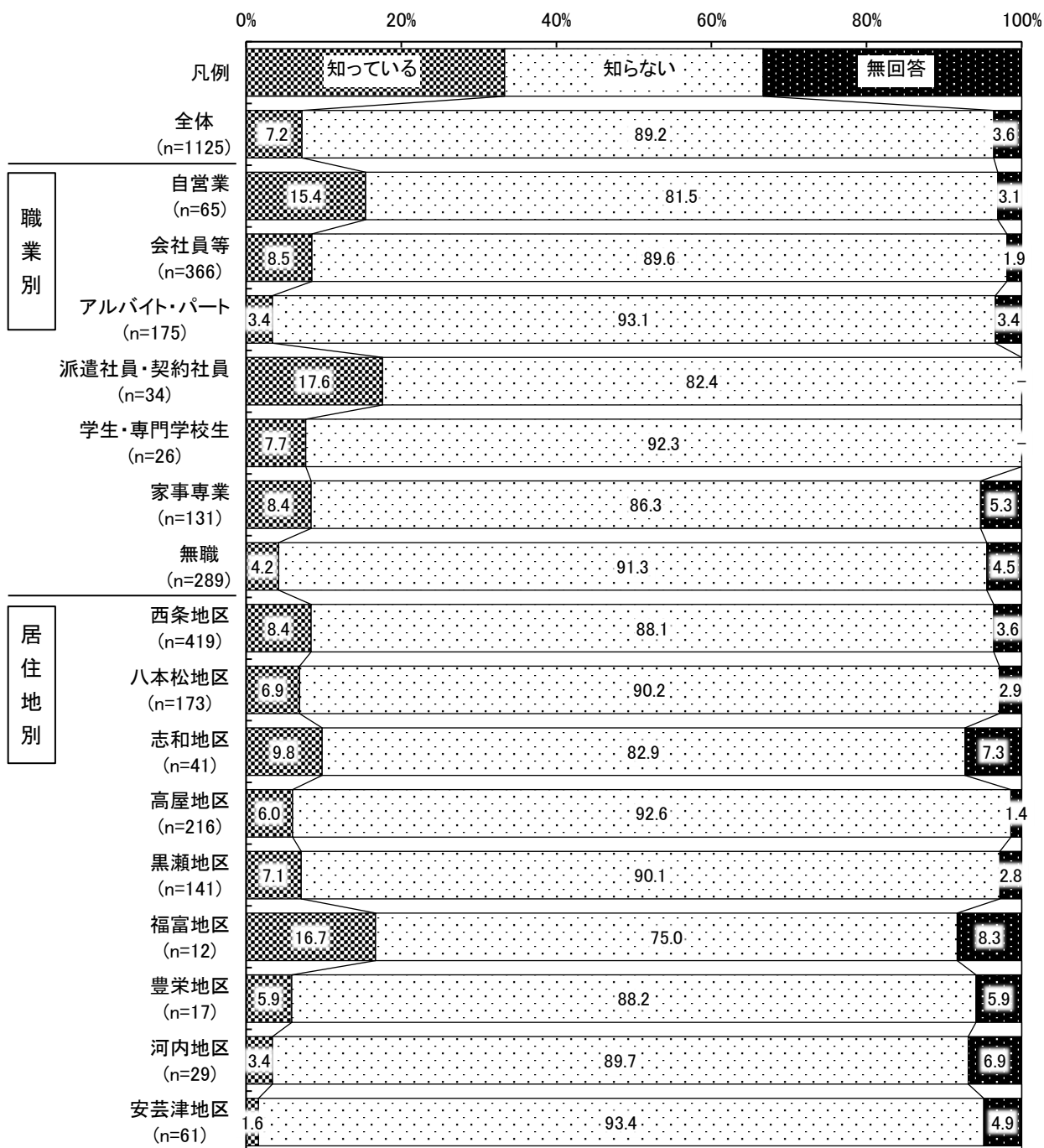


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「知っている」は『自営業』が15.4%と8.2ポイント全体より高い。

居住地別では、「知っている」は『福富地区』が16.7%と9.5ポイント全体より高い。

図8-3 「SDGs未来都市ひがしひろしま」特設ウェブサイトの認知状況／職業別・居住地別



## 5. 市の広報活動について

### (1) 東広島市の広報活動への満足度

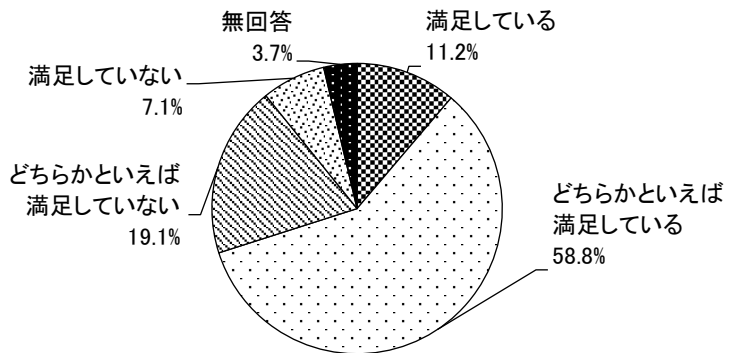
問9 東広島市では、次の方法で市の情報を広報しています。

・広報東広島(広報紙)      ・東広島市ホームページ      ・東広島市フェイスブック、ツイッター、LINE  
 ・市民ポータルサイト      ・ラジオ(FM東広島)番組      ・ケーブルテレビ(KAMONケーブルテレビ、Youtube動画配信)番組

あなたは、東広島市の広報活動に満足していますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市の広報活動への満足度については、「満足している」が11.2%、「どちらかといえば満足している」が58.8%で、「満足」（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は70.0%と7割を占めている。「どちらかといえば満足していない」は19.1%、「満足していない」は7.1%であった。

図9-1 東広島市の広報活動への満足度 [n=1,125]

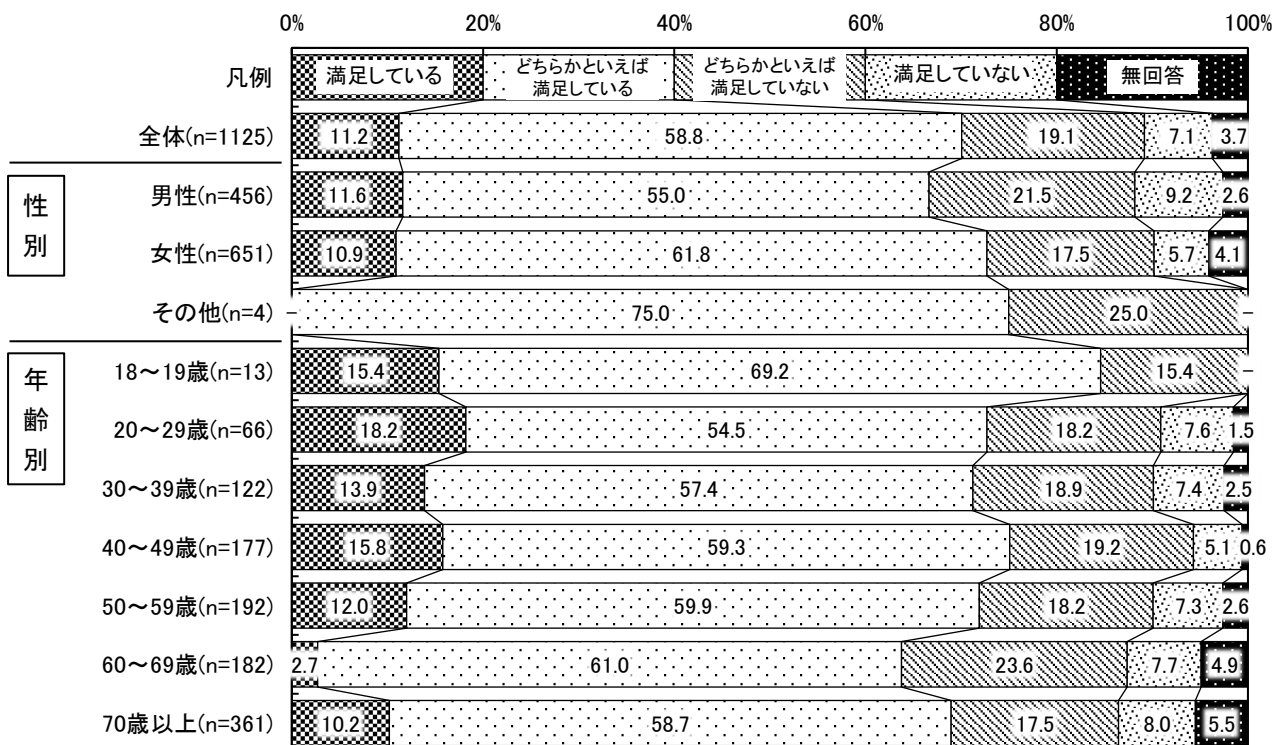


#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「満足」（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は『男性』66.6%、『女性』72.7%と6.1ポイント、『女性』が『男性』より高い。

年齢別では、「満足している」は『20～29歳』が18.2%と7.0ポイント全体より高い。また「満足」は『40～49歳』が75.1%と5.1ポイント全体より高くなっている。

図9-2 東広島市の広報活動への満足度／性別・年齢別

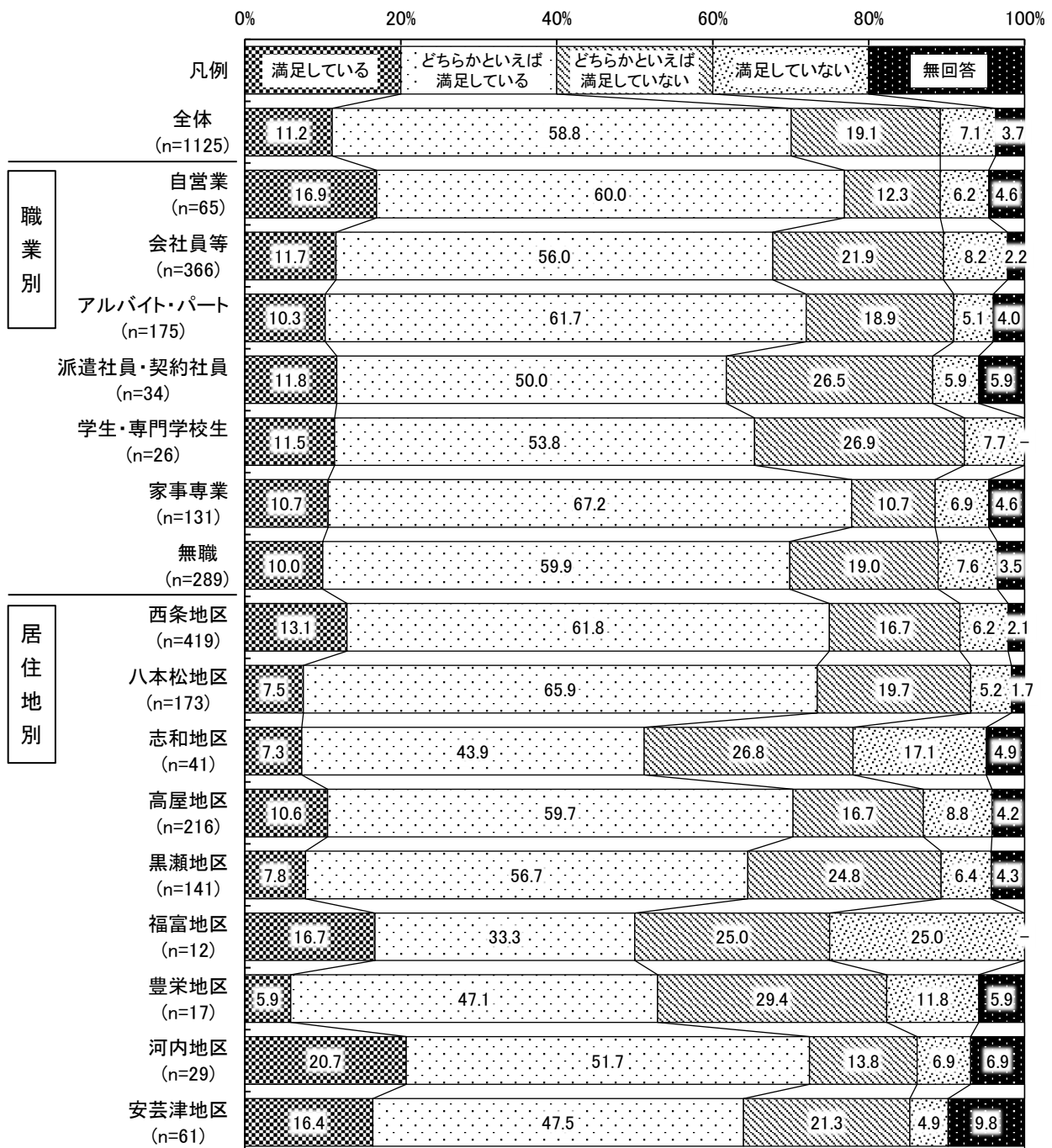


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は『家事専業』が77.9%と7.9ポイント、『自営業』が76.9%と6.9ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“満足”は『西条地区』、『八本松地区』、『高屋地区』、『河内地区』で7割を超えている。一方、『福富地区』が50.0%と20.0ポイント、『志和地区』が51.2%と18.8ポイント、『豊栄地区』が53.0%と17.0ポイント、『安芸津地区』が63.9%と6.1ポイント、『黒瀬地区』が64.5%と5.5ポイント、それぞれ全体より低い。

図9-3 東広島市の広報活動への満足度／職業別・居住地別



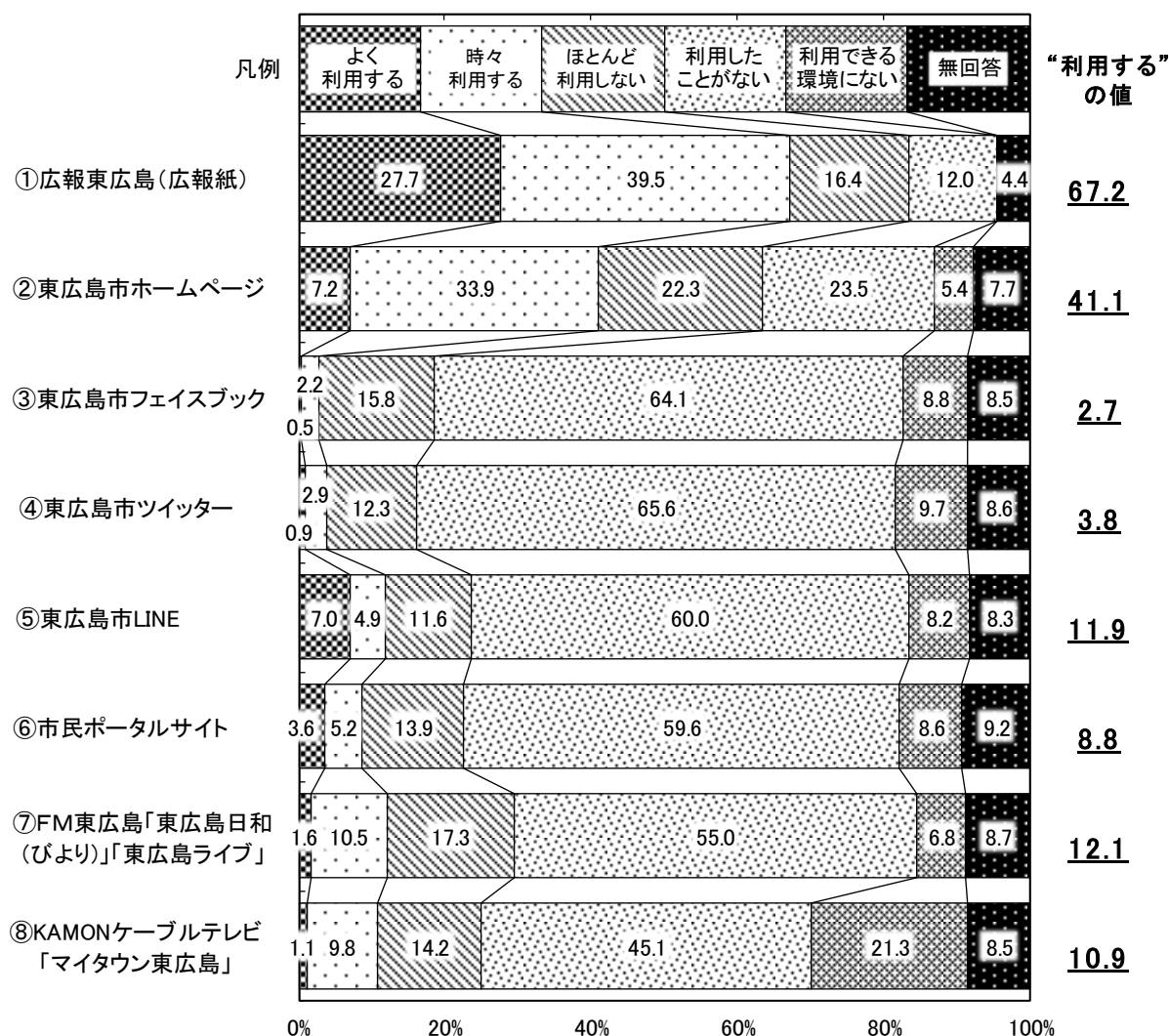
(2) 東広島市の広報の利用状況

問10 あなたは、次の広報についてどの程度利用していますか。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市の広報の利用状況については、『①広報東広島』で「よく利用する」が27.7%と最も高く、「時々利用する」39.5%と合わせた、“利用する”は67.2%と6割以上を占める。

その他の広報については、「よく利用する」の値はいずれも1割に満たず、「時々利用する」と合わせた“利用する”は高い順に、『②東広島市ホームページ』41.1%、『⑦FM東広島「東広島日和(びより)」「東広島ライブ」』12.1%、『⑤東広島市LINE』11.9%、『⑧KAMONケーブルテレビ「マイタウン東広島」』10.9%、『⑥市民ポータルサイト』8.8%、『④東広島市ツイッター』3.8%、『③東広島市フェイスブック』2.7%、となっている。

図10-1 東広島市の広報の利用状況 [n=1,125]



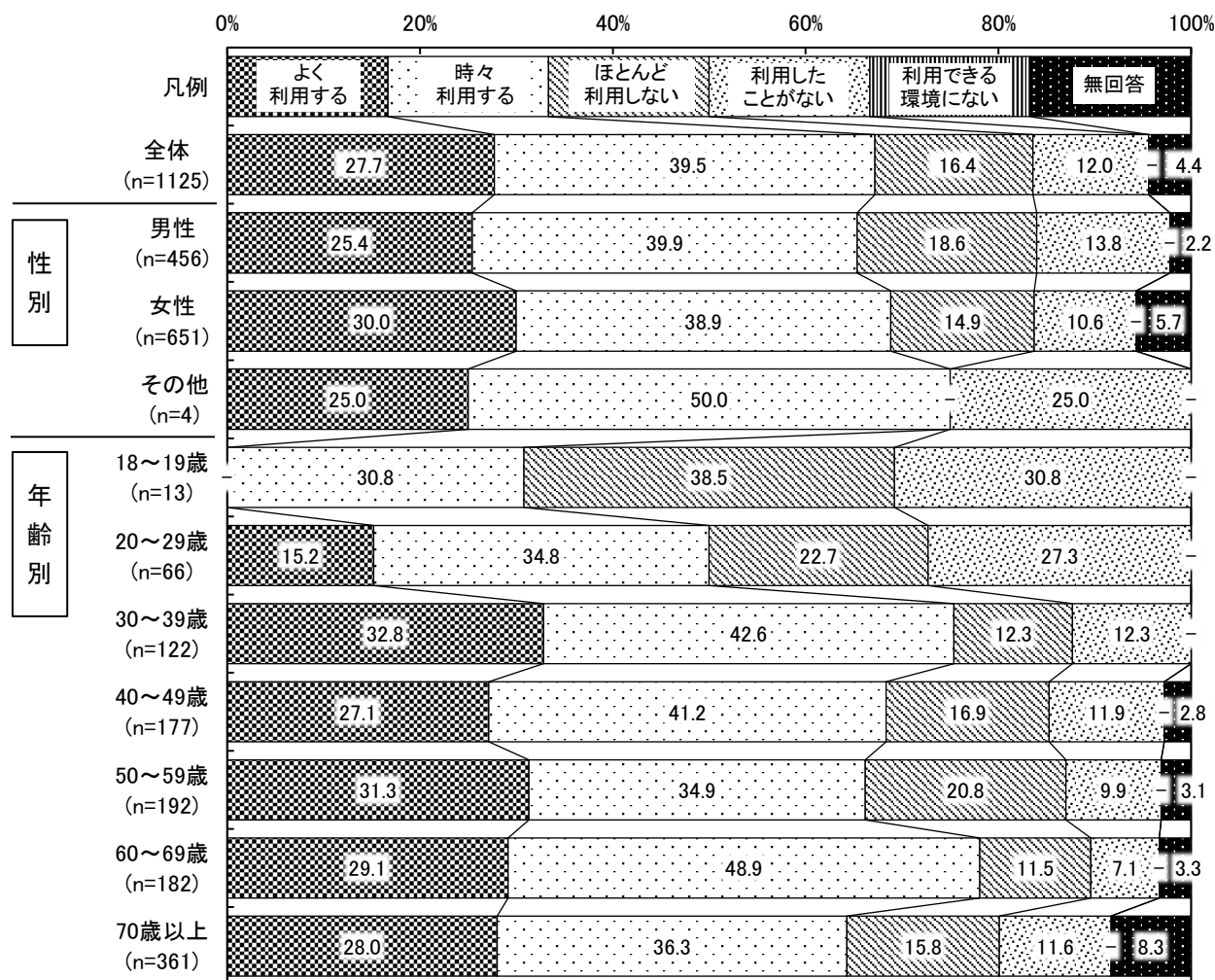
①広報東広島

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「よく利用する」は『女性』30.0%、『男性』25.4%と、『女性』が『男性』より4.6ポイント高い。

年齢別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『60～69歳』が78.0%と10.8ポイント、『30～39歳』が75.4%と8.2ポイントそれぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は50.0%と全体より17.2ポイント低く、「利用したことがない」が27.3%と15.3ポイント全体より高くなっている。

図10-2 東広島市の広報の利用状況 ①広報東広島／性別・年齢別



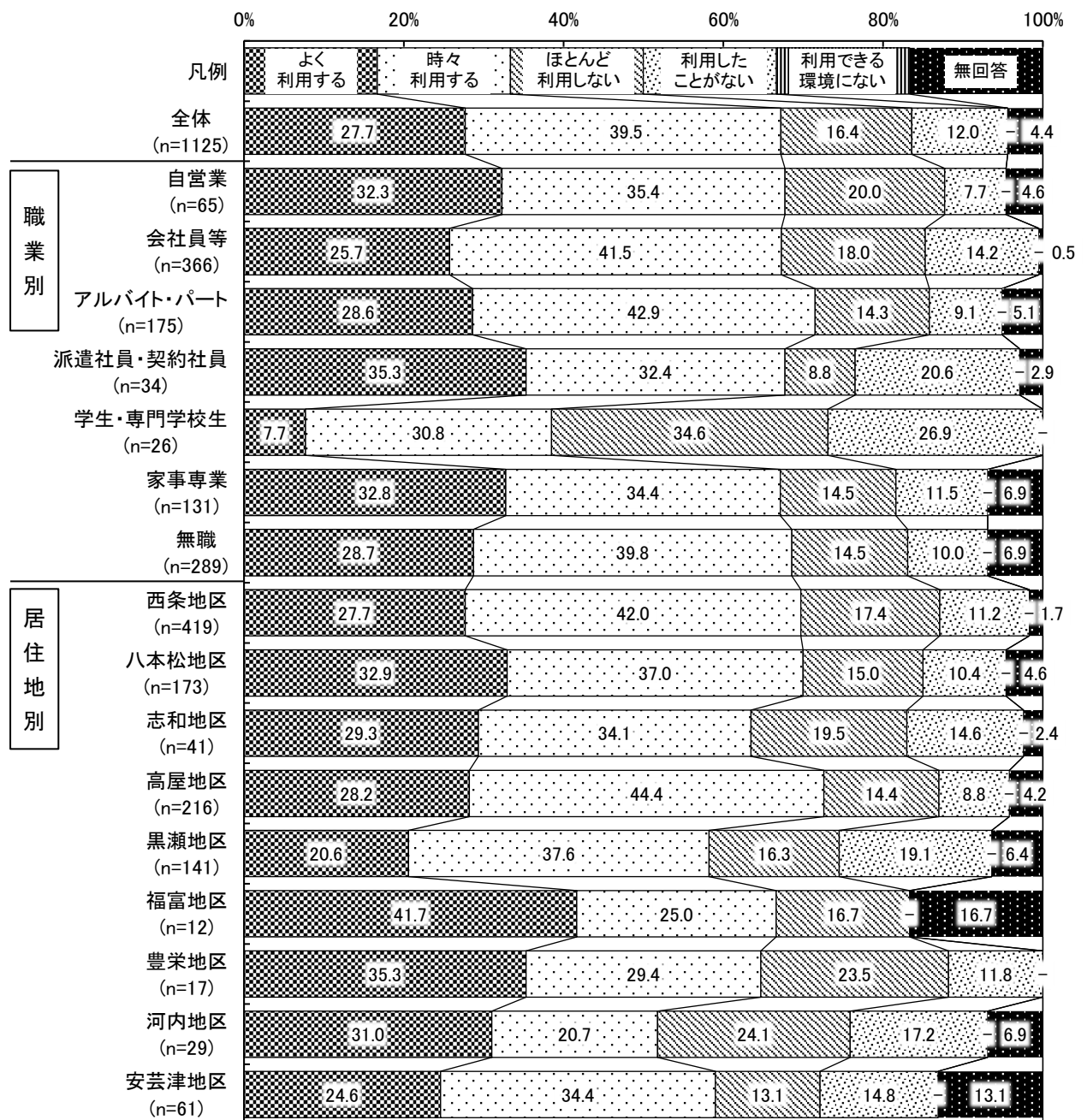
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「よく利用する」は『家事専業』が32.8%と5.1ポイント全体より高い。“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『学生・専門学校生』を除く属性で6割を超えており顕著な差は見られない。

居住地別では、「よく利用する」は『福富地区』が41.7%と14.0ポイント、『豊栄地区』が35.3%と7.6ポイント、『八本松地区』が32.9%と5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

“利用する”は『高屋地区』が72.6%と5.4ポイント全体より高い。一方、『河内地区』が51.7%と15.5ポイント、『黒瀬地区』が58.2%と9.0ポイント、『安芸津地区』が59.0%と8.2ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図10-3 東広島市の広報の利用状況 ①広報東広島／職業別・居住地別



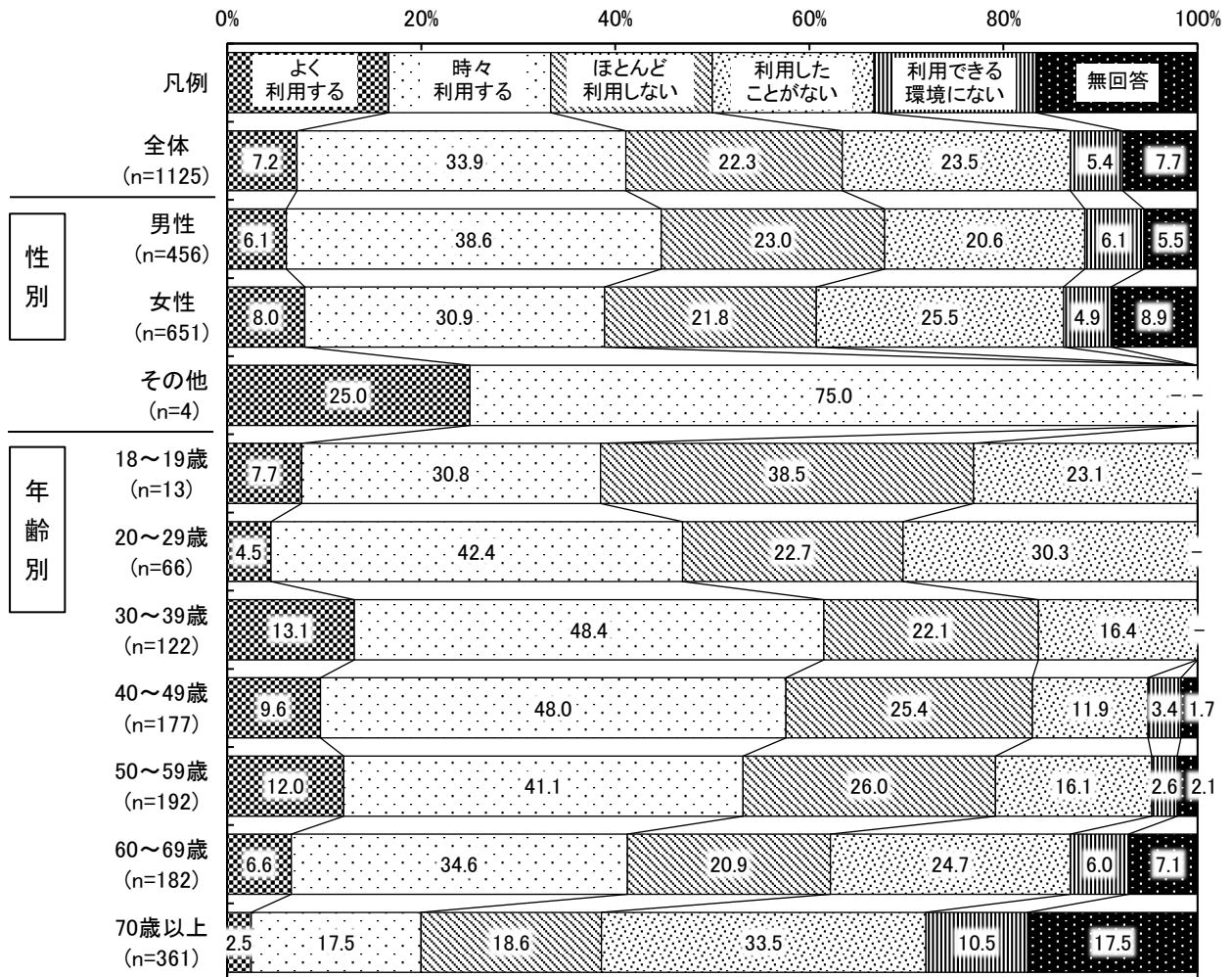
②東広島市ホームページ

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「時々利用する」は『男性』38.6%、『女性』30.9%と、『男性』が『女性』より7.7ポイント高く、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）についても『男性』44.7%、『女性』38.9%と、『男性』が『女性』より5.8ポイント高い。

年齢別では、“利用する”は『30～39歳』が61.5%と20.4ポイント、『40～49歳』が57.6%と16.5ポイント、『50～59歳』が53.1%と12.0ポイント、『20～29歳』が46.9%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は20.0%と21.1ポイント全体より低くなっている。

図10-4 東広島市の広報の利用状況 ②東広島市ホームページ／性別・年齢別

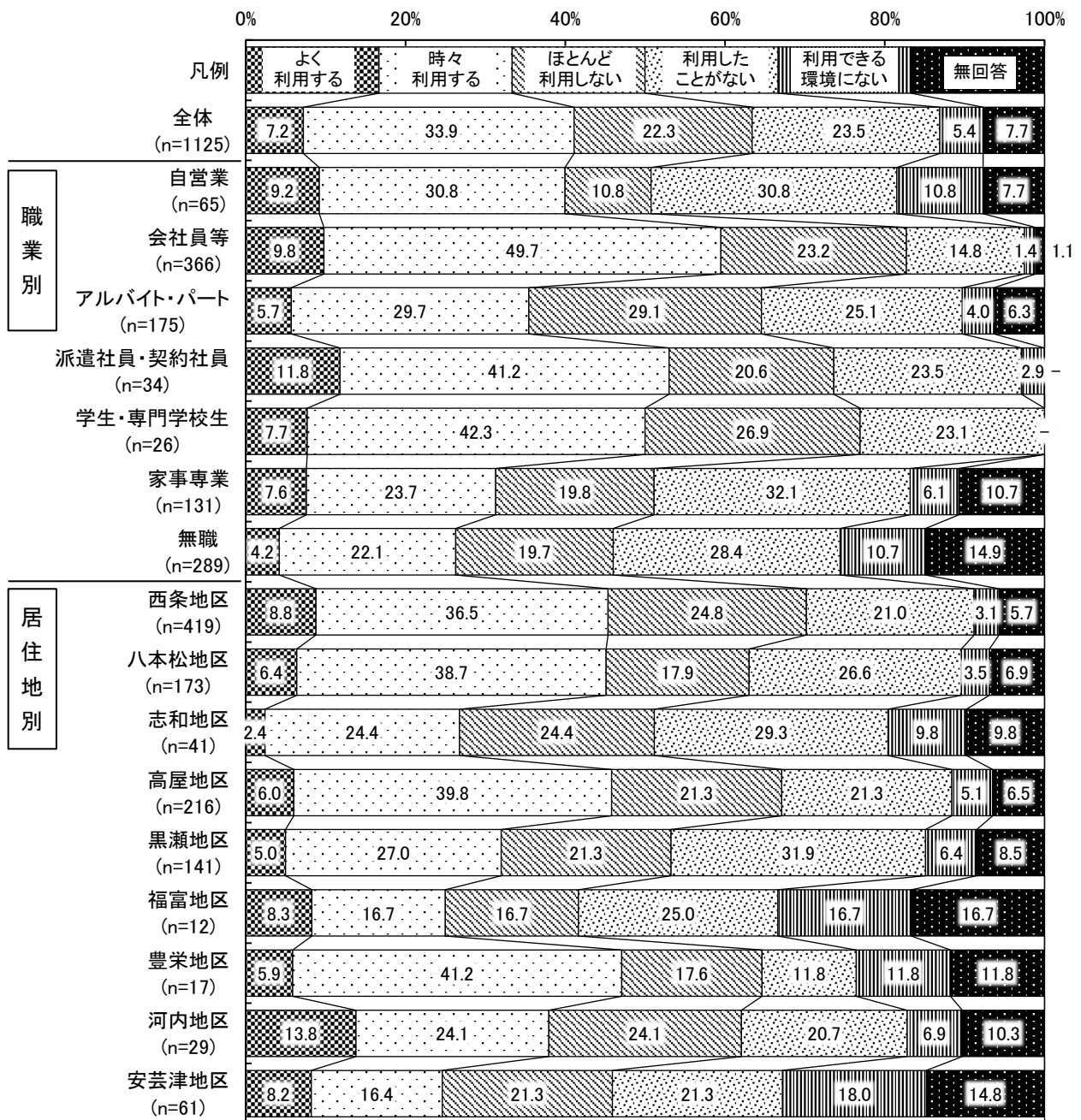


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「時々利用する」は『会社員等』が49.7%と15.8ポイント全体より高く、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）についても、『会社員等』は59.5%と18.4ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“利用する”は『豊栄地区』が47.1%と6.0ポイント全体より高い。一方、『安芸津地区』が24.6%と16.5ポイント、『福富地区』が25.0%と16.1ポイント、『志和地区』が26.8%と14.3ポイント、『黒瀬地区』が32.0%と9.1ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図10-5 東広島市の広報の利用状況 ②東広島市ホームページ／職業別・居住地別





### ③東広島市フェイスブック

#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

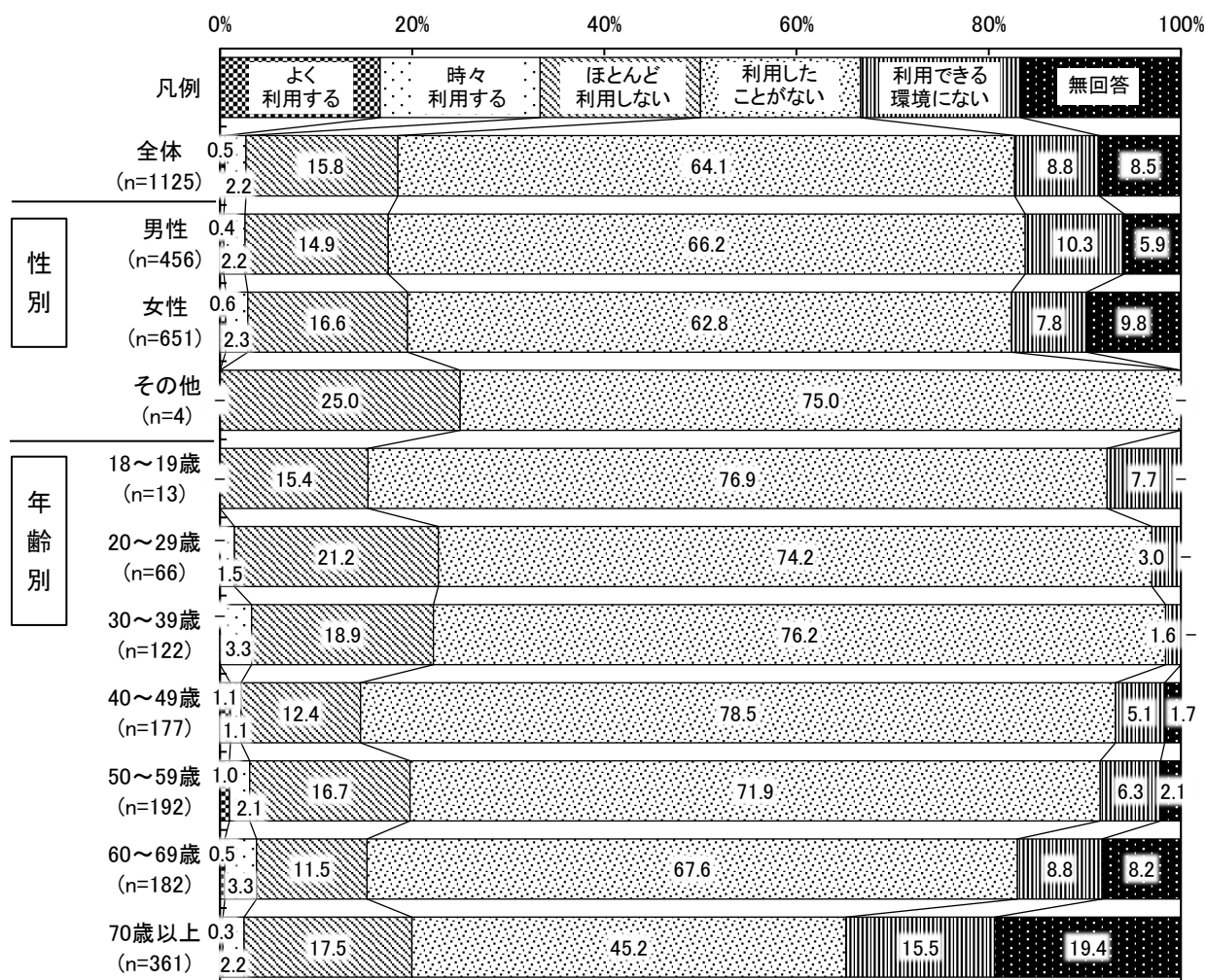
性別・年齢別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は1割を下回っている。

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「利用したことがない」は『40～49歳』が78.5%と14.4ポイント、『30～39歳』が76.2%と12.1ポイント、『20～29歳』が74.2%と10.1ポイント、『50～59歳』が71.9%と7.8ポイント、それぞれ全体より高く、以降、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

「利用できる環境にない」は『70歳以上』が15.5%と6.7ポイント全体より高い。

図10-6 東広島市の広報の利用状況 ③東広島市フェイスブック／性別・年齢別



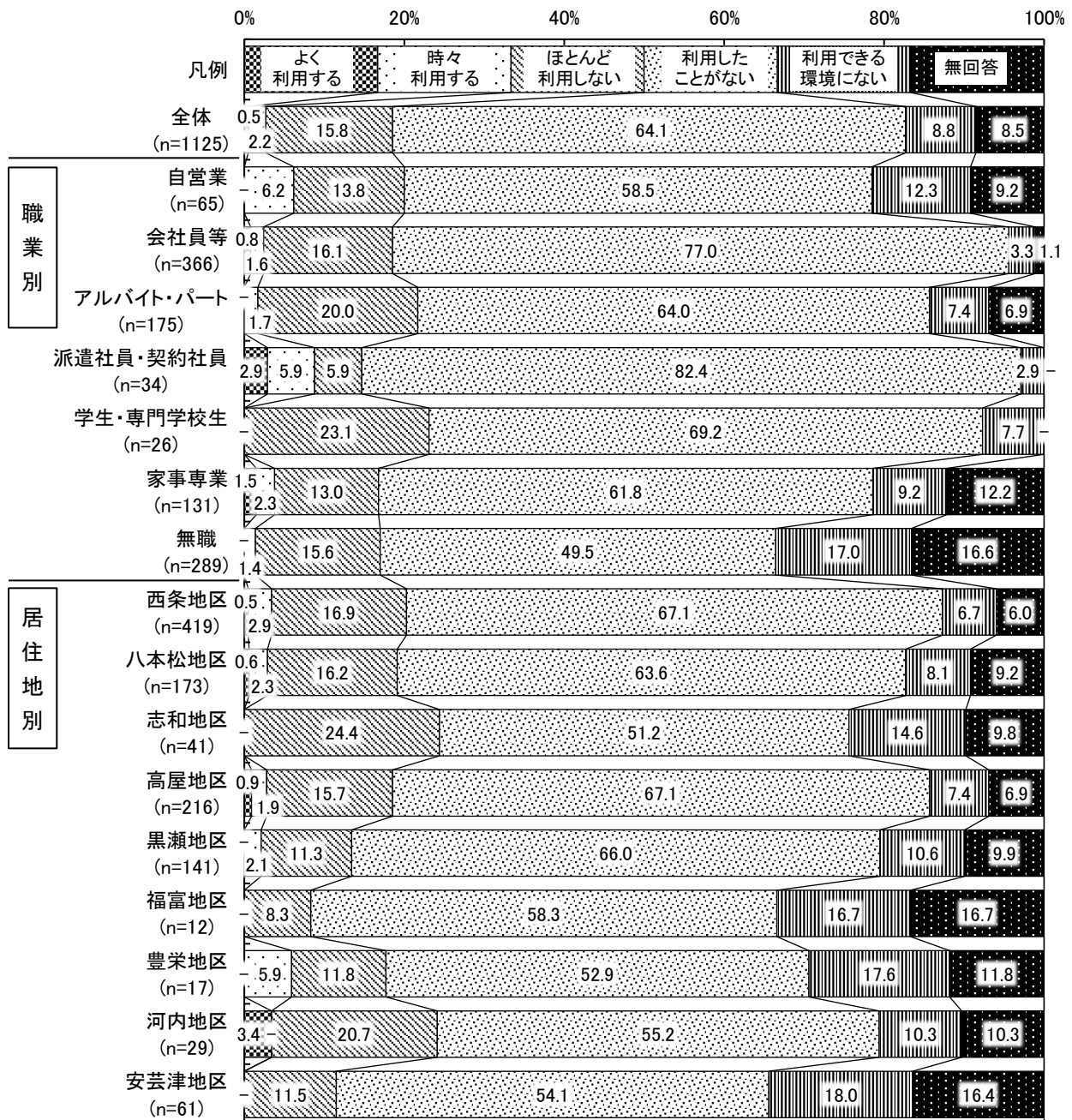
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別、居住地別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は1割を下回っている。

職業別では、「利用したことがない」は『会社員等』が77.0%と12.9ポイント全体より高い。一方、『無職』が49.5%と14.6ポイント、『自営業』が58.5%と5.6ポイント、それぞれ全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『無職』が17.0%と8.2ポイント全体より高い。

居住地別では、「利用できる環境にない」は『安芸津地区』が18.0%と9.2ポイント、『豊栄地区』が17.6%と8.8ポイント、『福富地区』が16.7%と7.9ポイント、『志和地区』が14.6%と5.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図10-7 東広島市の広報の利用状況 ③東広島市フェイスブック／職業別・居住地別



#### ④東広島市ツイッター

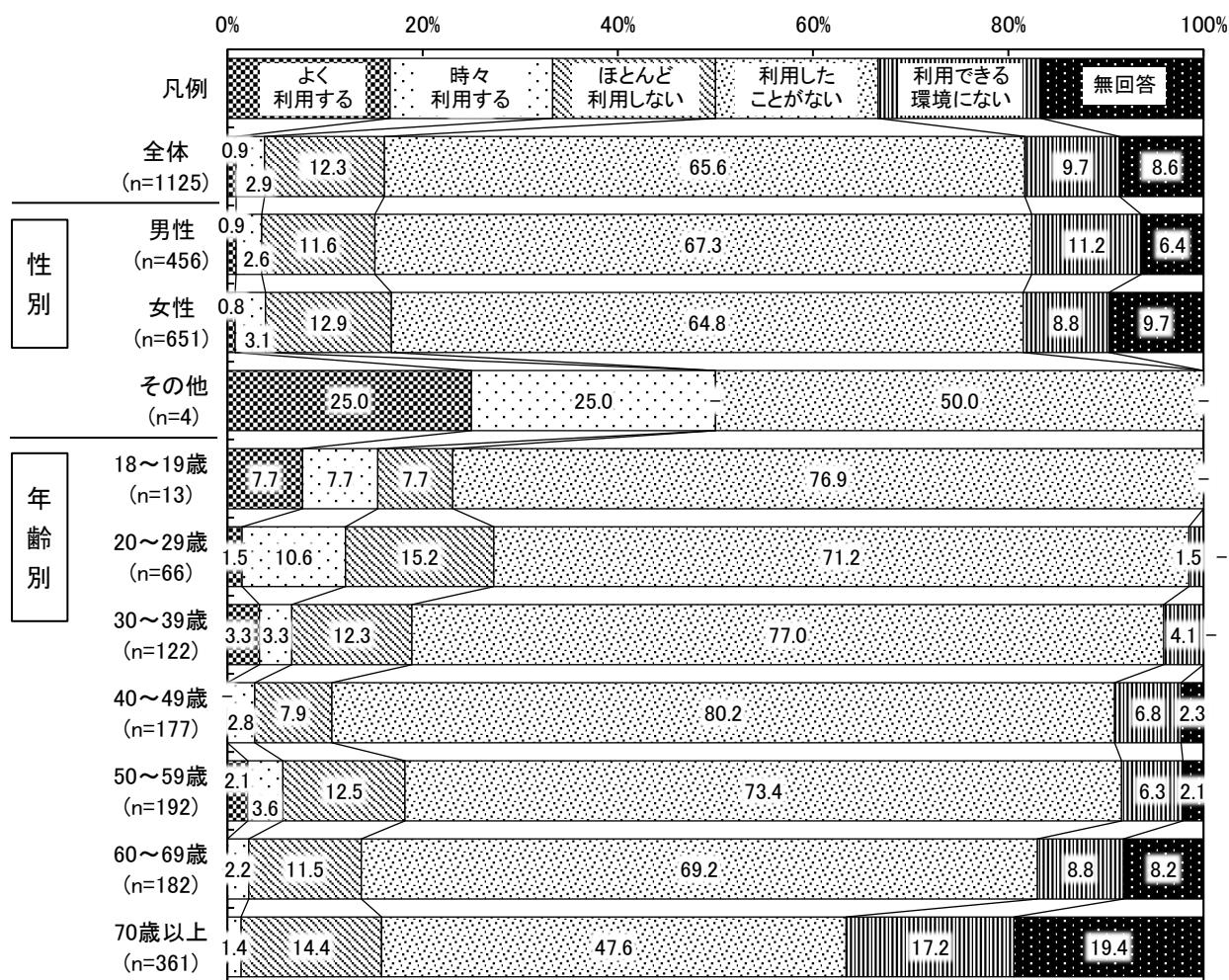
##### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『20～29歳』が12.1%と8.3ポイント全体より高い。「利用したことがない」は『40～49歳』が80.2%と14.6ポイント、『30～39歳』が77.0%と11.4ポイント、『50～59歳』が73.4%と7.8ポイント、『20～29歳』が71.2%と5.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「利用できる環境にない」は『70歳以上』が17.2%と7.5ポイント全体より高く、年齢が上がるほど高くなっている。

図10-8 東広島市の広報の利用状況 ④東広島市ツイッター／性別・年齢別

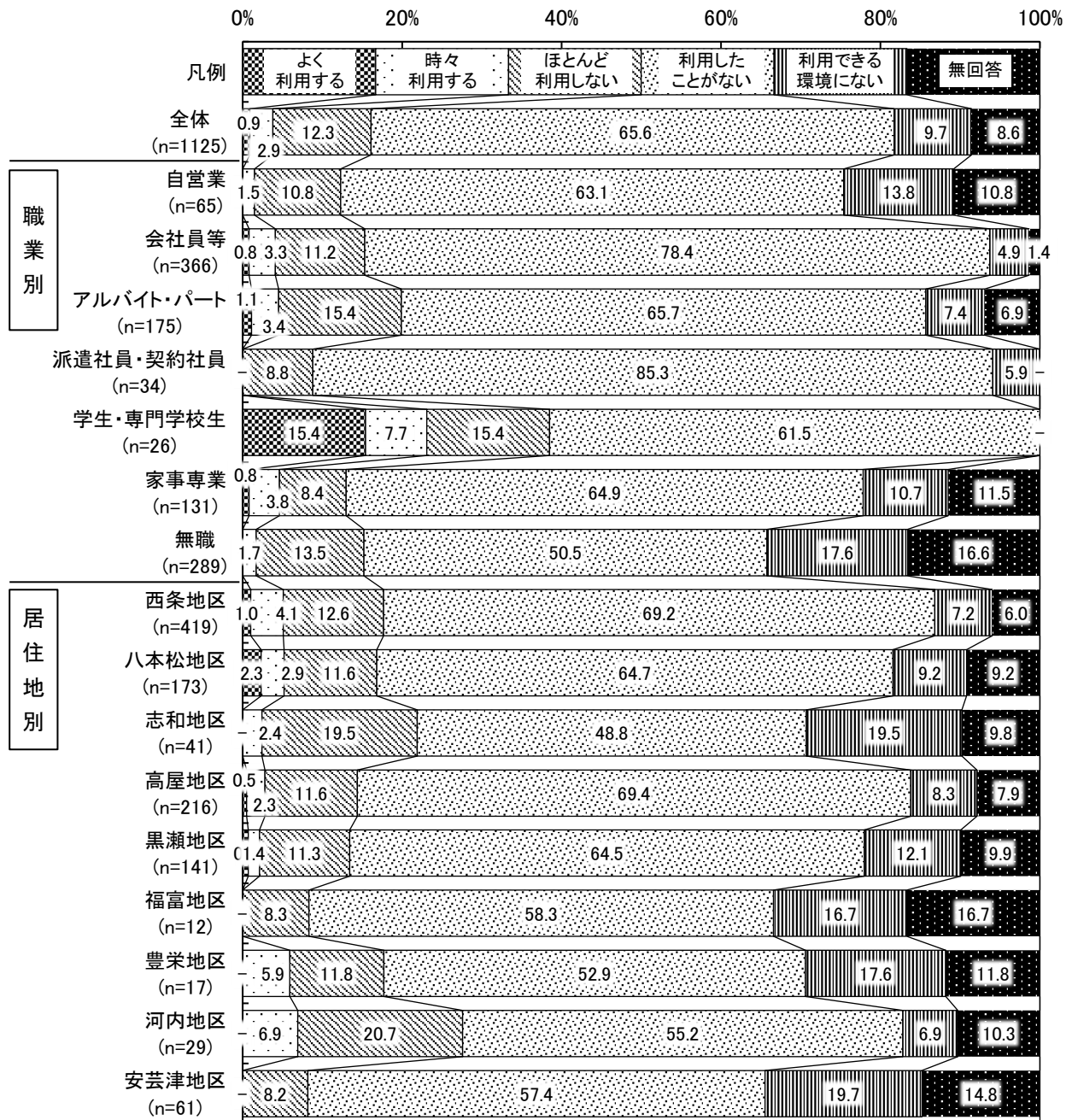


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『学生・専門学校生』の23.1%を除き、1割を下回っている。「利用したことがない」は『会社員等』が78.4%と12.8ポイント全体より高い。一方、『無職』が50.5%と15.1ポイント全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『無職』が17.6%と7.9ポイント全体より高い。

居住地別では、「利用できる環境にない」は『安芸津地区』が19.7%と10.0ポイント、『志和地区』が19.5%と9.8ポイント、『豊栄地区』が17.6%と7.9ポイント、『福富地区』が16.7%と7.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図10-9 東広島市の広報の利用状況 ④東広島市ツイッター／職業別・居住地別



⑤東広島LINE

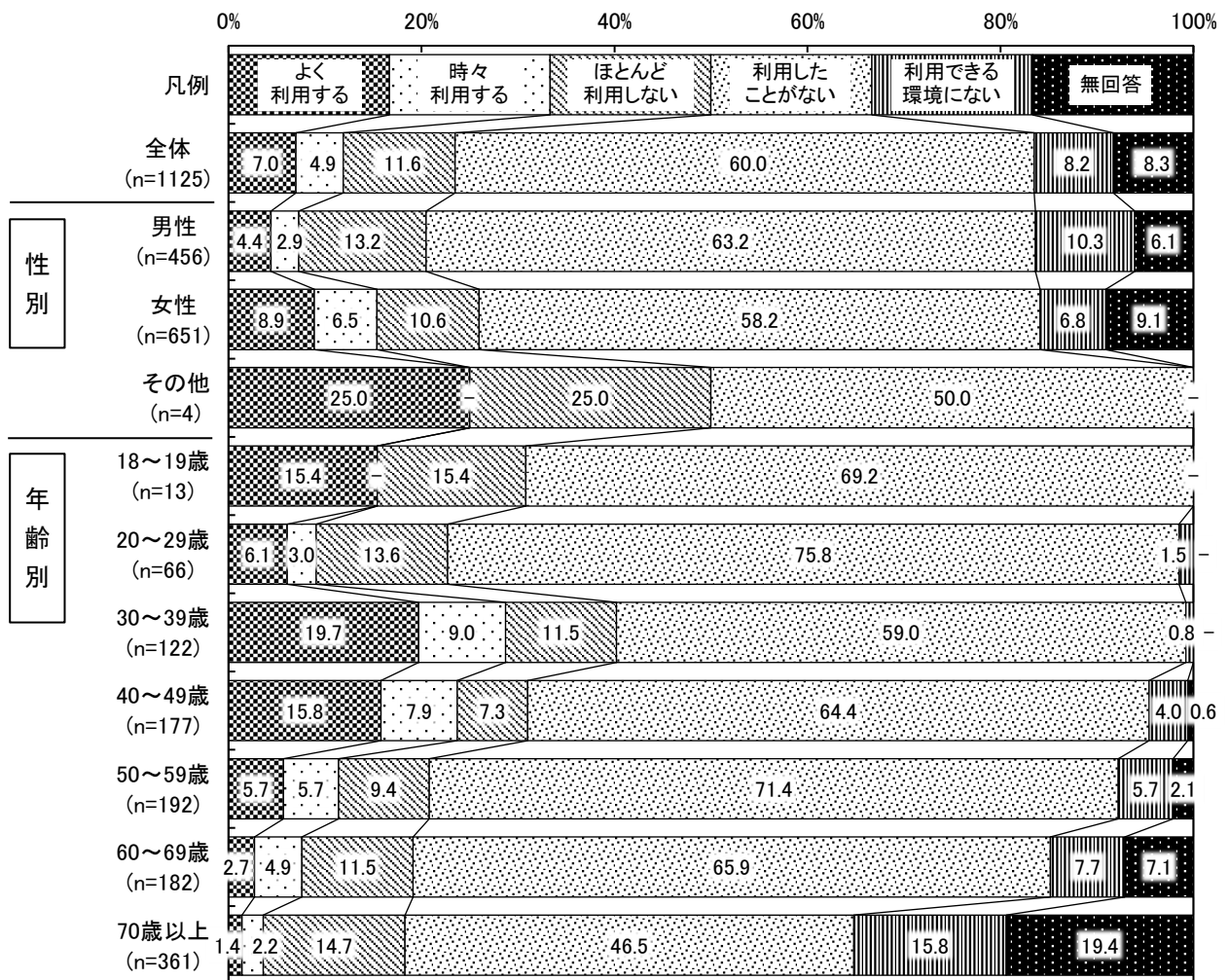
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『女性』15.4%、『男性』7.3%と『女性』が『男性』より8.1ポイント高い。

年齢別では、「よく利用する」は『30～39歳』が19.7%と12.7ポイント、『40～49歳』が15.8%と8.8ポイント、それぞれ全体より高く、“利用する”についても『30～39歳』が28.7%と16.8ポイント、『40～49歳』が23.7%と11.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「利用したことがない」は『20～29歳』が75.8%と15.8ポイント、『50～59歳』が71.4%と11.4ポイント、『60～69歳』が65.9%と5.9ポイント、それぞれ全体より高く、一方『70歳以上』は46.5%と13.5ポイント全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『70歳以上』が15.8%と7.6ポイント全体より高い。

図10-10 東広島市の広報の利用状況 ⑤東広島LINE／性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

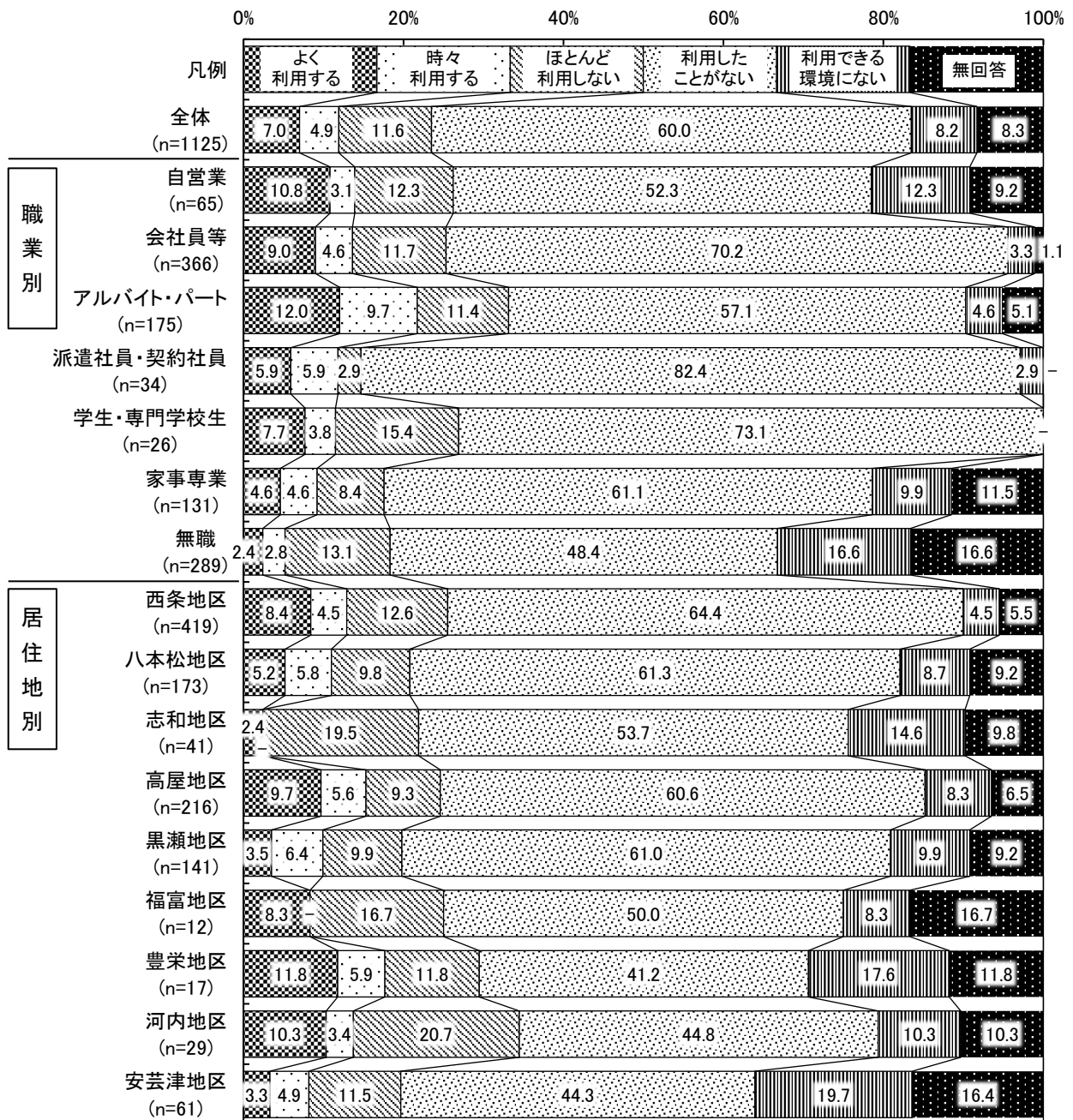
職業別では、「よく利用する」は『アルバイト・パート』が12.0%と5.0ポイント全体より高く、「利用する」についても『アルバイト・パート』が21.7%と9.8ポイント全体より高い。

「利用したことがない」は『会社員等』が70.2%と10.2ポイント高い。一方、『無職』が48.4%と11.6ポイント、『自営業』が52.3%と7.7ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

「利用できる環境にない」は『無職』が16.6%と8.4ポイント全体より高い。

居住地別では、「利用できる環境にない」は『安芸津地区』が19.7%と11.5ポイント、『豊栄地区』が17.6%と9.4ポイント、『志和地区』が14.6%と6.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図10-11 東広島市の広報の利用状況 ⑤東広島LINE／職業別・居住地別



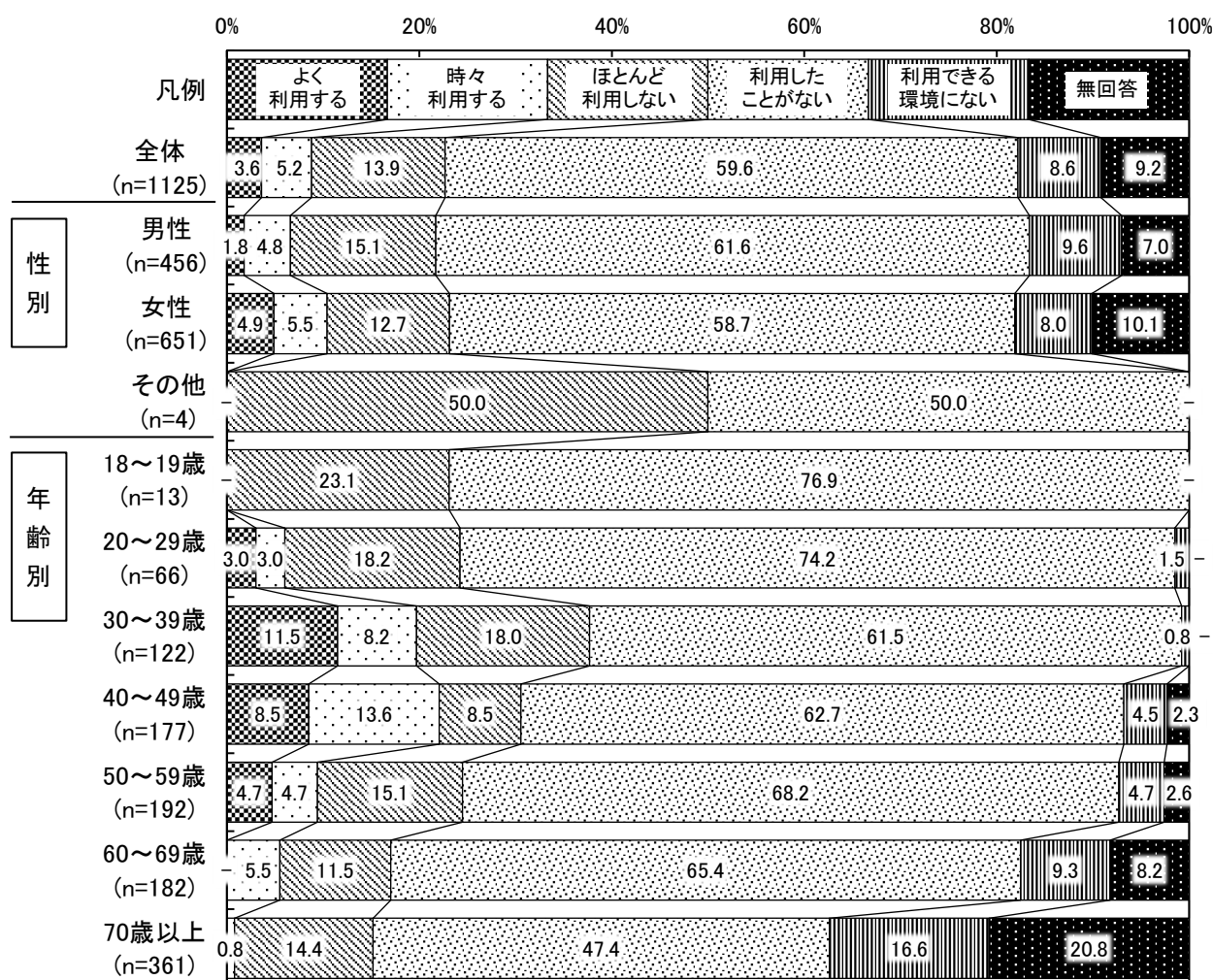
⑥市民ポータルサイト

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『40～49歳』が22.1%と13.3ポイント、『30～39歳』が19.7%と10.9ポイント、それぞれ全体より高い。「利用したことがない」は『20～29歳』が74.2%と14.6ポイント、『50～59歳』が68.2%と8.6ポイント、『60～69歳』が65.4%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は47.4%と12.2ポイント全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『70歳以上』が16.6%と8.0ポイント高い。

図10-12 東広島市の広報の利用状況 ⑥市民ポータルサイト／性別・年齢別

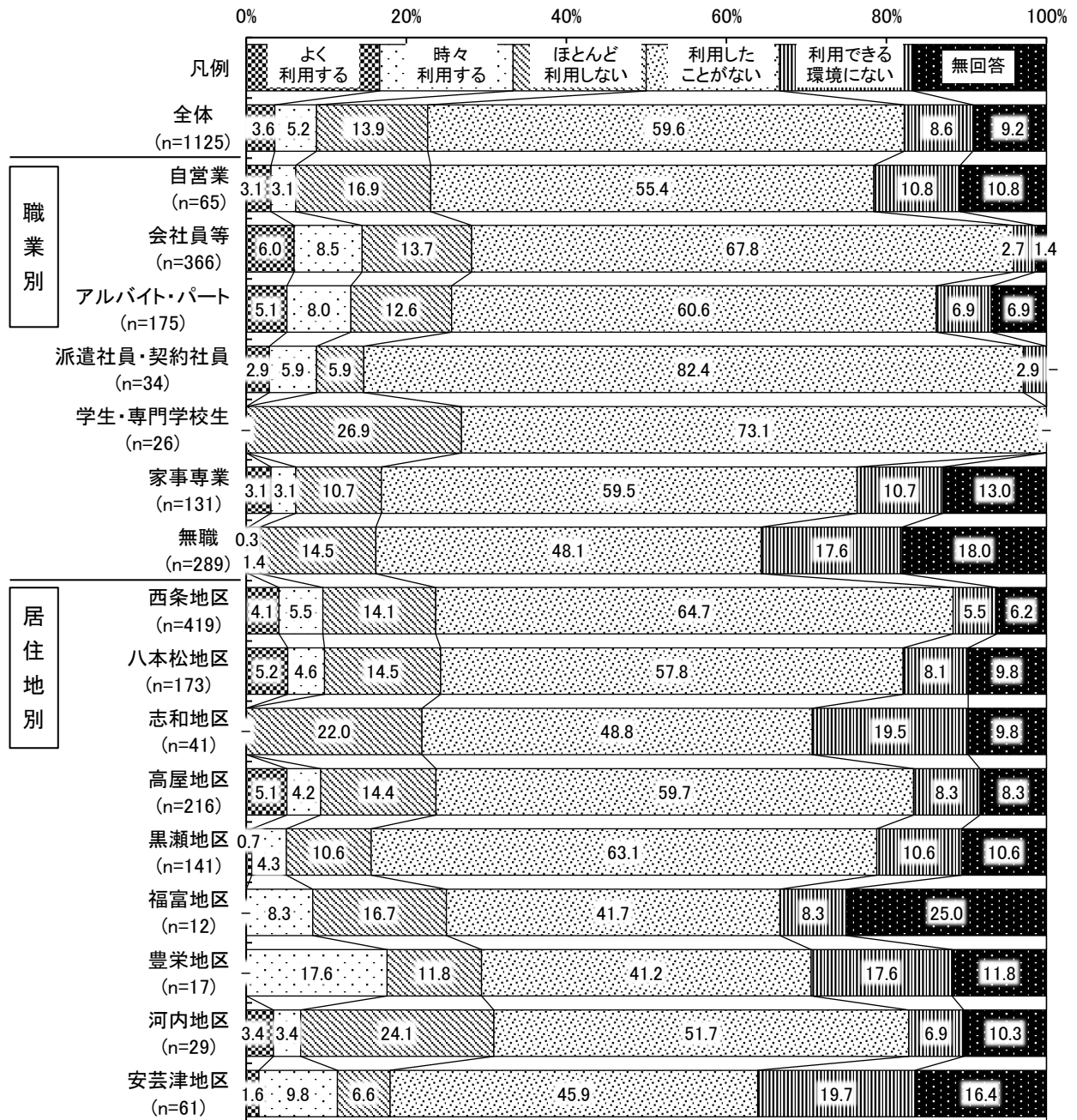


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『会社員等』が14.5%と5.7ポイント全体より高い。「利用できる環境がない」は『無職』が17.6%と9.0ポイント全体より高い。

居住地別では、“利用する”は『豊栄地区』が17.6%と8.8ポイント全体より高い。「利用できる環境がない」は『安芸津地区』が19.7%と11.1ポイント、『志和地区』が19.5%と10.9ポイント、『豊栄地区』が17.6%と9.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図10-13 東広島市の広報の利用状況 ⑥市民ポータルサイト／職業別・居住地別





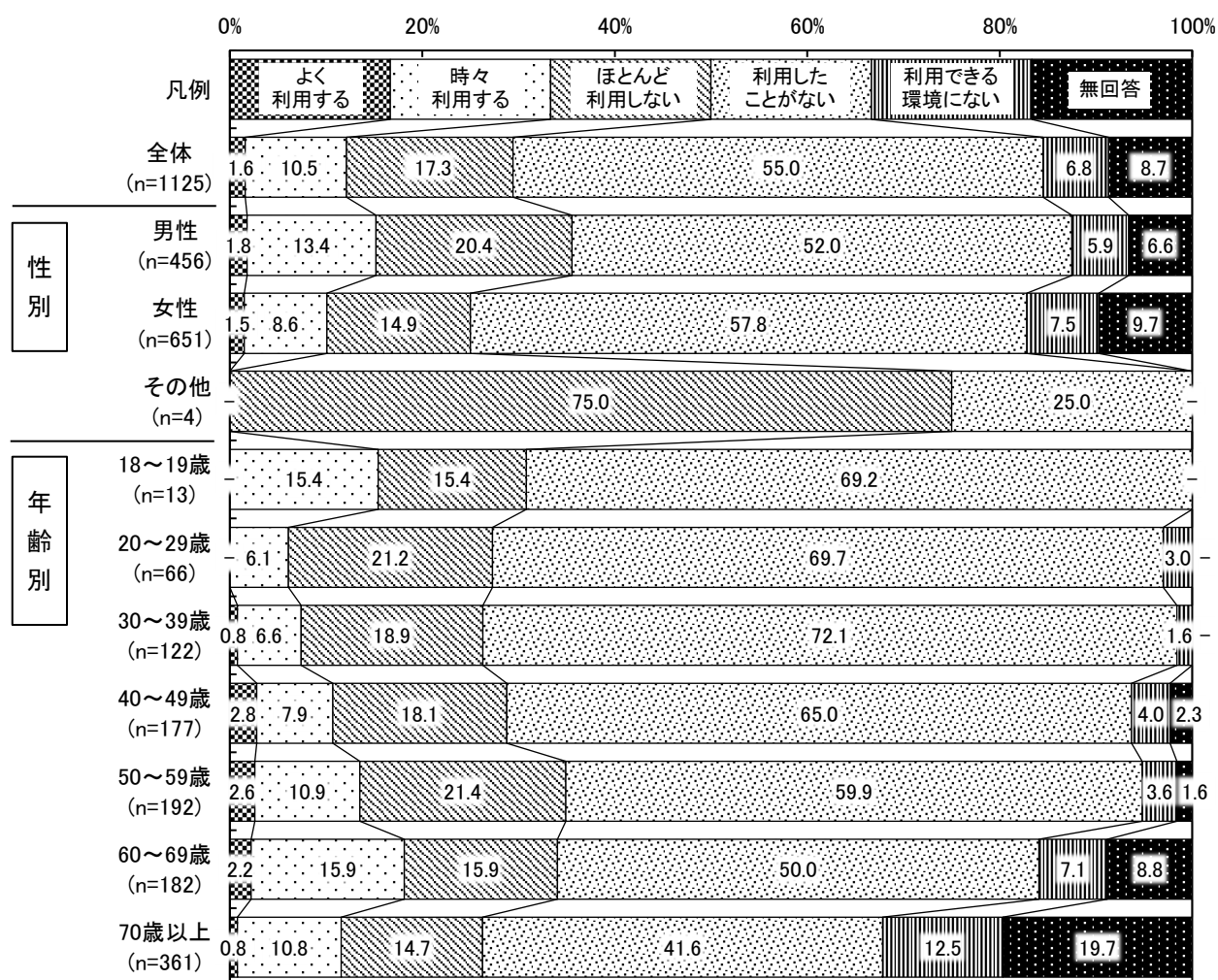
⑦FM東広島「東広島日和」「東広島ライブ」

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』15.2%、『女性』10.1%と『男性』が『女性』より5.1ポイント高い。

年齢別では、“利用する”は『60～69歳』が18.1%と6.0ポイント全体より高い。「利用したことがない」は『30～39歳』が72.1%と17.1ポイント、『20～29歳』が69.7%と14.7ポイント、『40～49歳』が65.0%と10.0ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は41.6%と13.4ポイント全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『70歳以上』が12.5%と5.7ポイント全体より高い。

図10-14 東広島市の広報の利用状況 ⑦FM東広島「東広島日和」「東広島ライブ」／性別・年齢別

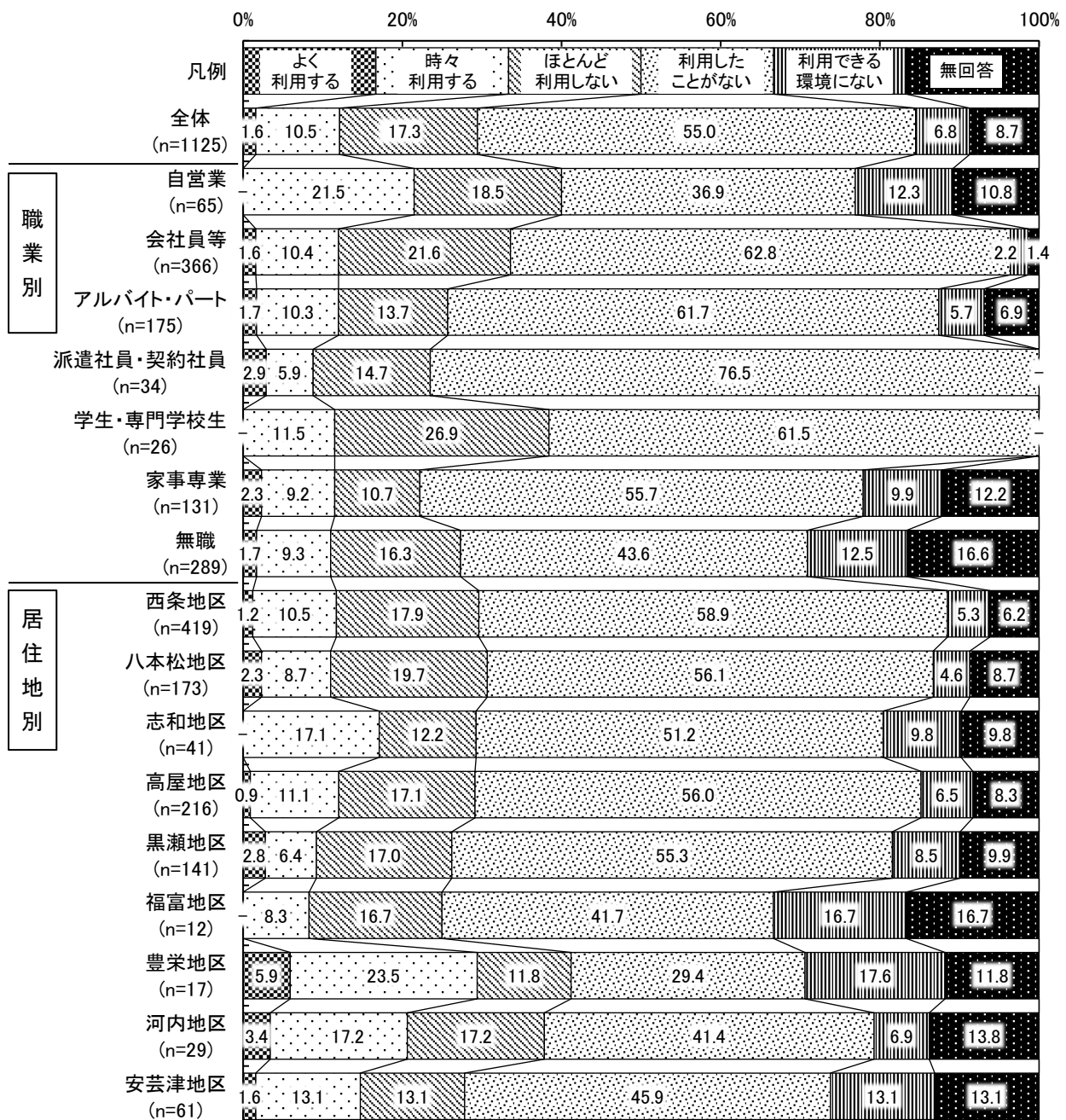


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『自営業』が21.5%と9.4ポイント全体より高い。「利用したことがない」は『会社員等』が62.8%と7.8ポイント、『アルバイト・パート』が61.7%と6.7ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『自営業』が36.9%と18.1ポイント、『無職』が43.6%と11.4ポイント、それぞれ全体より低くなっている。「利用できる環境にない」は『無職』が12.5%と5.7ポイント、『自営業』が12.3%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“利用する”は『豊栄地区』が29.4%と17.3ポイント、『河内地区』が20.6%と8.5ポイント、『志和地区』が17.1%と5.0ポイント、それぞれ全体より高い。「利用できる環境にない」は『豊栄地区』が17.6%と10.8ポイント、『福富地区』が16.7%と9.9ポイント、『安芸津地区』が13.1%と6.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図10-15 東広島市の広報の利用状況 ⑦FM東広島「東広島日和」「東広島ライブ」／職業別・居住地別



⑧KAMONケーブルテレビ「マイタウン東広島」

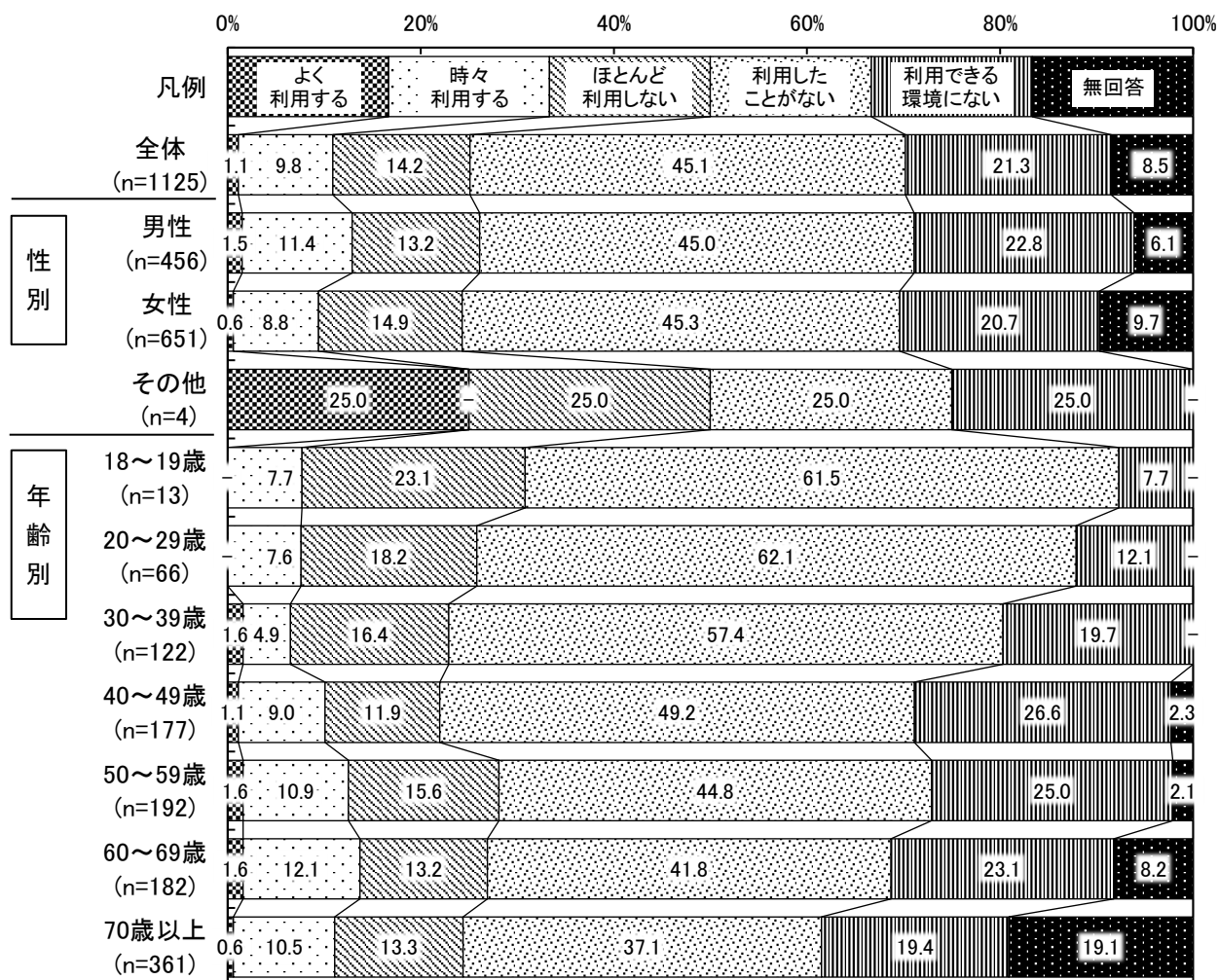
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「利用したことがない」は『20～29歳』が62.1%と17.0ポイント、『30～39歳』が57.4%と12.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図10-16 東広島市の広報の利用状況

⑧KAMONケーブルテレビ「マイタウン東広島」／性別・年齢別



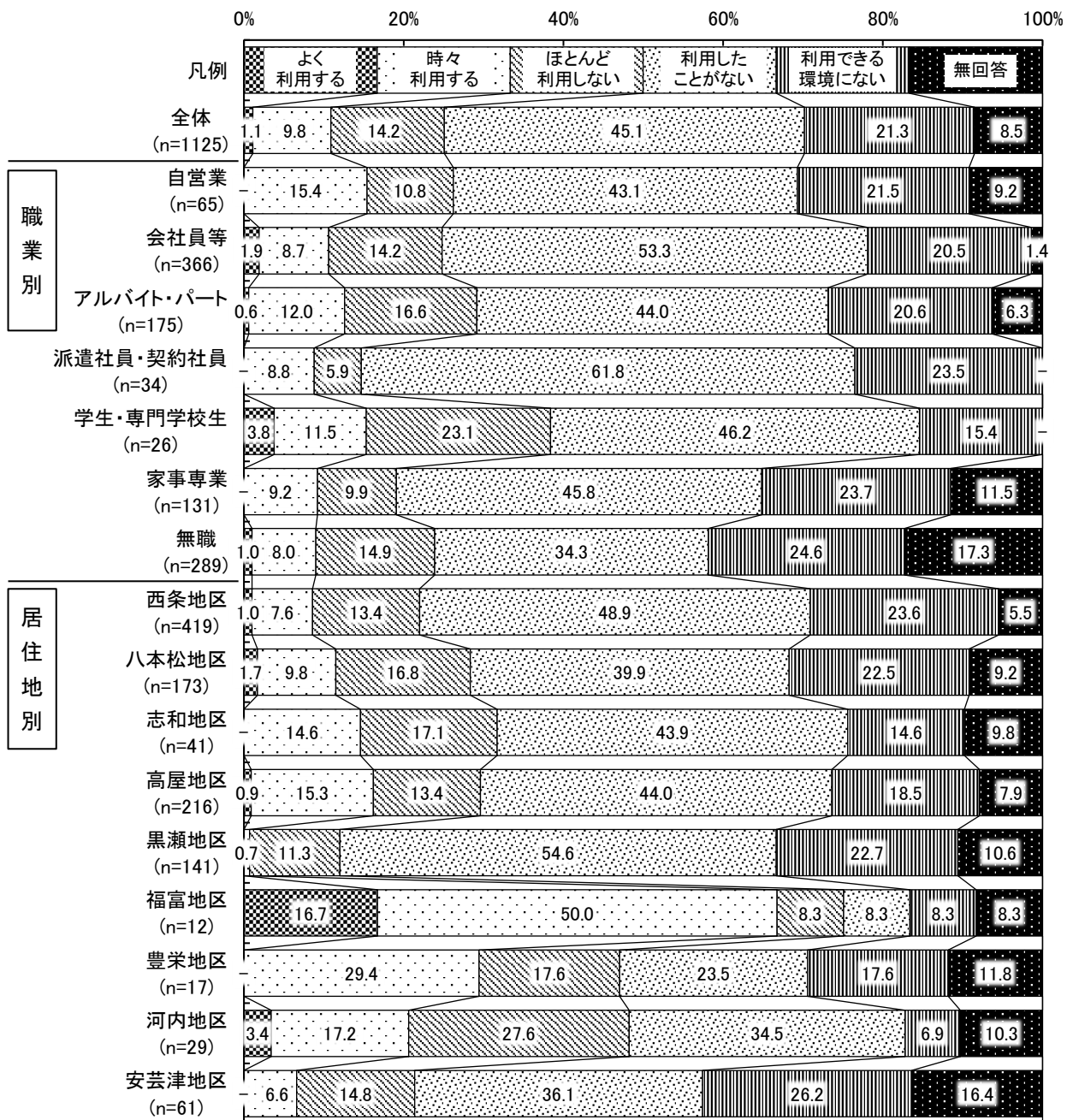
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「時々利用する」は『自営業』が15.4%と5.6ポイント全体より高い。

「利用したことがない」は『会社員等』が53.3%と8.2ポイント全体より高い。一方、『無職』は34.3%と10.8ポイント全体より低くなっている。

居住地別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『福富地区』が66.7%と55.8ポイント、『豊栄地区』が29.4%と18.5ポイント、『河内地区』が20.6%と9.7ポイント、『高屋地区』が16.2%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図10-16 東広島市の広報の利用状況  
⑧KAMONケーブルテレビ「マイタウン東広島」／職業別・居住地別



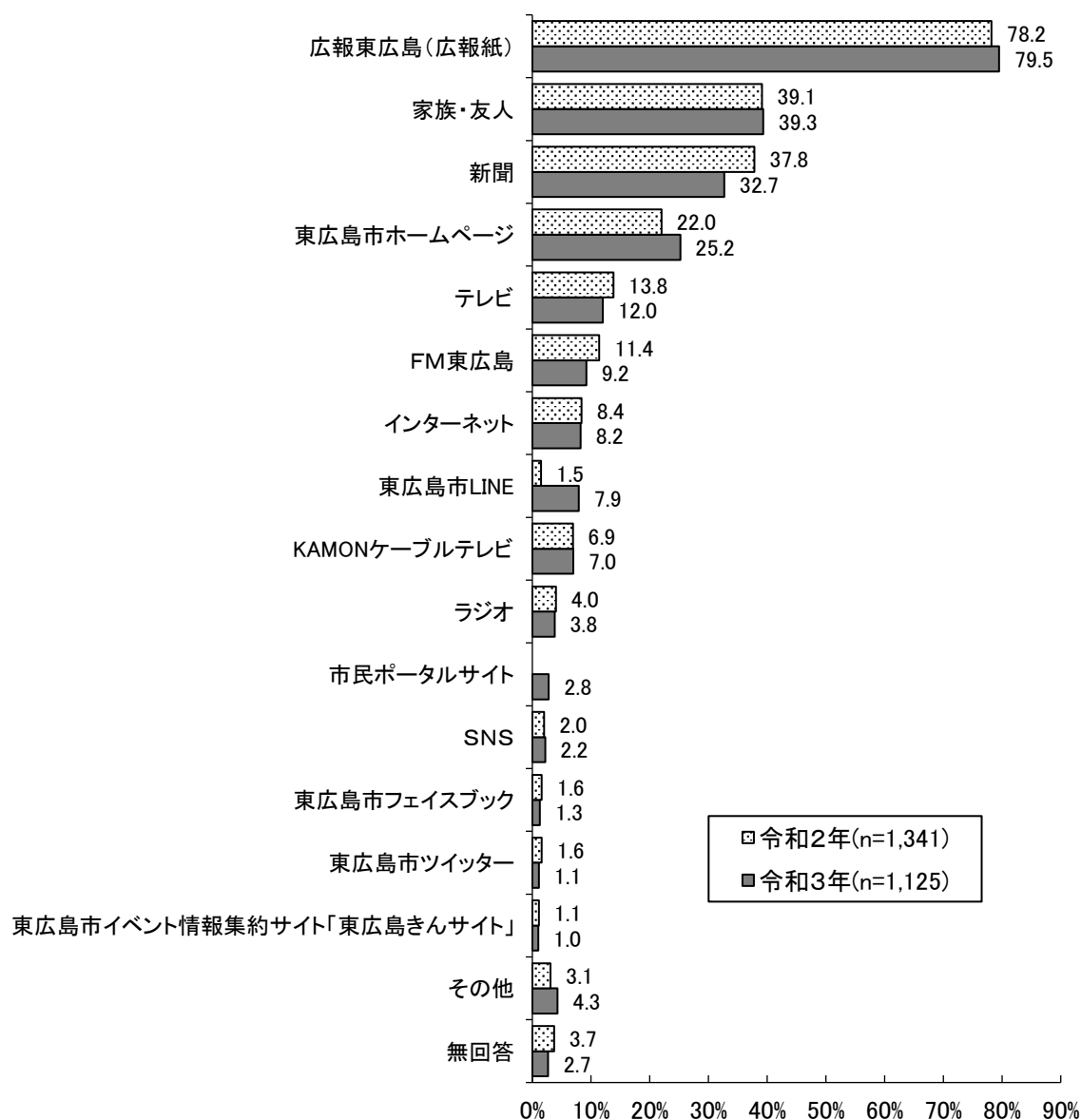
(3) 市政に関する情報等の入手元

問11 東広島市の市政に関する情報や、市が主催するイベント等の情報をどのように入手していますか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

市政に関する情報等の入手元については、「広報東広島(広報紙)」が79.5%と最も高く、次いで、「家族・友人」が39.3%、「新聞」が32.7%、「東広島市ホームページ」が25.2%、「テレビ」が12.0%となっている。

令和2年度調査(前回)との比較では、「東広島市LINE」は1.5%から7.9%と6.4ポイント増加、一方「新聞」は37.8%から32.7%と5.1ポイント減少しており、前回との差が大きい。

図11-1 市政に関する情報等の入手元<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

男女共に「広報東広島」と回答した割合が最も高い。「家族・友人」は『女性』が『男性』より9.4ポイント高く、「東広島市ホームページ」は『男性』が『女性』より7.5ポイント高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「広報東広島」は年齢が上がるほど回答した割合が高くなっており、『70歳以上』が87.0%と7.5ポイント、『60～69歳』が86.3%と6.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「家族・友人」は『20～29歳』が45.5%と6.2ポイント全体より高い。

「新聞」は『70歳以上』が46.5%と13.8ポイント、『60～69歳』が41.8%と9.1ポイント、それぞれ全体より高い。「東広島市ホームページ」は『20～29歳』が37.9%と12.7ポイント全体より高く、以降年齢が上がるほど回答した割合が低くなっている。

「インターネット」は『30～39歳』が18.0%と9.8ポイント、『20～29歳』が13.6%と5.4ポイント、それぞれ全体より高い。「東広島市LINE」は『30～39歳』が21.3%と13.4ポイント、『40～49歳』が16.4%と8.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「市民ポータルサイト」は『30～39歳』が8.2%と5.4ポイント、「SNS」は『20～29歳』が13.6%と11.4ポイント、「東広島市ツイッター」は『20～29歳』が7.6%と6.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表11-1 市政に関する情報等の入手元／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		広報東広島（広報紙）	家族・友人	新聞	東広島市ホームページ	テレビ	F M 東広島	インターネット	東広島市LINE	K A M O N ケーブルテレビ	ラジオ	市民ポータルサイト	S N S	東広島市フェイスブック	東広島市ツイッター	東広島市イベント情報集約サイト「東広島きんサイト」	その他	無回答
全体(n=1125)		79.5	39.3	32.7	25.2	12.0	9.2	8.2	7.9	7.0	3.8	2.8	2.2	1.3	1.1	1.0	4.3	2.7
性別	男性(n=456)	<b>77.0</b>	33.8	34.6	29.8	11.8	11.8	9.6	5.3	9.2	4.6	1.5	2.2	1.1	1.3	1.1	2.9	2.4
	女性(n=651)	<b>81.9</b>	43.2	31.6	22.3	11.8	7.2	7.1	9.8	5.2	3.2	3.8	2.2	1.5	0.9	0.8	5.2	2.6
	その他(n=4)	25.0	50.0	-	50.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	30.8	23.1	38.5	30.8	30.8	7.7	30.8	15.4	-	-	-	23.1	-	7.7	-	-	-
	20～29歳(n=66)	<b>50.0</b>	45.5	18.2	<b>37.9</b>	15.2	1.5	13.6	6.1	4.5	-	1.5	<b>13.6</b>	1.5	7.6	1.5	1.5	1.5
	30～39歳(n=122)	<b>77.0</b>	43.4	10.7	32.8	8.2	3.3	18.0	<b>21.3</b>	1.6	2.5	8.2	5.7	3.3	1.6	1.6	4.9	1.6
	40～49歳(n=177)	<b>76.3</b>	39.0	21.5	34.5	12.4	8.5	9.6	16.4	4.0	1.7	6.2	1.1	1.1	-	-	7.9	1.7
	50～59歳(n=192)	<b>78.1</b>	39.6	27.1	32.8	7.8	10.9	9.9	7.8	6.8	8.3	3.1	1.0	0.5	1.6	1.6	5.2	1.6
	60～69歳(n=182)	<b>86.3</b>	33.5	<b>41.8</b>	26.4	16.5	12.6	7.7	3.8	11.0	2.7	1.6	1.1	2.2	0.5	1.1	2.2	2.7
	70歳以上(n=361)	<b>87.0</b>	39.9	<b>46.5</b>	11.6	11.6	10.0	1.9	1.7	8.9	4.4	0.3	-	0.8	-	0.8	3.3	3.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「広報東広島」は『無職』が86.5%と7.0ポイント、『家事専業』が86.3%と6.8ポイント、それぞれ全体より高い。「新聞」についても『無職』が42.6%と9.9ポイント、『家事専業』が38.2%と5.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「東広島市ホームページ」は『会社員等』が40.2%と15.0ポイント、「テレビ」は『アルバイト・パート』が17.1%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「広報東広島」は『高屋地区』が85.6%と6.1ポイント全体より高い。「新聞」は『安芸津地区』が42.6%と9.9ポイント、『福富地区』が41.7%と9.0ポイント、『豊栄地区』が41.2%と8.5ポイント、『黒瀬地区』が39.7%と7.0ポイントと、それぞれ5ポイント以上全体より高い。

「東広島市ホームページ」は『西条地区』が31.7%と6.5ポイント、「テレビ」は『志和地区』が22.0%と10.0ポイント、「FM東広島」は『豊栄地区』が23.5%と14.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。「KAMONケーブルテレビ」は『福富地区』が58.3%と51.3ポイント、『河内地区』が24.1%と17.1ポイント、『豊栄地区』が23.5%と16.5ポイント、『志和地区』が14.6%と7.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「ラジオ」は『志和地区』と『福富地区』が10ポイント以上全体より高くなっている。

表11-2 市政に関する情報等の入手元／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		広報東広島 (広報紙)	家族・友人	新聞	東広島市ホームページ	テレビ	FM東広島	インターネット	東広島市LINE	KAMONケーブルテレビ	ラジオ	市民ポータルサイト	SNS	東広島市フェイスブック	東広島市ツイッター	東広島市イベント情報集約サイト「東広島きんサイト」	その他	無回答
全体(n=1125)		79.5	39.3	32.7	25.2	12.0	9.2	8.2	7.9	7.0	3.8	2.8	2.2	1.3	1.1	1.0	4.3	2.7
職業別	自営業(n=65)	<b>83.1</b>	29.2	40.0	23.1	7.7	10.8	3.1	6.2	16.9	3.1	-	-	1.5	-	-	4.6	4.6
	会社員等(n=366)	<b>74.6</b>	38.0	24.9	<b>40.2</b>	9.3	8.5	13.1	9.0	5.7	3.3	4.6	2.2	1.4	1.4	1.6	3.6	1.6
	アルバイト・パート(n=175)	<b>81.7</b>	44.0	30.9	16.6	17.1	9.1	6.3	15.4	6.3	3.4	5.7	2.9	1.1	0.6	1.1	7.4	0.6
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>67.6</b>	44.1	17.6	<b>41.2</b>	20.6	2.9	8.8	5.9	2.9	8.8	-	-	2.9	-	-	8.8	5.9
	学生・専門学校生(n=26)	38.5	<b>50.0</b>	23.1	34.6	15.4	3.8	<b>19.2</b>	11.5	7.7	-	-	<b>15.4</b>	-	<b>11.5</b>	-	3.8	-
	家事専業(n=131)	<b>86.3</b>	38.2	38.2	17.6	13.0	9.9	6.9	6.1	3.1	5.3	3.1	3.1	2.3	0.8	0.8	4.6	3.1
	無職(n=289)	<b>86.5</b>	39.1	42.6	14.2	11.8	10.7	3.8	4.2	8.3	4.2	0.3	1.0	0.3	-	0.7	2.4	3.1
地域別	西条地区(n=419)	<b>78.5</b>	38.4	31.3	31.7	9.5	8.6	11.9	9.1	4.5	2.9	3.3	2.6	1.7	1.4	0.2	4.3	1.9
	八本松地区(n=173)	<b>79.2</b>	38.2	26.0	24.9	14.5	9.2	6.4	6.9	5.2	2.9	3.5	2.3	1.2	0.6	1.7	8.1	2.3
	志和地区(n=41)	<b>80.5</b>	41.5	36.6	14.6	<b>22.0</b>	12.2	2.4	2.4	<b>14.6</b>	<b>17.1</b>	-	-	-	-	2.4	2.4	2.4
	高屋地区(n=216)	<b>85.6</b>	43.5	33.3	25.5	11.1	7.4	7.4	10.6	10.6	3.2	3.2	3.7	1.4	1.9	0.9	3.7	1.9
	黒瀬地区(n=141)	<b>78.0</b>	41.1	39.7	19.1	12.8	9.2	8.5	5.7	-	3.5	0.7	1.4	2.1	0.7	0.7	2.1	3.5
	福富地区(n=12)	<b>75.0</b>	25.0	41.7	16.7	16.7	8.3	-	-	<b>58.3</b>	<b>16.7</b>	-	-	-	-	-	8.3	-
	豊栄地区(n=17)	<b>76.5</b>	29.4	41.2	11.8	5.9	<b>23.5</b>	-	11.8	<b>23.5</b>	-	-	-	-	-	5.9	5.9	-
	河内地区(n=29)	<b>75.9</b>	24.1	24.1	17.2	13.8	13.8	3.4	10.3	<b>24.1</b>	6.9	3.4	-	-	-	-	3.4	3.4
	安芸津地区(n=61)	<b>77.0</b>	41.0	42.6	14.8	16.4	6.6	-	3.3	3.3	4.9	4.9	-	-	-	3.3	-	6.6

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 6. 地域コミュニティ活動の参加状況について

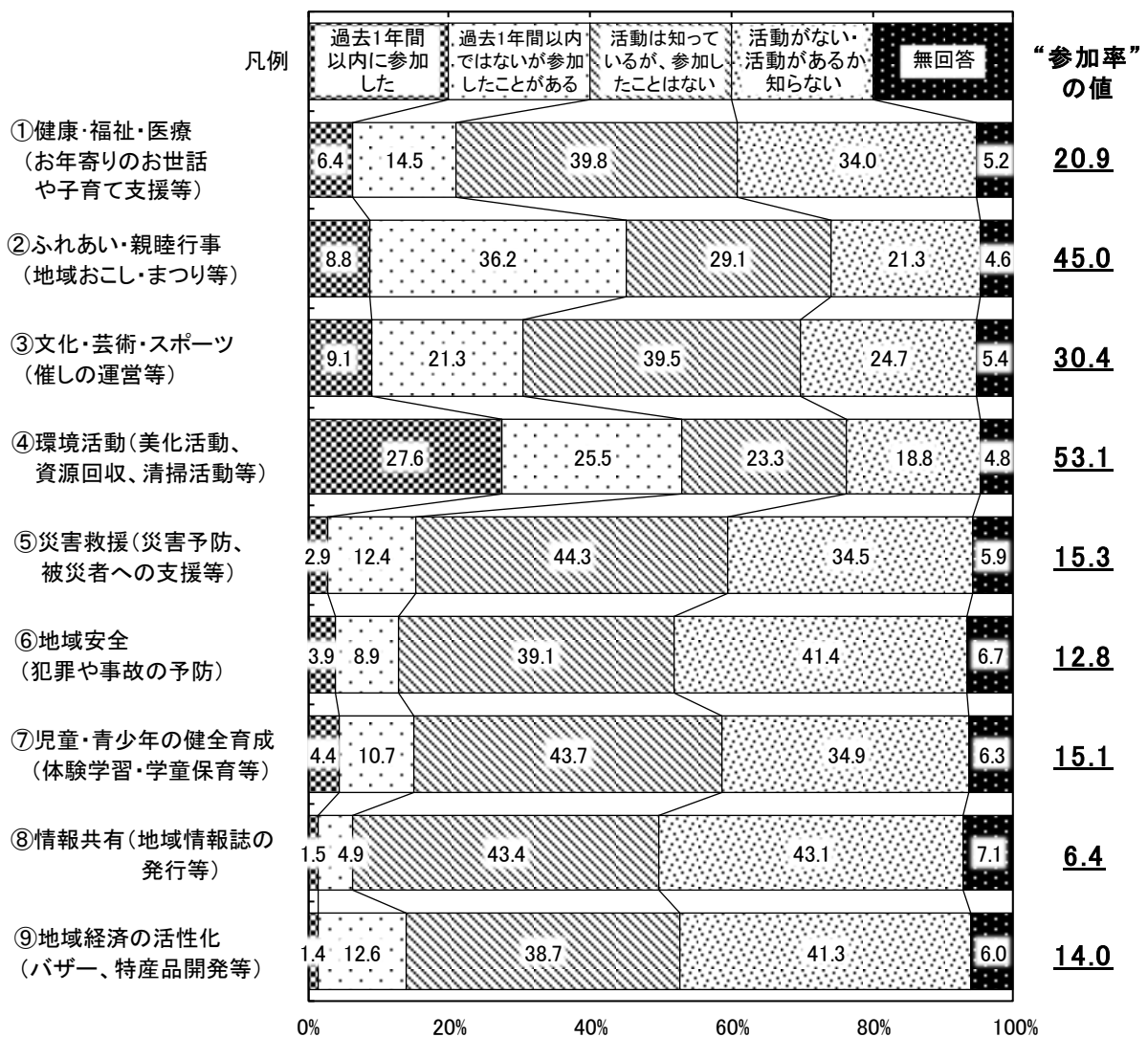
### (1) 地域活動の参加状況

問12 地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

地域コミュニティ活動については、「過去1年間以内に参加した」は『④環境活動』が27.6%で最も高く、その他の項目では1割を下回っている。

“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『④環境活動』が53.1%、『②ふれあい・親睦行事』が45.0%と高い。次いで『③文化・芸術・スポーツ』が30.4%、『①健康・福祉・医療』が20.9%、『⑤災害救援』が15.3%、『⑦児童・青少年の健全育成』が15.1%、『⑨地域経済の活性化』が14.0%、『⑥地域安全』が12.8%、『⑧情報共有』が6.4%となっている。

図12-1 地域活動の参加状況 [n=1, 125]





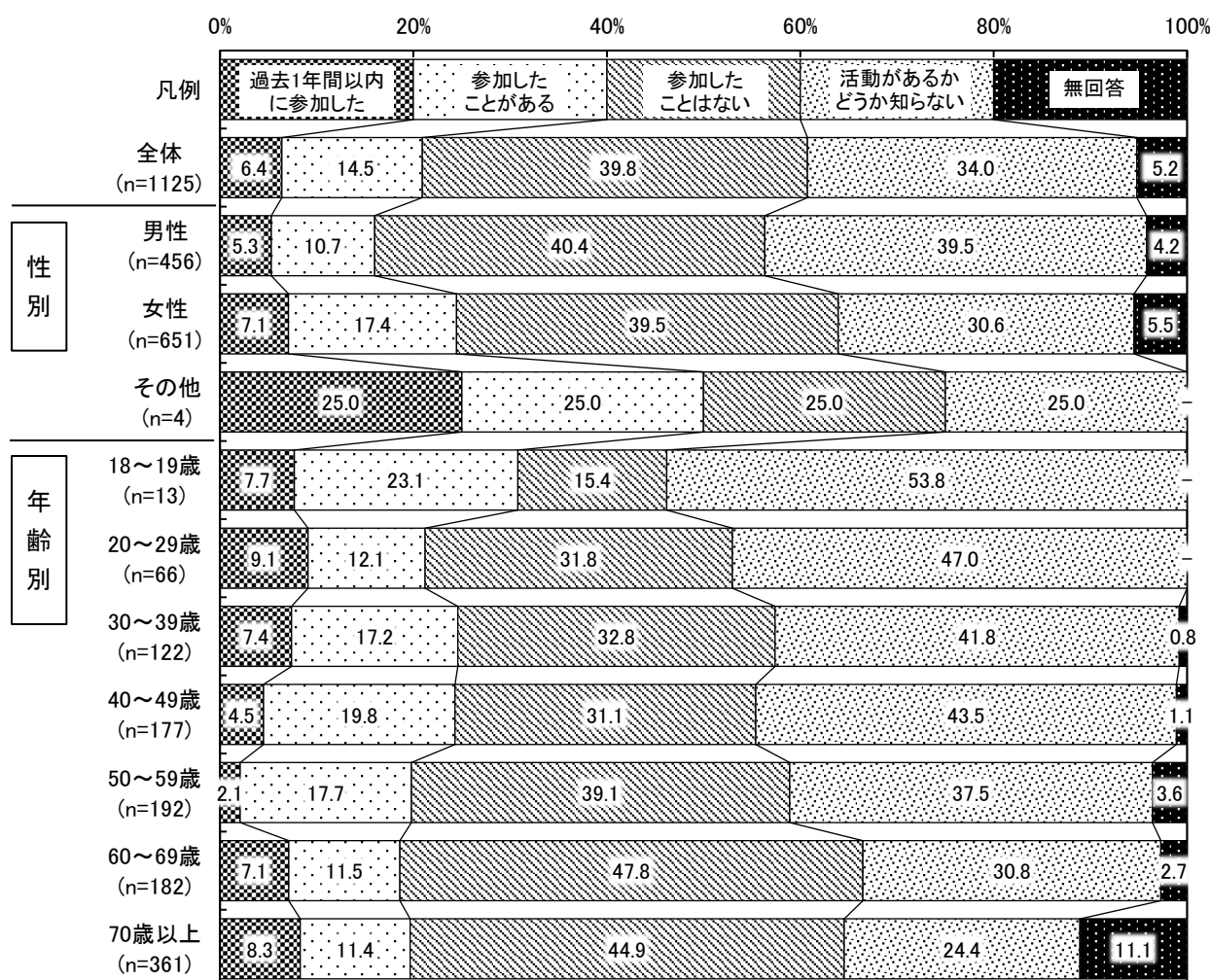
①健康・福祉・医療(お年寄りのお世話や子育て支援等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『女性』24.5%、『男性』16.0%と『女性』が『男性』より8.5ポイント高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『男性』が『女性』より8.9ポイント高い。

年齢別では、“参加率”については顕著な差はないが、「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が47.8%と8.0ポイント、『70歳以上』が44.9%と5.1ポイント、それぞれ全体より高く、60歳以上の年齢層で高くなっている。一方、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は年齢が下がるほど高くなっており、『20～29歳』では47.0%と13.0ポイント全体より高い。

図12-2 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／性別・年齢別

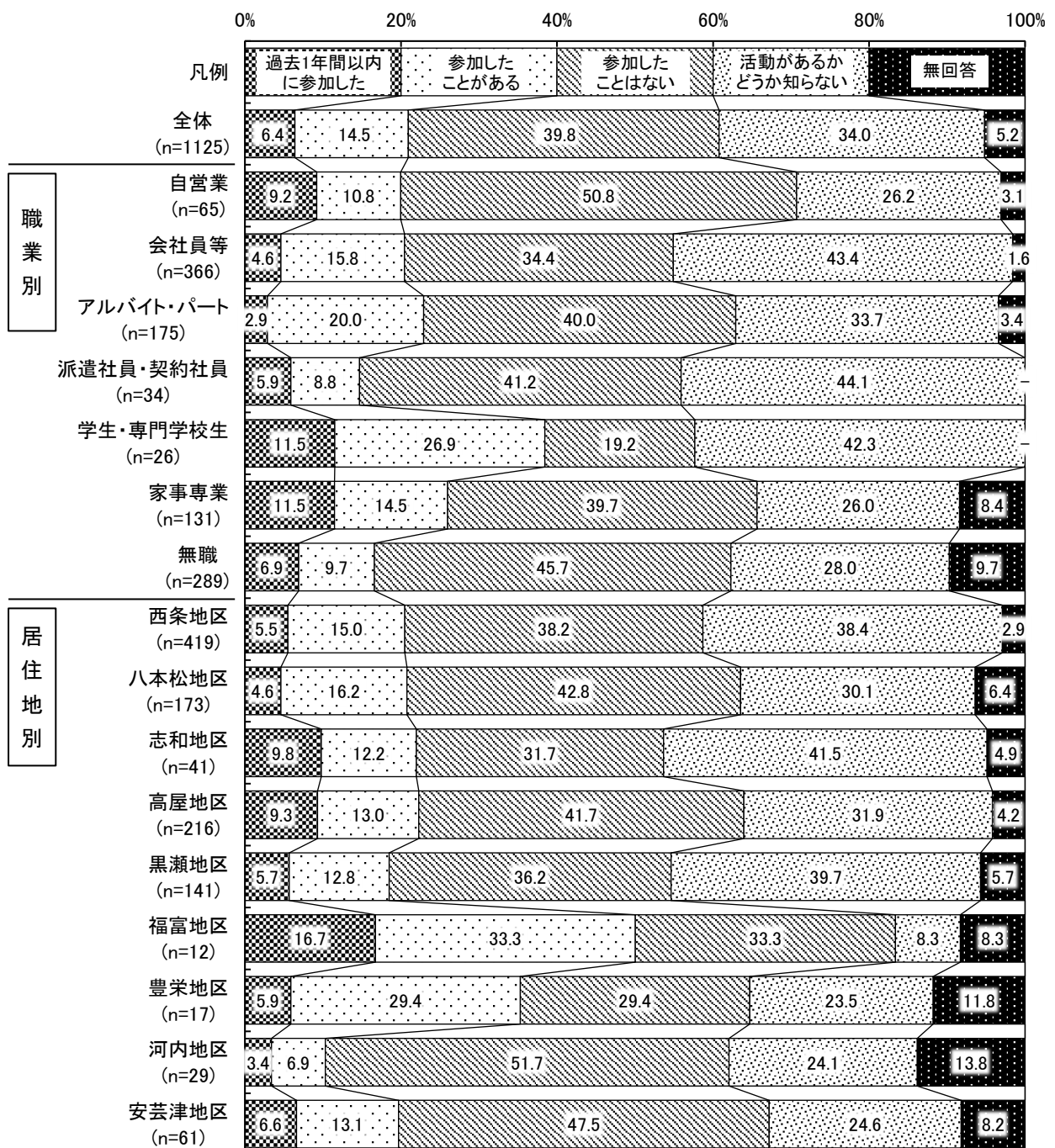


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『家事専業』が26.0%と5.1ポイント全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『自営業』が50.8%と11.0ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が43.4%と9.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『河内地区』が51.7%と11.9ポイント、『安芸津地区』が47.5%と7.7ポイント、それぞれ全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『志和地区』が41.5%と7.5ポイント、『黒瀬地区』が39.7%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-3 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／職業別・居住地別



②ふれあい・親睦行事(地域おこし・まつり等)

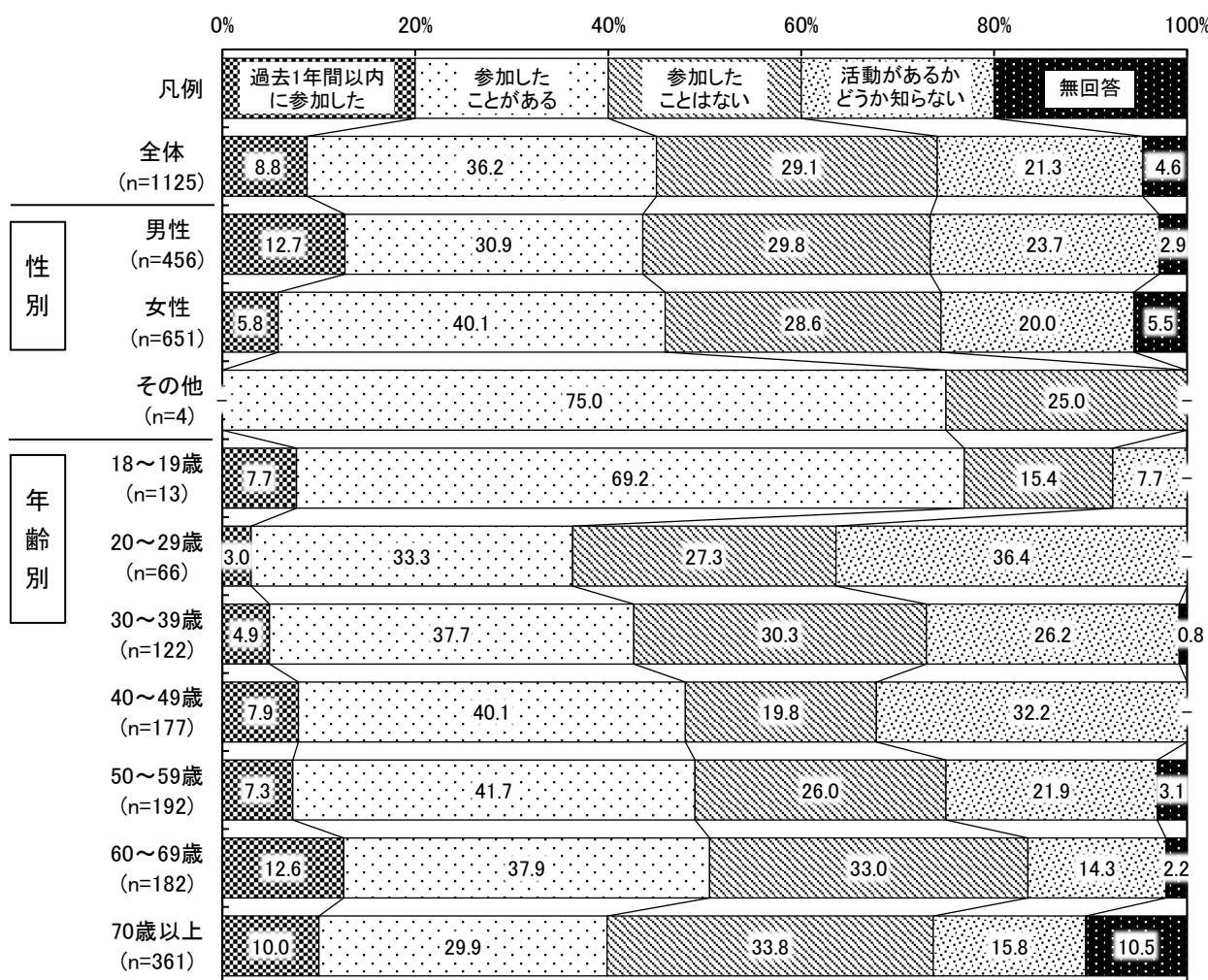
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については顕著な差はないが、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『女性』が『男性』より9.2ポイント、「過去1年間以内に参加した」は『男性』が『女性』より6.9ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別では、“参加率”は『60～69歳』が50.5%と5.5ポイント全体より高い。

「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『50～59歳』が41.7%と5.5ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が36.4%と15.1ポイント、『40～49歳』が32.2%と10.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-4 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／性別・年齢別



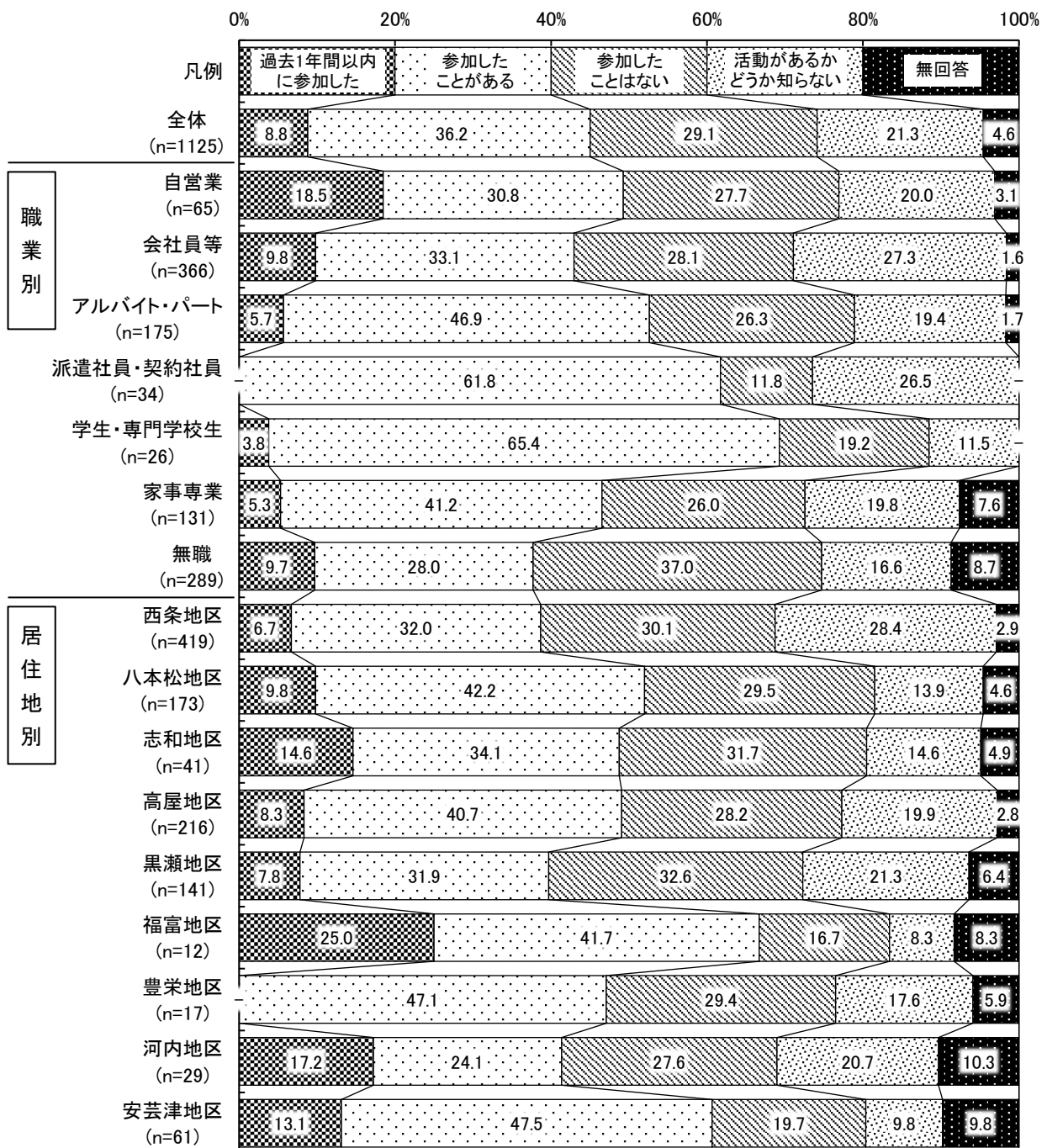
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『アルバイト・パート』が52.6%と7.6ポイント全体より高い。「過去1年以内に参加した」は『自営業』が18.5%と9.7ポイント、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『アルバイト・パート』が46.9%と10.7ポイント、「活動は知っているが、参加したことはない」は『無職』が37.0%と7.9ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が27.3%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が66.7%と21.7ポイント、『安芸津地区』が60.6%と15.6ポイント、『八本松地区』が52.0%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が28.4%と7.1ポイント全体より高くなっている。

図13-5 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／職業別・居住地別



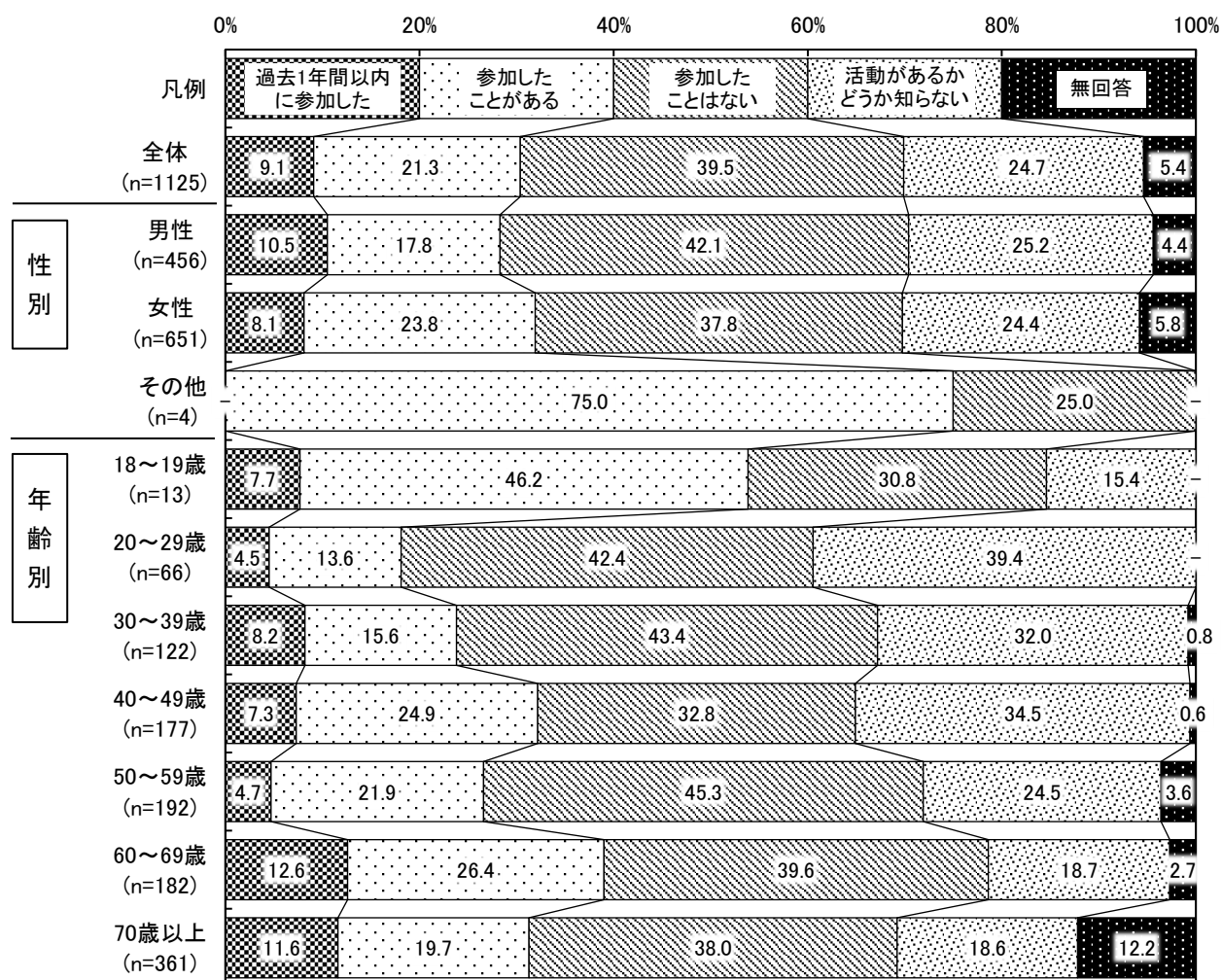
### ③文化・芸術・スポーツ(催しの運営等)

#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については顕著な差はないが、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『女性』が『男性』より6.0ポイント高い。

年齢別では、“参加率”は『60～69歳』が39.0%と全体より8.6ポイント高い。一方、『20～29歳』は18.1%と12.3ポイント全体より低くなっている。「活動は知っているが、参加したことはない」は『50～59歳』が45.3%と5.8ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が39.4%と14.7ポイント全体より高く、各年齢層の中で最も高くなっている。

図13-6 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ/性別・年齢別



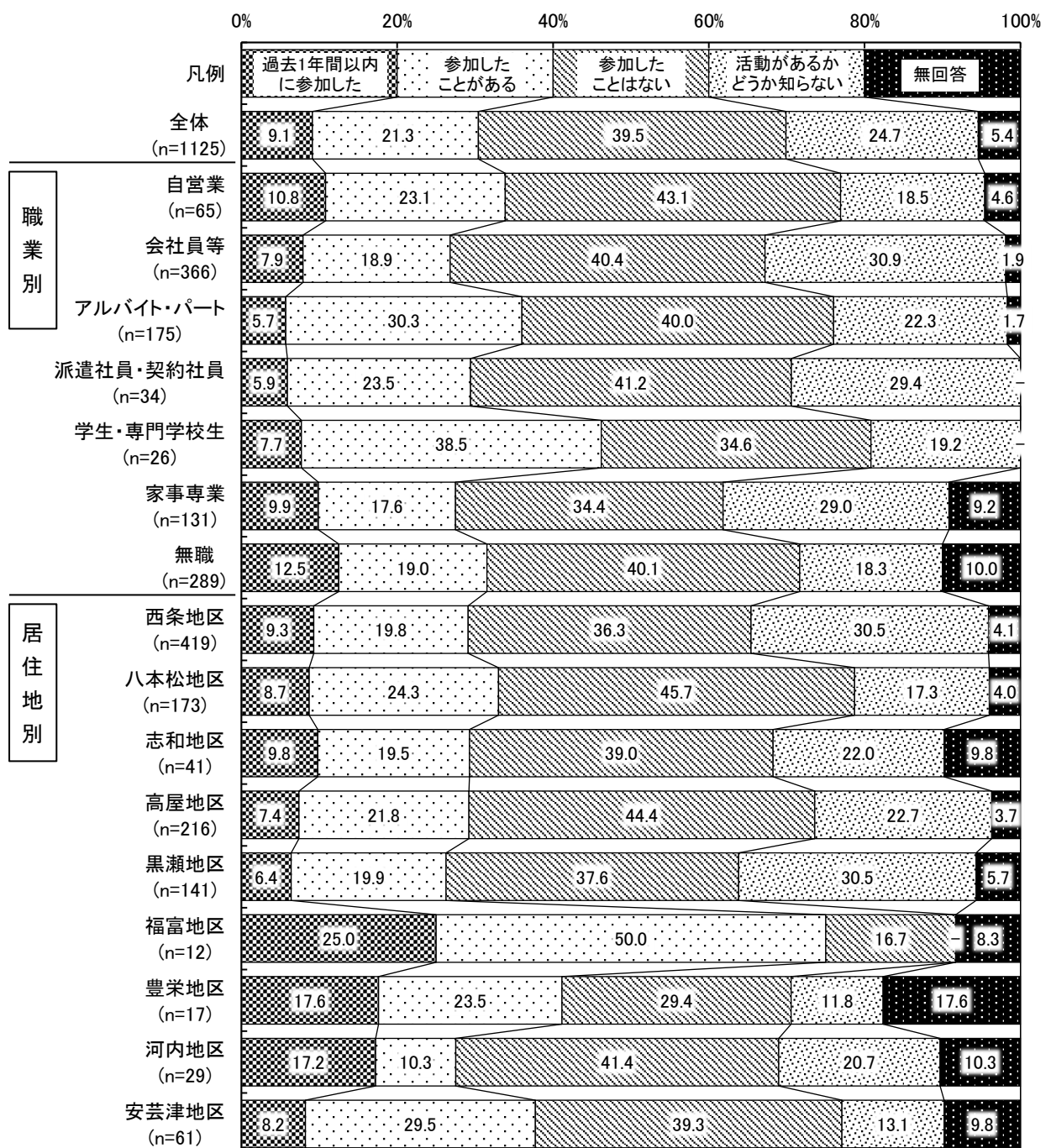
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『アルバイト・パート』が36.0%と5.6ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が30.9%と6.2ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が75.0%と44.6ポイント、『豊栄地区』が41.1%と10.7ポイント、『安芸津地区』が37.7%と7.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『八本松地区』が45.7%と6.2ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』と『黒瀬地区』が30.5%と5.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-7 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／職業別・居住地別



④環境活動(美化活動、資源回収、清掃活動等)

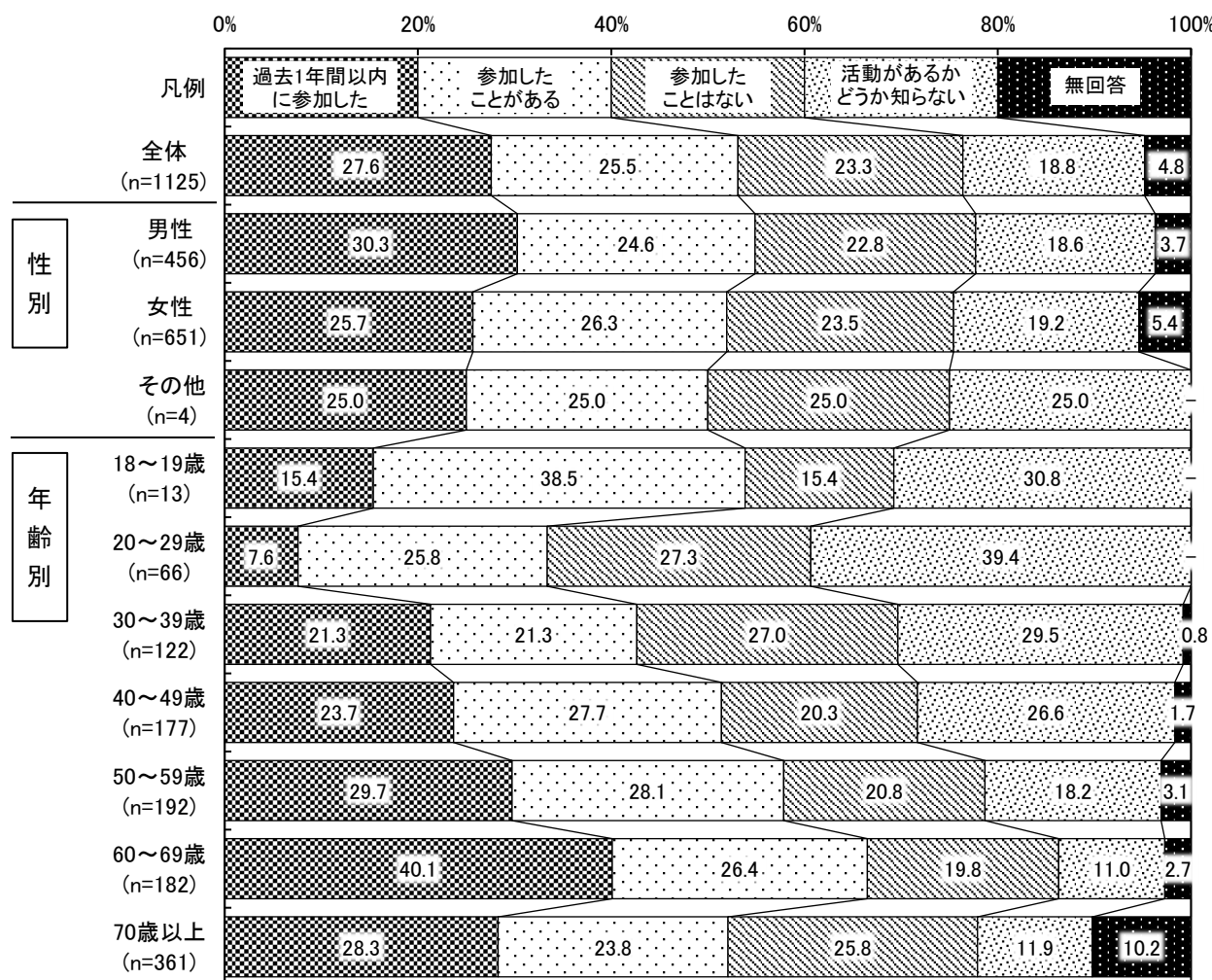
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『60～69歳』が66.5%と13.4ポイント全体より高い。一方『20～29歳』は33.4%と19.7ポイント、『30～39歳』は42.6%と10.5ポイント、それぞれ全体より低い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が39.4%と20.6ポイント、『30～39歳』が29.5%と10.7ポイント、『40～49歳』が26.6%と7.8ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-8 地域活動の参加状況 ④環境活動/性別・年齢別

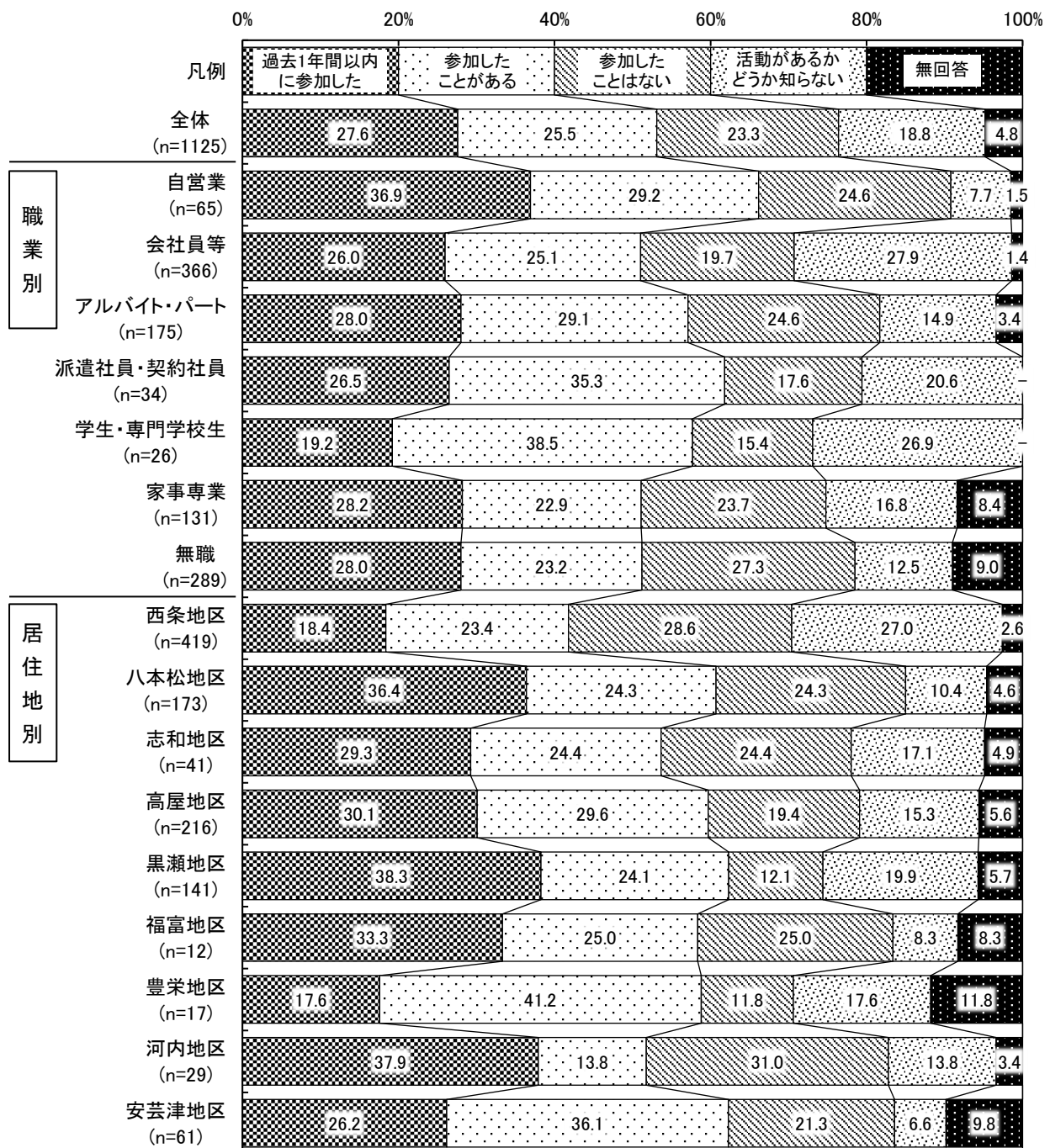


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『自営業』が36.9%と9.3ポイント全体より高く、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『自営業』が66.1%と13.0ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が27.9%と9.1ポイント全体より低い。

居住地別では、“参加率”は『西条地区』が41.8%と11.3ポイント全体より低い。一方、『黒瀬地区』が62.4%、『安芸津地区』が62.3%、『八本松地区』が60.7%、『高屋地区』が59.7%、『豊栄地区』が58.8%、『福富地区』が58.3%と、それぞれ5ポイント以上全体より高くなっている。

図13-9 地域活動の参加状況 ④環境活動／職業別・居住地別





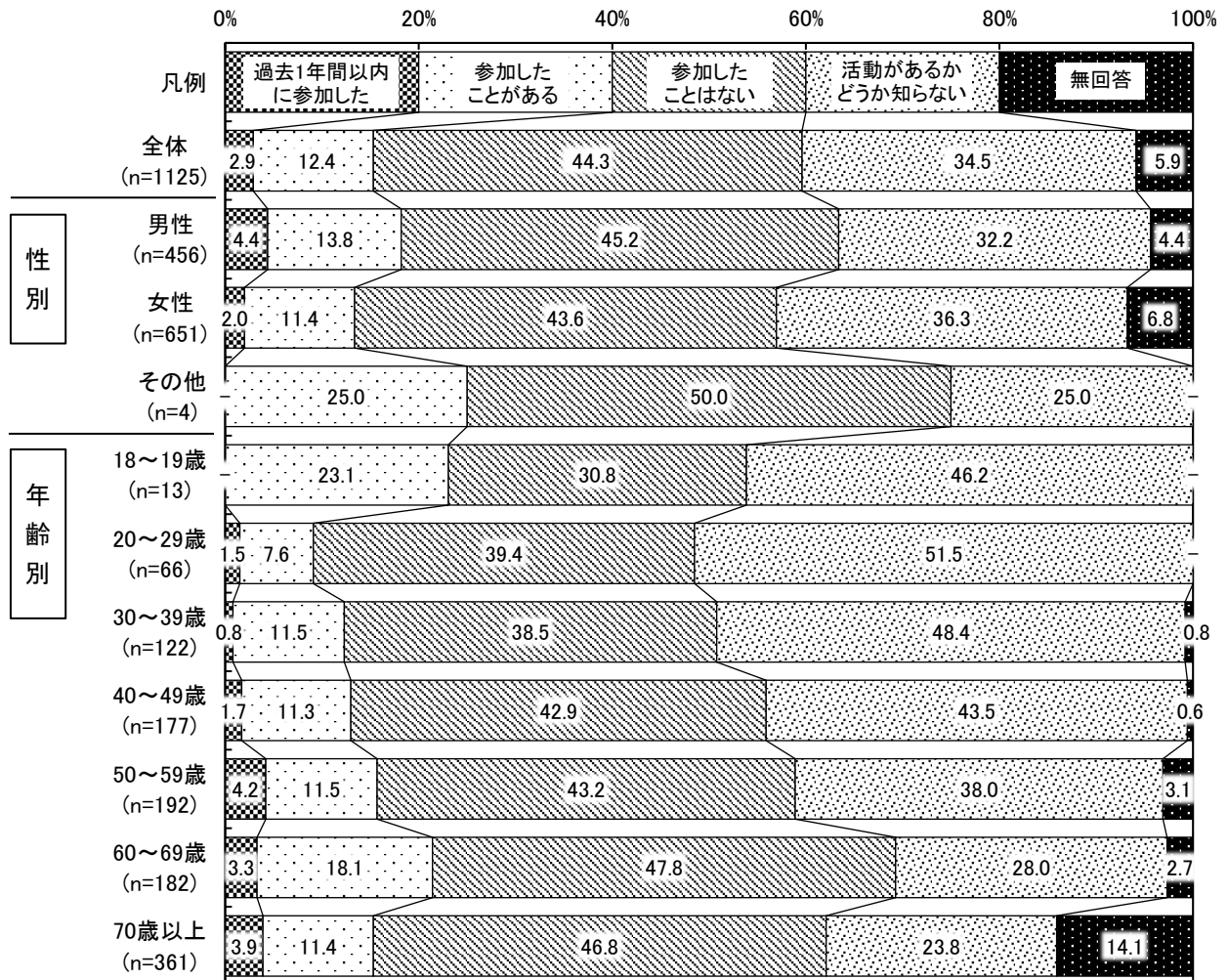
⑤災害救援(災害予防、被災者への支援等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『60～69歳』が21.4%と6.1ポイント全体より高い。一方、『20～29歳』は9.1%と6.2ポイント全体より低くなっている。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が51.5%と17.0ポイント、『30～39歳』が48.4%と13.9ポイント、『40～49歳』が43.5%と9.0ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図13-10 地域活動の参加状況 ⑤災害救援/性別・年齢別

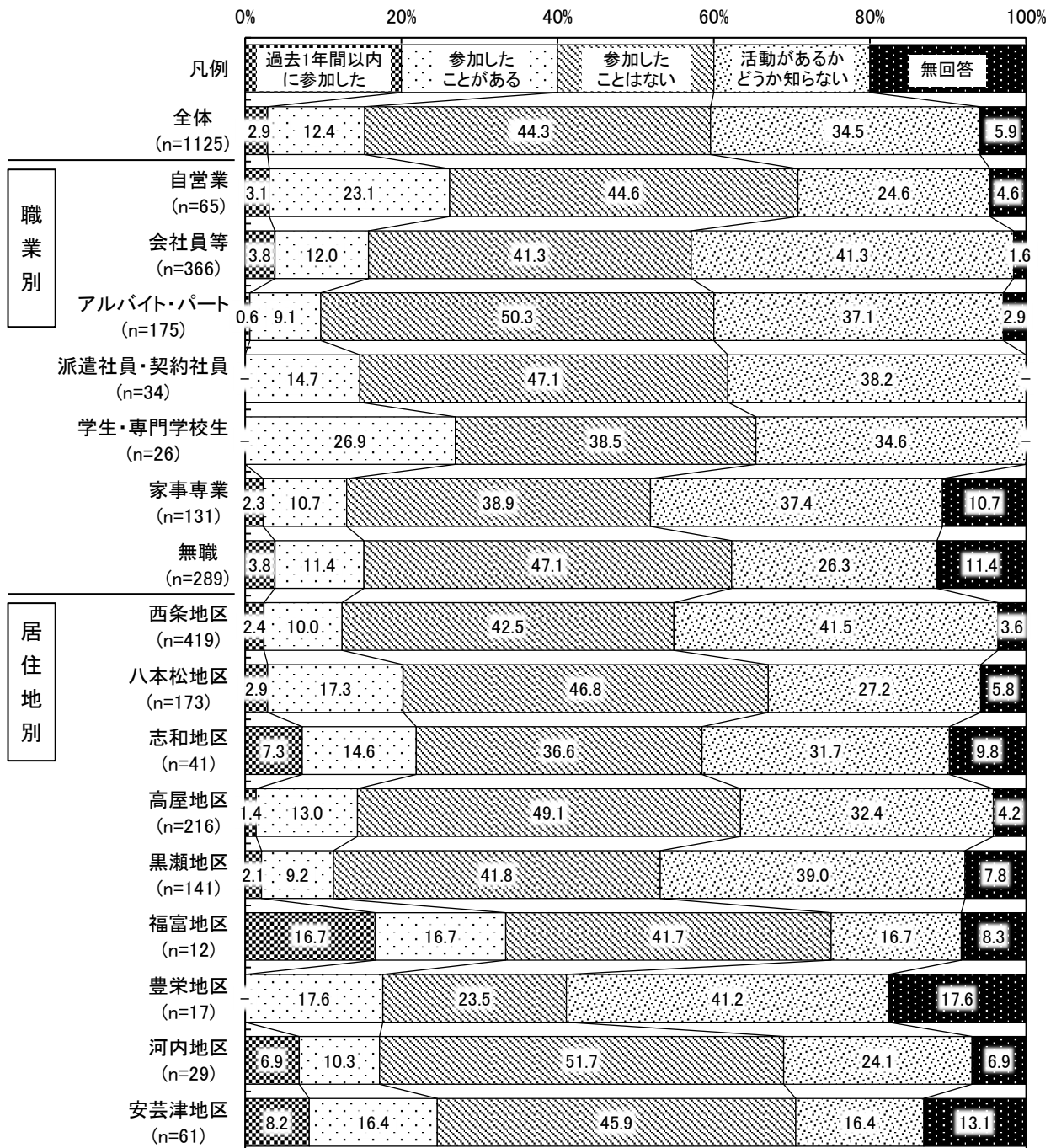


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が26.2%と10.9ポイント全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『アルバイト・パート』が50.3%と6.0ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が41.3%と6.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が33.4%と18.1ポイント、『安芸津地区』が24.6%と9.3ポイント、『志和地区』が21.9%と6.6ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-11 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／職業別・居住地別



⑥地域安全(犯罪や事故の予防)

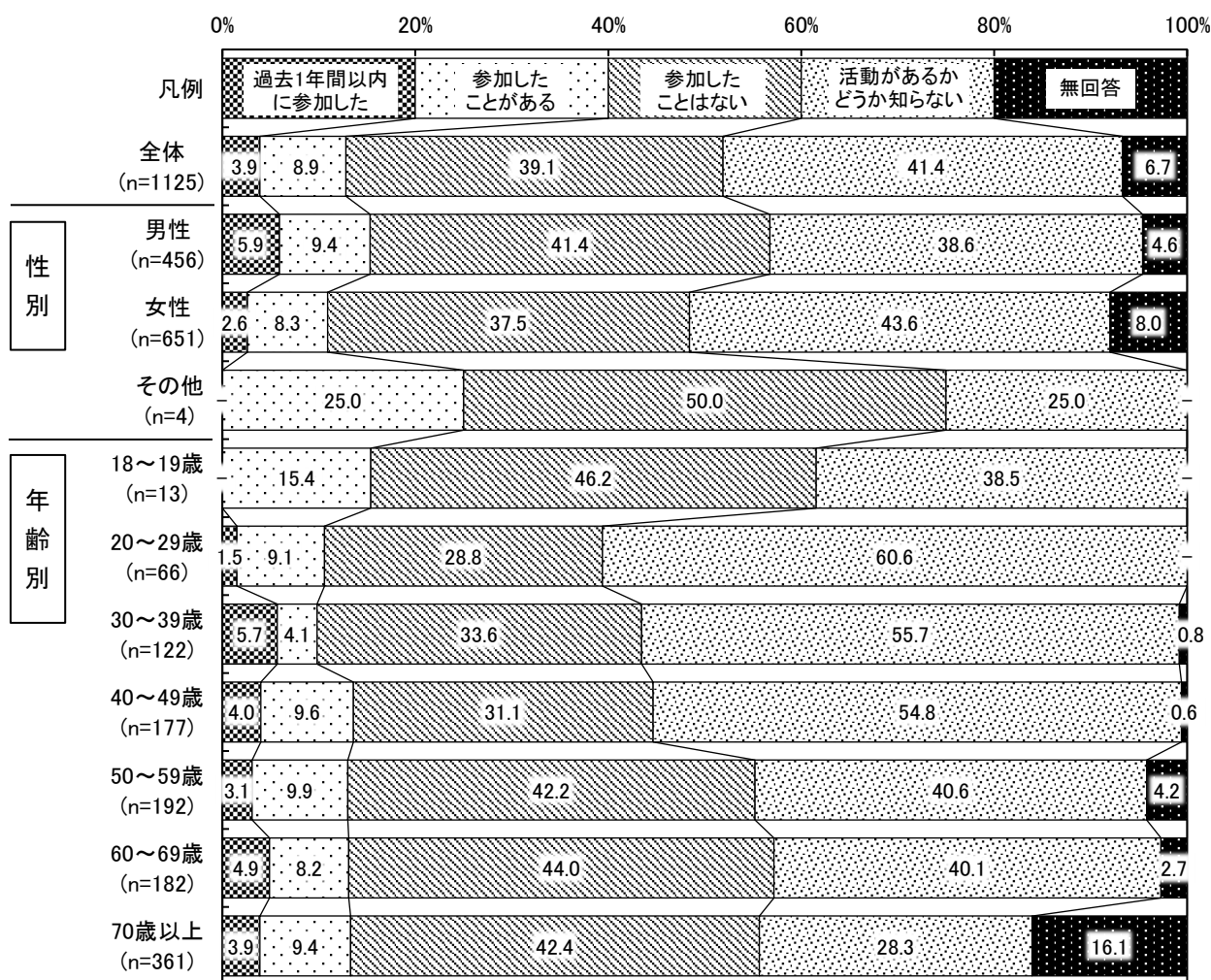
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『女性』が『男性』より5.0ポイント高い。

年齢別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については顕著な差はない。「活動は知っているが、参加したことはない」は『20～29歳』が28.8%と10.3ポイント全体より低く、各年齢層の中で最も低い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が60.6%と19.2ポイント、『30～39歳』が55.7%と14.3ポイント、『40～49歳』が54.8%と13.4ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は28.3%と13.1ポイント全体より低くなっている。

図13-12 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／性別・年齢別

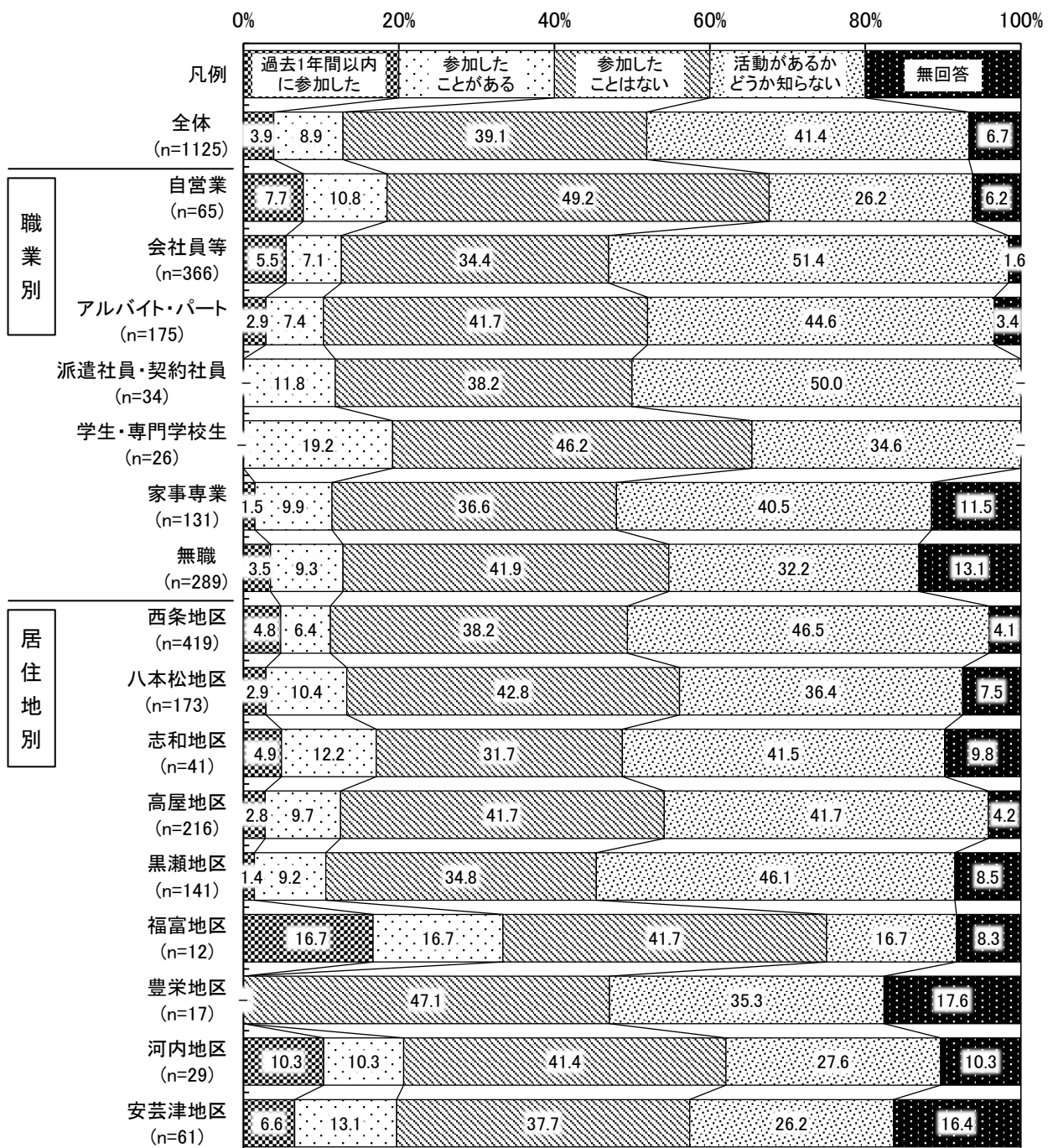


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が18.5%と5.7ポイント全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『自営業』が49.2%と10.1ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が51.4%と10.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が33.4%と20.6ポイント、『河内地区』が20.6%と7.8ポイント、『安芸津地区』が19.7%と6.9ポイント、それぞれ全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『豊栄地区』が47.1%と8.0ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が46.5%と5.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-13 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／職業別・居住地別



⑦児童・青少年の健全育成(体験学習・学童保育等)

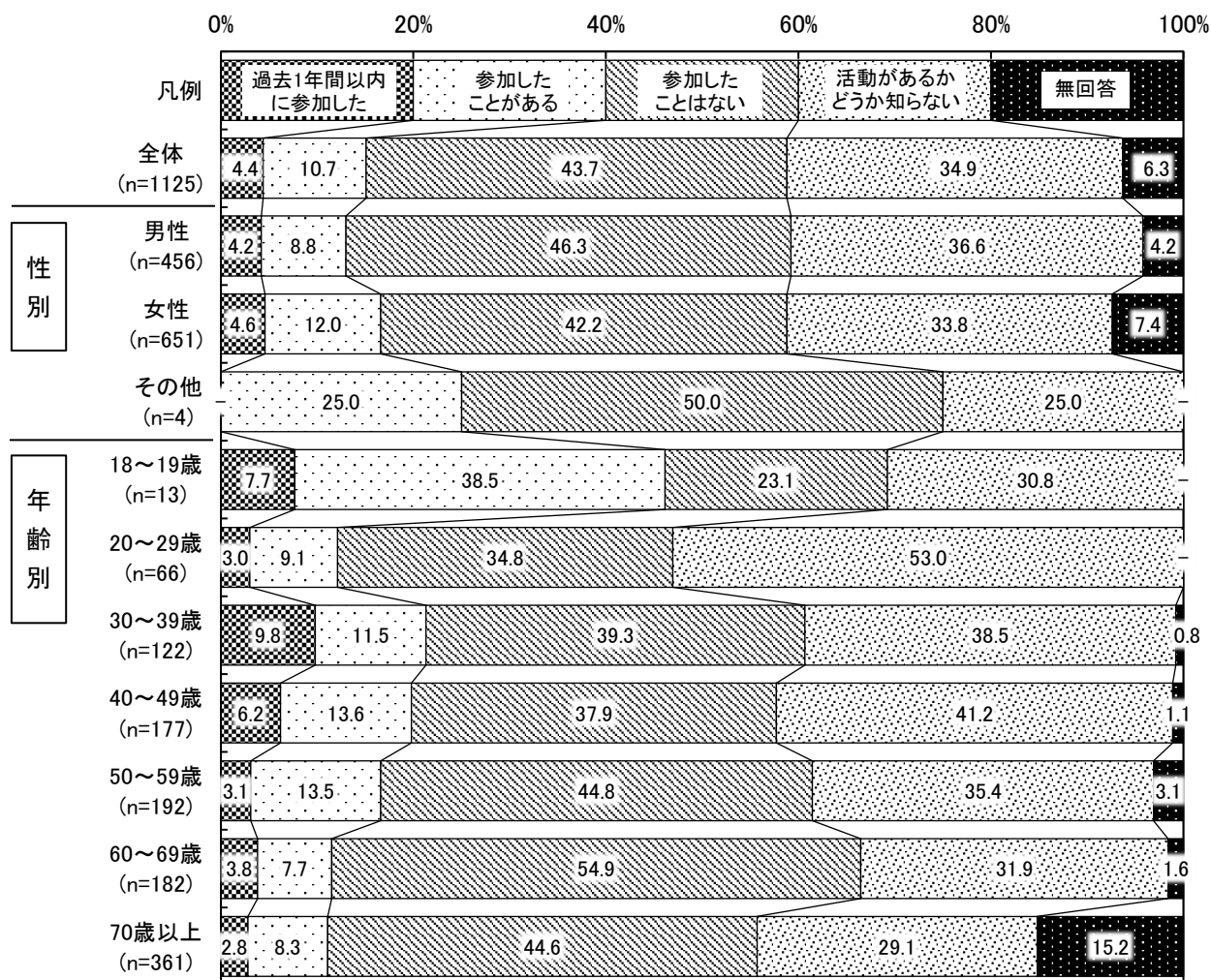
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『30～39歳』が21.3%と6.2ポイント全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が54.9%と11.2ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が53.0%と18.1ポイント、『40～49歳』が41.2%と6.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-14 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／性別・年齢別

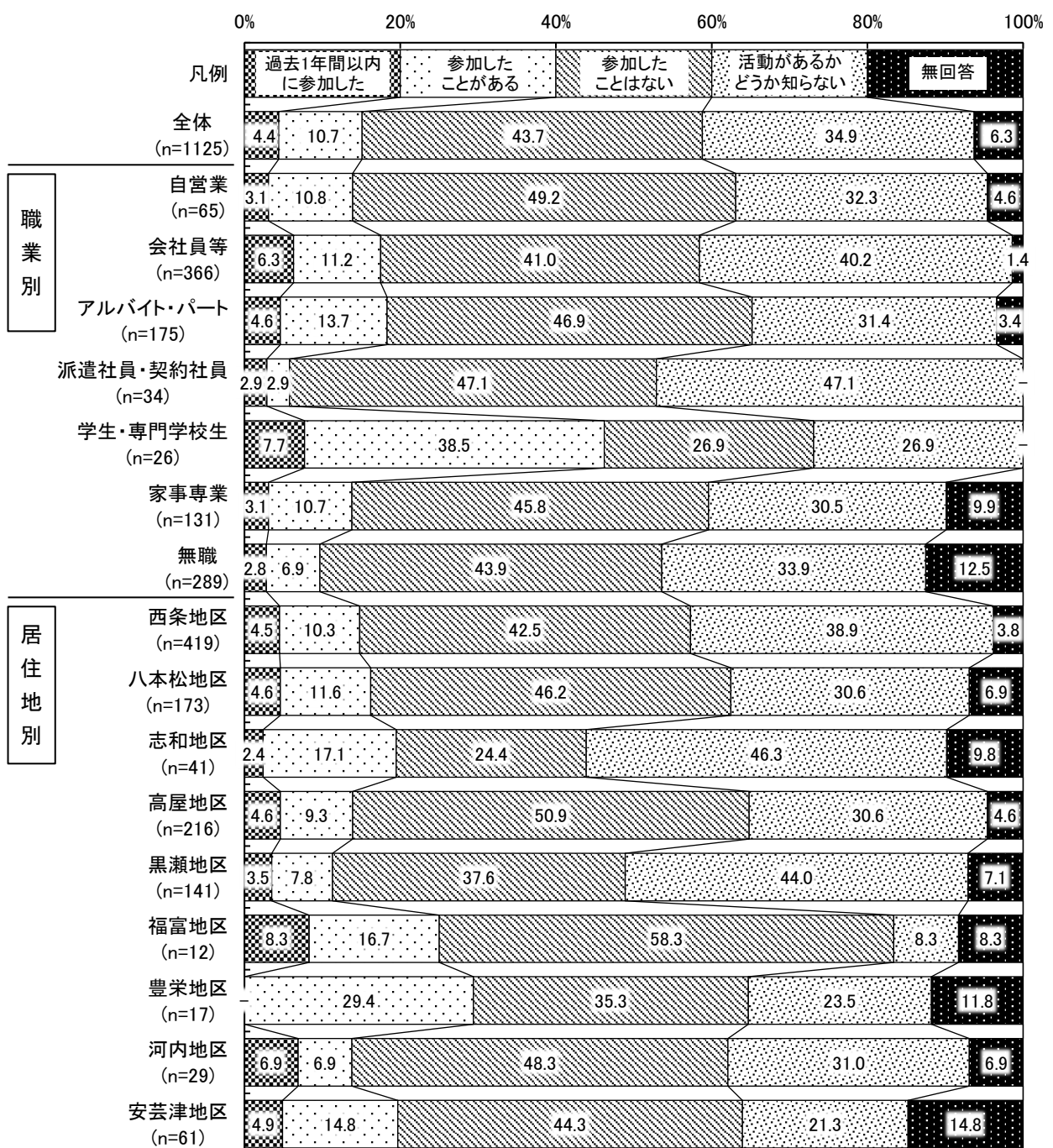


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『自営業』が49.2%と5.5ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が40.2%と5.3ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『豊栄地区』が29.4%と14.3ポイント、『福富地区』が25.0%と9.9ポイント、それぞれ全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が58.3%と14.6ポイント、『高屋地区』が50.9%と7.2ポイント、それぞれ全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『志和地区』が46.3%と11.4ポイント、『黒瀬地区』が44.0%と9.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-15 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／職業別・居住地別



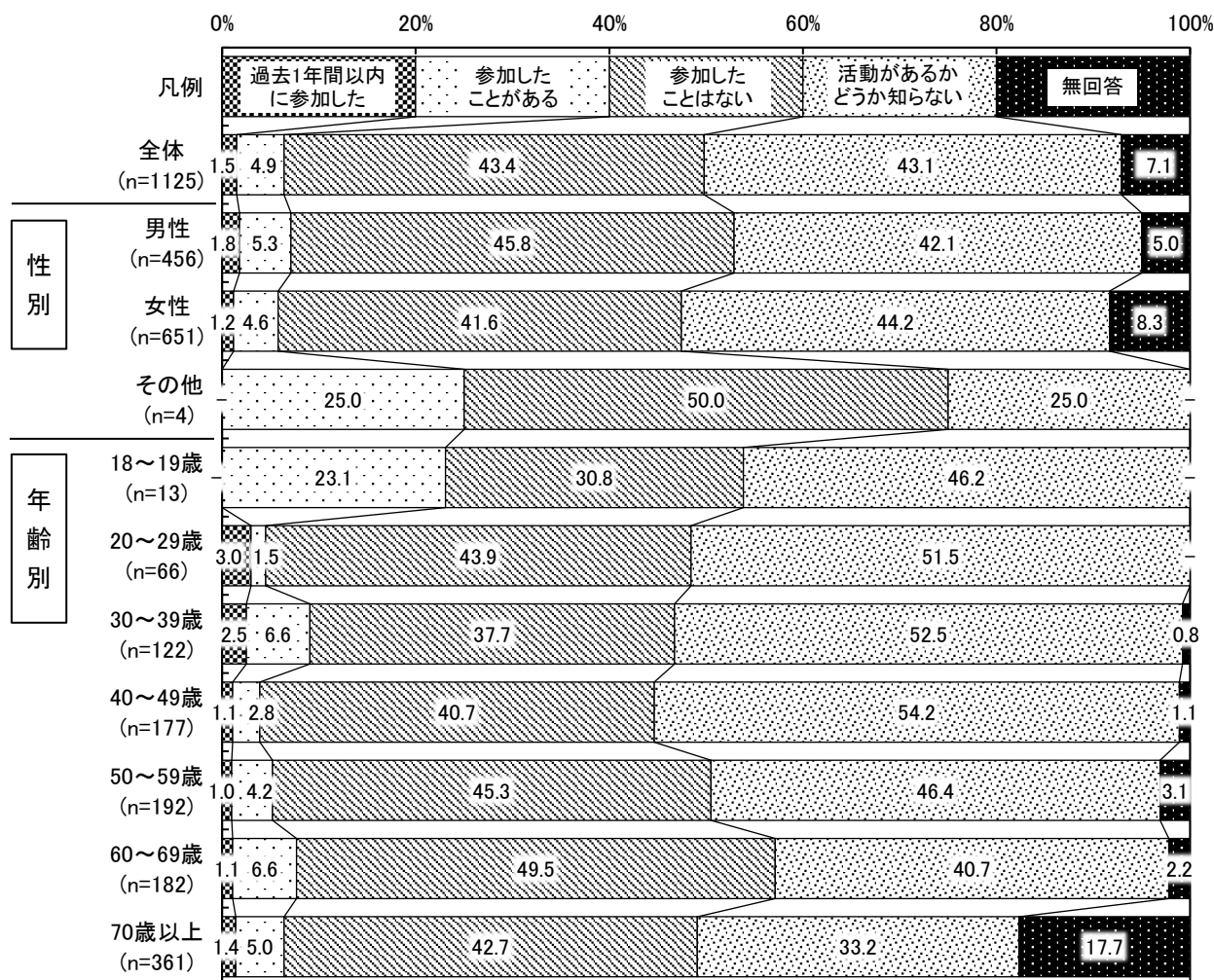
⑧情報共有(地域情報誌の発行等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『40～49歳』が54.2%と11.1ポイント、『30～39歳』が52.5%と9.4ポイント、『20～29歳』が51.5%と8.4ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-16 地域活動の参加状況 ⑧情報共有/性別・年齢別



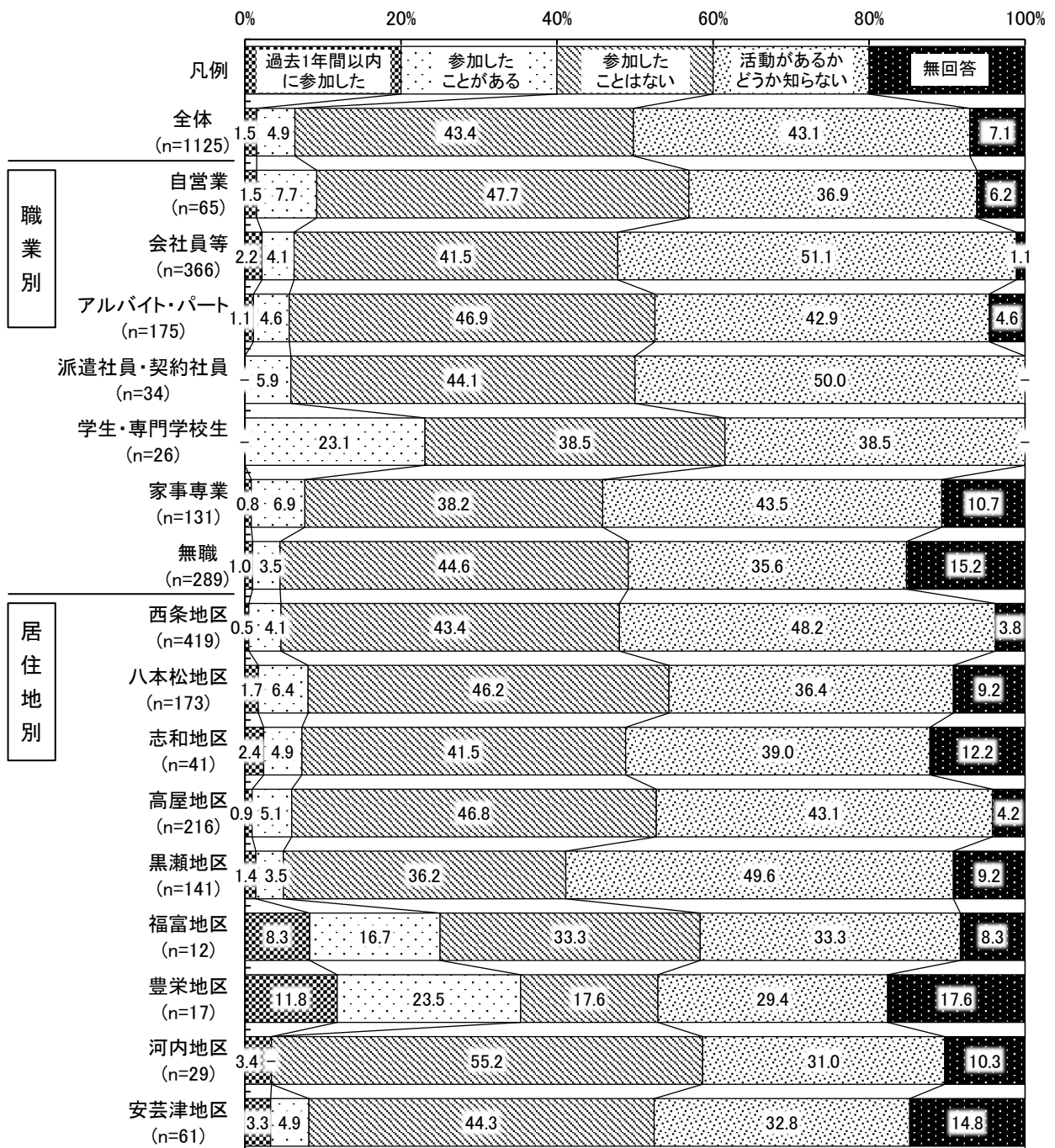
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が51.1%と8.0ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『豊栄地区』が35.3%と28.9ポイント、『福富地区』が25.0%と18.6ポイント、それぞれ全体より高く、これらの2地区以外は1割を下回っている。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『黒瀬地区』が49.6%と6.5ポイント、『西条地区』が48.2%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-17 地域活動の参加状況 ⑧情報共有／職業別・居住地別





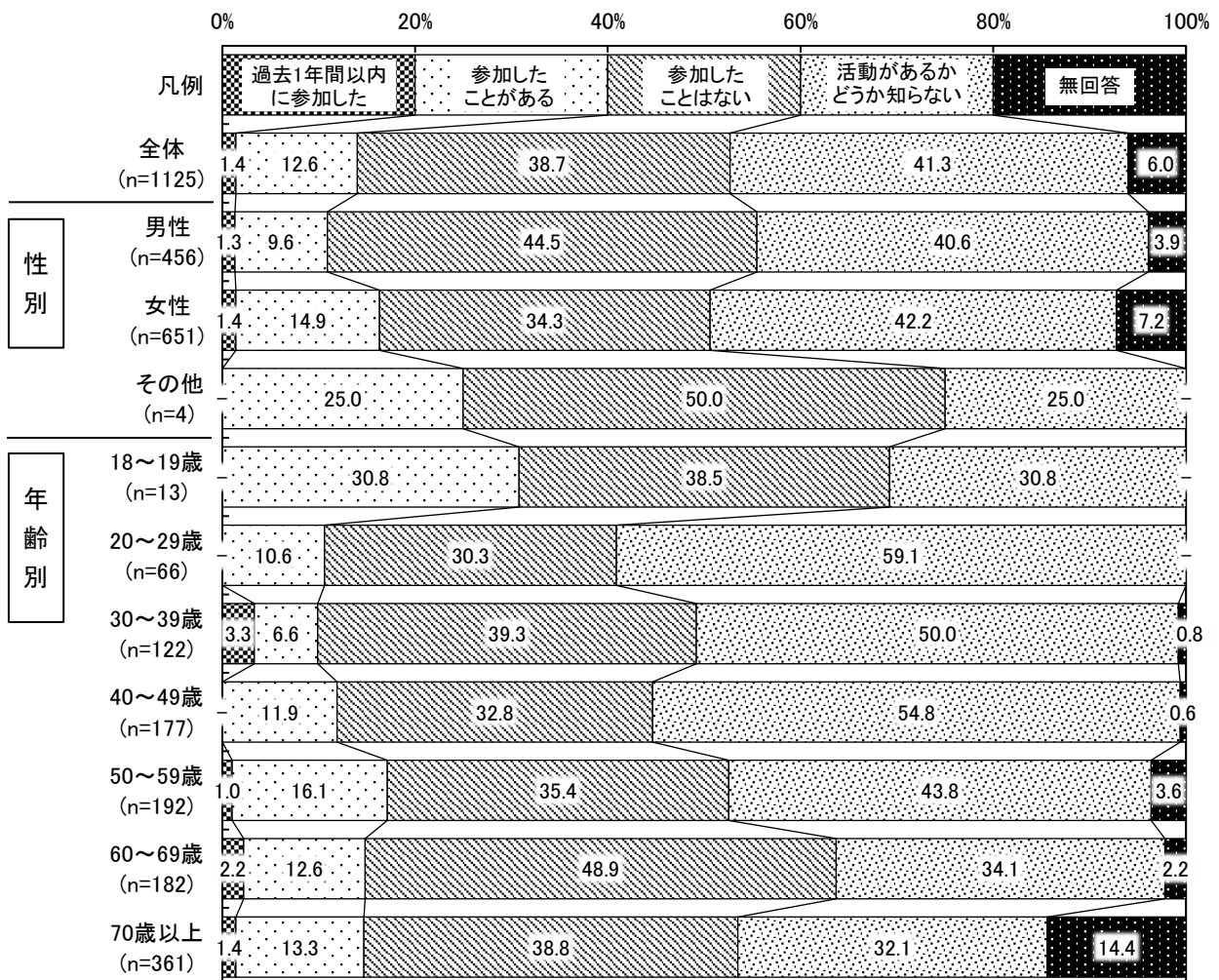
⑨地域経済の活性化(バザー、特産品開発等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『女性』が『男性』より5.3ポイント高い。「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『男性』10.9%、『女性』16.3%と、『女性』が『男性』より5.4ポイント高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』が『女性』より10.2ポイント高くなっている。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が48.9%と10.2ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が59.1%と17.8ポイント、『40～49歳』が54.8%と13.5ポイント、『30～39歳』が50.0%と8.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図13-18 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／性別・年齢別

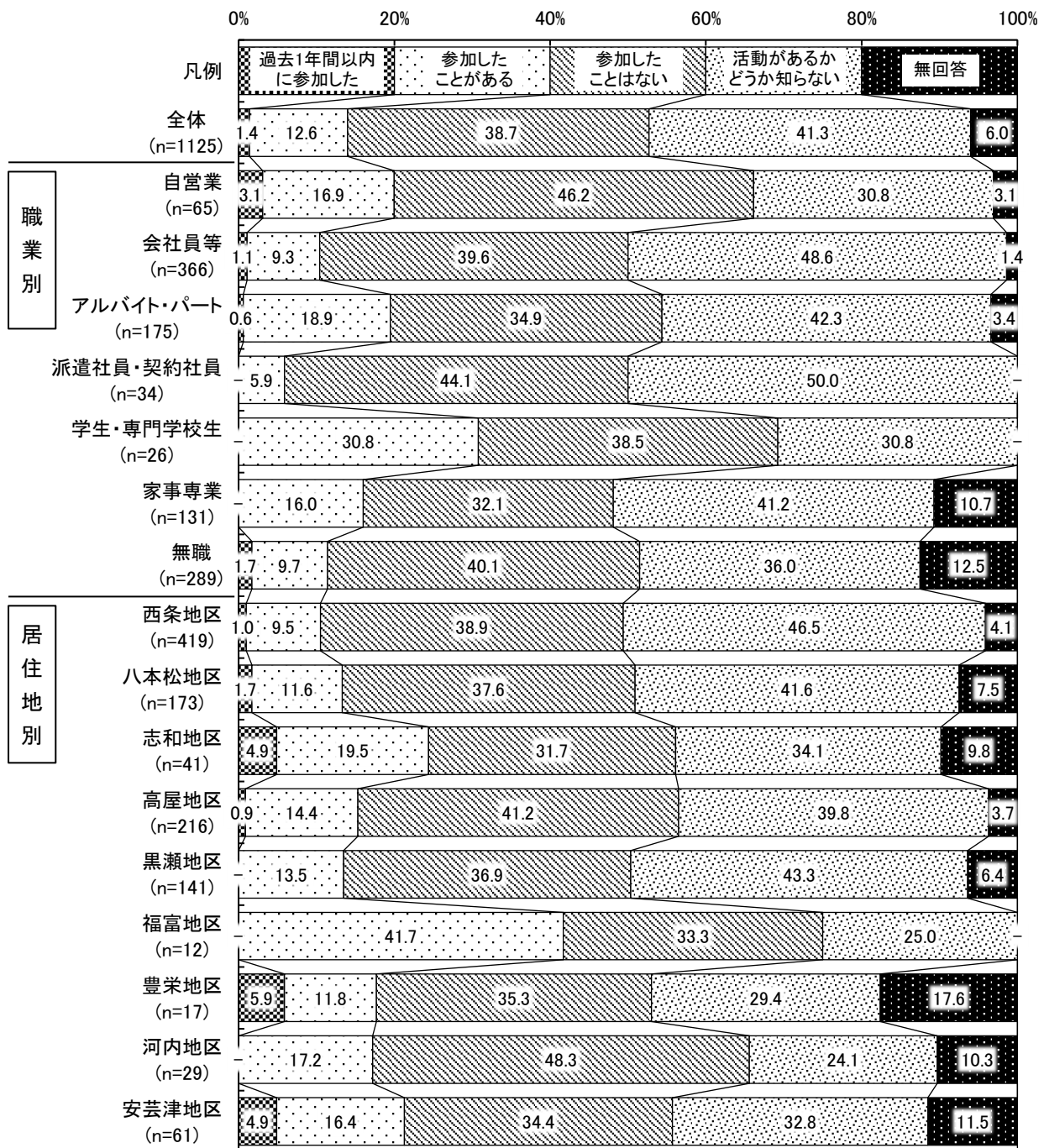


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『自営業』が20.0%と6.0ポイント、『アルバイト・パート』が19.5%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。「活動は知っているが、参加したことはない」は『自営業』が46.2%と7.5ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が48.6%と7.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が41.7%と27.7ポイント、『志和地区』が24.4%と10.4ポイント、『安芸津地区』が21.3%と7.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図12-19 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／職業別・居住地別



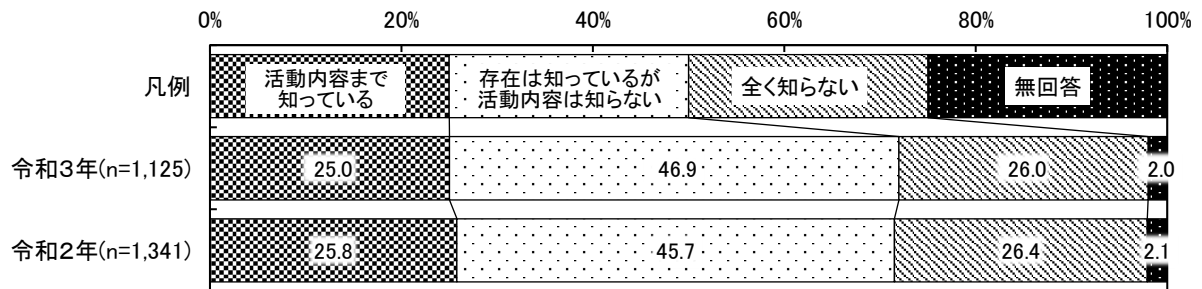
## 7. 住民自治協議会について

### (1) 住民自治協議会の認知状況

問13 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

住民自治協議会の認知状況については、「存在は知っているが活動内容は知らない」が46.9%と最も高く、次いで、「全く知らない」が26.0%、「活動内容まで知っている」は25.0%となっている。

図13-1 住民自治協議会の認知状況 [n=1, 125]

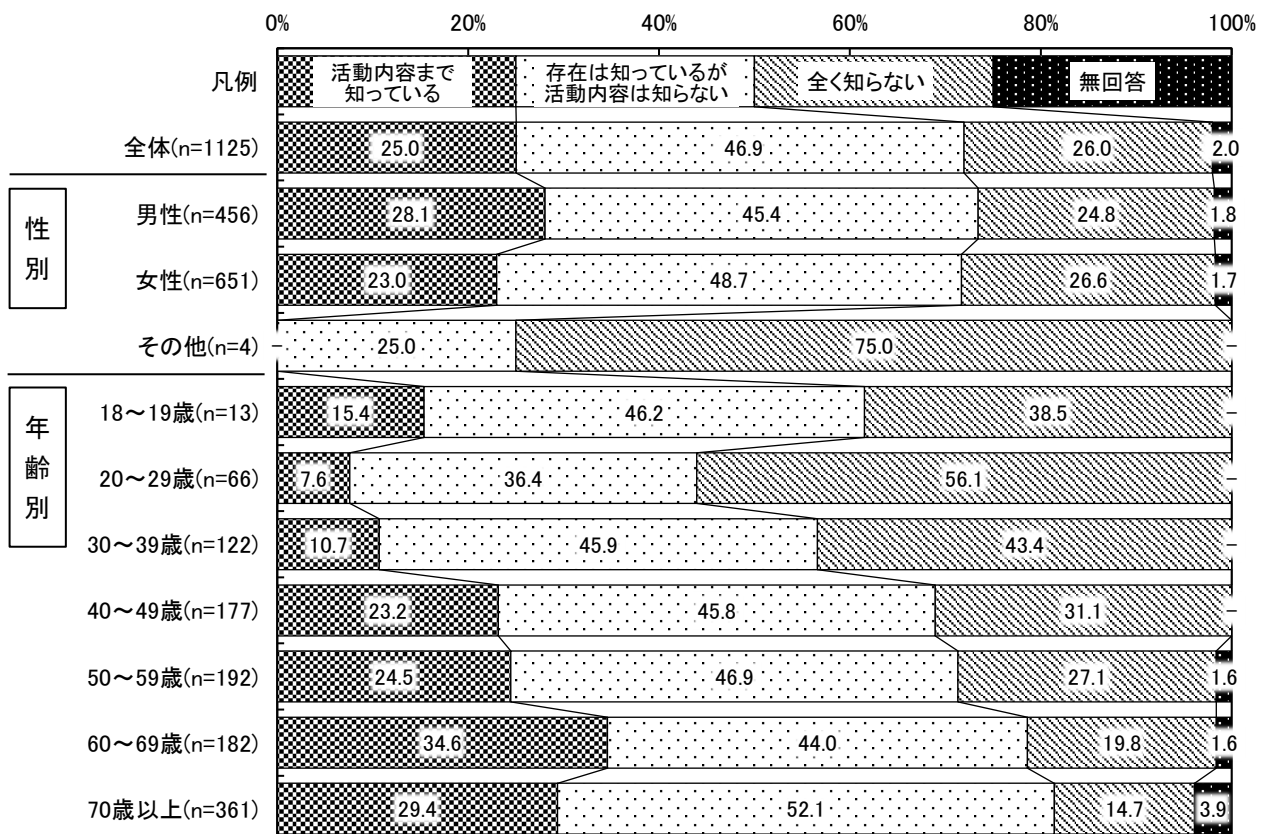


#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動内容まで知っている」は『男性』が『女性』より5.1ポイント高い。

年齢別では、「活動内容まで知っている」は『60～69歳』が34.6%と9.6ポイント高い。一方、「全く知らない」は『20～29歳』が56.1%と30.1ポイント、『30～39歳』が43.4%と17.4ポイント、『40～49歳』が31.1%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-2 住民自治協議会の認知状況／性別・年齢別

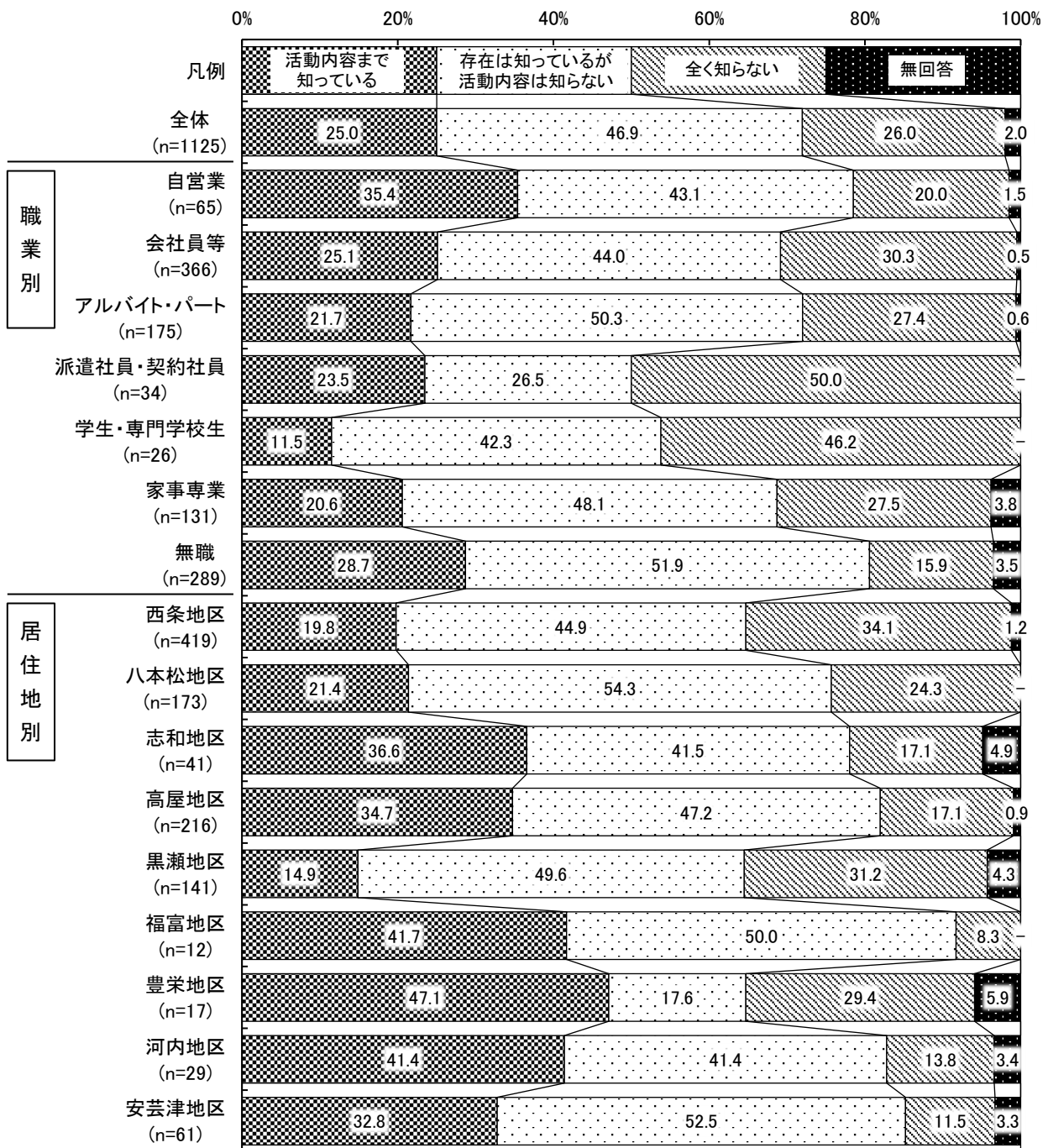


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動内容まで知っている」は『自営業』が35.4%と10.4ポイント全体より高い。

居住地別では、「活動内容まで知っている」は『豊栄地区』が47.1%と22.1ポイント、『福富地区』が41.7%と16.7ポイント、『河内地区』が41.4%と16.4ポイント、『志和地区』が36.6%と11.6ポイント、『高屋地区』が34.7%と9.7ポイント、『安芸津地区』が32.8%と7.8ポイント、それぞれ全体より高い。「全く知らない」は『西条地区』が34.1%と8.1ポイント、『黒瀬地区』が31.2%と5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図13-3 住民自治協議会の認知状況／職業別・居住地別



## 8. 困りごとがあった時の相談先について

### (1) 困りごとがあった時の相談先

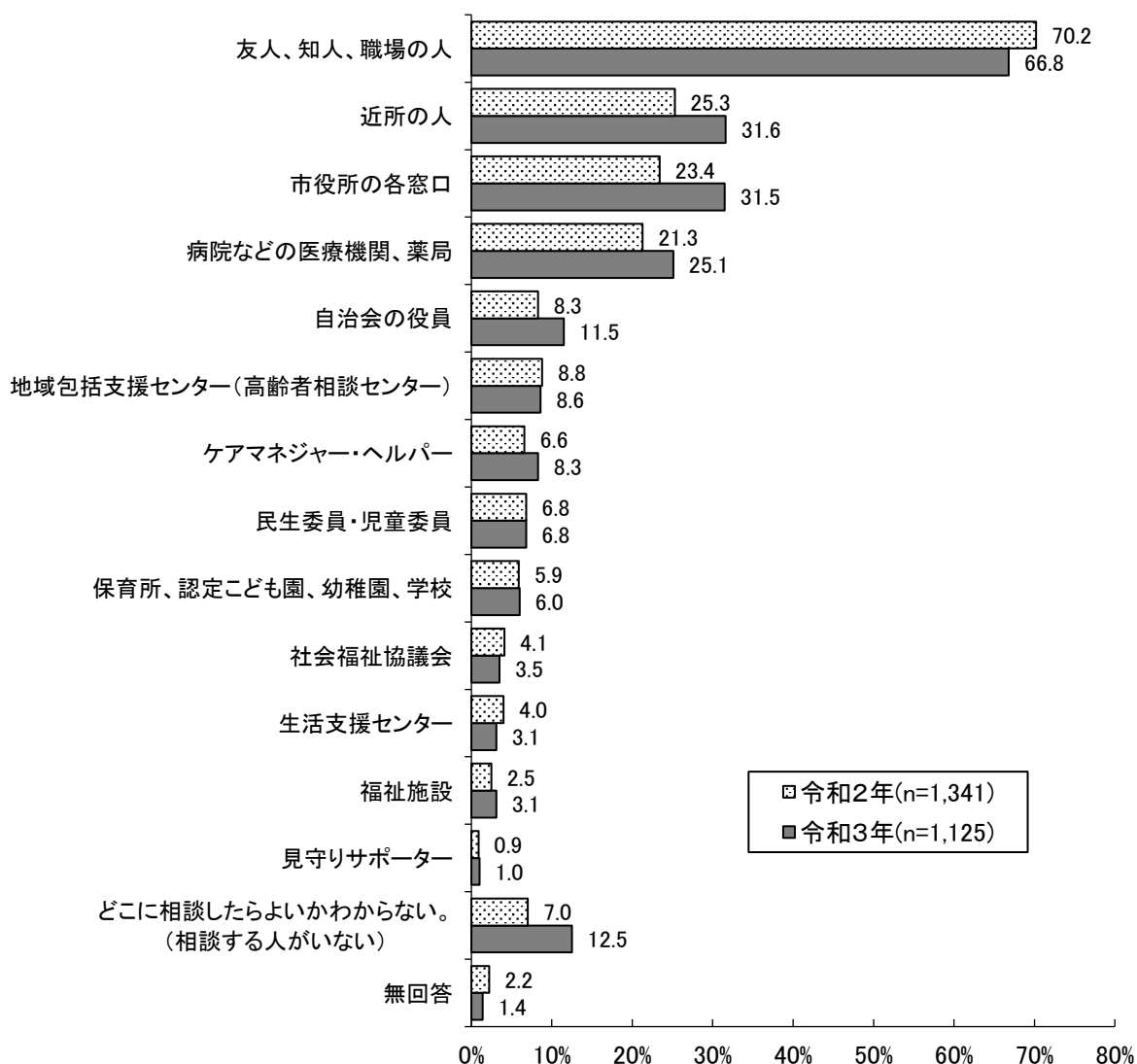
問14 日常生活で困りごとが発生したとき、家族(親族)以外では、誰(どこ)に相談しますか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

困りごとがあった時の相談先については、「友人、知人、職場の人」が66.8%と最も高く、6割以上を占めている。次いで、「近所の人」が31.6%、「市役所の各窓口」が31.5%、「病院などの医療機関、薬局」が25.1%と高い。

「どこに相談したらよいかわからない。(相談する人がいない)」は12.5%となっている。

図14-1 困りごとがあった時の相談先<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「友人、知人、職場の人」は『女性』が『男性』より7.2ポイント高く、「市役所の各窓口」は『男性』が『女性』より5.4ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「友人、知人、職場の人」は『20～29歳』が78.8%と12.0ポイント、『40～49歳』は78.5%と11.7ポイント、『30～39歳』が74.6%と7.8ポイント、『50～59歳』が72.9%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は51.8%と15.0ポイント全体より低くなっている。

「近所の人」は『70歳以上』が41.0%と9.4ポイント高く、一方、『20～29歳』は16.7%と14.9ポイント全体より低い。

「市役所の各窓口」は『60～69歳』が41.2%と9.7ポイント、「病院などの医療機関、薬局」は『70歳以上』が31.6%と6.5ポイント、『60～69歳』が30.8%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「自治会の役員」は『60～69歳』が22.5%と11.0ポイント高く、一方、『20～29歳』は1.5%と10.0ポイント低い。「地域包括支援センター（高齢者相談センター）」、「ケアマネジャー・ヘルパー」、「民生委員・児童委員」は『70歳以上』がそれぞれ5ポイント以上全体より高い。

「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」は『30～39歳』が24.6%と18.6ポイント、『40～49歳』が13.0%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

表14-1 困りごとが合った時の相談先／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		友人、知人、職場の人	近所の人	市役所の各窓口	病院などの医療機関、薬局	自治会の役員	地域包括支援センター（高齢者相談センター）	ケアマネジャー・ヘルパー	民生委員・児童委員	保育所、認定こども園、幼稚園、学校	社会福祉協議会	福祉施設	生活支援センター	見守りサポーター	どこに相談したらよいかわからない。（相談する人がいない）	無回答
全体(n=1125)		66.8	31.6	31.5	25.1	11.5	8.6	8.3	6.8	6.0	3.5	3.1	3.1	1.0	12.5	1.4
性別	男性(n=456)	<b>62.7</b>	34.0	34.6	27.4	14.0	6.8	8.3	5.7	4.6	3.9	3.1	2.9	0.7	13.8	1.5
	女性(n=651)	<b>69.9</b>	30.1	29.2	23.5	9.5	10.1	8.4	7.5	6.9	3.2	3.1	3.2	1.2	11.8	1.1
	その他(n=4)	75.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	84.6	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	15.4	-
	20～29歳(n=66)	<b>78.8</b>	16.7	25.8	15.2	1.5	3.0	3.0	3.0	4.5	1.5	3.0	3.0	-	10.6	-
	30～39歳(n=122)	<b>74.6</b>	23.0	30.3	18.9	1.6	0.8	1.6	0.8	<b>24.6</b>	0.8	2.5	2.5	-	16.4	0.8
	40～49歳(n=177)	<b>78.5</b>	29.9	30.5	18.6	7.3	0.6	2.3	0.6	13.0	-	2.8	2.3	-	12.4	-
	50～59歳(n=192)	<b>72.9</b>	27.1	30.7	21.4	11.5	4.2	6.8	1.6	2.6	0.5	1.0	1.6	0.5	14.1	1.0
	60～69歳(n=182)	<b>68.1</b>	32.4	41.2	30.8	<b>22.5</b>	13.2	12.6	6.6	1.1	5.5	3.3	4.4	2.2	12.1	0.5
	70歳以上(n=361)	<b>51.8</b>	41.0	29.6	31.6	13.3	16.9	13.6	15.5	0.6	7.2	4.4	3.9	1.7	11.4	2.8

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「友人、知人、職場の人」は『会社員等』が7.8ポイント、『アルバイト・パート』が8.1ポイント、それぞれ全体より高い。「近所の人」は『自営業』が13.0ポイント、『無職』が9.2ポイント、それぞれ全体より高い。「市役所の各窓口」と「自治会の役員」についても『自営業』が10ポイント以上全体より高くなっている。

「病院などの医療機関、薬局」は『家事専業』が7.7ポイント、「地域包括支援センター（高齢者相談センター）」は『家事専業』が8.2ポイント、『無職』が8.0ポイント、それぞれ全体より高い。「ケアマネジャー・ヘルパー」と「民生委員・児童委員」は『無職』がそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「友人、知人、職場の人」は『西条地区』が5.0ポイント、「近所の人」は『黒瀬地区』が11.0ポイント、『河内地区』が6.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「病院などの医療機関、薬局」は『志和地区』が16.4ポイント、「自治会の役員」は『黒瀬地区』が6.2ポイント、『福富地区』が5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表14-2 困りごとが合った時の相談先／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		友人、知人、職場の人	近所の人	市役所の各窓口	病院などの医療機関、薬局	自治会の役員	地域包括支援センター（高齢者相談センター）	ケアマネジャー・ヘルパー	民生委員・児童委員	保育所、認定こども園、幼稚園、学校	社会福祉協議会	福祉施設	生活支援センター	見守りサポーター	どこに相談したらよいかわからない。（相談する人がいない）	無回答
全体(n=1125)		66.8	31.6	31.5	25.1	11.5	8.6	8.3	6.8	6.0	3.5	3.1	3.1	1.0	12.5	1.4
職業別	自営業(n=65)	<b>63.1</b>	44.6	41.5	27.7	23.1	10.8	6.2	10.8	3.1	4.6	1.5	1.5	1.5	10.8	3.1
	会社員等(n=366)	<b>74.6</b>	25.4	32.8	21.0	9.3	1.4	4.6	1.4	9.8	1.1	1.1	1.4	0.3	13.1	0.8
	アルバイト・パート(n=175)	<b>74.9</b>	29.7	26.9	22.9	12.6	5.1	6.3	3.4	7.4	1.1	1.7	3.4	1.1	12.0	0.6
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>85.3</b>	29.4	41.2	17.6	2.9	2.9	5.9	-	5.9	2.9	-	2.9	-	14.7	-
	学生・専門学校生(n=26)	<b>84.6</b>	19.2	15.4	11.5	-	3.8	3.8	-	7.7	-	3.8	-	-	11.5	-
	家事専業(n=131)	<b>65.6</b>	31.3	34.4	32.8	10.7	16.8	8.4	11.5	7.6	5.3	2.3	6.1	3.1	11.5	1.5
	無職(n=289)	<b>50.5</b>	40.8	30.1	29.4	13.8	16.6	14.5	13.5	0.3	6.9	6.6	4.2	1.0	13.1	1.7
地域別	西条地区(n=419)	<b>71.8</b>	26.5	33.2	23.2	8.6	7.2	6.0	5.0	7.4	1.9	1.9	2.4	0.7	12.9	0.5
	八本松地区(n=173)	<b>69.9</b>	30.6	27.2	23.1	8.1	6.9	6.9	4.0	7.5	4.0	2.9	2.9	0.6	12.1	-
	志和地区(n=41)	<b>63.4</b>	34.1	34.1	41.5	9.8	2.4	12.2	12.2	2.4	-	7.3	4.9	-	9.8	2.4
	高屋地区(n=216)	<b>64.8</b>	34.7	32.9	27.8	15.7	8.3	10.2	3.7	6.0	3.7	2.3	2.8	0.9	12.5	1.4
	黒瀬地区(n=141)	<b>63.1</b>	42.6	32.6	27.0	17.7	15.6	10.6	12.1	2.8	5.7	5.7	3.5	2.1	13.5	2.1
	福富地区(n=12)	<b>41.7</b>	33.3	25.0	25.0	16.7	33.3	33.3	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	-
	豊栄地区(n=17)	<b>58.8</b>	29.4	23.5	17.6	11.8	11.8	5.9	11.8	-	11.8	-	5.9	-	5.9	5.9
	河内地区(n=29)	<b>48.3</b>	37.9	27.6	20.7	10.3	17.2	17.2	13.8	6.9	6.9	6.9	13.8	3.4	17.2	-
	安芸津地区(n=61)	<b>60.7</b>	31.1	27.9	21.3	9.8	4.9	6.6	13.1	1.6	1.6	3.3	-	-	13.1	4.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 9. 男女共同参画について

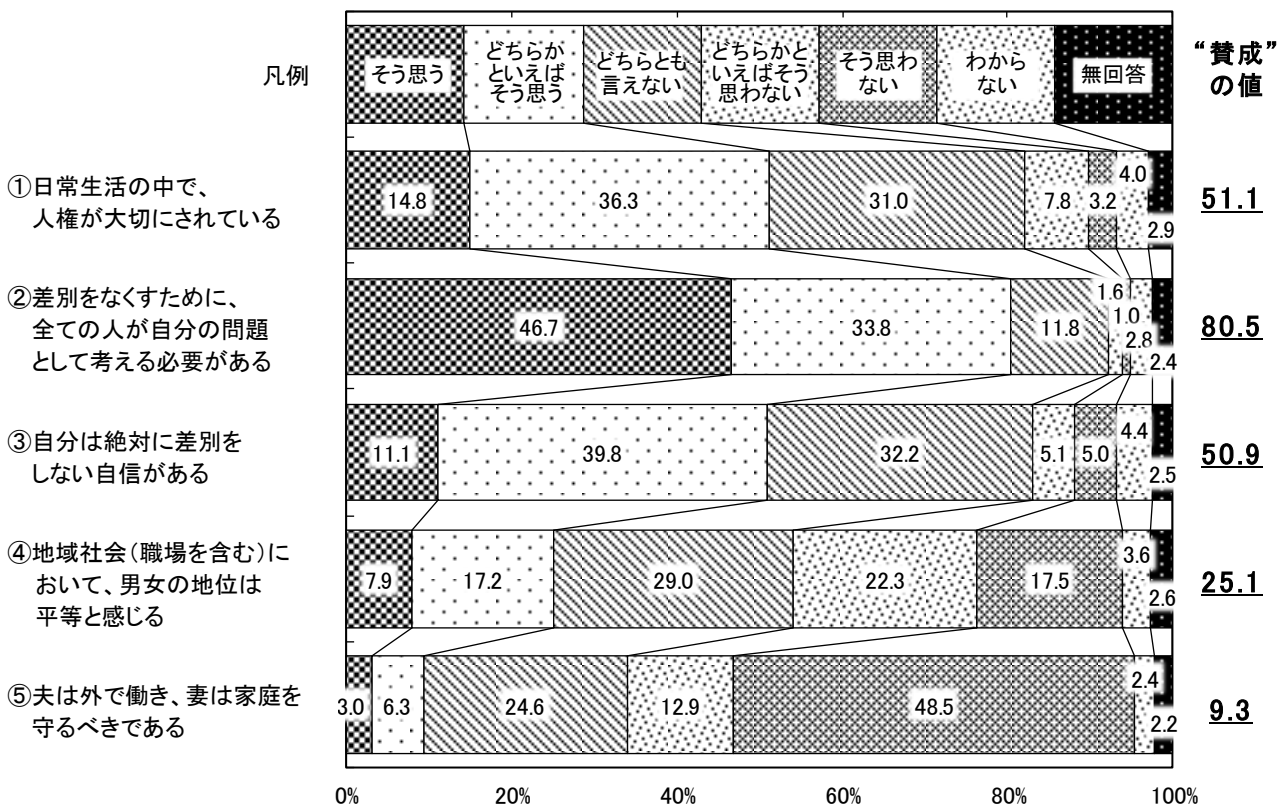
### (1) 男女共同参画について

問15 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。  
また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。  
(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。)

男女共同参画に関する各項目について“賛成”(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が高いものでは、『②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある』が80.5%と最も高く、次いで『①日常生活の中で、人権が大切にされている』が51.1%、『③自分は絶対に差別をしない自信がある』が50.9%、『④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等と感じる』が25.1%と続いている。

『⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』については「そう思わない」が48.5%と5割弱を占めており、“賛成”は9.3%であった。

図15-1 男女共同参画について [n=1,125]





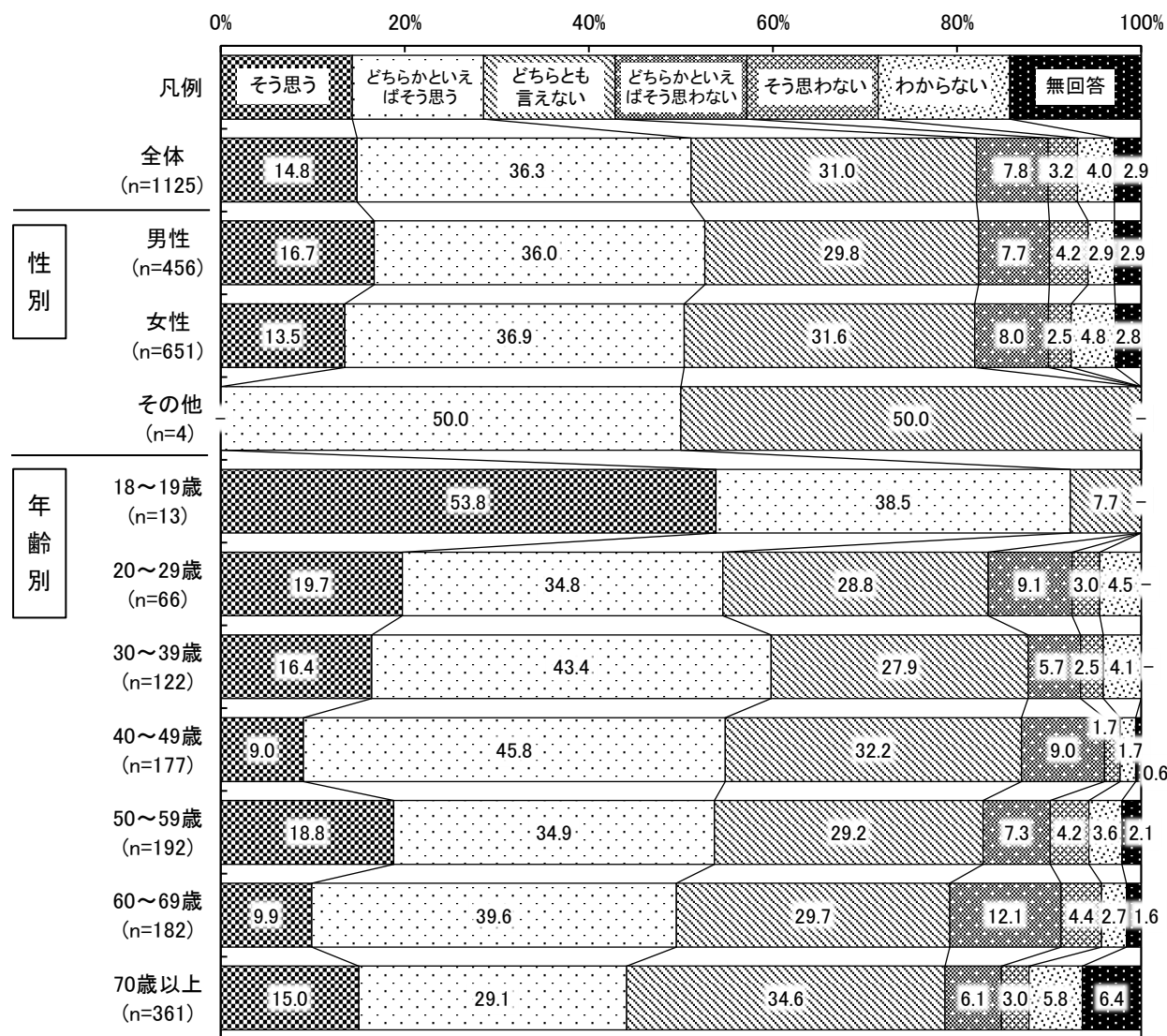
①日常生活の中で、人権が大切にされている

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「どちらかといえばそう思う」は『40～49歳』が45.8%と9.5ポイント、『30～39歳』が43.4%と7.1ポイント、それぞれ全体より高く、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『30～39歳』が59.8%と8.7ポイント全体より高い。“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『60～69歳』が16.5%と5.5ポイント全体より高くなっている。

図15-2 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／性別・年齢別

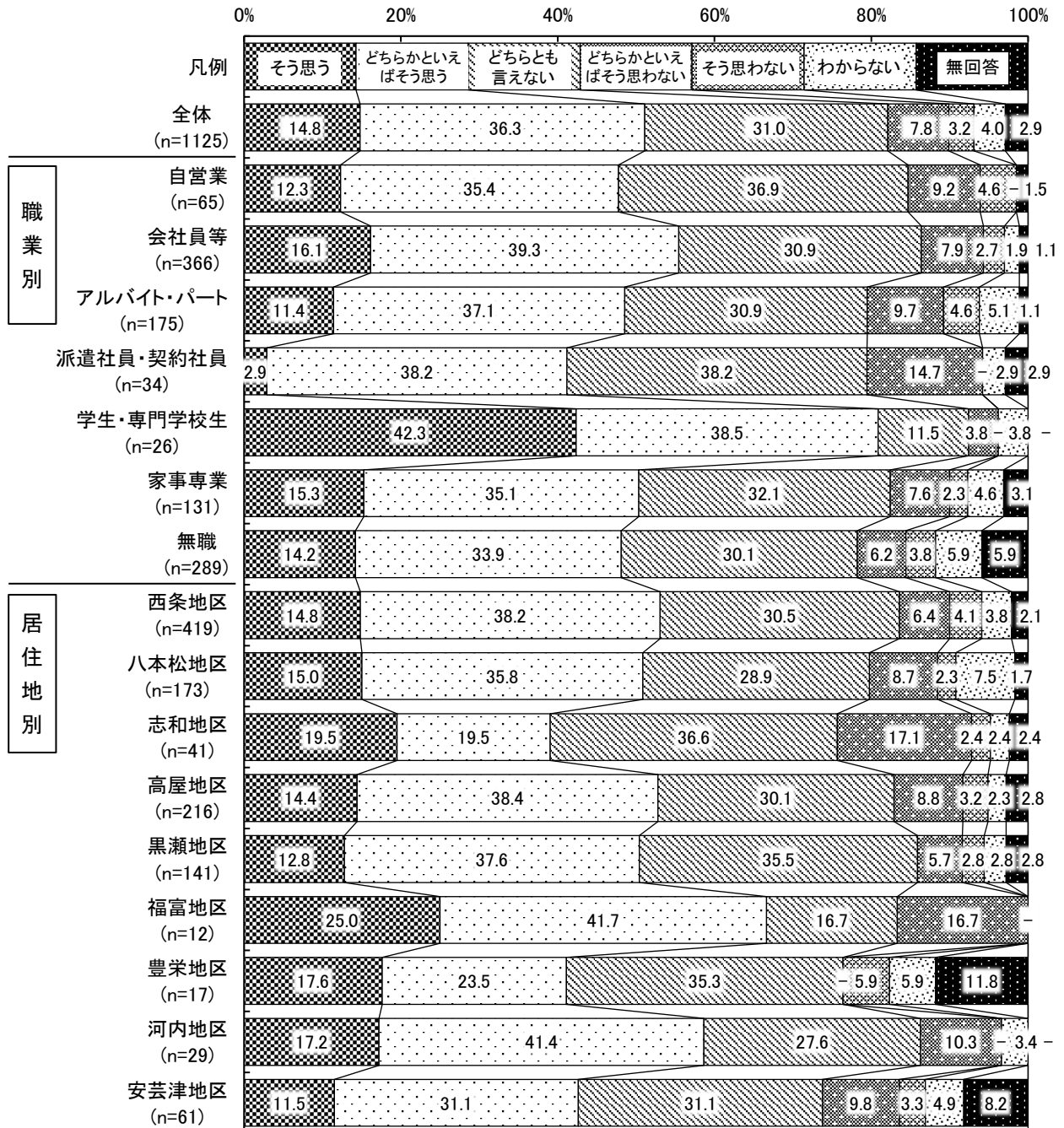


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「どちらとも言えない」は『自営業』が36.9%と5.9ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『福富地区』が66.7%と15.6ポイント、『河内地区』が58.6%と7.5ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『志和地区』は39.0%と12.1ポイント、『豊栄地区』は41.1%と10.0ポイント、『安芸津地区』は42.6%と8.5ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図15-3 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／職業別・居住地別



②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある

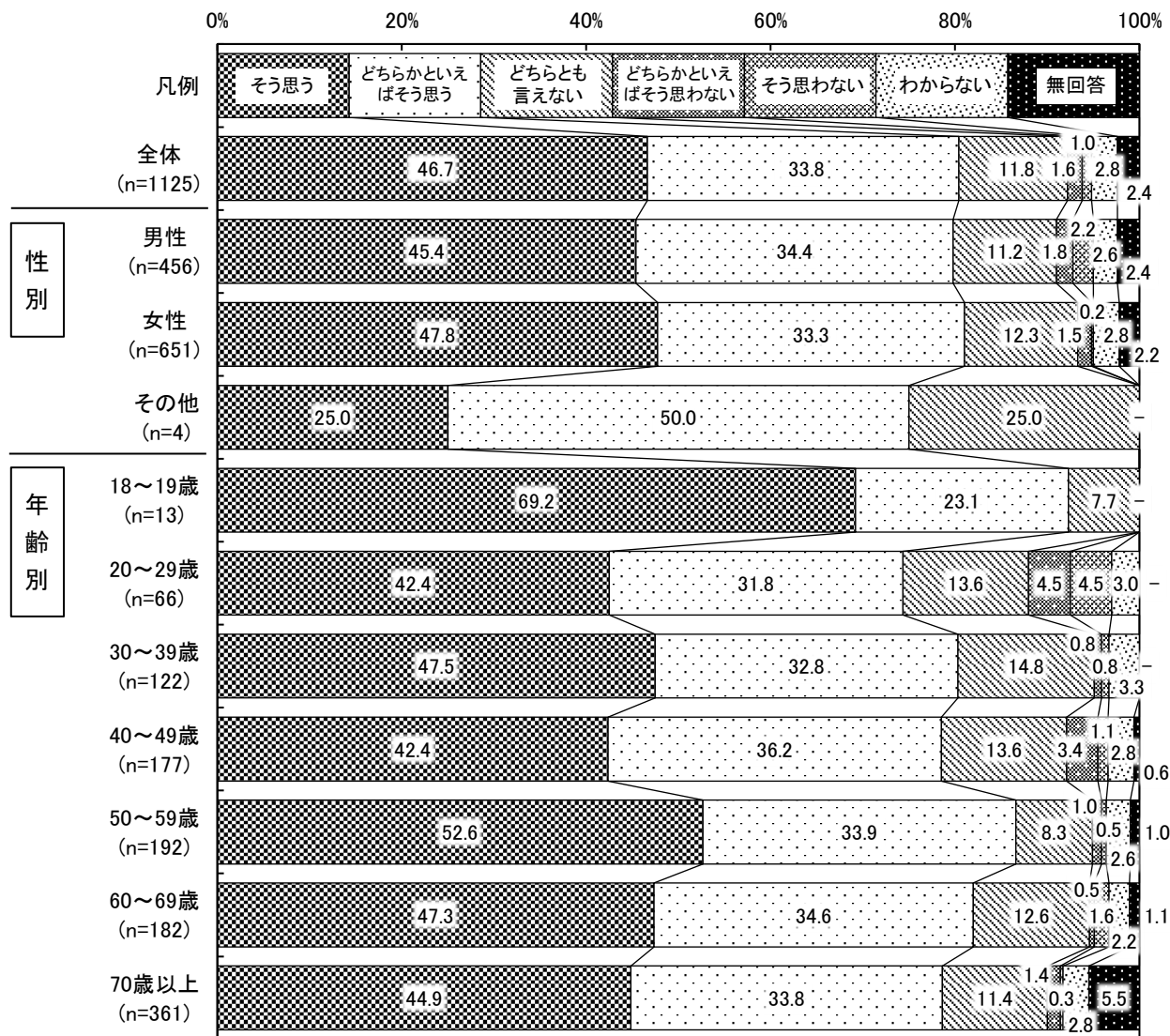
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「そう思う」は『50～59歳』が52.6%と5.9ポイント全体より高く、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）についても86.5%と6.0ポイント全体より高い。“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『20～29歳』が9.0%と6.4ポイント全体より高くなっている。

図15-4 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／性別・年齢別



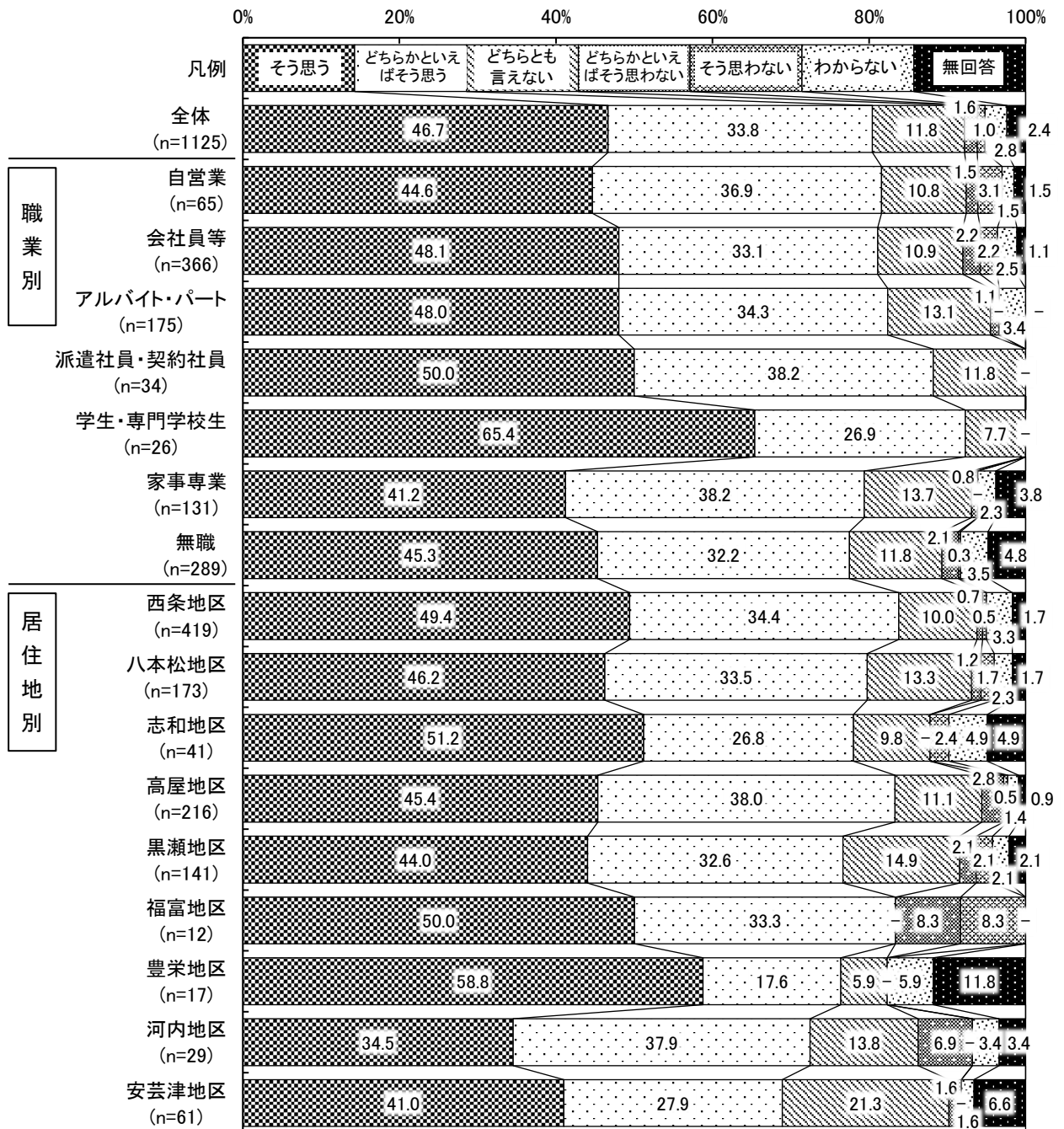
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『学生・専門学校生』が92.3%と11.8ポイント、『派遣社員・契約社員』が88.2%と7.7ポイント、それぞれ全体より高くなっているが、その他の属性では顕著な差は見られない。

居住地別では、“賛成”は『安芸津地区』が68.9%と11.6ポイント、『河内地区』が72.4%と8.1ポイント、それぞれ全体より低い。“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『福富地区』が16.6%と14.0ポイント全体より高くなっている。

図15-5 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／職業別・居住地別



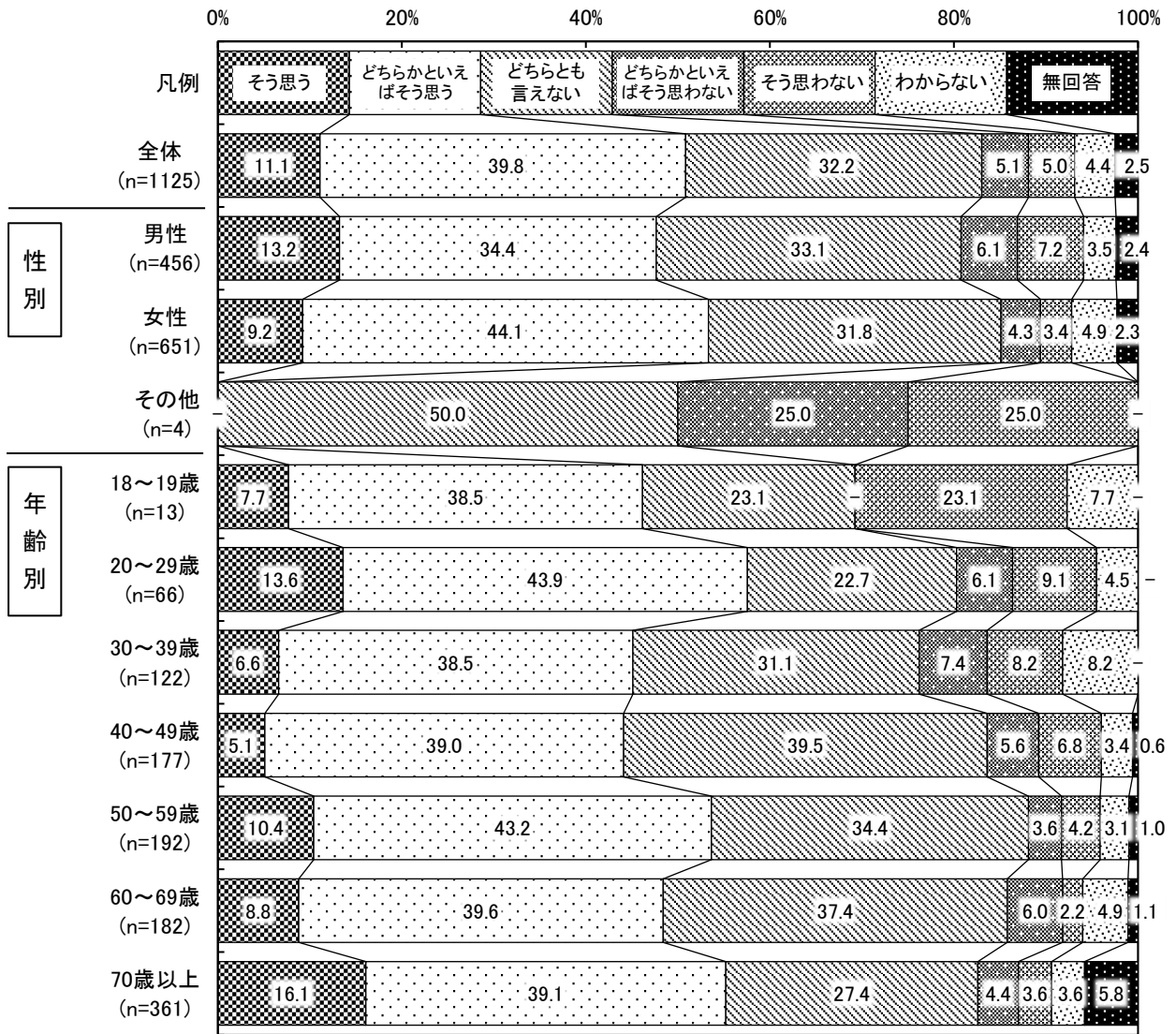
③自分は絶対に差別をしない自信がある

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『女性』53.3%、『男性』47.6%と、『女性』が『男性』より5.7ポイント高い。

年齢別では、「そう思う」は『70歳以上』が16.1%と5.0ポイント全体より高い。“賛成”は『20～29歳』が57.5%と6.6ポイント全体より高くなっている。

図15-6 男女共同参画について ③自分は絶対に差別をしない自信がある／性別・年齢別



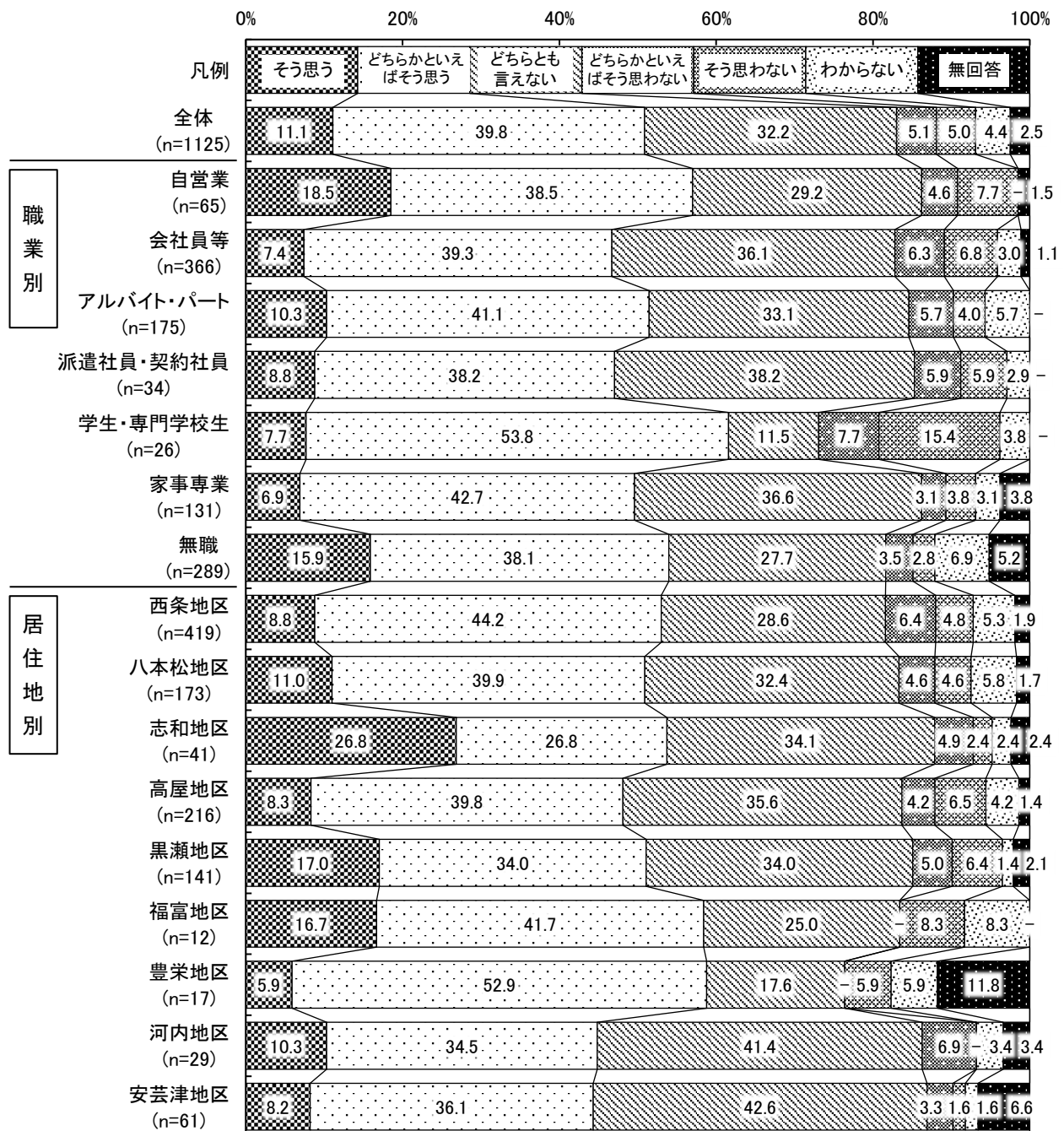
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「そう思う」は『自営業』が18.5%と7.4ポイント全体より高く、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）についても『自営業』は57.0%と6.1ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『豊栄地区』が58.8%と7.9ポイント、『福富地区』が58.4%と7.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「どちらとも言えない」は『安芸津地区』が42.6%と10.4ポイント、『河内地区』が41.4%と9.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-7 男女共同参画について ③自分は絶対に差別をしない自信がある／職業別・居住地別



④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等だ

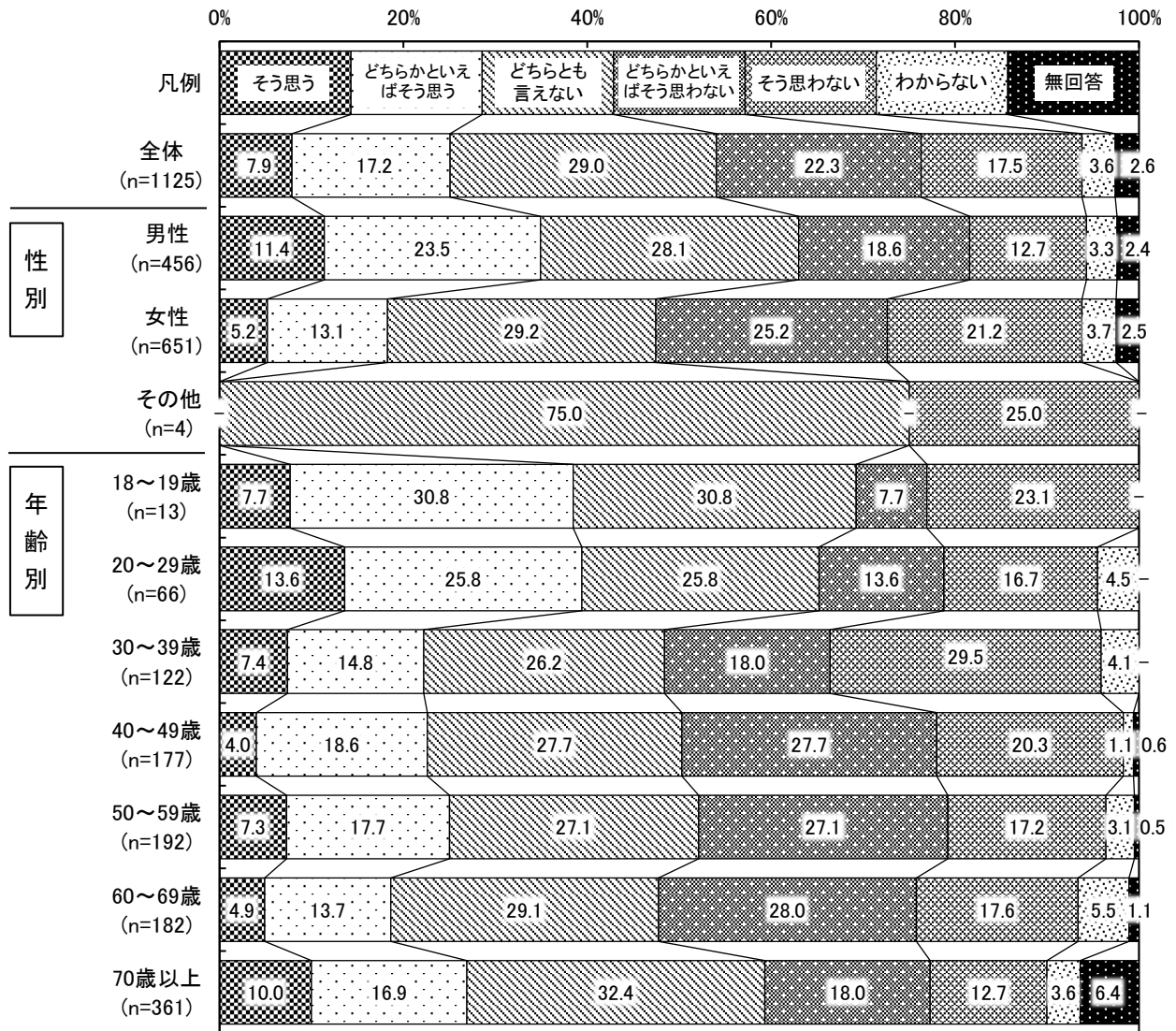
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『男性』34.9%、『女性』18.3%と、『男性』が『女性』より16.6ポイント高い。

年齢別では、“賛成”は『20～29歳』が39.4%と14.3ポイント全体より高い。一方、“反対”は『40～49歳』が48.0%と8.2ポイント、『30～39歳』が47.5%と7.7ポイント、『60～69歳』が45.6%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。

図15-8 男女共同参画について

④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等だ／性別・年齢別



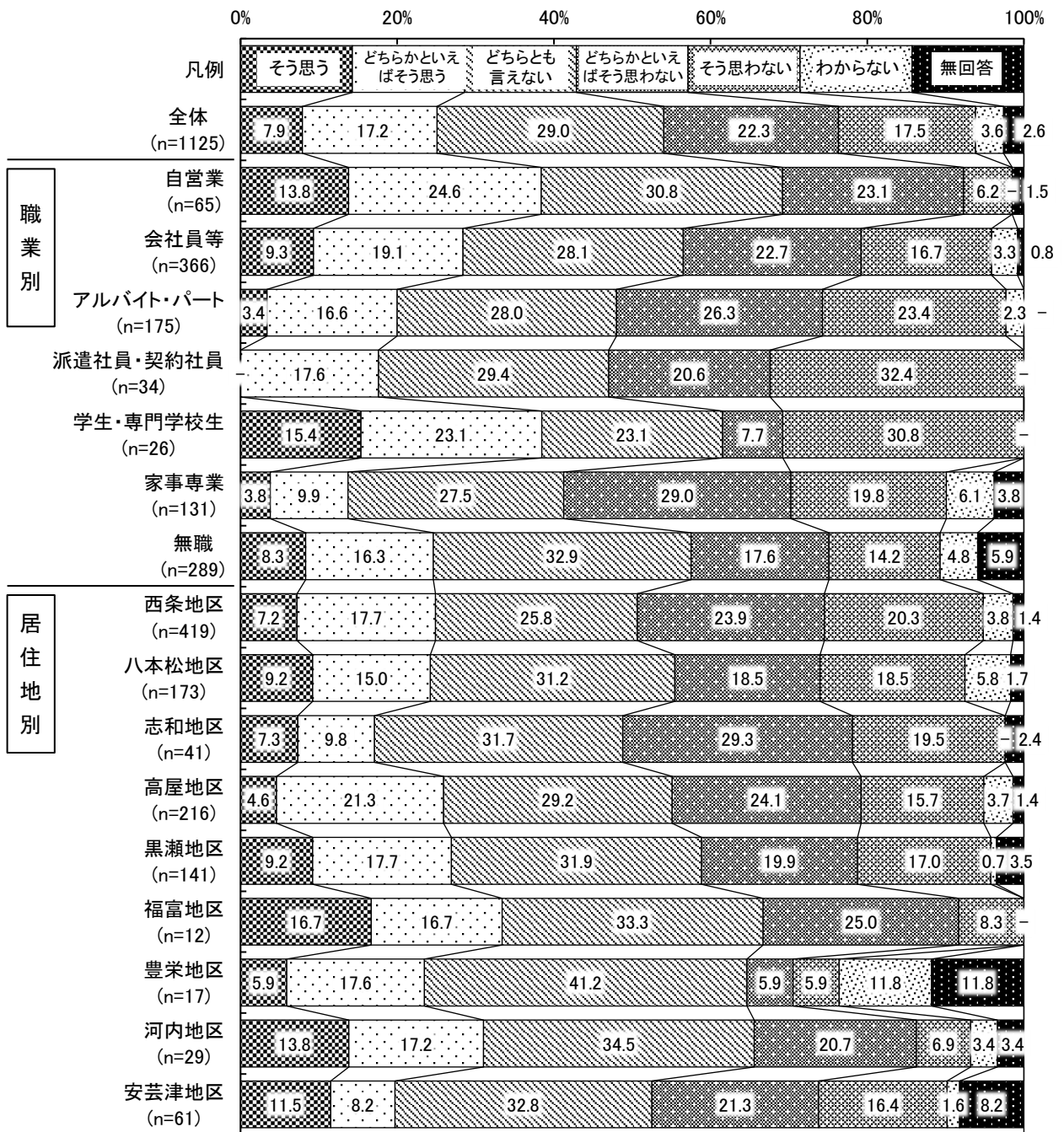
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『自営業』が38.4%と13.3ポイント全体より高い。一方、『家事専業』は13.7%と11.4ポイント全体より低くなっている。

居住地別では、“賛成”は『福富地区』が33.4%と8.3ポイント、『河内地区』が31.0%と5.9ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『志和地区』は17.1%と8.0ポイント全体より低く、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）が48.8%と9.0ポイント全体より高くなっている。

図15-9 男女共同参画について

④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等だ／職業別・居住地別





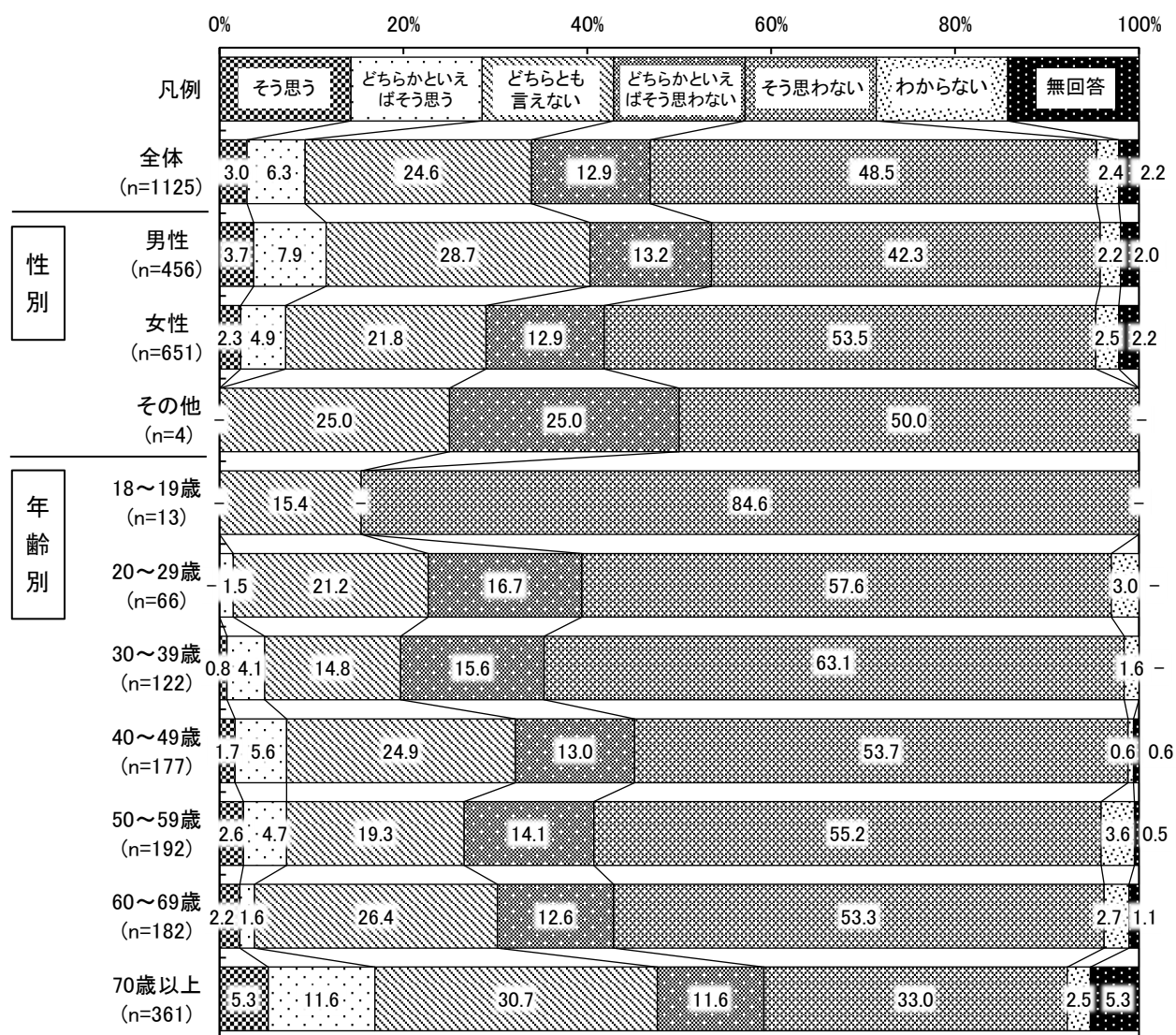
⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「どちらとも言えない」は『男性』28.7%、『女性』21.8%と、『男性』が『女性』より6.9ポイント高い。“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『男性』55.5%、『女性』66.4%と、『女性』が『男性』より10.9ポイント高い。

年齢別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『70歳以上』が16.9%と7.6ポイント全体より高い。“反対”は『30～39歳』が78.7%と17.3ポイント、『20～29歳』が74.3%と12.9ポイント、『50～59歳』が69.3%と7.9ポイント、『40～49歳』が66.7%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は44.6%と16.8ポイント全体より低く、各年齢層の中で最も低い。

図15-10 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／性別・年齢別

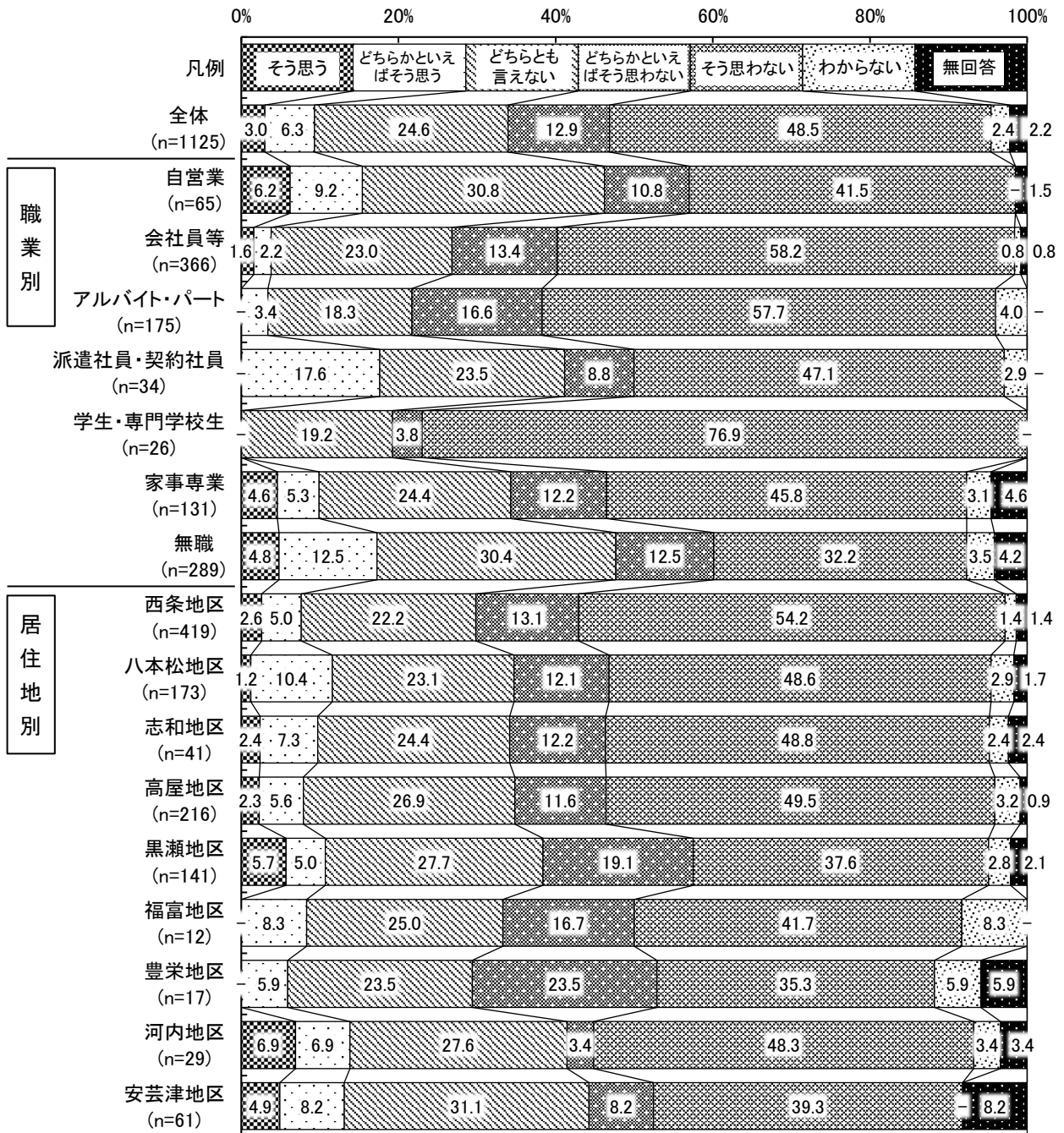


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）については、『無職』が17.3%と8.0ポイント、『自営業』が15.4%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）については、『アルバイト・パート』が74.3%と12.9ポイント、『会社員等』が71.6%と10.2ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“反対”は『西条地区』が67.3%と5.9ポイント高い。

図15-11 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／職業別・居住地別



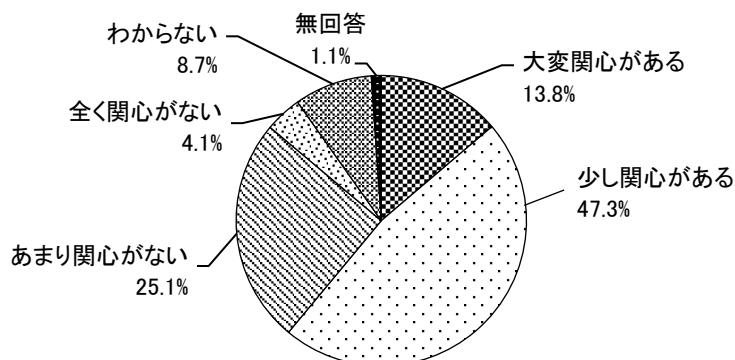
## 10. 消費生活について

### (1) 消費者問題への関心度

問16 あなたは、消費者問題(消費者と事業者とのトラブルなどの問題)に関心がありますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

消費者問題への関心度については、消費者問題に「大変関心がある」が13.8%、「少し関心がある」が47.3%で、“関心がある”(「大変関心がある」と「少し関心がある」の合計)は61.1%と約6割を占める。

図16-1 消費者問題への関心度 [n=1,125]

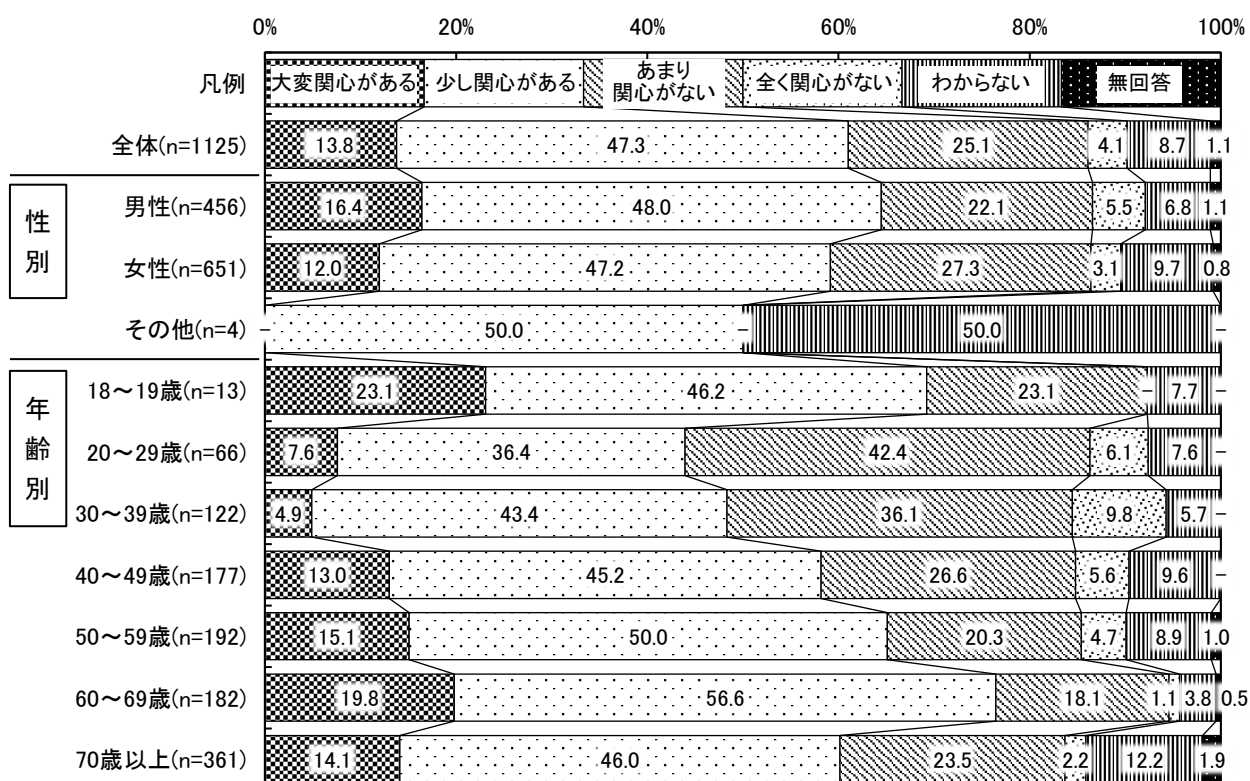


#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“関心がある”は『男性』64.4%、『女性』59.2%と『男性』が『女性』より5.2ポイント高い。

年齢別では、“関心がある”は『60～69歳』が76.4%と15.3ポイント全体より高い。一方、『20～29歳』が44.0%と17.1ポイント、『30～39歳』が48.3%と12.8ポイント、それぞれ全体より高く、50代以下の年齢層では年齢が下がるほど低くなっている。

図16-2 消費者問題への関心度/性別・年齢別

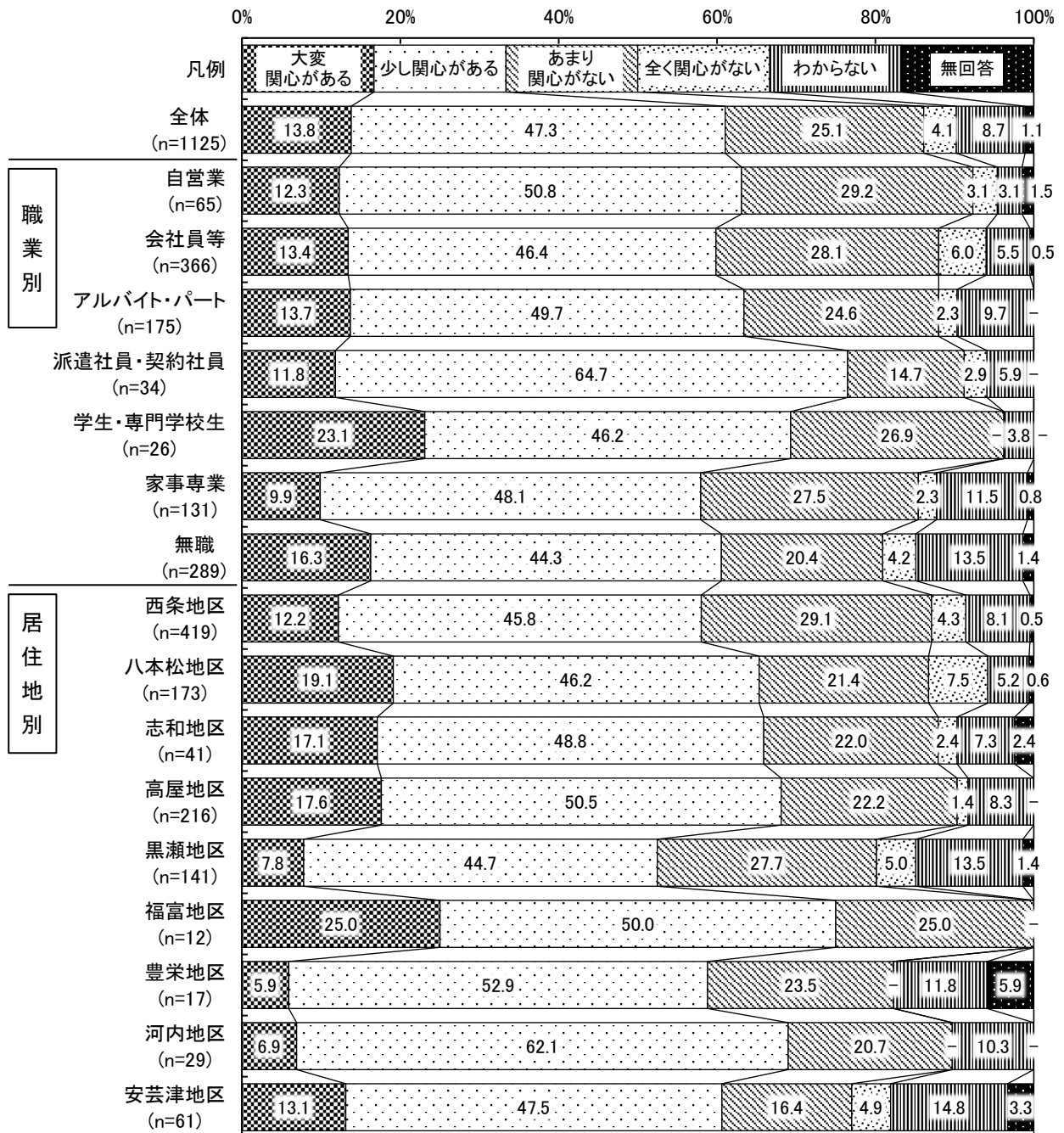


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“関心がある”（「大変関心がある」と「少し関心がある」の合計）については、『派遣社員・契約社員』が76.5%と15.4ポイント、『学生・専門学校生』が69.3%と8.2ポイント、それぞれ全体より高いが、その他の属性では顕著な差はない。

居住地別では、“関心がある”については、『福富地区』は75.0%と13.9ポイント、『河内地区』が69.0%と7.9ポイント、『高屋地区』が68.1%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図16-3 消費者問題への関心度／職業別・居住地別



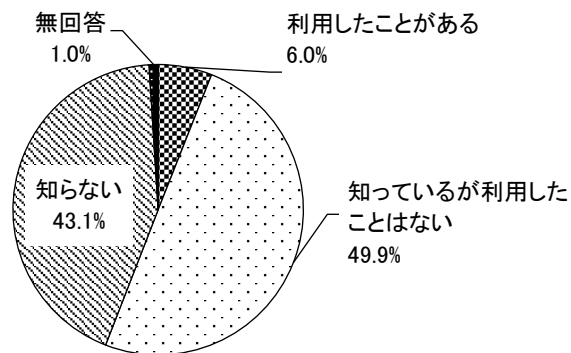
(2) 「消費生活センター」設置の認知状況

問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市における「消費生活センター」設置の認知状況については、「知っているが利用したことはない」が49.9%、「知らない」が43.1%と、それぞれ4割以上を占めている。

「利用したことがある」は6.0%、「知っている」（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は55.9%であり、5割以上が設置を認知している。

図17-1 「消費生活センター」設置の認知状況〔n=1,125〕

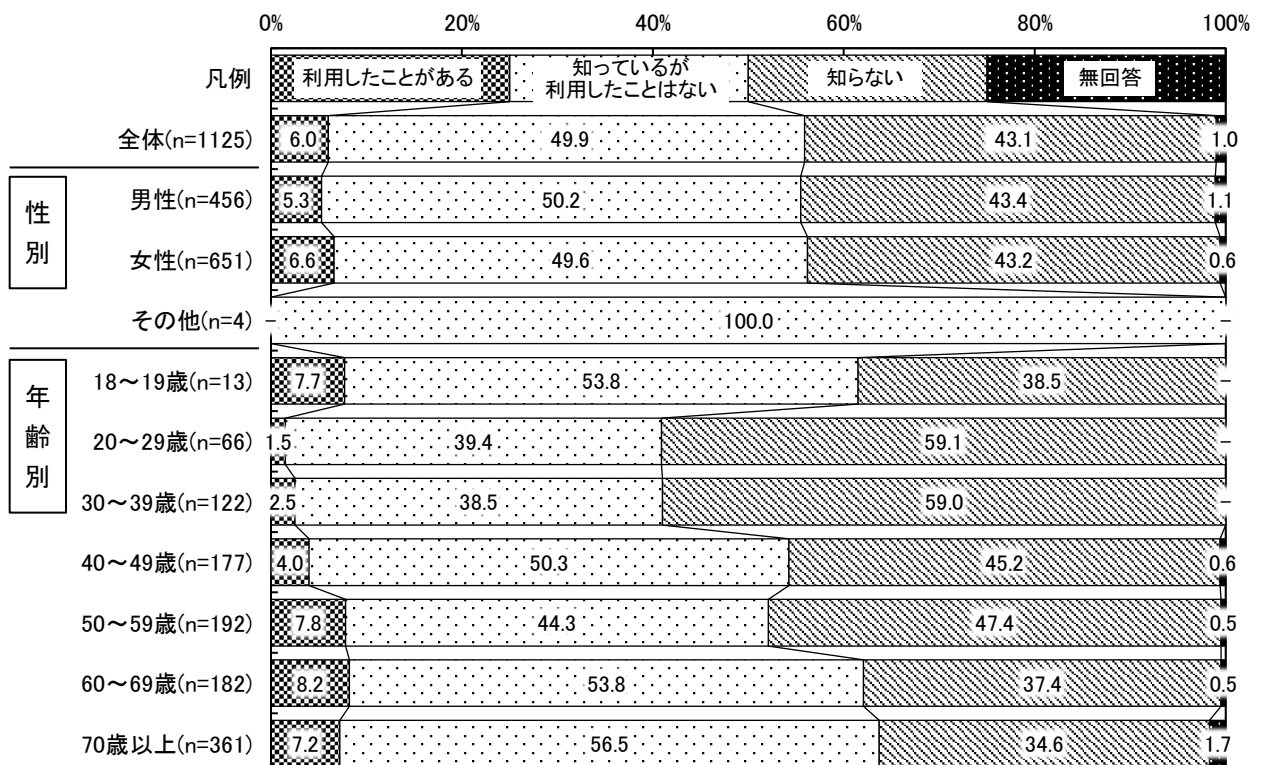


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「知っている」は『70歳以上』が63.7%と7.8ポイント、『60～69歳』が62.0%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は40.9%と15.0ポイント、『30～39歳』は41.0%と14.9ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図17-2 「消費生活センター」設置の認知状況／性別・年齢別

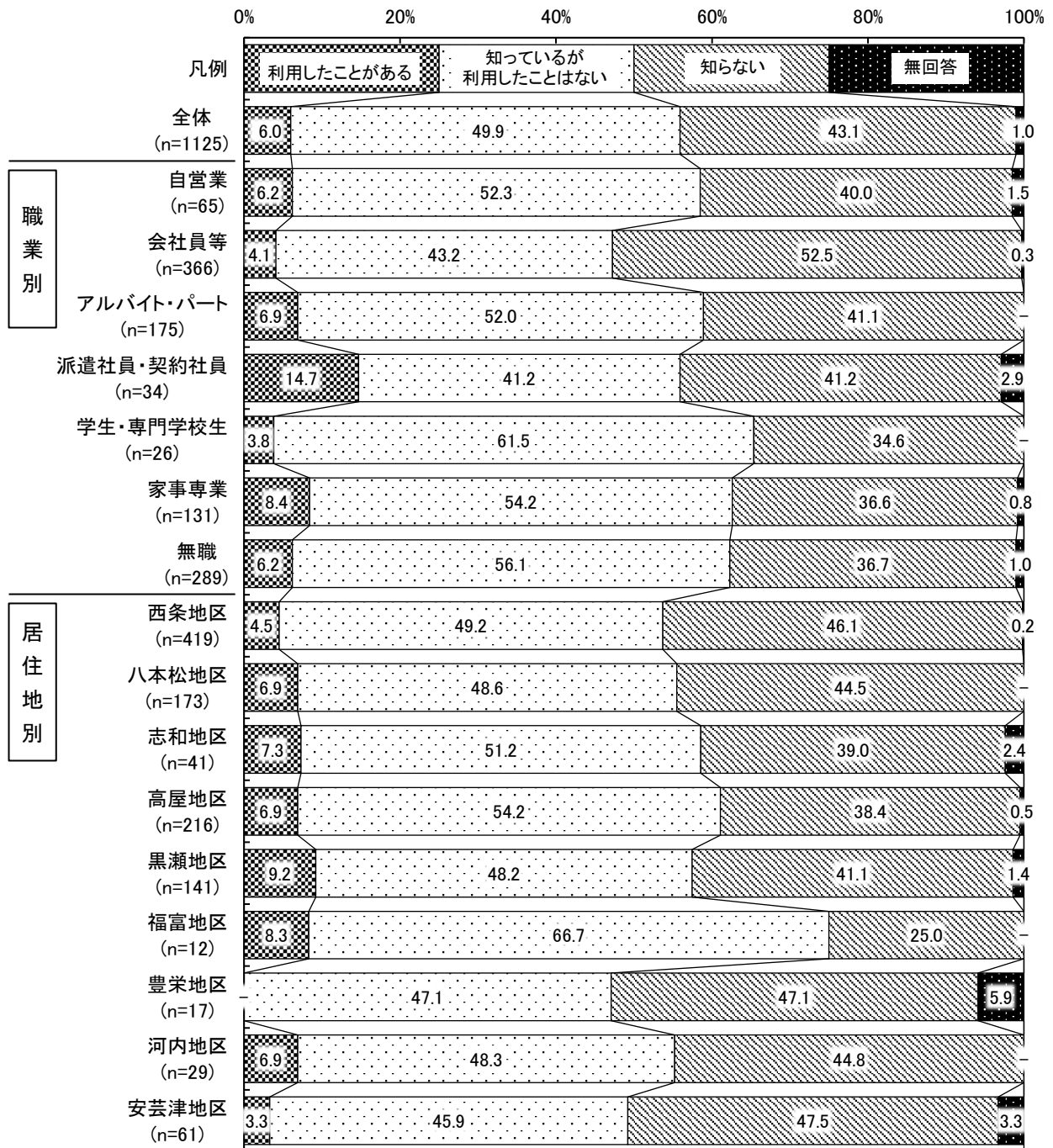


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「知らない」は『会社員等』が52.5%と9.4ポイント全体より高い。“知っている”（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は『家事専業』が62.6%と6.7ポイント、『無職』が62.3%と6.4ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『会社員等』は47.3%と8.6ポイント全体より低くなっている。

居住地別では、「知っているが利用したことはない」は『福富地区』が66.7%と16.8ポイント全体より高い。“知っている”については、『福富地区』が75.0%と19.1ポイント、『高屋地区』が61.1%と5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図17-3 「消費生活センター」設置の認知状況／職業別・居住地別



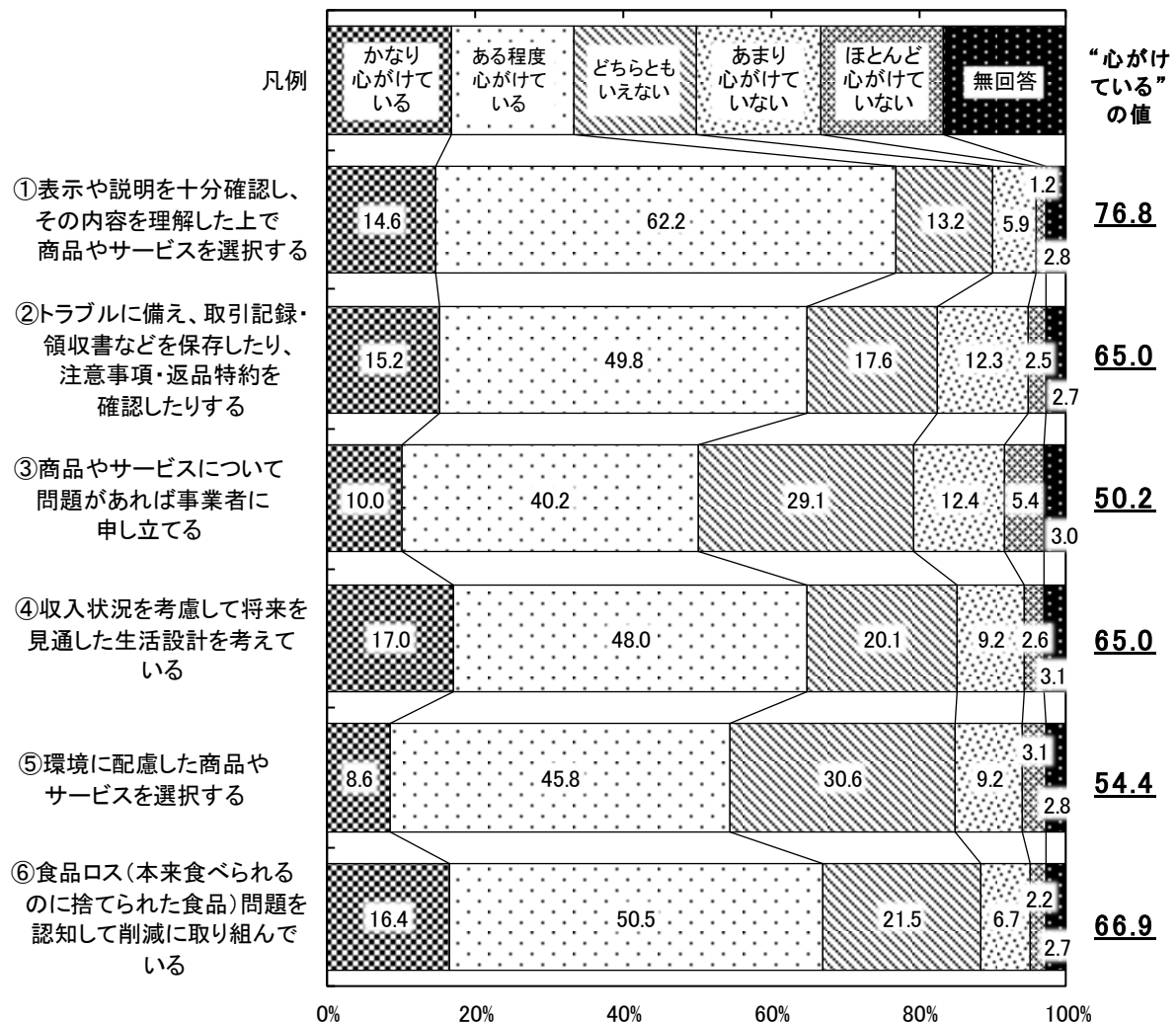
(3) 消費者としての行動の心がけ状況

問18 あなたは、消費者として以下の行動をどの程度心がけていますか。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○お付けください)

消費者としての行動の心がけ状況について、「かなり心がけている」は、各項目とも2割を下回っている。

“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する』が76.8%と最も高く、次いで『⑥食品ロス（本来食べられるのに捨てられた食品）問題を認知して削減に取り組んでいる』が66.9%、『②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする』と『④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている』が共に65.0%、『⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する』が54.4%、『③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる』が50.2%となっている。

図18-1 消費者としての行動の心がけ状況 [n=1, 125]



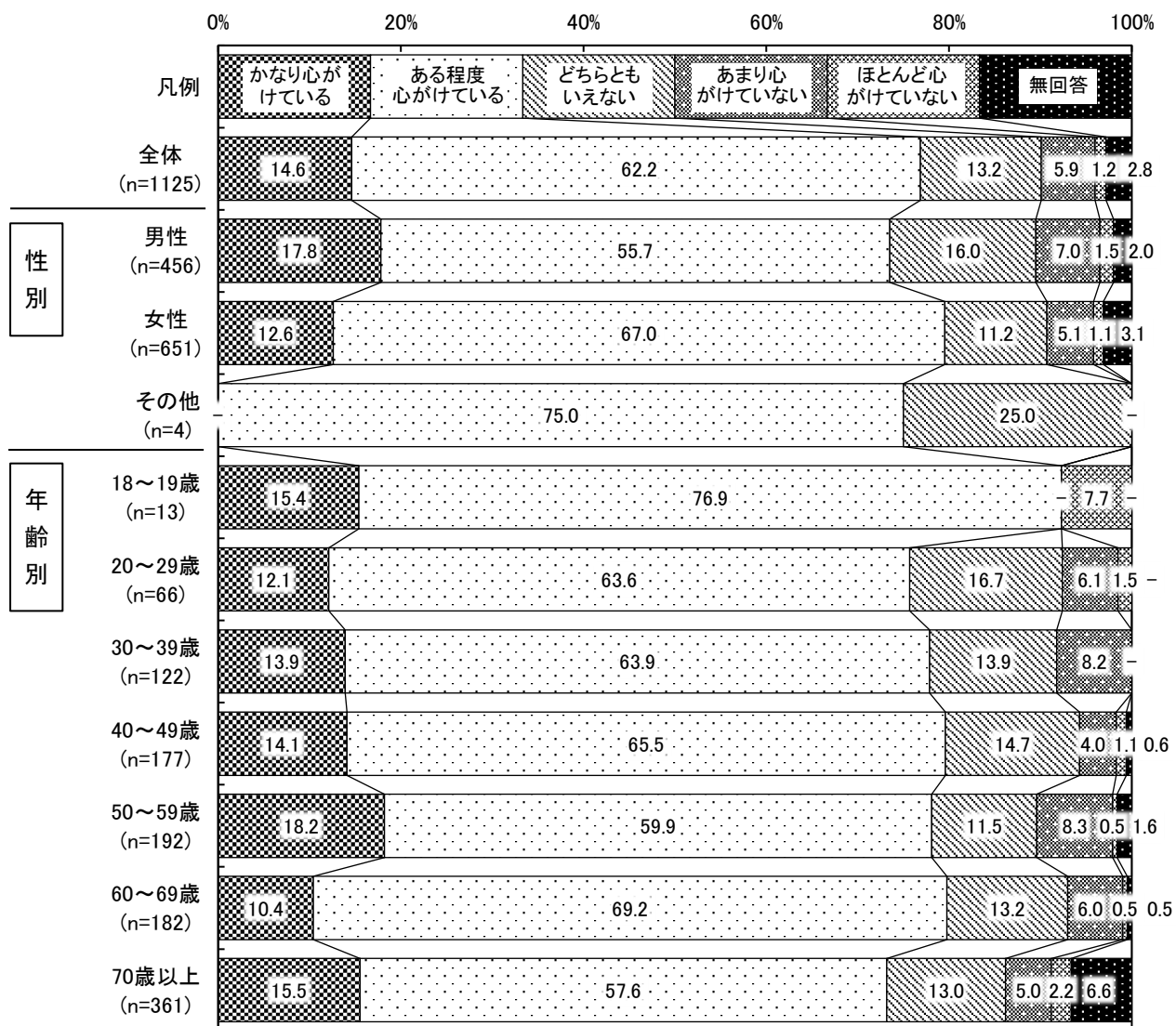
①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は、『男性』73.5%、『女性』79.6%と『女性』が『男性』より6.1ポイント高い。

年齢別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『18～19歳』を除き7割以上で顕著な差はない。

図18-2 消費者としての行動の心がけ状況 ①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する／性別・年齢別



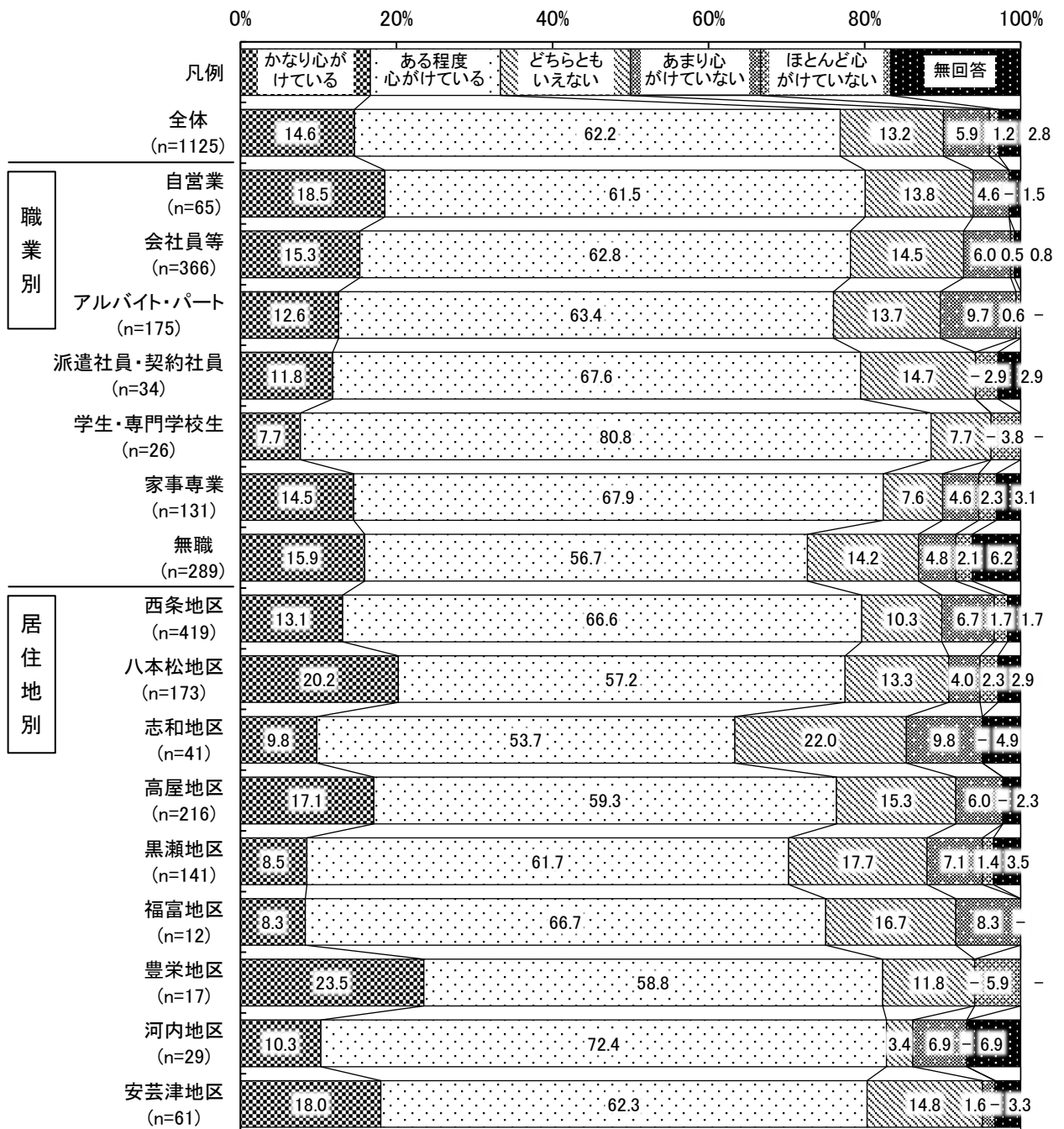


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『家事専業』が82.4%と5.6ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「かなり心がけている」は『豊栄地区』が23.5%と8.9ポイント、『八本松地区』が20.2%と5.6ポイント、それぞれ全体より高い。“心がけている”については、『河内地区』が82.7%と5.9ポイント、『豊栄地区』が82.3%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『志和地区』が63.5%と13.3ポイント、『黒瀬地区』が70.2%と6.6ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図18-3 消費者としての行動の心がけ状況 ①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する／職業別・居住地別



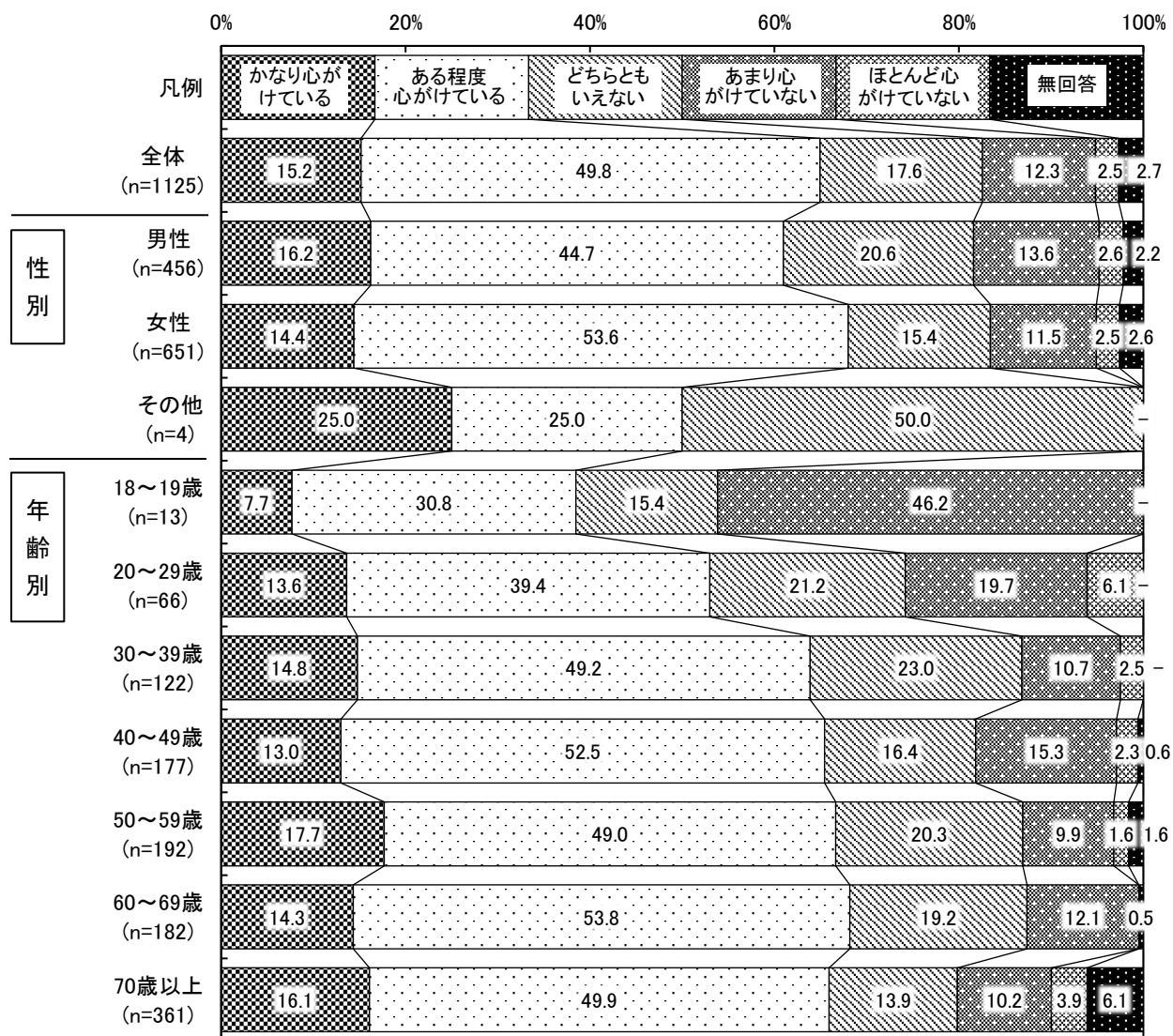
②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』60.9%、『女性』68.0%と、『女性』が『男性』より7.1ポイント高い。

年齢別では、「どちらともいえない」は『30～39歳』が23.0%と5.4ポイント全体より高い。  
“心がけている”については、『20～29歳』が53.0%と12.0ポイント全体より低くなっている。

図18-4 消費者としての行動の心がけ状況 ②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする／性別・年齢別

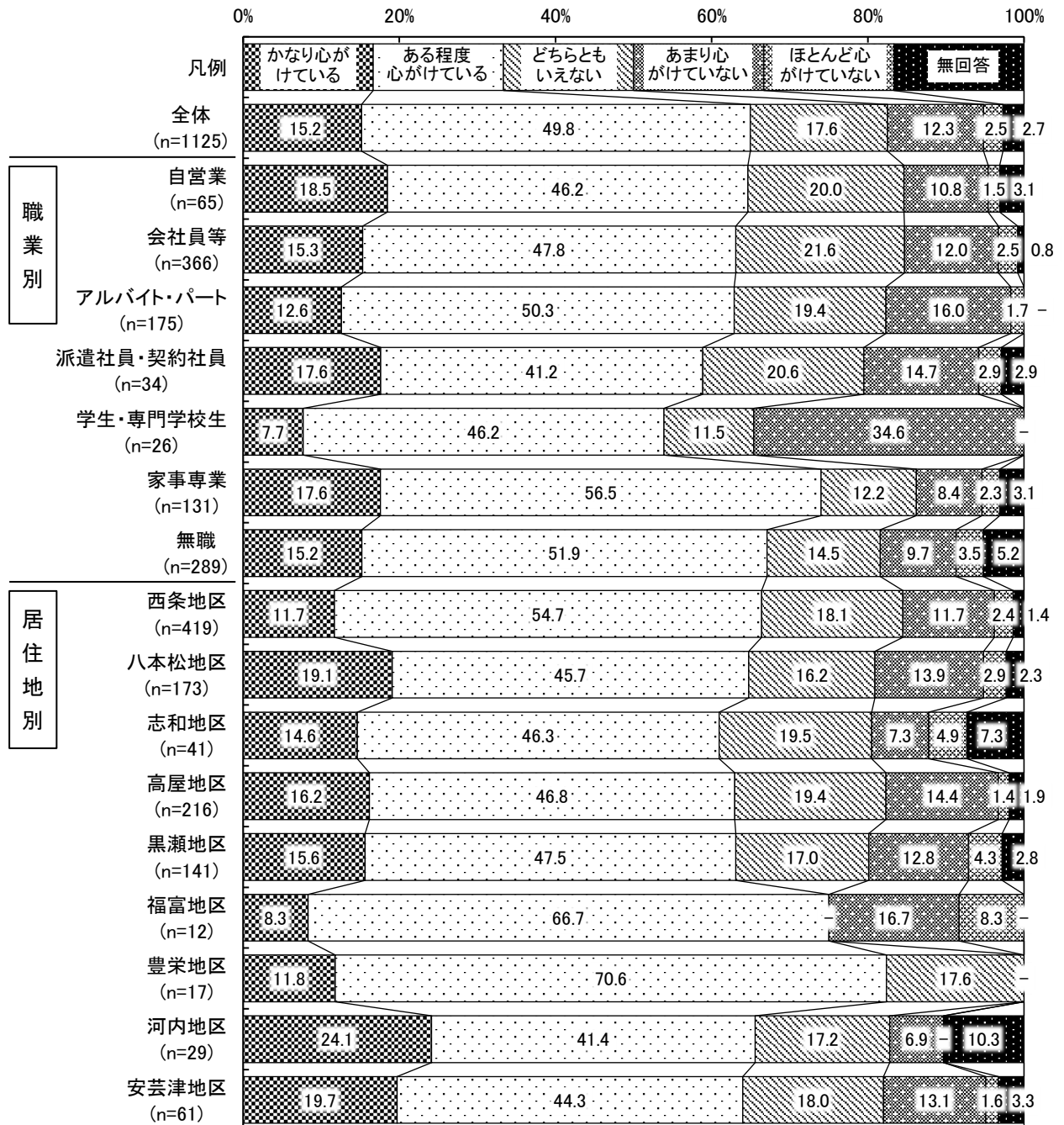


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度心がけている」は『家事専業』が56.5%と6.7ポイント全体より高い。  
 “心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）についても、  
 『家事専業』が74.1%と9.1ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“心がけている”は『豊栄地区』が82.4%と17.4ポイント、『福富地区』が  
 75.0%と10.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図18-5 消費者としての行動の心がけ状況 ②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、  
 注意事項・返品特約を確認したりする／職業別・居住地別



### ③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる

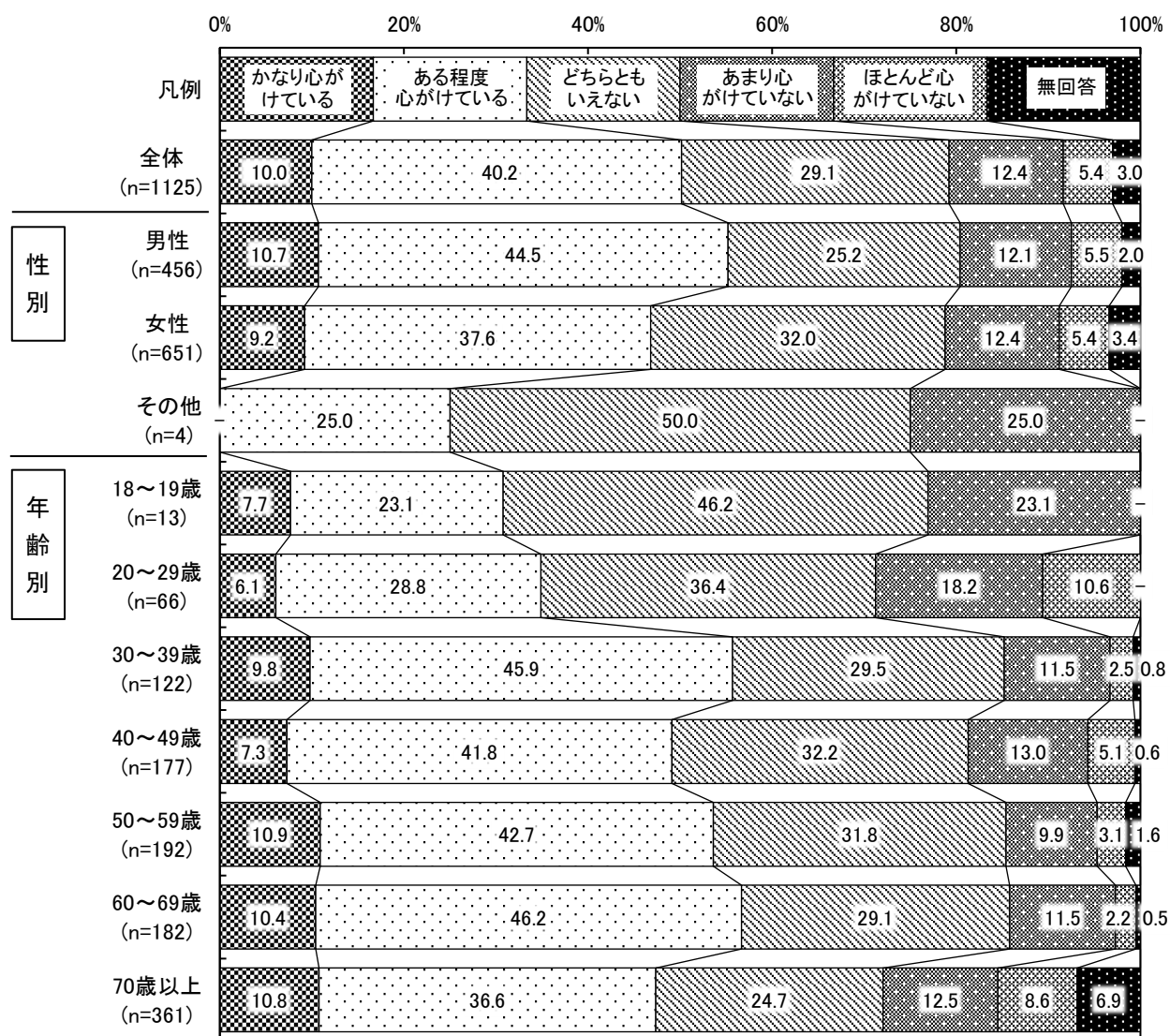
#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「ある程度心がけている」は『男性』44.5%、『女性』37.6%と、『男性』が『女性』より6.9ポイント高い。“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）についても、『男性』55.2%、『女性』46.8%と、『男性』が『女性』より8.4ポイント高い。

年齢別では、“心がけている”については、『60～69歳』が56.6%と6.4ポイント、『30～39歳』が55.7%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は34.9%と15.3ポイント全体より低くなっている。

図18-6 消費者としての行動の心がけ状況

#### ③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる／性別・年齢別



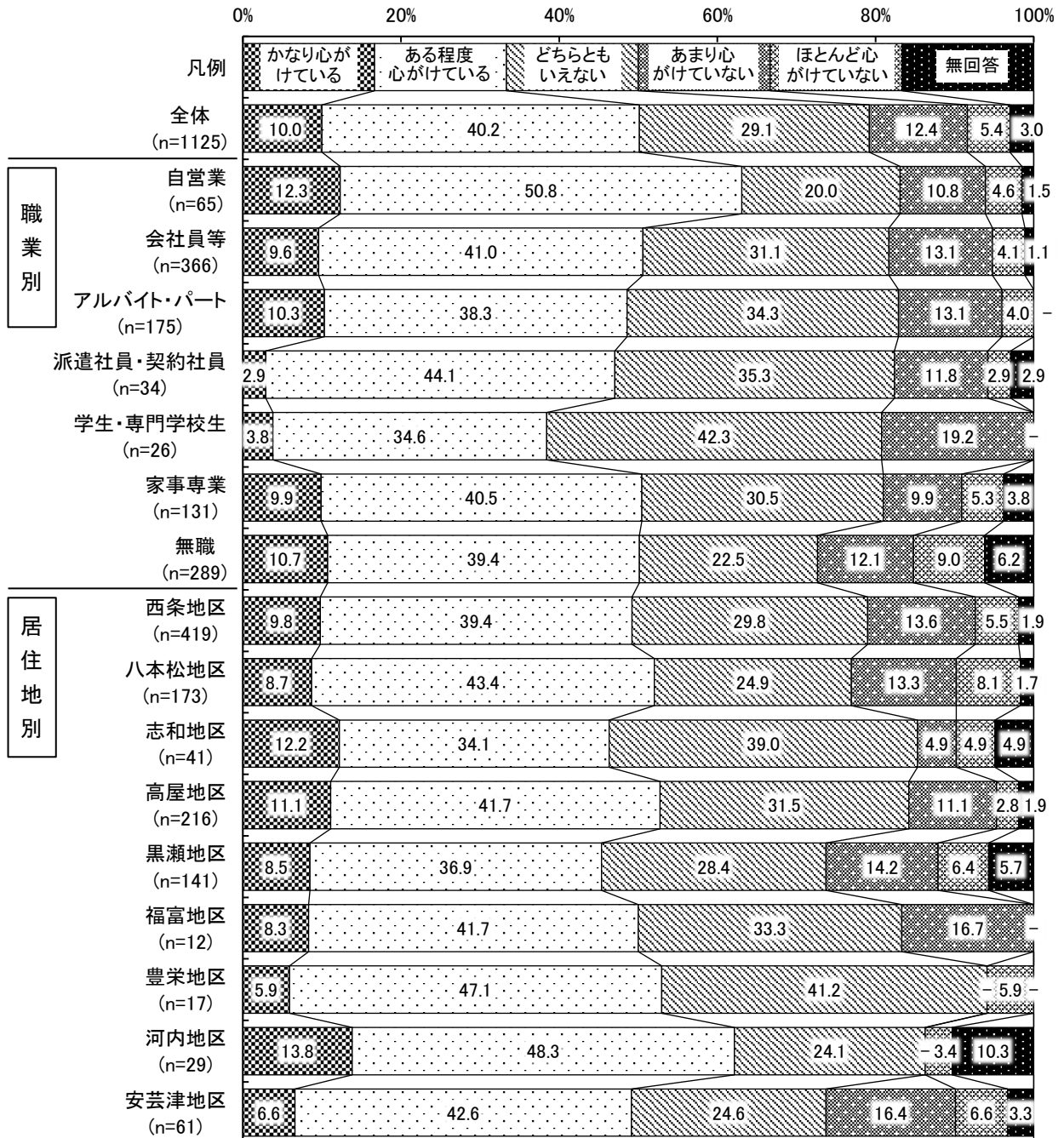
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度心がけている」は『自営業』が50.8%と10.6ポイント全体より高い。「心がけている」（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）についても、『自営業』が63.1%と12.9ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「心がけている」は『河内地区』が62.1%と11.9ポイント全体より高い。

図18-7 消費者としての行動の心がけ状況

③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる／職業別・居住地別



④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている

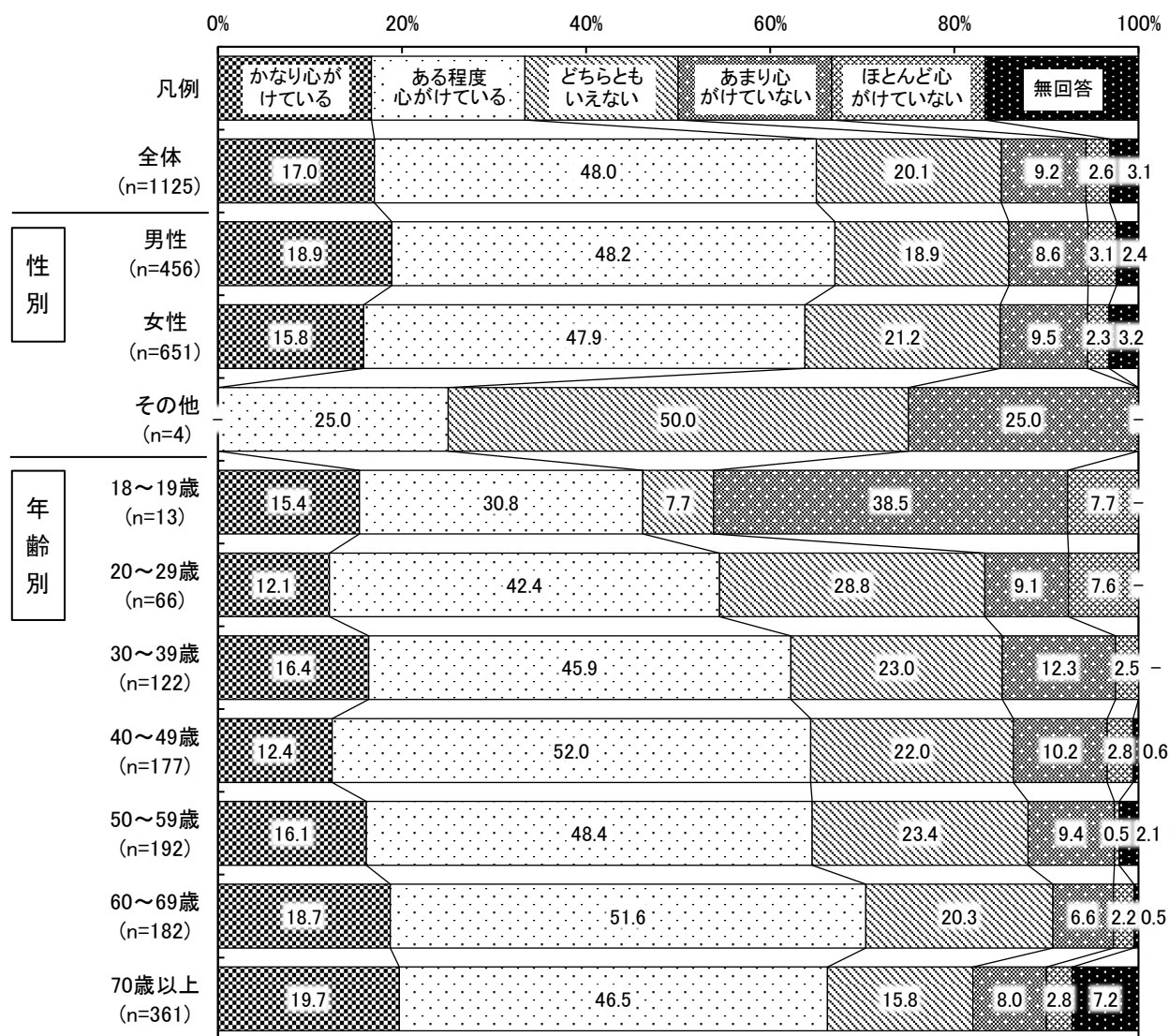
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については、『60～69歳』が70.3%と5.3ポイント全体より高く、これより年齢が下がるほど低くなっており、『20～29歳』は54.5%と10.5ポイント全体より低い。

図18-8 消費者としての行動の心がけ状況

④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている／性別・年齢別



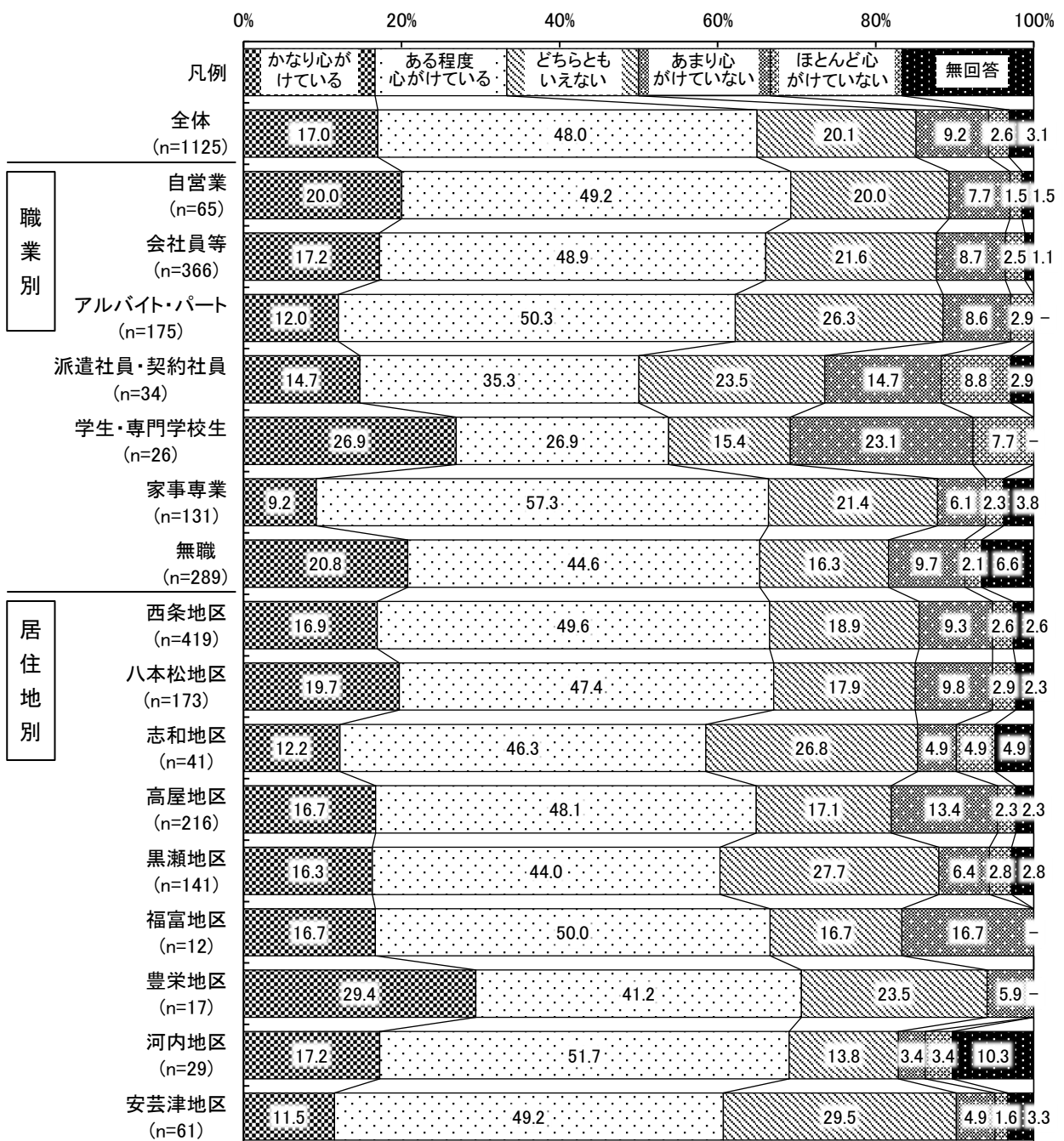
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「どちらともいえない」は『アルバイト・パート』が26.3%と6.2ポイント全体より高い。“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については、『派遣社員・契約社員』が50.0%と15.0ポイント、『学生・専門学校生』が53.8%と11.2ポイント、それぞれ全体より低い、その他の属性では6割以上で顕著な差はない。

居住地別では、「どちらともいえない」は『安芸津地区』が29.5%と9.4ポイント、『黒瀬地区』が27.7%と7.6ポイント、『志和地区』が26.8%と6.7ポイント、それぞれ全体より高い。“心がけている”は『豊栄地区』が70.6%と5.6ポイント全体より高い。一方、『志和地区』は58.5%と6.5ポイント全体より低くなっている。

図18-9 消費者としての行動の心がけ状況

④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている／職業別・居住地別



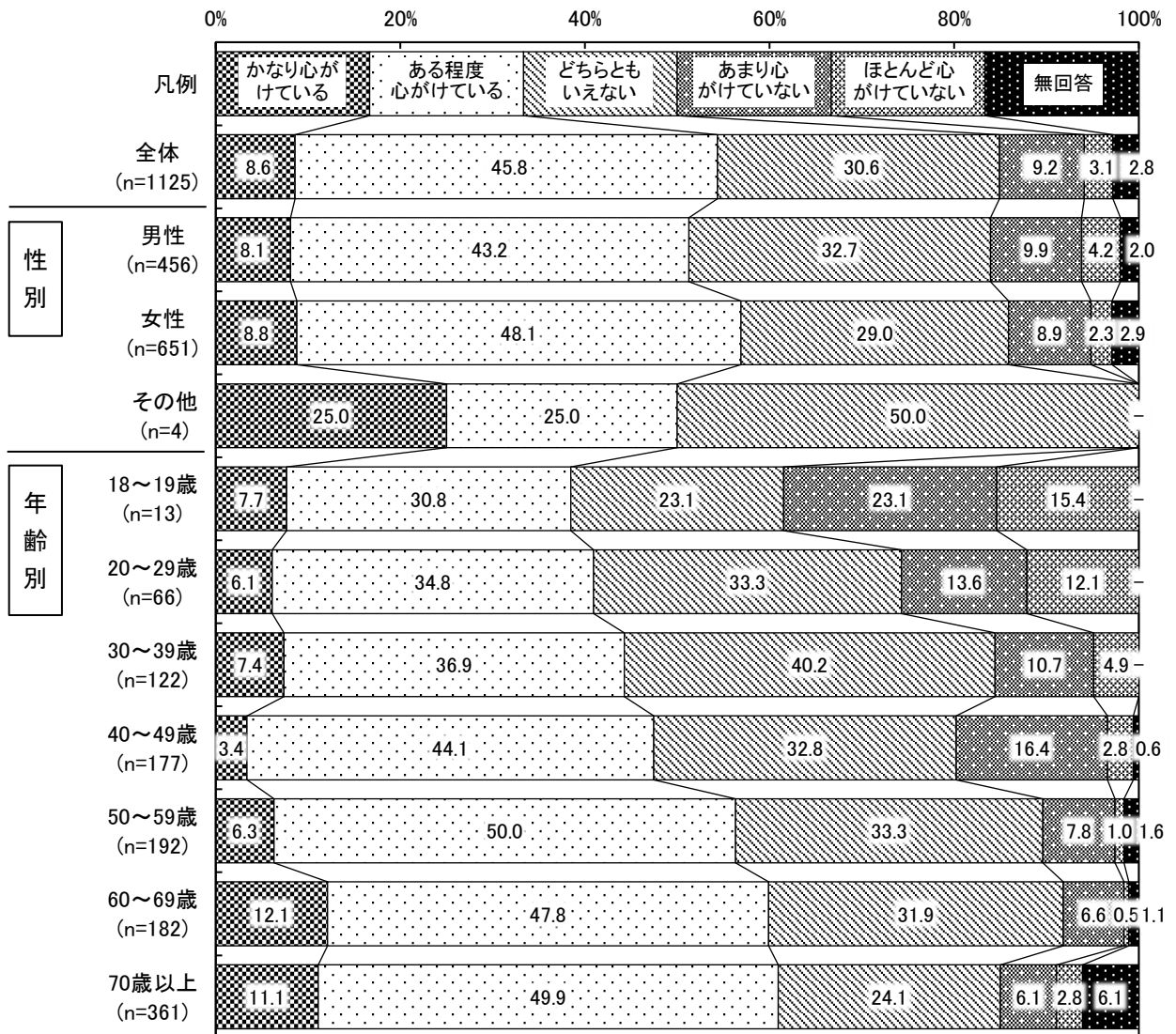
⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』51.3%、『女性』56.9%と『女性』が『男性』より5.6ポイント高い。

年齢別では、“心がけている”については年齢が上がるほど高くなっており、『70歳以上』が61.0%と6.6ポイント、『60～69歳』が59.9%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は40.9%と13.5ポイント、『30～39歳』が44.3%と10.1ポイント、『40～49歳』が47.5%と6.9ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図18-10 消費者としての行動の心がけ状況  
⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する／性別・年齢別



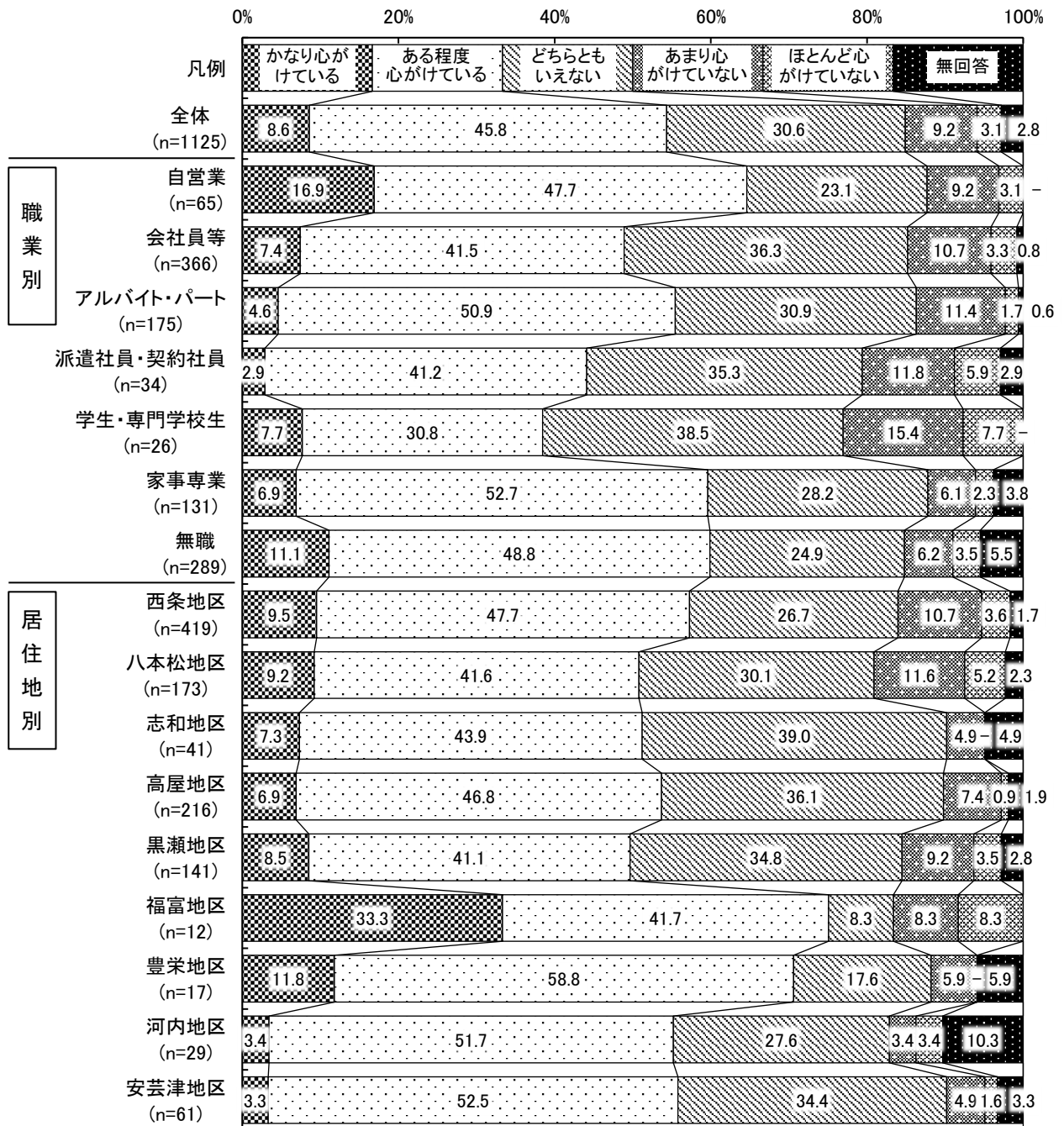


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については、『自営業』が64.6%と10.2ポイント、『無職』が59.9%と5.5ポイント、『家事専業』が59.6%と5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「どちらともいえない」は『志和地区』が39.0%と8.4ポイント、『高屋地区』が36.1%と5.5ポイント全体より高い。“心がけている”については、『福富地区』が75.0%と20.6ポイント、『豊栄地区』が70.6%と16.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図18-11 消費者としての行動の心がけ状況  
⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する／職業別・居住地別



⑥食品ロス(本来食べられるのに捨てられた食品)問題を認知して削減に取り組んでいる

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

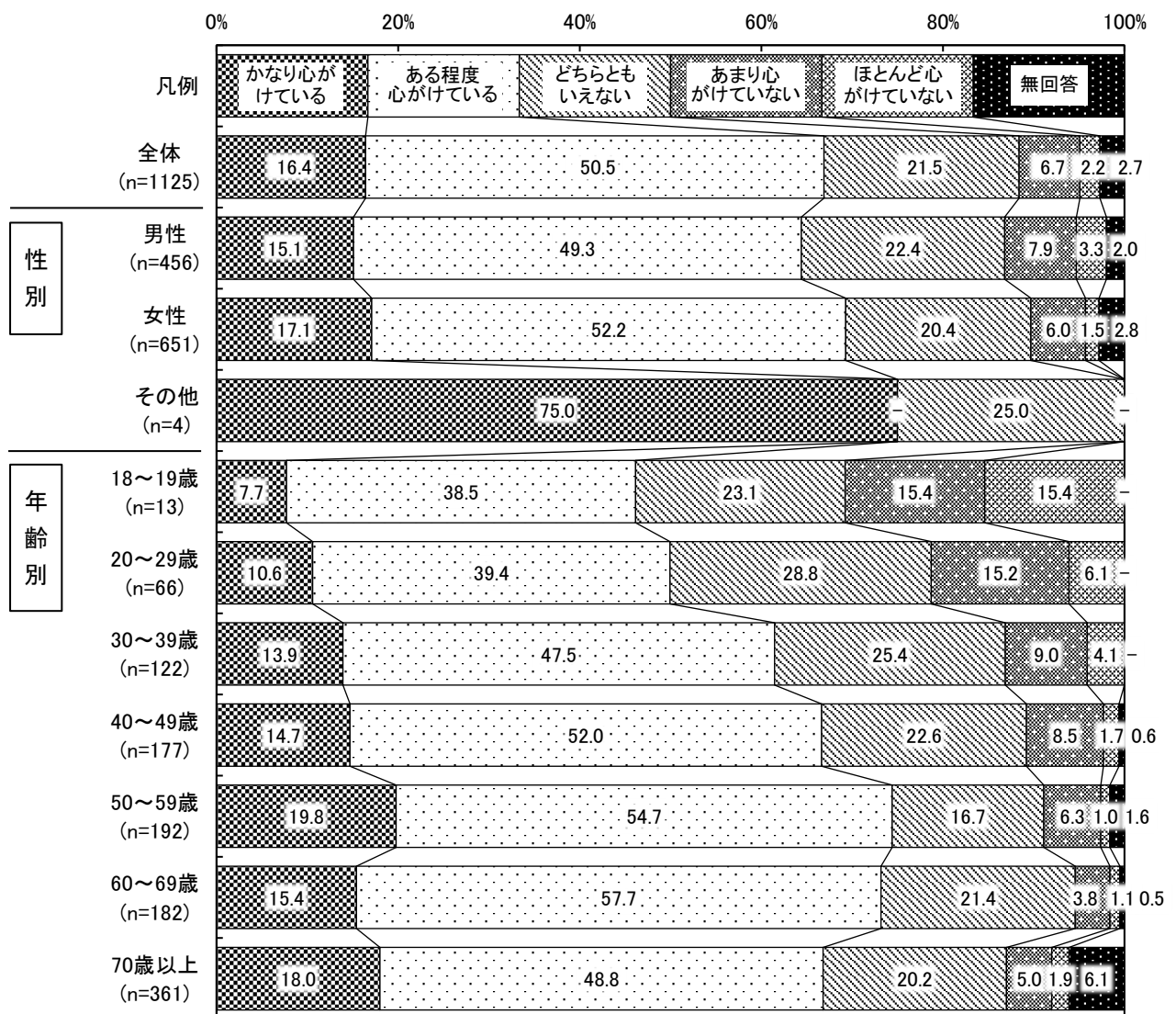
性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については、『男性』64.4%、『女性』69.3%と、『女性』が『男性』より4.9ポイント高い。

年齢別では、“心がけている”については、『50～59歳』が74.5%と7.6ポイント、『60～69歳』が73.1%と6.2ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は50.0%と16.9ポイント全体より低くなっている。

図18-12 消費者としての行動の心がけ状況

⑥食品ロス(本来食べられるのに捨てられた食品)問題を認知して削減に取り組んでいる

／性別・年齢別



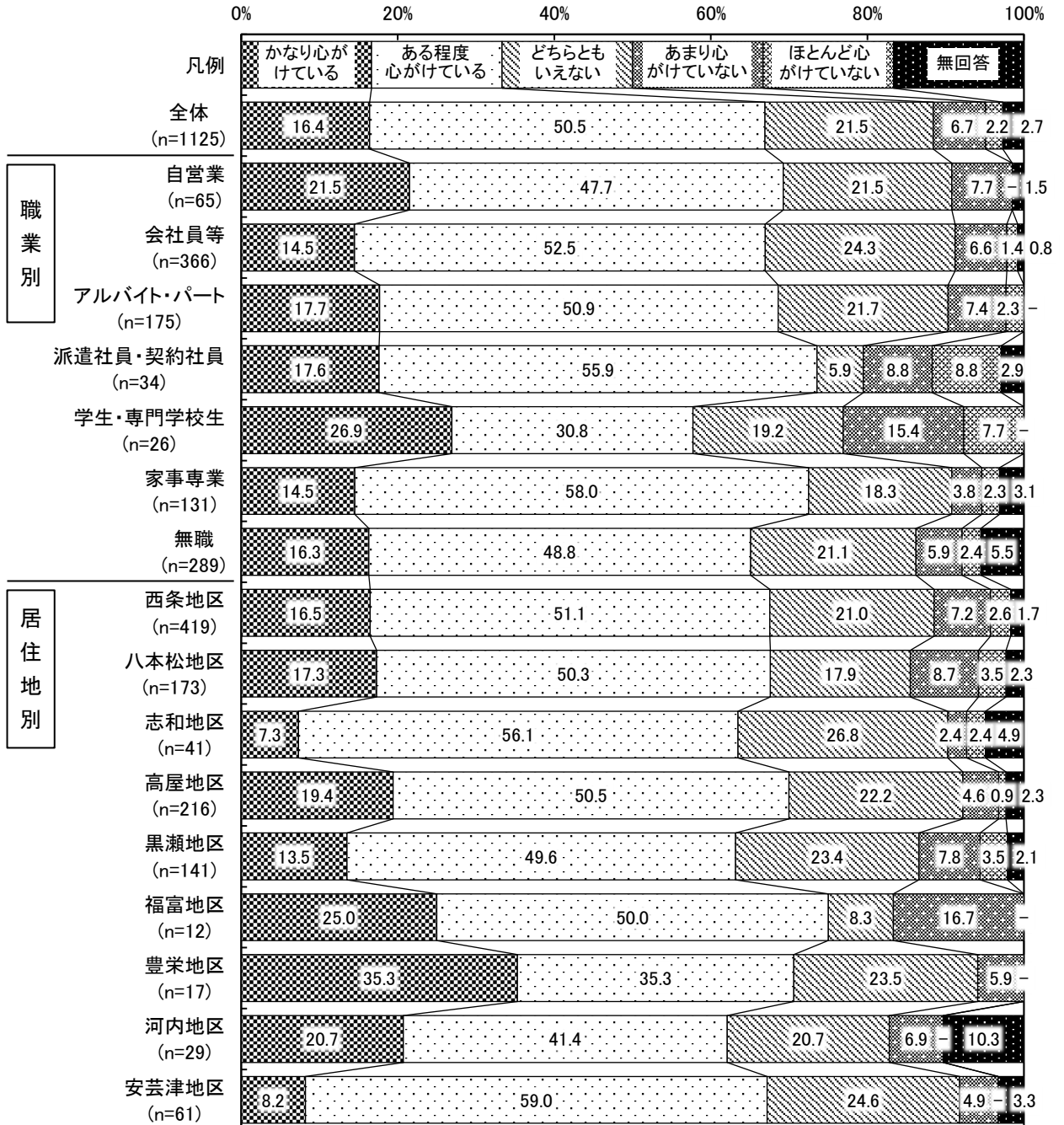
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「かなり心がけている」は『自営業』が21.5%と5.1ポイント全体より高い。  
 “心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については、  
 『家事専業』が72.5%と5.6ポイント全体より高い。

居住地別では、“心がけている”については、『福富地区』が75.0%と8.1ポイント全体より  
 高い。

図18-13 消費者としての行動の心がけ状況

⑥食品ロス(本来食べられるのに捨てられた食品)問題を認知して削減に取り組んでいる  
 /職業別・居住地別



## 1 1. ごみの減量・資源化について

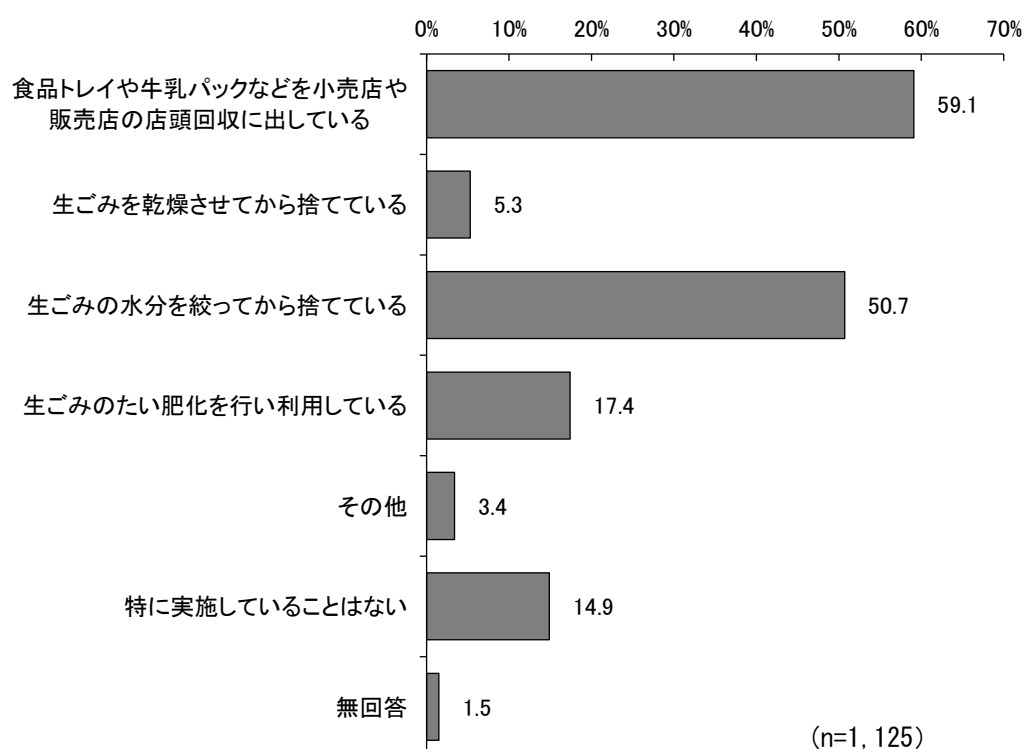
(1) ごみの減量・資源化のために実施している事項

問19 次の行動の中で、あなたの家でごみの減量・資源化のために実施していることはありますか。（当てはまるもの全てを選んで○をお付けください）

ごみの減量・資源化のために実施している事項については、「食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している」が59.1%、「生ごみの水分を絞ってから捨てている」が50.7%と高い。「生ごみのたい肥化を行い利用している」は17.4%、「生ごみを乾燥させてから捨てている」は5.3%、「特に実施していることはない」は14.9%となっている。

図19-1 ごみの減量・資源化のために実施している事項<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「生ごみの水分を絞ってから捨てている」は『男性』39.3%、『女性』58.7%と、『女性』が『男性』より19.4ポイント高い。「特に実施していることはない」は『男性』20.2%、『女性』11.5%と、『男性』が『女性』より8.7ポイント高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している」は『50～59歳』が64.1%と5.0ポイント全体より高い。

「生ごみの水分を絞ってから捨てている」と「生ごみのたい肥化を行い利用している」は年齢が上がるほど回答した割合が高くなっており、「生ごみのたい肥化を行い利用している」については、『70歳以上』が28.3%と10.9ポイント、『60～69歳』が23.1%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「特に実施していることはない」は『20～29歳』が25.8%と10.9ポイント全体より高い。

表19-1 ごみの減量・資源化のために実施している事項／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している	生ごみを乾燥させてから捨てている	生ごみの水分を絞ってから捨てている	生ごみのたい肥化を行い利用している	その他	特に実施していることはない	無回答
全体(n=1125)		59.1	5.3	50.7	17.4	3.4	14.9	1.5
性別	男性(n=456)	<b>57.0</b>	5.3	39.3	16.7	2.9	20.2	2.0
	女性(n=651)	<b>60.8</b>	5.1	58.7	18.1	3.7	11.5	0.8
	その他(n=4)	75.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-
年齢別	18～19歳(n=13)	46.2	7.7	30.8	7.7	7.7	15.4	-
	20～29歳(n=66)	<b>57.6</b>	4.5	31.8	3.0	3.0	<b>25.8</b>	-
	30～39歳(n=122)	<b>61.5</b>	6.6	43.4	8.2	0.8	18.0	0.8
	40～49歳(n=177)	<b>59.9</b>	2.3	52.0	7.9	4.0	17.5	-
	50～59歳(n=192)	<b>64.1</b>	5.2	52.6	12.5	4.7	14.1	2.1
	60～69歳(n=182)	<b>61.0</b>	3.3	52.7	<b>23.1</b>	2.7	12.6	-
	70歳以上(n=361)	<b>55.1</b>	7.2	54.6	<b>28.3</b>	3.3	12.7	2.5

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している」は『家事専業』が70.2%と11.1ポイント全体より高く、「生ごみの水分を絞ってから捨てている」についても『家事専業』が67.2%と16.5ポイント全体より高くなっている。「生ごみのたい肥化を行い利用している」は『自営業』が32.3%と14.9ポイント、『無職』が26.0%と8.6ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している」は『安芸津地区』が8.1ポイント、『高屋地区』が8.0ポイント、『八本松地区』が7.4ポイント、それぞれ全体より高い。「生ごみの水分を絞ってから捨てている」は『河内地区』が11.4ポイント、『八本松地区』が5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「生ごみのたい肥化を行い利用している」は『福富地区』が40.9ポイント、『豊栄地区』が35.5ポイント、『河内地区』が10.2ポイント、『志和地区』が9.4ポイント、それぞれ全体より高い。「特に実施していることはない」は『豊栄地区』が14.5ポイント、『志和地区』が7.1ポイント全体より高くなっている。

表19-2 ごみの減量・資源化のために実施している事項／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している	生ごみを乾燥させてから捨てている	生ごみの水分を絞ってから捨てている	生ごみのたい肥化を行い利用している	その他	特に実施していることはない	無回答
全体(n=1125)		59.1	5.3	50.7	17.4	3.4	14.9	1.5
職業別	自営業(n=65)	<b>58.5</b>	4.6	44.6	<b>32.3</b>	3.1	13.8	-
	会社員等(n=366)	<b>60.4</b>	4.9	47.3	8.2	3.0	18.0	1.1
	アルバイト・パート(n=175)	<b>62.9</b>	4.0	53.7	14.3	2.3	16.0	-
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>58.8</b>	5.9	38.2	14.7	2.9	17.6	2.9
	学生・専門学校生(n=26)	<b>61.5</b>	3.8	26.9	15.4	7.7	15.4	-
	家事専業(n=131)	<b>70.2</b>	4.6	<b>67.2</b>	21.4	3.8	3.8	-
	無職(n=289)	<b>51.2</b>	6.2	50.9	<b>26.0</b>	3.8	15.6	2.4
地域別	西条地区(n=419)	<b>57.5</b>	6.0	49.4	12.6	3.8	18.1	0.7
	八本松地区(n=173)	<b>66.5</b>	3.5	56.1	19.1	2.3	10.4	1.7
	志和地区(n=41)	<b>48.8</b>	2.4	46.3	<b>26.8</b>	-	<b>22.0</b>	2.4
	高屋地区(n=216)	<b>67.1</b>	6.0	54.6	15.7	4.6	10.6	0.9
	黒瀬地区(n=141)	<b>47.5</b>	3.5	46.8	19.1	3.5	19.1	1.4
	福富地区(n=12)	41.7	8.3	25.0	<b>58.3</b>	-	8.3	-
	豊栄地区(n=17)	47.1	5.9	23.5	<b>52.9</b>	-	<b>29.4</b>	-
	河内地区(n=29)	48.3	6.9	<b>62.1</b>	<b>27.6</b>	3.4	6.9	3.4
	安芸津地区(n=61)	<b>67.2</b>	6.6	50.8	21.3	1.6	11.5	1.6

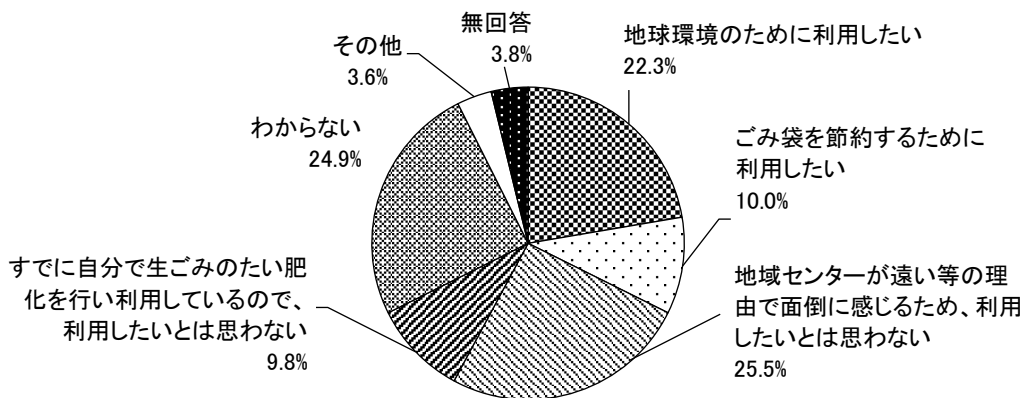
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

(2) 生ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向

問20 生ごみのたい肥化を目的として、お住まいの地域の地域センター等で生ごみを集めることとなった場合、利用してみたいと思いますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

生ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向については、「地球環境のために利用したい」が22.3%、「ごみ袋を節約するために利用したい」が10.0%と、「利用したい」（「地球環境のために利用したい」と「ごみ袋を節約するために利用したい」の合計）は32.3%となっている。「地域センターが遠い等の理由で面倒に感じるため、利用したいとは思わない」は25.5%、「すでに自分で生ごみのたい肥化を行い利用しているので、利用したいとは思わない」は9.8%、「わからない」は24.9%となっている。

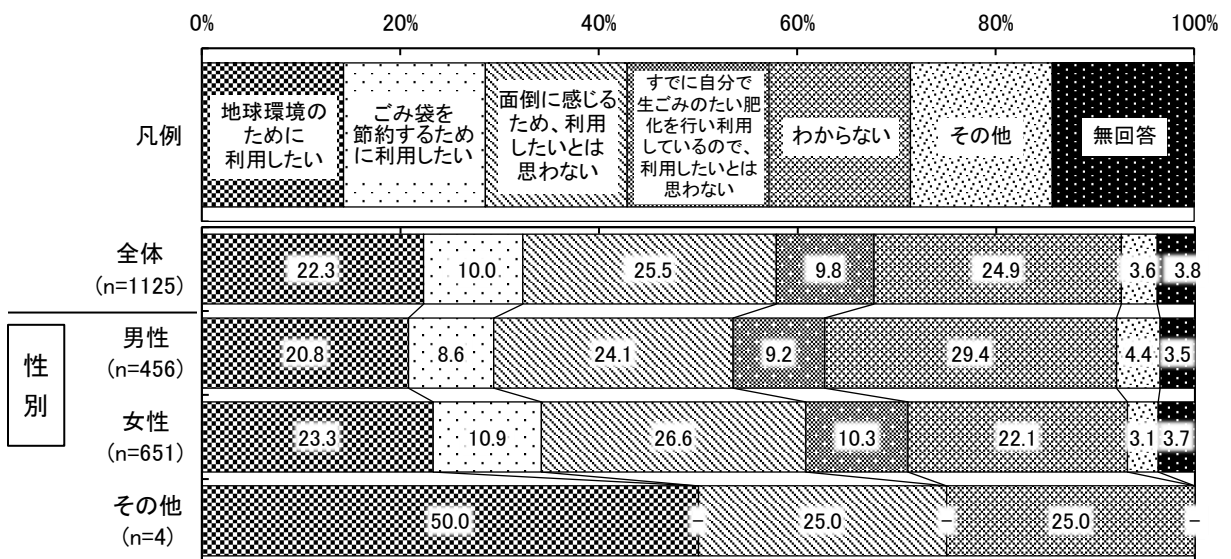
図20-1 生ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向 [n=1,125]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「わからない」は『男性』29.4%、『女性』22.1%と、『女性』が『男性』より7.3ポイント高い。

図20-2 生ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向／性別



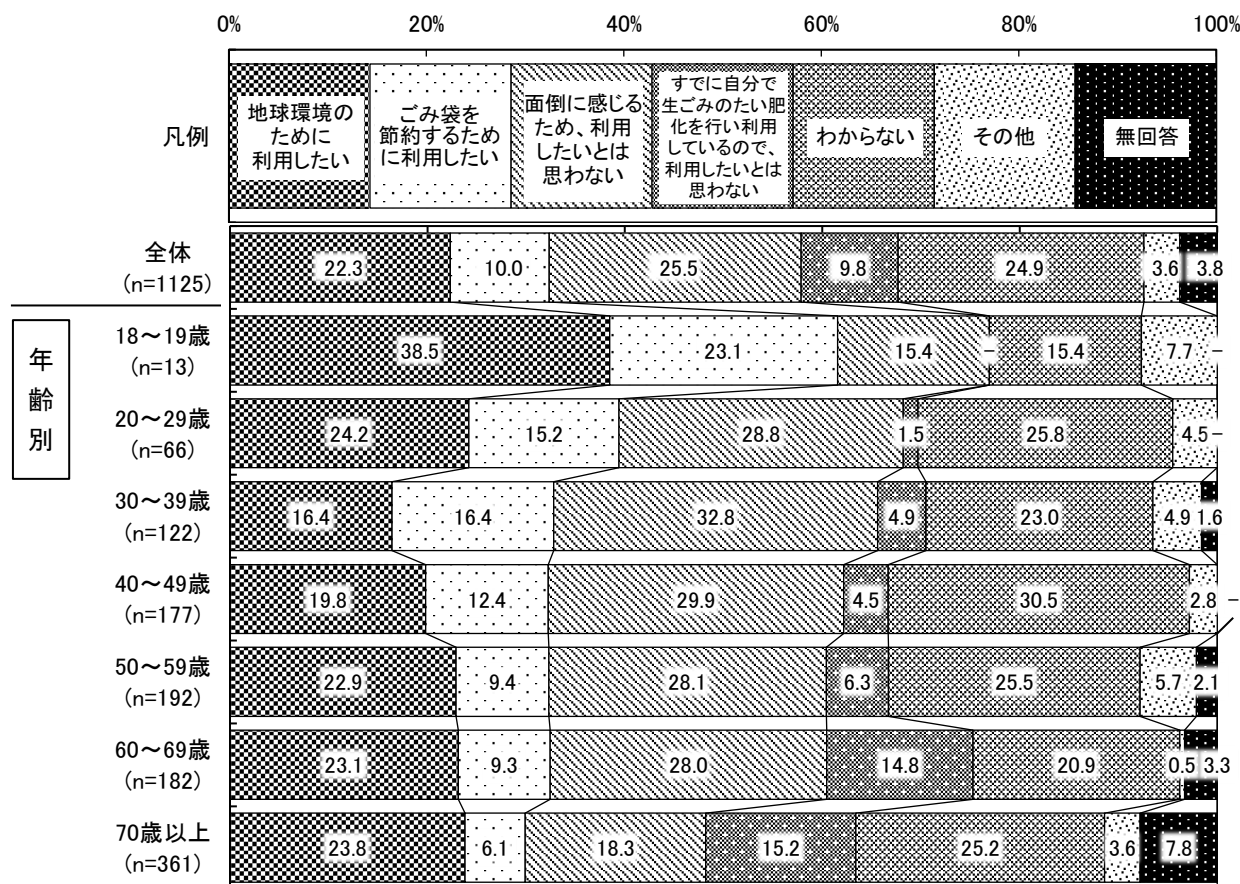
【属性別の傾向】＜年齢別＞

年齢別では、「ごみ袋を節約するために利用したい」は『30～39歳』が16.4%と6.4ポイント、『20～29歳』が15.2%と5.2ポイント、それぞれ全体より高い。“利用したい”（「地球環境のために利用したい」と「ごみ袋を節約するために利用したい」の合計）については、『20～29歳』が39.4%と7.1ポイント全体より高い。

「地域センターが遠い等の理由で面倒に感じるため、利用したいとは思わない」は『30～39歳』が32.8%と7.3ポイント、「すでに自分で生ごみのたい肥化を行い利用しているので、利用したいとは思わない」は『70歳以上』が15.2%と5.4ポイント、『60～69歳』が14.8%と5.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「わからない」は『40～49歳』が30.5%と5.6ポイント全体より高い。

図20-3 ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向／年齢別





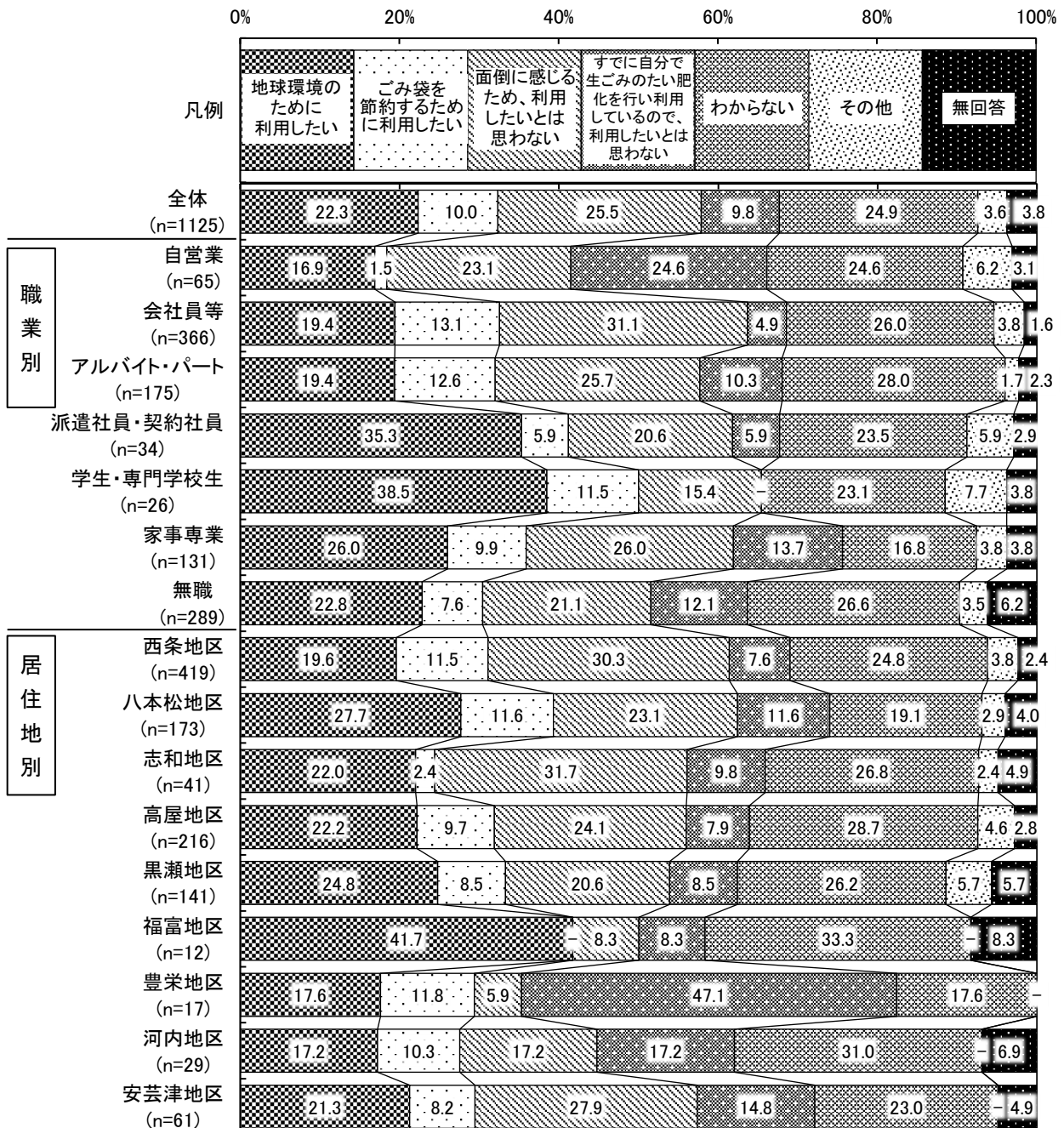
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「地域センターが遠い等の理由で面倒に感じるため、利用したいとは思わない」は『会社員等』が31.1%と5.6ポイント全体より高く、「すでに自分で生ごみのたい肥化を行い利用しているので、利用したいとは思わない」は『自営業』が24.6%と14.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“利用したい”（「地球環境のために利用したい」と「ごみ袋を節約するために利用したい」の合計）については、『福富地区』が41.7%と9.4ポイント、『八本松地区』が39.3%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域センターが遠い等の理由で面倒に感じるため、利用したいとは思わない」は『志和地区』が6.2ポイント、「すでに自分で生ごみのたい肥化を行い利用しているので、利用したいとは思わない」は『豊栄地区』が37.3ポイント、『河内地区』が7.4ポイント、『安芸津地区』が5.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図20-4 ごみのたい肥化を目的とした生ごみ回収の利用意向／職業別・居住地別



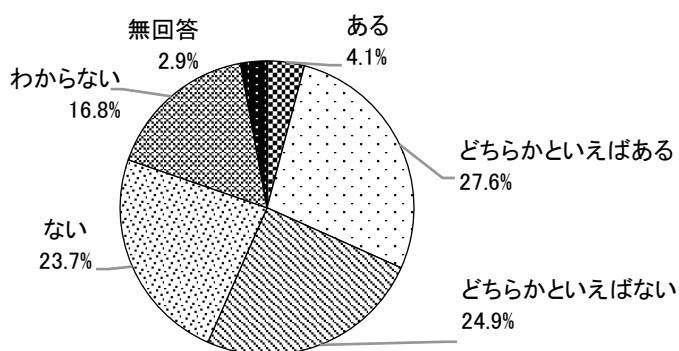
## 1 2. 市内の大学との連携について

(1) 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じるか

問21 東広島市では、市内大学との連携推進や、学生の地域活動を促進していますが、「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じることはありますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じることもあるかについては、「ある」が4.1%、「どちらかといえばある」が27.6%と、「ある」（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）は31.7%、「ない」（「ない」と「どちらかといえばない」の合計）は48.6%となっている。

図21-1 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じるか [n=1, 125]

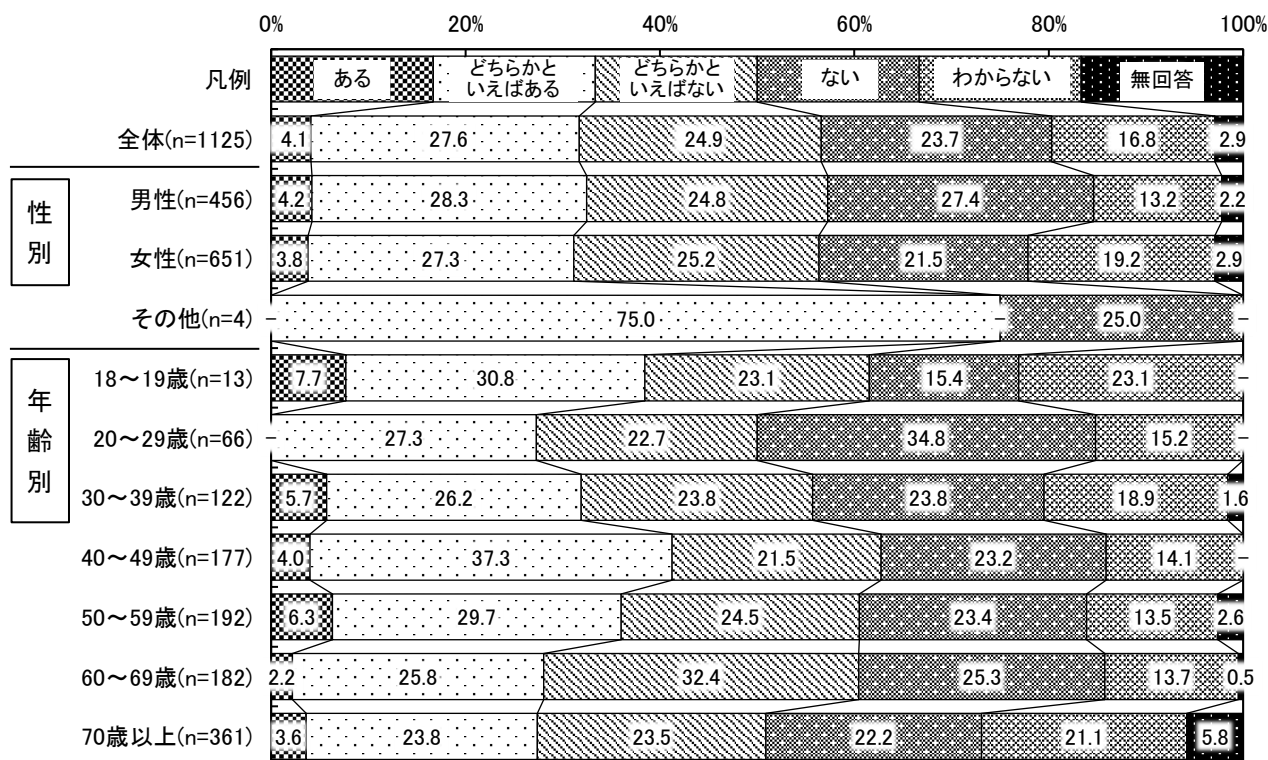


### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「ある」については、男女で顕著な差はないが、「ない」については、『男性』52.2%、『女性』46.7%と、『男性』が『女性』より5.5ポイント高い。

年齢別では、「ある」は『40～49歳』が41.3%と9.6ポイント高い。

図21-2 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じるか／性別・年齢別

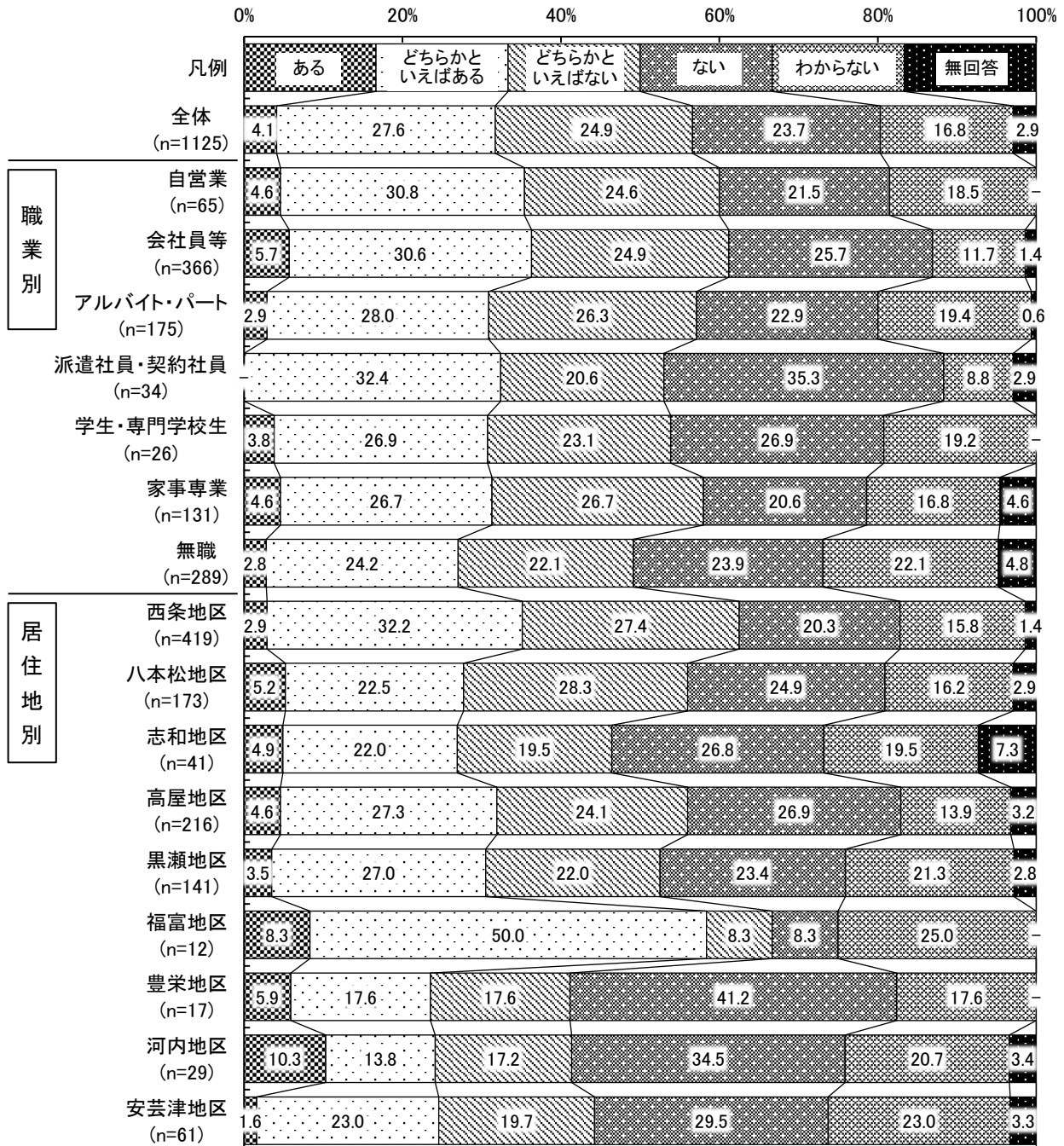


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“ある”（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）については、『無職』が27.0%と4.7ポイント全体より低い、その他の属性では3割以上を占めている。

居住地別では、“ある”については、『福富地区』が58.3%と26.6ポイント全体より高い。“ない”（「ない」と「どちらかといえばない」の合計）については、『豊栄地区』が58.8%と10.2ポイント全体より高い。

図21-3 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」と感じるか／職業別・居住地別

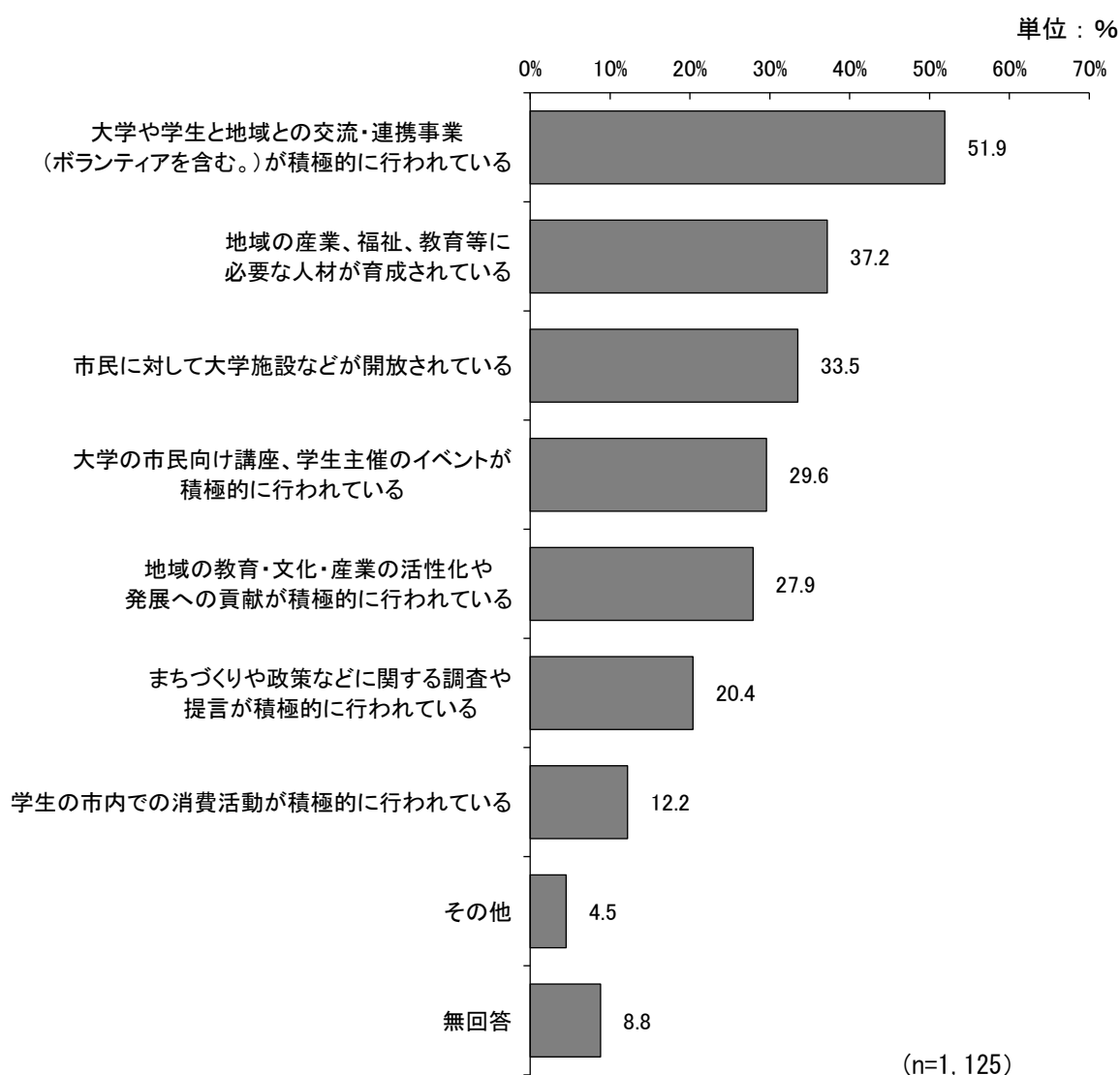


(2) 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」に必要な事項

問22 あなたは、どのようにしたら東広島市が「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」になるとお考えですか（主なものを3つまで選んで○をお付けください）

どのようにしたら東広島市が「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」になると思うかについては、「大学や学生と地域との交流・連携事業が積極的に行われている」が51.9%と最も高く、5割以上を占めている。次いで、「地域の産業、福祉、教育等に必要な人材が育成されている」が37.2%、「市民に対して大学施設などが開放されている」が33.5%、「大学の市民向け講座、学生主催のイベントが積極的に行われている」が29.6%、「地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている」が27.9%となっている。

図22-1 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」に必要な事項＜複数回答＞



【属性別の傾向】＜性別＞

「地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている」は『男性』30.9%、『女性』26.1%と、『男性』が『女性』より4.8ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「大学や学生と地域との交流・連携事業が積極的に行われている」は『20～29歳』が59.1%と7.2ポイント、「市民に対して大学施設などが開放されている」は『60～69歳』が41.8%と8.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「大学の市民向け講座、学生主催のイベントが積極的に行われている」は『40～49歳』が39.0%と9.4ポイント、『50～59歳』が35.9%と6.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている」は『30～39歳』が35.2%と7.3ポイント、「まちづくりや政策などに関する調査や提言が積極的に行われている」は『50～59歳』が27.6%と7.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「学生の市内での消費活動が積極的に行われている」は『20～29歳』が22.7%と10.5ポイント全体より高くなっている。

表22-1 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」に必要な事項  
／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		大学や学生と地域との交流・連携事業（ボランティアを含む。）が積極的に行われている	地域の教育・文化・産業、福祉、教育等に必要人材が育成されている	市民に対して大学施設などが開放されている	大学の市民向け講座、学生主催のイベントが積極的に行われている	地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている	まちづくりや政策などに関する調査や提言が積極的に行われている	学生の市内での消費活動が積極的に行われている	その他	無回答
全体(n=1125)		51.9	37.2	33.5	29.6	27.9	20.4	12.2	4.5	8.8
性別	男性(n=456)	<b>51.5</b>	35.5	34.4	29.2	30.9	21.1	13.8	5.9	6.4
	女性(n=651)	<b>52.8</b>	38.1	33.0	30.3	26.1	19.8	11.2	3.7	10.0
	その他(n=4)	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	61.5	38.5	23.1	30.8	23.1	23.1	15.4	7.7	-
	20～29歳(n=66)	<b>59.1</b>	37.9	33.3	22.7	24.2	12.1	<b>22.7</b>	4.5	1.5
	30～39歳(n=122)	<b>56.6</b>	41.8	34.4	30.3	<b>35.2</b>	17.2	14.8	6.6	2.5
	40～49歳(n=177)	<b>52.0</b>	36.2	36.7	39.0	31.6	19.8	16.9	2.8	2.3
	50～59歳(n=192)	<b>56.3</b>	37.0	33.9	35.9	25.0	<b>27.6</b>	13.5	5.2	5.7
	60～69歳(n=182)	<b>54.9</b>	39.0	<b>41.8</b>	33.5	31.9	22.0	9.9	3.3	3.8
70歳以上(n=361)	<b>46.0</b>	35.2	28.0	21.3	24.4	18.6	7.5	5.0	<b>18.8</b>	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「市民に対して大学施設などが開放されている」は『アルバイト・パート』が41.1%と7.6ポイント、「大学の市民向け講座、学生主催のイベントが積極的に行われている」についても、『アルバイト・パート』が37.1%と7.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「まちづくりや政策などに関する調査や提言が積極的に行われている」は『家事専業』が26.0%と5.6ポイント全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「大学や学生と地域との交流・連携事業が積極的に行われている」は『志和地区』が58.5%と6.6ポイント、「地域の産業、福祉、教育等に必要な人材が育成されている」は『河内地区』が44.8%と7.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている」は『河内地区』が37.9%と10.0ポイント、「まちづくりや政策などに関する調査や提言が積極的に行われている」は『福富地区』が41.7%と21.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表22-2 「大学や学生の力を活かしたまちづくりを行っているまち」に必要な事項  
／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		大学や学生と地域との交流・連携事業（ボランティアを含む。）が積極的に行われている	地域の産業、福祉、教育等に必要人材が育成されている	市民に対して大学施設などが開放されている	大学の市民向け講座、学生主催のイベントが行われている	地域の教育・文化・産業の活性化や発展への貢献が積極的に行われている	まちづくりや政策などに関する調査や提言が積極的に行われている	学生の市内での消費活動が積極的に行われている	その他	無回答
全体(n=1125)		51.9	37.2	33.5	29.6	27.9	20.4	12.2	4.5	8.8
職業別	自営業(n=65)	<b>50.8</b>	36.9	35.4	26.2	30.8	21.5	15.4	6.2	10.8
	会社員等(n=366)	<b>54.9</b>	36.6	35.2	32.5	32.8	20.5	16.1	3.3	3.0
	アルバイト・パート(n=175)	<b>55.4</b>	37.1	41.1	37.1	25.7	18.3	12.6	3.4	5.1
	派遣社員・契約社員(n=34)	55.9	<b>58.8</b>	20.6	23.5	<b>47.1</b>	23.5	11.8	2.9	5.9
	学生・専門学校生(n=26)	<b>73.1</b>	30.8	<b>50.0</b>	30.8	19.2	19.2	15.4	7.7	-
	家事専業(n=131)	<b>48.1</b>	37.4	24.4	32.1	29.0	<b>26.0</b>	6.1	4.6	11.5
	無職(n=289)	<b>46.7</b>	37.4	31.1	21.8	21.8	18.3	9.0	5.9	16.3
地域別	西条地区(n=419)	<b>49.9</b>	40.1	34.1	30.8	31.0	21.5	13.1	5.3	5.5
	八本松地区(n=173)	<b>54.9</b>	30.6	37.6	30.1	23.7	17.3	13.9	5.8	8.1
	志和地区(n=41)	<b>58.5</b>	41.5	36.6	24.4	24.4	19.5	4.9	2.4	9.8
	高屋地区(n=216)	<b>54.6</b>	38.9	33.8	33.3	25.9	18.5	12.0	1.9	8.8
	黒瀬地区(n=141)	<b>53.9</b>	36.2	36.2	31.2	27.7	21.3	14.9	5.0	7.8
	福富地区(n=12)	<b>50.0</b>	25.0	16.7	25.0	16.7	<b>41.7</b>	-	-	<b>33.3</b>
	豊栄地区(n=17)	<b>52.9</b>	29.4	17.6	17.6	23.5	17.6	11.8	11.8	11.8
	河内地区(n=29)	<b>48.3</b>	44.8	27.6	13.8	<b>37.9</b>	24.1	10.3	-	17.2
	安芸津地区(n=61)	<b>47.5</b>	32.8	19.7	21.3	27.9	21.3	4.9	8.2	18.0

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

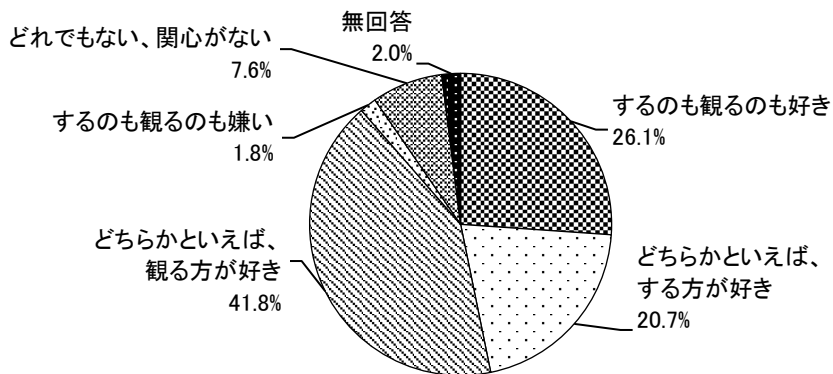
### 13. 運動・スポーツについて

#### (1) 運動・スポーツが好きか

問23 あなたは、運動やスポーツが好きですか？（1つだけ選んで○をお付けください）

運動やスポーツが好きかについては、「どちらかといえば、観る方が好き」が41.8%と最も高く、次いで、「するの観るの好き」が26.1%、「どちらかといえば、する方が好き」が20.7%となっている。「するの観るの嫌い」は1.8%、「どれでもない、関心がない」は7.6%であった。

図23-1 運動・スポーツが好きか [n=1,125]

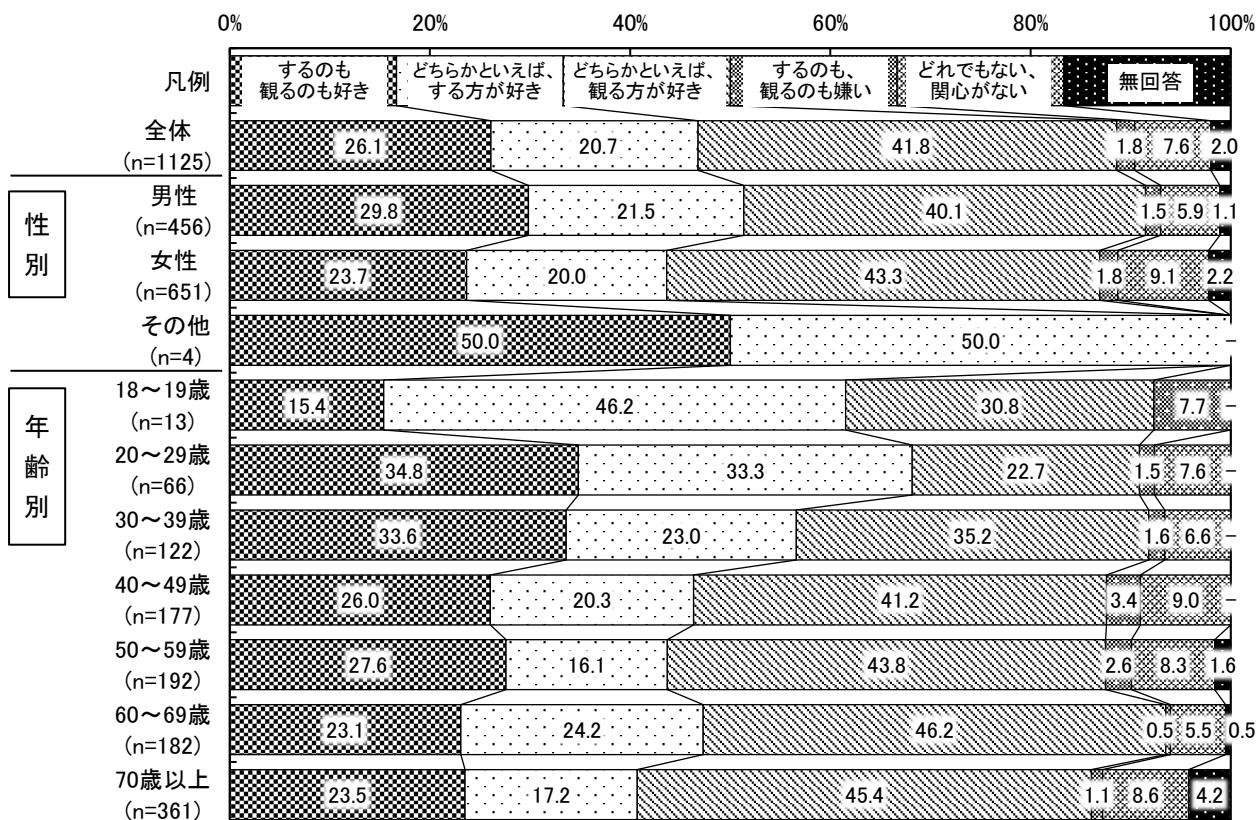


#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「するの観るの好き」は『男性』が『女性』より6.1ポイント高い。

年齢別では、「するの観るの好き」は『20～29歳』が34.8%と8.7ポイント、『30～39歳』が33.6%と7.5ポイント、それぞれ全体より高い。「どちらかといえば、する方が好き」は『20～29歳』が33.3%と12.6ポイント全体より高くなっている。

図23-2 運動・スポーツが好きか／性別・年齢別

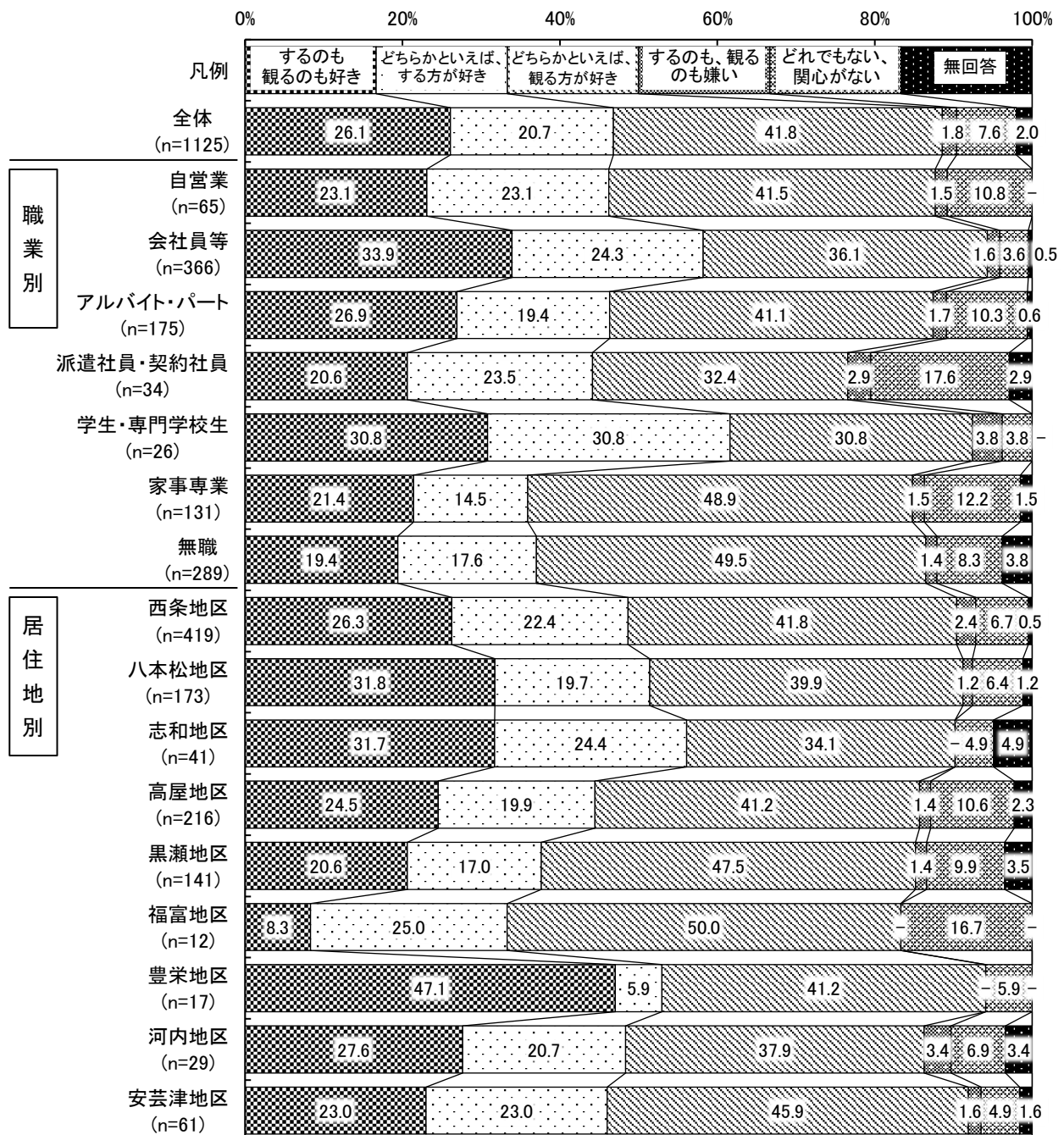


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「するのも観るのも好き」は『会社員等』が33.9%と7.8ポイント全体より高い。「どちらかといえば、観る方が好き」は『無職』が49.5%と7.7ポイント、『家事専業』が48.9%と7.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「するのも観るのも好き」は『豊栄地区』が47.1%と21.0ポイント、『八本松地区』が31.8%と5.7ポイント、『志和地区』が31.7%と5.6ポイント、それぞれ全体より高い。「どちらかといえば、観る方が好き」は『福富地区』が50.0%と8.2ポイント、『黒瀬地区』が47.5%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図23-3 運動・スポーツが好きか／職業別・居住地別



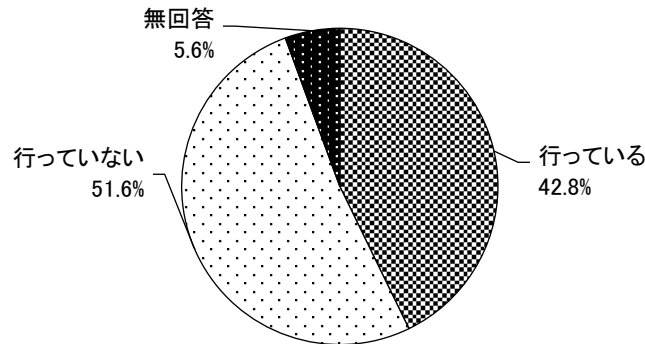


(2) 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか

問24 あなたは、現在週に1日以上スポーツや運動を行っていますか？  
 (ウォーキングやラジオ体操、いきいき体操ひがしひろしまなどもスポーツ・運動に含みます。)  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

現在週に1日以上スポーツや運動を行っているかについては、「行っている」が42.8%、「行っていない」が51.6%となっている。

図24-1 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか [n=1,125]

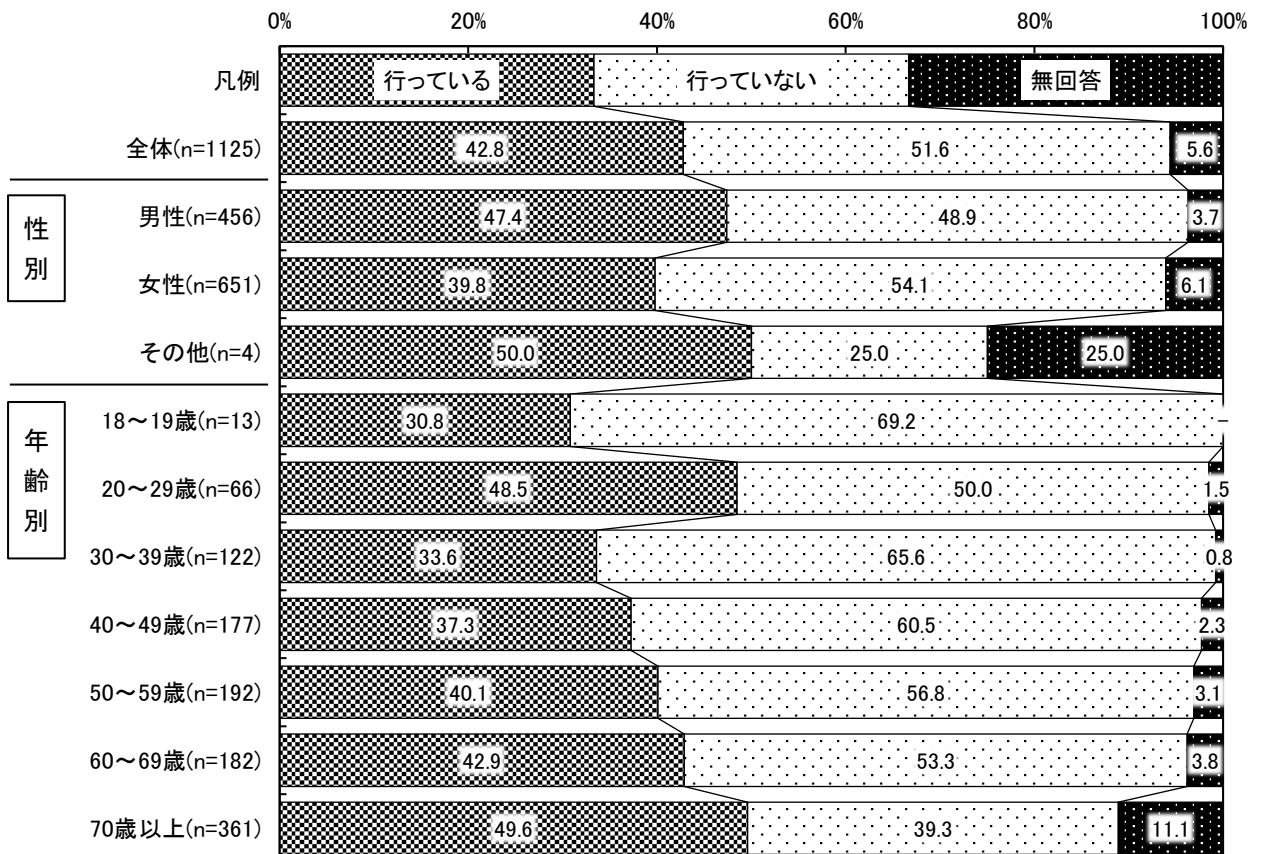


【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、「行っている」は『男性』が『女性』より7.6ポイント高い。

年齢別では、「行っている」は『70歳以上』が49.6%と6.8ポイント、『20～29歳』が48.5%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

図24-2 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか/性別・年齢別

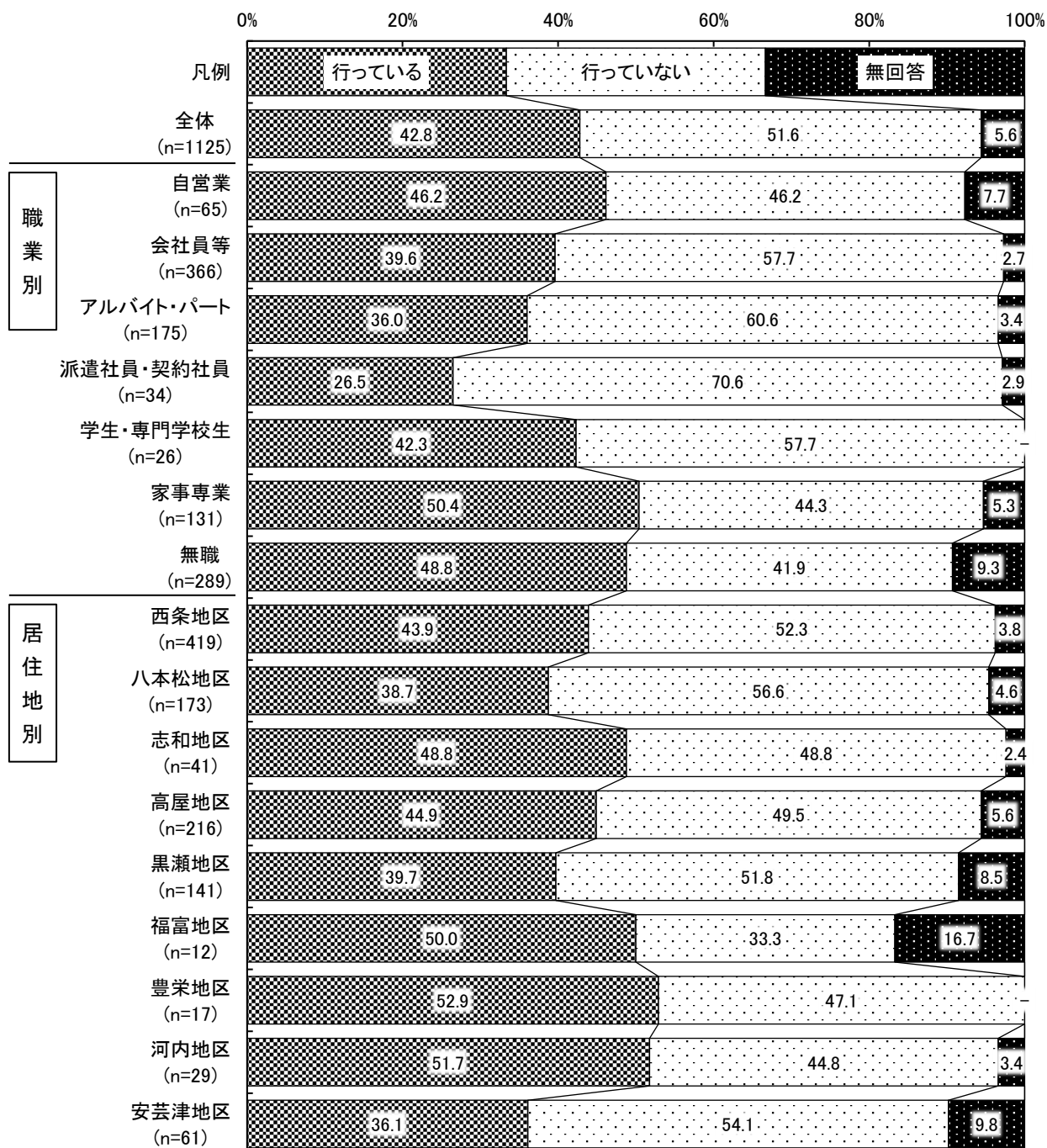


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「行っている」は『家事専業』が50.4%と7.6ポイント、『無職』が48.8%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「行っている」は『豊栄地区』が52.9%と10.1ポイント、『河内地区』が51.7%と8.9ポイント、『福富地区』が50.0%と7.2ポイント、『志和地区』が48.8%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図24-3 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか／職業別・居住地別



(3) 今後の運動・スポーツの開始意向

問24で、「2 行っていない」とした人のみ回答してください。

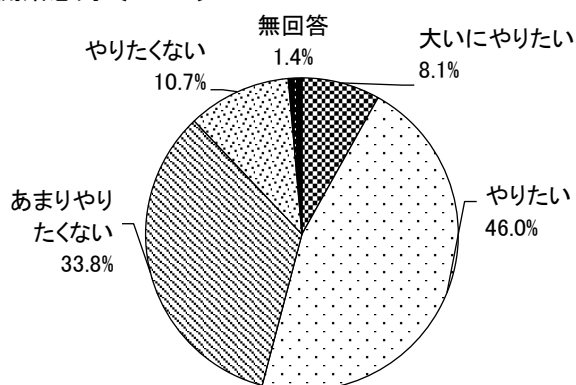
問24-1 今後、運動・スポーツを始めてみたいと思いますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

問24で、「2 行っていない」の回答者(該当件数580件)に今後の運動・スポーツの開始意向たずねると、「大いにやりたい」が8.1%、「やりたい」が46.0%で、“やりたい”(「大いにやりたい」と「やりたい」の合計)は、54.1%となっている。

“やりたくない”(「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計)は44.5%であった。

図24-4 運動・スポーツの開始意向 [n=580]

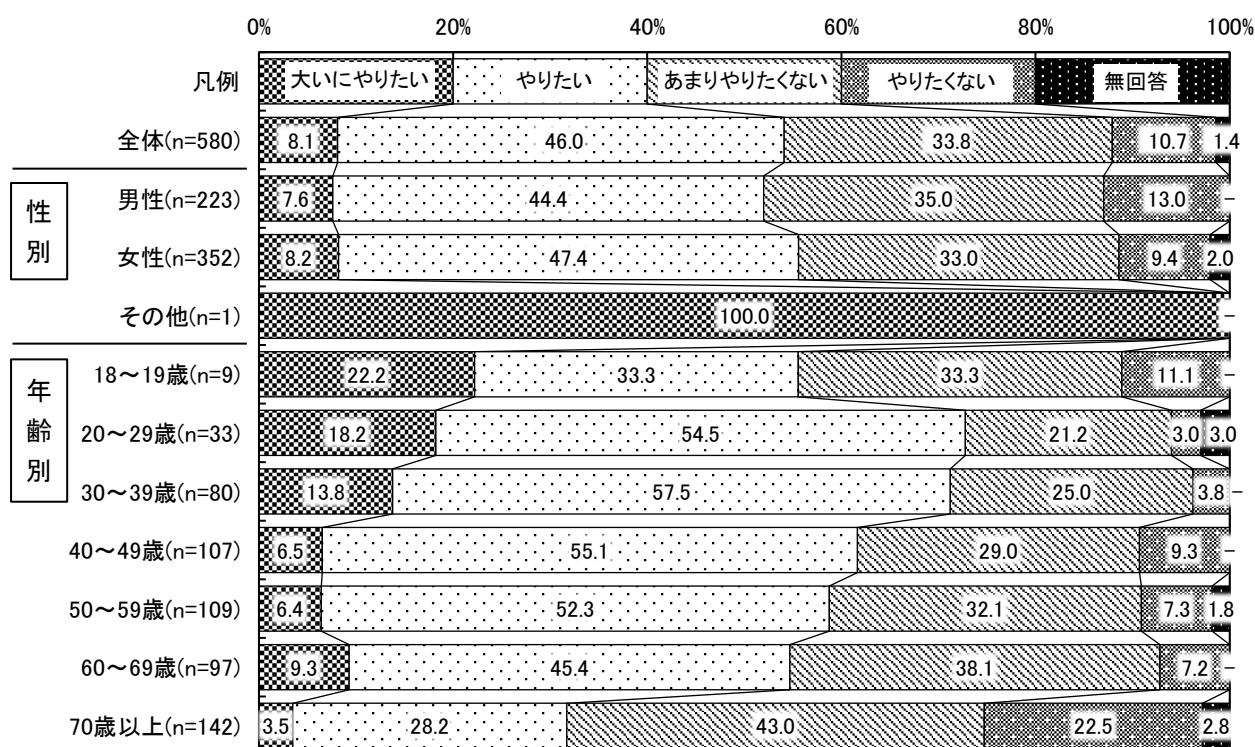


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“やりたくない”は、『男性』48.0%、『女性』42.4%と、『男性』が『女性』より5.6ポイント高い。

年齢別では、“やりたい”は、『20～29歳』が72.7%と18.6ポイント全体より高く、年齢が上がるほど低くなっており、『70歳以上』では31.7%と各年齢層の中で最も低い。

図24-5 運動・スポーツの開始意向／性別・年齢別

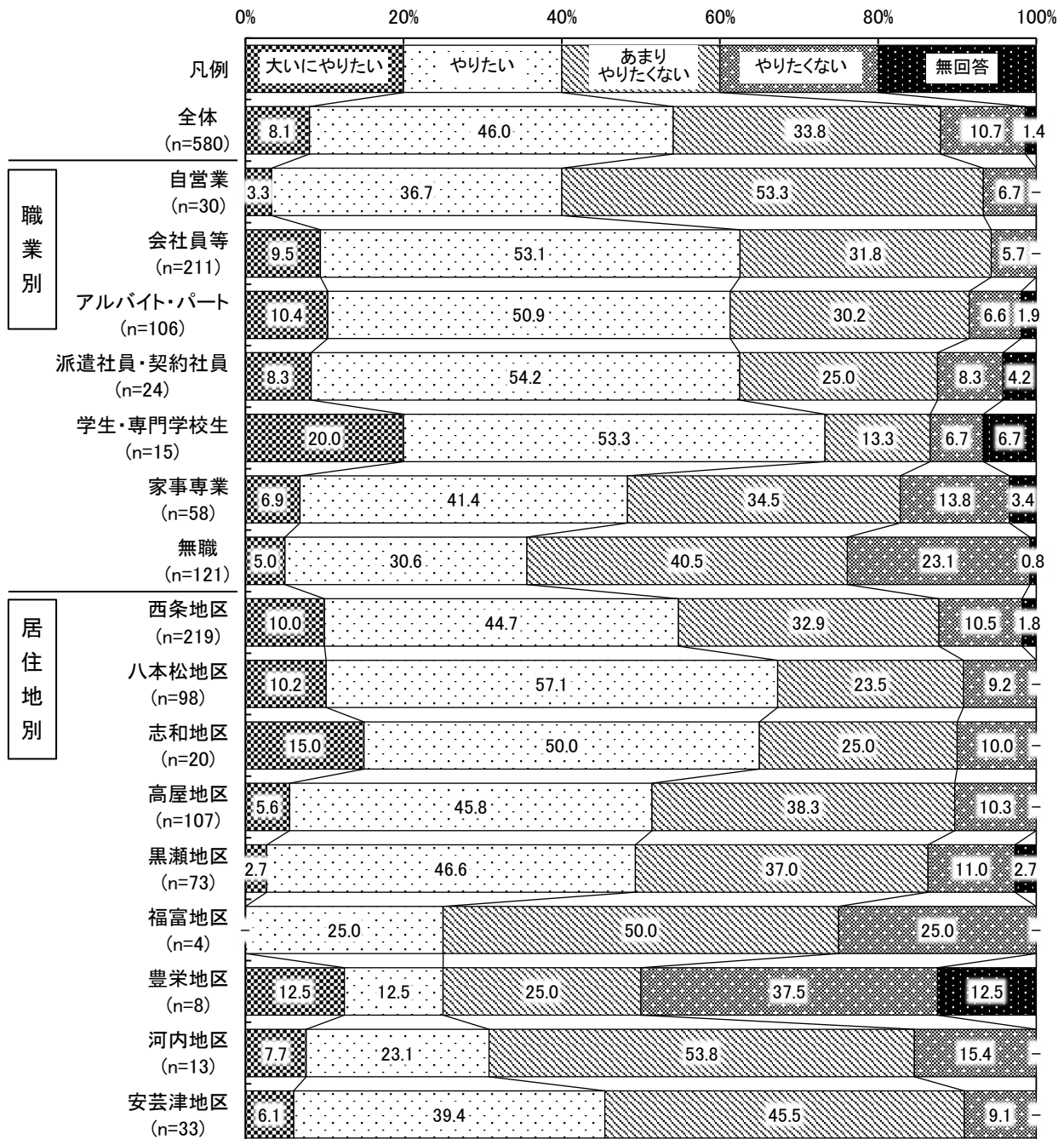


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“やりたい”（「大いにやりたい」と「やりたい」の合計）については、『会社員等』が62.6%と8.5ポイント、『アルバイト・パート』が61.3%と7.2ポイント、それぞれ全体より高い。“やりたくない”（「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計）については、『無職』が63.6%と19.1ポイント、『自営業』が60.0%と15.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“やりたい”については、『八本松地区』が67.3%と13.2ポイント、『志和地区』が65.0%と10.9ポイント、それぞれ全体より高い。

図24-6 運動・スポーツの開始意向／職業別・居住地別

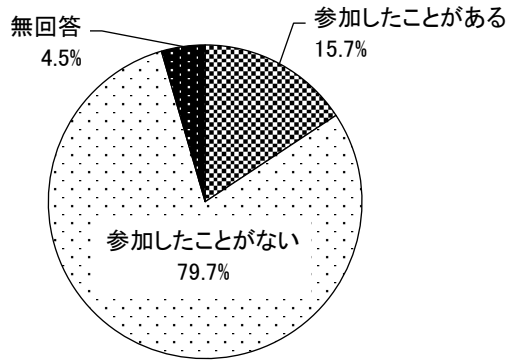


(4) 令和2年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況

問25 令和2年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

令和2年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況について、「参加したことがある」は15.7%、「参加したことがない」は79.7%となっている。

図25-1 令和2年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況 [n=1,125]

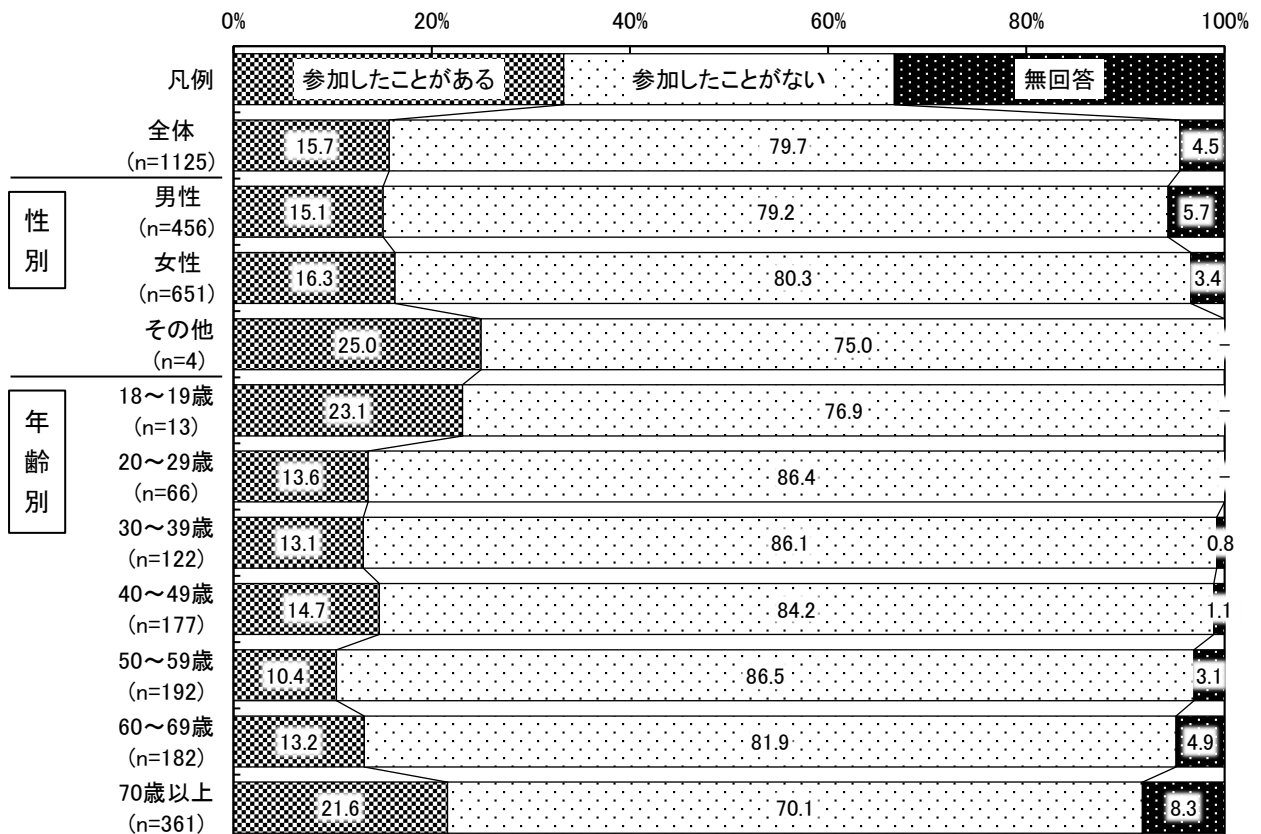


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「参加したことがある」は『70歳以上』が21.6%と5.9ポイント全体より高い。「参加したことがない」は、「50～59歳」が86.5%と6.8ポイント、「20～29歳」が86.4%と6.7ポイント、「30～39歳」が86.1%と6.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図25-2 令和2年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／性別・年齢別

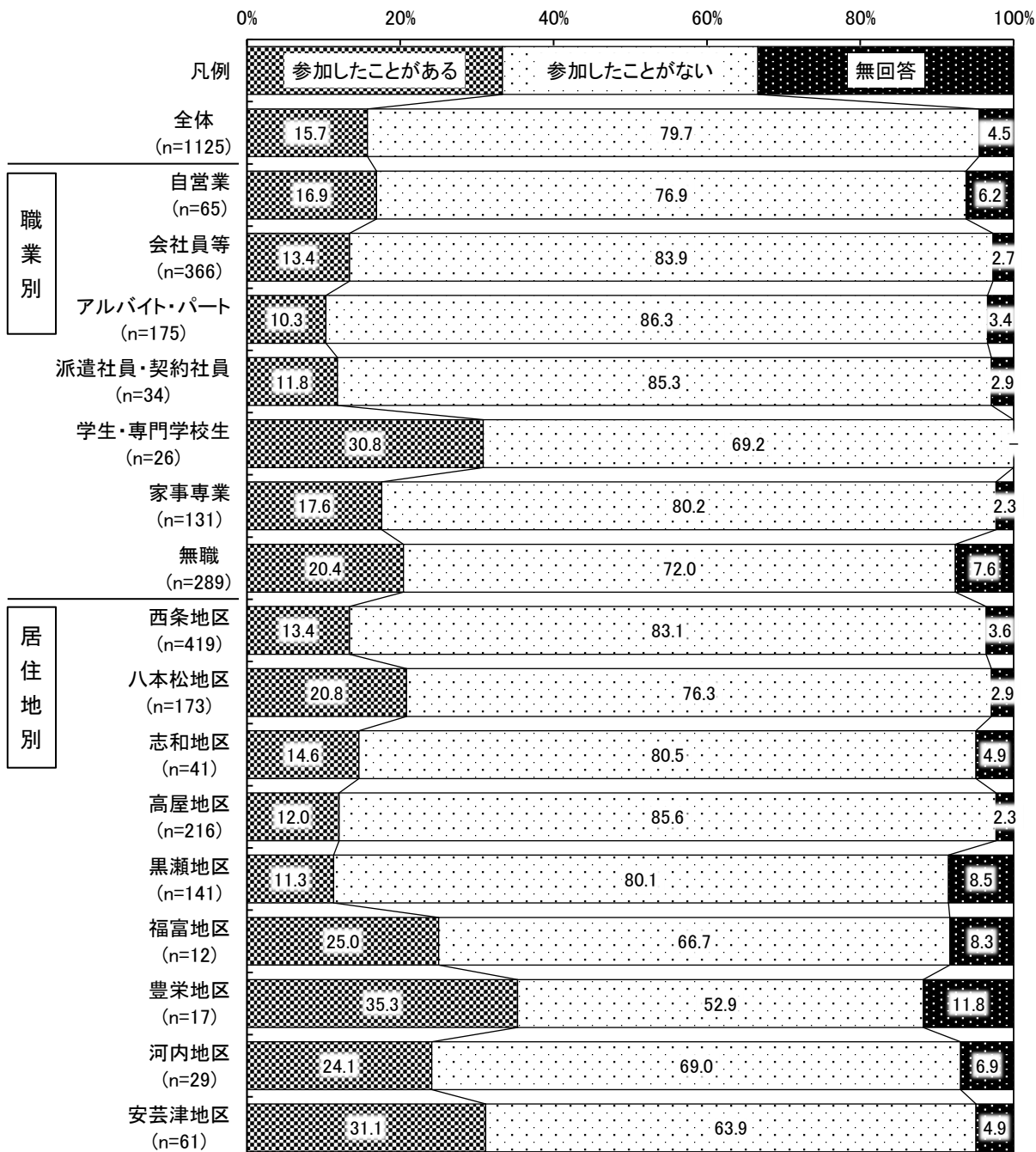


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「参加したことがある」は『アルバイト・パート』が10.3%と5.4ポイント全体より低い。

居住地別では、「参加したことがある」は『豊栄地区』が35.3%と19.6ポイント、『安芸津地区』が31.1%と15.4ポイント、『福富地区』が25.0%と9.3ポイント、『河内地区』が24.1%と8.4ポイント、『八本松地区』が20.8%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図25-3 令和2年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／職業別・居住地別



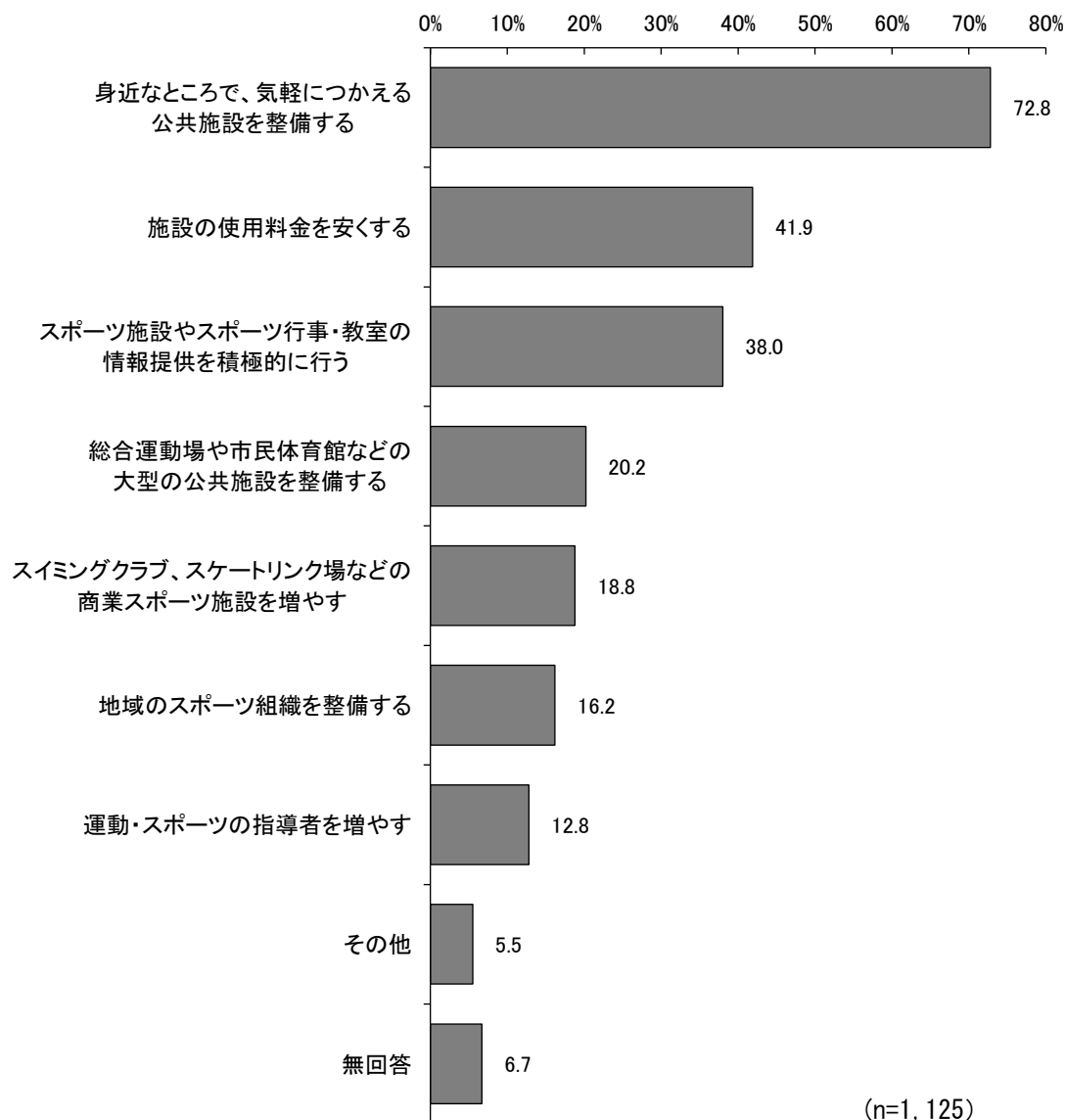
(5) 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項

問26 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項については、「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」が72.8%と最も高く、7割以上を占めている。次いで、「施設の使用料金を安くする」が41.9%、「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」が38.0%と高い。

図26-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「施設の使用料金を安くする」は『女性』が『男性』より5.6ポイント高く、「総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する」は『男性』が『女性』より6.5ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『60～69歳』が8.5ポイント、『30～39歳』が8.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「施設の使用料金を安くする」は『20～29歳』が14.2ポイント、『40～49歳』が6.7ポイント、『50～59歳』が6.5ポイント、それぞれ全体より高い。「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」は『30～39歳』が13.6ポイント、『60～69歳』が5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する」と「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は、50歳未満の年齢層で高くなっている。

「地域のスポーツ組織を整備する」は『60～69歳』が5.8ポイント全体より高い。

表26-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		身近なところで、 公共施設をつかえる を整備する	施設の使用料金を 安くする	教室の情報提供を 積極的に行う	スポーツ施設や スポーツ行事・ 教室の情報提供を 積極的に行う	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体(n=1125)		72.8	41.9	38.0	20.2	18.8	16.2	12.8	5.5	6.7	
性別	男性(n=456)	<b>73.2</b>	38.6	36.4	23.9	20.0	18.6	13.2	6.8	5.7	
	女性(n=651)	<b>72.8</b>	44.2	39.8	17.4	18.1	14.4	12.3	4.6	6.8	
	その他(n=4)	100.0	50.0	-	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	
年齢別	18～19歳(n=13)	84.6	76.9	38.5	38.5	46.2	15.4	7.7	-	-	
	20～29歳(n=66)	<b>77.3</b>	56.1	27.3	27.3	<b>31.8</b>	13.6	12.1	4.5	-	
	30～39歳(n=122)	<b>81.1</b>	46.7	<b>51.6</b>	<b>32.0</b>	<b>29.5</b>	13.9	14.8	6.6	1.6	
	40～49歳(n=177)	<b>75.1</b>	48.6	42.4	27.1	24.3	12.4	14.1	5.6	1.7	
	50～59歳(n=192)	<b>73.4</b>	48.4	35.4	19.3	17.7	13.5	9.9	6.3	5.2	
	60～69歳(n=182)	<b>81.3</b>	45.1	43.4	18.7	16.5	<b>22.0</b>	13.7	3.8	1.6	
	70歳以上(n=361)	<b>63.7</b>	28.0	32.1	11.6	11.1	18.0	12.2	6.1	14.7	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。



【属性別の傾向】＜職業別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『会社員等』が7.0ポイント、「施設の使用料金を安くする」は『アルバイト・パート』が14.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」は『家事専業』が5.5ポイント、「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は『会社員等』が6.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。「地域のスポーツ組織を整備する」は『自営業』が5.3ポイント全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『志和地区』が5.2ポイント、「施設の使用料金を安くする」は『八本松地区』が7.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」は『豊栄地区』が9.1ポイント、『河内地区』が6.8ポイント、それぞれ全体より高い。「総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する」は『豊栄地区』が15.1ポイント、『八本松地区』が8.1ポイント、それぞれ全体より高い。「地域のスポーツ組織を整備する」は『福富地区』が25.5ポイント、『豊栄地区』が13.2ポイント、『志和地区』が13.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「運動・スポーツの指導者を増やす」は『豊栄地区』が16.6ポイント全体より高い。

表26-2 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／職業別・居住地別＜複数回答＞ 単位：%

		身近なところで、 公共施設をつかえる を整備する	施設の使用料金を 安くする	スポーツ施設や スポーツ行事・ 教室の情報提供を 積極的に行う	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体(n=1125)		72.8	41.9	38.0	20.2	18.8	16.2	12.8	5.5	6.7
職業別	自営業(n=65)	<b>72.3</b>	33.8	36.9	21.5	12.3	21.5	15.4	1.5	6.2
	会社員等(n=366)	<b>79.8</b>	45.1	39.6	25.1	25.7	14.5	13.4	6.0	3.0
	アルバイト・パート(n=175)	<b>77.1</b>	<b>56.6</b>	40.6	17.7	16.6	15.4	10.9	4.0	2.3
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>82.4</b>	50.0	44.1	20.6	<b>29.4</b>	20.6	11.8	5.9	-
	学生・専門学校生(n=26)	<b>73.1</b>	57.7	34.6	42.3	<b>38.5</b>	15.4	15.4	7.7	-
	家事専業(n=131)	<b>72.5</b>	36.6	43.5	13.0	9.9	13.0	12.2	2.3	9.9
	無職(n=289)	<b>61.9</b>	31.8	32.9	15.2	14.2	17.6	12.1	7.3	12.1
地域別	西条地区(n=419)	<b>77.1</b>	40.8	41.8	22.2	21.2	13.6	12.9	5.0	4.1
	八本松地区(n=173)	<b>71.1</b>	<b>49.7</b>	36.4	<b>28.3</b>	17.9	16.2	11.6	6.4	7.5
	志和地区(n=41)	<b>78.0</b>	29.3	34.1	19.5	19.5	<b>29.3</b>	12.2	4.9	9.8
	高屋地区(n=216)	<b>74.1</b>	45.8	35.6	16.7	22.7	16.7	14.8	5.6	4.6
	黒瀬地区(n=141)	<b>75.2</b>	41.8	38.3	14.9	11.3	14.2	8.5	5.7	5.7
	福富地区(n=12)	<b>50.0</b>	33.3	25.0	-	-	<b>41.7</b>	8.3	-	<b>25.0</b>
	豊栄地区(n=17)	<b>64.7</b>	11.8	47.1	<b>35.3</b>	<b>23.5</b>	<b>29.4</b>	<b>29.4</b>	5.9	5.9
	河内地区(n=29)	<b>58.6</b>	27.6	44.8	13.8	13.8	20.7	6.9	10.3	<b>17.2</b>
	安芸津地区(n=61)	<b>50.8</b>	42.6	27.9	9.8	13.1	16.4	16.4	6.6	<b>14.8</b>

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 14. 生涯学習について

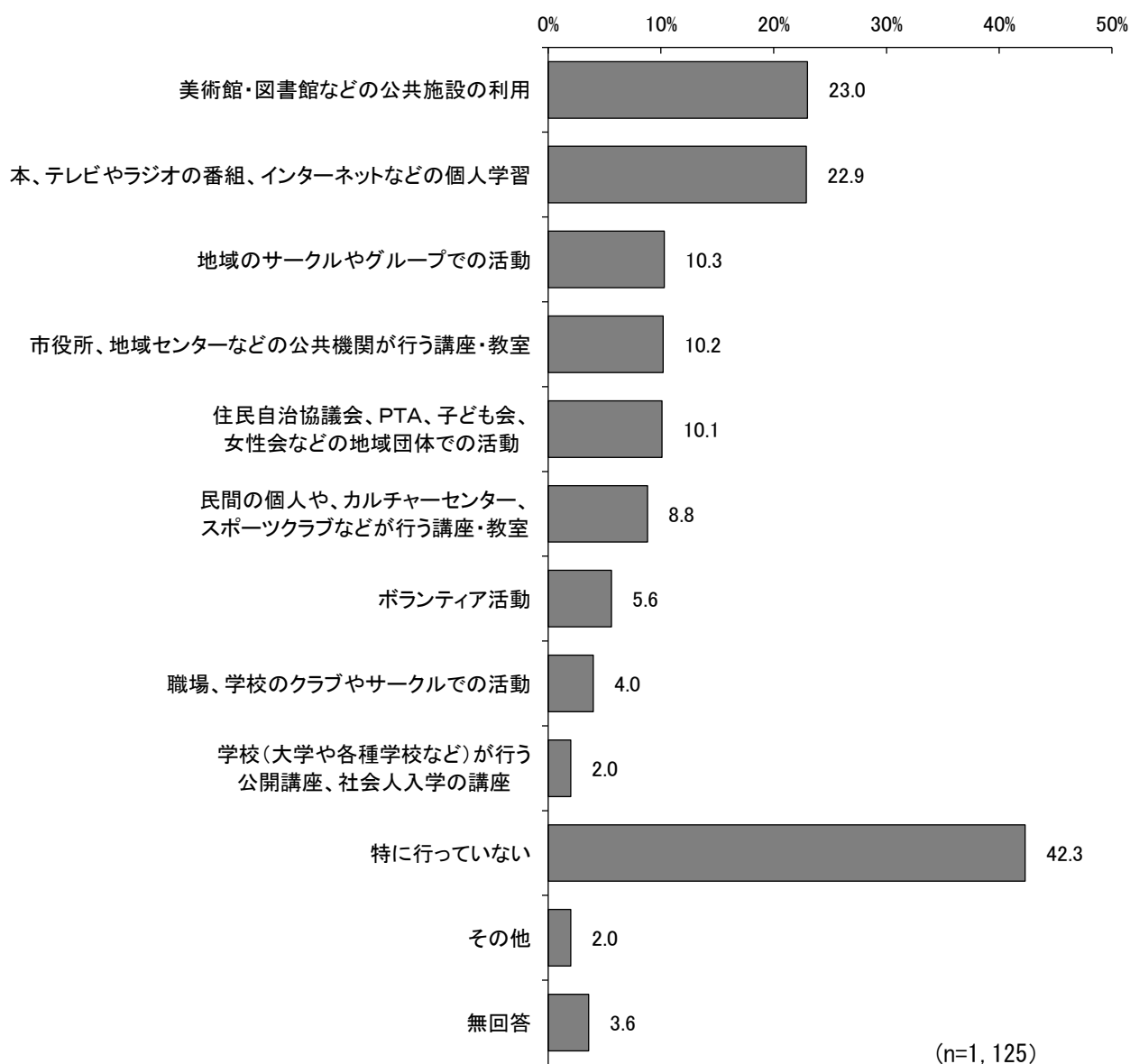
### (1) 生涯学習の実施状況

問27 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習については、「美術館・図書館などの公共施設の利用」が23.0%、「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」が22.9%と高い。「特に行っていない」は42.3%であった。

図27-1 生涯学習の実施状況 [n=1,125]

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は5.8ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は7.8ポイント、「民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室」は5.7ポイント、それぞれ『女性』が『男性』より高い。

「特に行っていない」は『男性』が『女性』より6.9ポイント高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『30～39歳』が9.8ポイント、『40～49歳』が7.5ポイント、それぞれ全体より高い。「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」は『30～39歳』が10.7ポイント、『20～29歳』が5.9ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域のサークルやグループでの活動」は『70歳以上』が9.9ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」についても、『70歳以上』が7.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「職場、学校のクラブやサークルでの活動」は『20～29歳』が8.1ポイント、『30～39歳』が5.8ポイント、それぞれ全体より高い。

表27-1 生涯学習の実施状況／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	地域のサークルやグループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行っていない	その他	無回答
全体(n=1125)		23.0	22.9	10.3	10.2	10.1	8.8	5.6	4.0	2.0	42.3	2.0	3.6
性別	男性(n=456)	19.7	21.5	9.0	5.7	11.0	5.5	6.8	4.6	1.8	<b>46.5</b>	2.2	3.5
	女性(n=651)	25.5	24.0	11.4	13.5	9.8	11.2	4.9	3.7	2.2	<b>39.6</b>	1.7	3.1
	その他(n=4)	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	23.1	23.1	-	-	-	7.7	-	15.4	15.4	53.8	-	-
	20～29歳(n=66)	21.2	28.8	3.0	4.5	1.5	1.5	6.1	12.1	4.5	<b>47.0</b>	-	-
	30～39歳(n=122)	32.8	<b>33.6</b>	7.4	8.2	9.8	10.7	2.5	9.8	4.9	<b>38.5</b>	0.8	1.6
	40～49歳(n=177)	30.5	18.6	4.5	5.1	10.7	7.9	2.3	2.8	2.3	<b>47.5</b>	1.7	-
	50～59歳(n=192)	25.5	26.6	6.3	7.8	7.8	9.4	4.7	4.7	1.0	<b>43.2</b>	3.1	2.6
	60～69歳(n=182)	20.3	21.4	6.6	8.8	13.7	11.0	8.8	4.9	2.2	<b>44.0</b>	1.6	0.5
	70歳以上(n=361)	16.9	19.7	<b>20.2</b>	<b>17.2</b>	11.6	8.6	7.5	-	0.3	<b>38.8</b>	2.2	7.8

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

### 【属性別の傾向】＜職業別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『アルバイト・パート』が7.3ポイント、『家事専業』が6.8ポイント、それぞれ全体より高い。「地域のサークルやグループでの活動」は『自営業』が9.7ポイント、『家事専業』が6.5ポイント、『無職』が5.3ポイント、それぞれ全体より高い。「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は『家事専業』が8.1ポイント高い。「民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室」は『家事専業』が7.2ポイント、『自営業』が5.0ポイント、それぞれ全体より高い。「ボランティア活動」は『自営業』が5.2ポイント全体より高くなっている。

### 【属性別の傾向】＜居住地別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『西条地区』が5.4ポイント、「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」は『志和地区』が8.8ポイント、それぞれ全体より高い。「地域のサークルやグループでの活動」は『河内地区』が10.4ポイント、『志和地区』が9.2ポイント、『安芸津地区』が7.7ポイント、『福富地区』が6.4ポイント、それぞれ全体より高い。「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は『福富地区』と『豊栄地区』、「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」および「ボランティア活動」は『福富地区』が、それぞれ10ポイント以上高くなっている。

表27-2 生涯学習の実施状況／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	地域のサークルやグループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行ってない	その他	無回答
全体(n=1125)		23.0	22.9	10.3	10.2	10.1	8.8	5.6	4.0	2.0	42.3	2.0	3.6
職業別	自営業(n=65)	13.8	24.6	20.0	13.8	13.8	13.8	10.8	-	1.5	<b>38.5</b>	1.5	-
	会社員等(n=366)	24.3	24.9	6.0	5.2	7.9	5.5	3.3	7.9	2.5	<b>46.4</b>	1.6	1.4
	アルバイト・パート(n=175)	30.3	21.7	6.3	8.0	14.3	13.7	5.1	2.9	1.7	<b>39.4</b>	2.3	1.1
	派遣社員・契約社員(n=34)	17.6	23.5	-	8.8	5.9	-	5.9	2.9	-	<b>55.9</b>	2.9	-
	学生・専門学校生(n=26)	30.8	34.6	3.8	-	-	3.8	11.5	23.1	19.2	<b>38.5</b>	-	-
	家事専業(n=131)	29.8	26.7	16.8	18.3	10.7	16.0	4.6	2.3	1.5	<b>31.3</b>	1.5	3.8
	無職(n=289)	17.3	19.7	15.6	14.2	10.7	6.9	7.3	0.3	-	<b>43.6</b>	2.1	6.9
地域別	西条地区(n=419)	28.4	24.3	9.5	11.7	9.3	11.9	5.0	5.3	1.7	<b>40.6</b>	1.4	1.7
	八本松地区(n=173)	24.3	24.3	12.1	11.0	9.8	8.1	6.9	3.5	2.3	<b>45.1</b>	1.7	2.9
	志和地区(n=41)	12.2	31.7	19.5	7.3	14.6	14.6	4.9	7.3	-	<b>36.6</b>	9.8	2.4
	高屋地区(n=216)	25.0	20.8	8.8	9.3	9.7	7.9	4.6	3.7	3.2	<b>43.1</b>	1.9	3.7
	黒瀬地区(n=141)	14.9	21.3	6.4	5.7	12.1	3.5	4.3	3.5	1.4	<b>46.8</b>	1.4	5.0
	福富地区(n=12)	16.7	<b>25.0</b>	16.7	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	-	<b>25.0</b>	-	-	<b>25.0</b>	-	8.3
	豊栄地区(n=17)	17.6	23.5	-	23.5	11.8	11.8	5.9	-	5.9	<b>35.3</b>	-	5.9
	河内地区(n=29)	3.4	17.2	20.7	6.9	13.8	-	6.9	-	-	<b>44.8</b>	3.4	6.9
	安芸津地区(n=61)	14.8	16.4	18.0	9.8	8.2	6.6	9.8	1.6	1.6	<b>45.9</b>	1.6	4.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

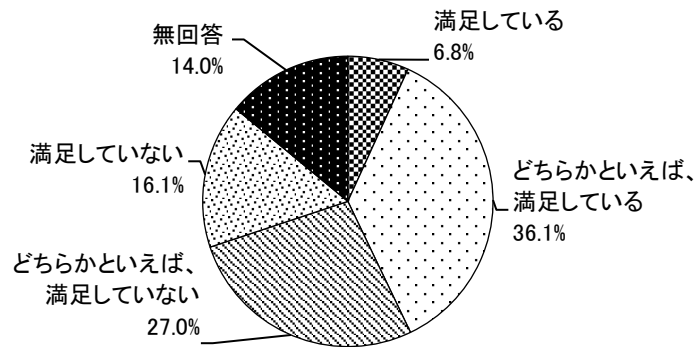
(2) 生涯学習の満足度

問28 この1年間に行った生涯学習に満足していますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習の満足度については、「満足している」が6.8%、「どちらかといえば、満足している」が36.1%と、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は42.9%となっている。

「どちらかといえば、満足していない」は27.0%、「満足していない」は16.1%であり、これらを合計した“不満足”は43.1%であった。

図28-1 生涯学習の満足度 [n=1,125]

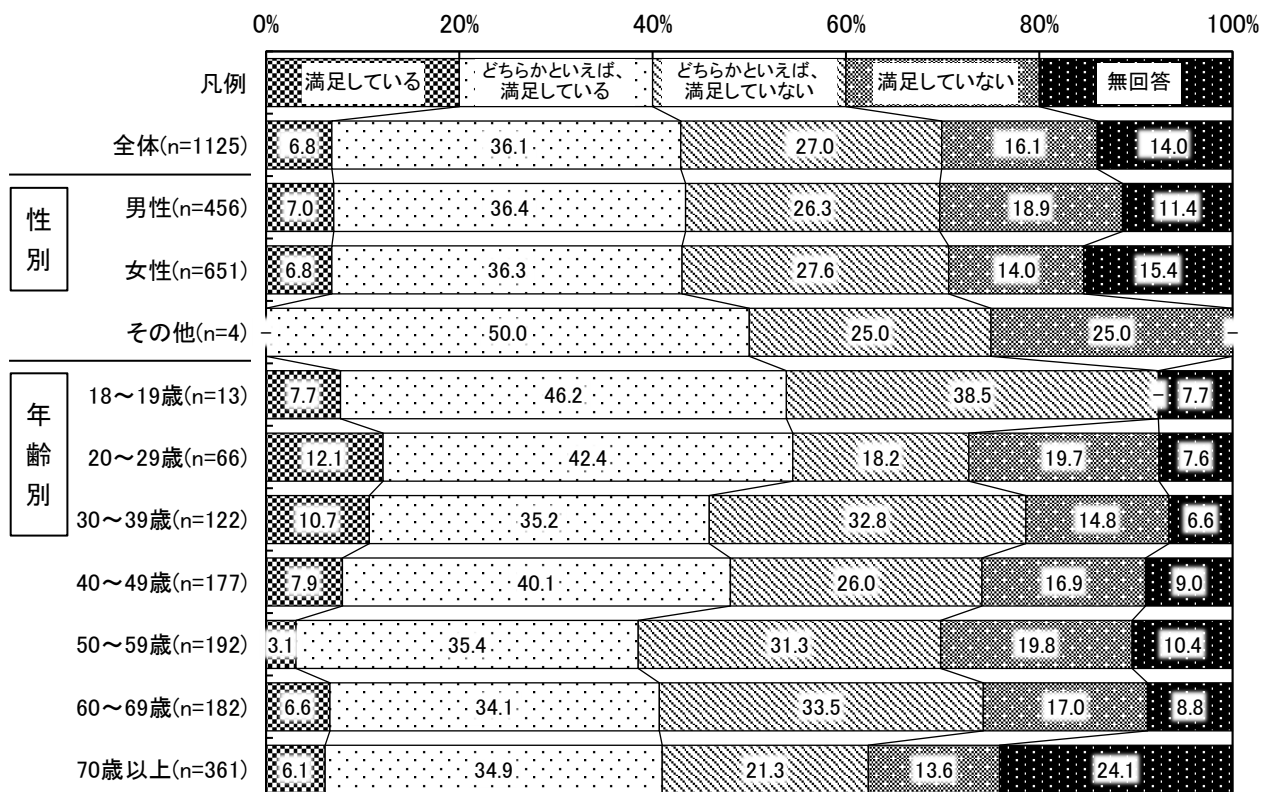


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“満足”は『20～29歳』が54.5%と11.6ポイント、『40～49歳』が48.0%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図28-2 生涯学習の満足度／性別・年齢別

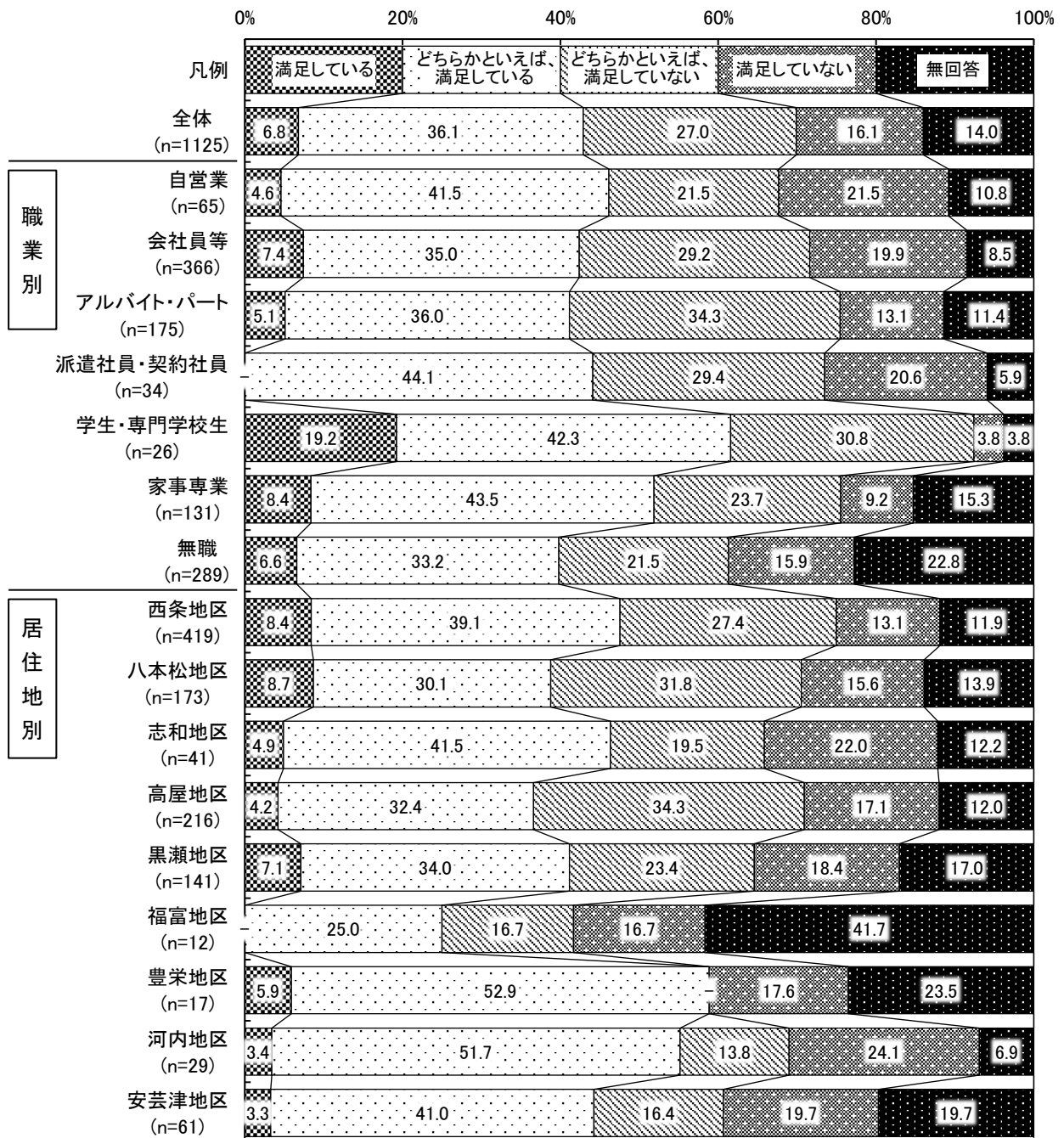


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「どちらかといえば、満足している」は『家事専業』が43.5%と7.4ポイント、『自営業』が41.5%と5.4ポイント、それぞれ全体より高い。“満足”（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）については、『家事専業』が51.9%と9.0ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“満足”は『豊栄地区』が58.8%と15.9ポイント、『河内地区』が55.1%と12.2ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『福富地区』は25.0%と17.9ポイント、『高屋地区』は36.6%と6.3ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図28-3 生涯学習の満足度／職業別・居住地別

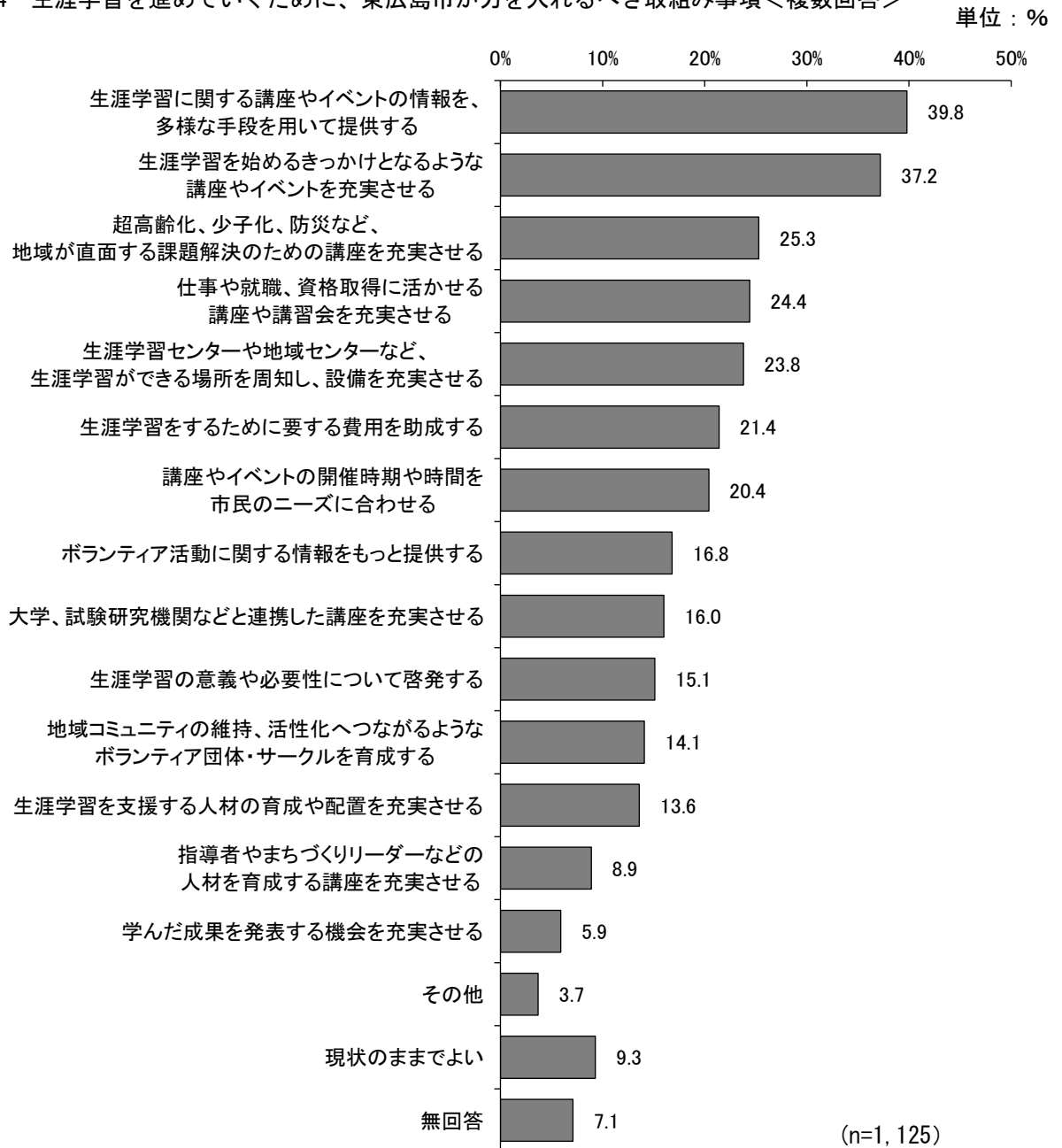


(3) 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項

問29 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取組みに力を入れるべきだと思いますか。（当てはまるもの全てを選んで○をお付けください）

生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項については、「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」が39.8%、「生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる」が37.2%と高く、次いで、「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」が25.3%、「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」が24.4%、「生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる」が23.8%となっている。

図29-4 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項＜複数回答＞



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」は『60～69歳』が11.8ポイント、『30～39歳』が6.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる」は『40～49歳』が10.3ポイント、『60～69歳』が5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は、60歳未満の各年齢層で3割以上と高くなっている。「生涯学習をするために要する費用を助成する」は『20～29歳』が8.9ポイント、「講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる」は『40～49歳』が9.5ポイント、「学んだ成果を発表する機会を充実させる」は『20～29歳』が7.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表29-1 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる	地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習をするために要する費用を助成する	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	ポランティア活動に関する情報をもっと提供する	大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる	生涯学習の意義や必要性について啓発する	生涯学習の意義や必要性について啓発する	地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなポランティア団体・サークルを育成する	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=1125)		39.8	37.2	25.3	24.4	23.8	21.4	20.4	16.8	16.0	15.1	14.1	13.6	8.9	5.9	3.7	9.3	7.1				
性別	男性(n=456)	<b>38.8</b>	35.7	25.2	22.6	22.1	23.5	20.2	16.7	17.8	18.0	14.7	12.1	10.1	5.3	4.6	11.2	5.7				
	女性(n=651)	<b>40.9</b>	38.9	25.5	25.8	25.2	20.4	20.4	16.7	14.9	13.5	14.0	14.9	8.0	6.3	3.1	8.1	7.7				
	その他(n=4)	25.0	-	-	25.0	25.0	-	75.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-				
年齢別	18～19歳(n=13)	38.5	53.8	23.1	38.5	38.5	15.4	7.7	30.8	30.8	23.1	23.1	23.1	-	-	-	7.7	-				
	20～29歳(n=66)	28.8	22.7	24.2	<b>40.9</b>	15.2	<b>30.3</b>	22.7	18.2	15.2	19.7	9.1	10.6	6.1	<b>13.6</b>	3.0	7.6	1.5				
	30～39歳(n=122)	<b>45.9</b>	36.1	21.3	<b>38.5</b>	26.2	17.2	17.2	19.7	20.5	17.2	9.8	14.8	8.2	7.4	2.5	11.5	2.5				
	40～49歳(n=177)	39.5	<b>47.5</b>	19.2	<b>33.9</b>	18.6	16.9	<b>29.9</b>	16.4	20.9	16.9	10.2	13.0	10.2	5.1	4.5	13.6	1.1				
	50～59歳(n=192)	<b>41.1</b>	37.5	25.5	<b>35.4</b>	25.5	20.8	<b>23.4</b>	18.2	20.3	12.5	15.1	8.9	4.7	3.6	6.8	7.3	3.6				
	60～69歳(n=182)	<b>51.6</b>	<b>42.3</b>	28.6	19.8	28.0	25.3	25.3	18.7	15.9	17.0	17.6	15.9	9.3	3.8	2.7	8.2	3.8				
	70歳以上(n=361)	<b>33.5</b>	32.4	28.0	8.0	23.8	22.2	13.0	13.3	9.7	13.3	16.1	15.2	11.4	6.9	3.0	8.9	<b>15.8</b>				

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。



【属性別の傾向】＜職業別＞

「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」は『アルバイト・パート』が6.5ポイント全体より高い。

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『自営業』が7.0ポイント、『家事専業』が6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は『会社員等』が10.3ポイント、「生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる」は『アルバイト・パート』が5.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地＞

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『豊栄地区』が10.0ポイント、『志和地区』が8.8ポイント、それぞれ全体より高い。「生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる」は『志和地区』が5.5ポイント全体より高く、「生涯学習をするために要する費用を助成する」は『志和地区』が15.2ポイント、『河内地区』が6.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表29-2 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習に関する講座やイベントの充実させる	生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる	超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	費用を助成する	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	ポランティア活動に関する情報をもっと提供する	大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる	生涯学習の意義や必要性について啓発する	地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する	配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=1125)		39.8	37.2	25.3	24.4	23.8	21.4	20.4	16.8	16.0	15.1	14.1	13.6	8.9	5.9	3.7	9.3	7.1		
職業別	自営業(n=65)	<b>41.5</b>	<b>41.5</b>	32.3	12.3	18.5	23.1	9.2	20.0	12.3	13.8	18.5	16.9	10.8	7.7	3.1	12.3	6.2		
	会社員等(n=366)	<b>42.1</b>	37.7	26.8	<b>34.7</b>	22.1	18.9	27.9	17.5	<b>21.6</b>	17.5	13.7	9.8	8.2	5.2	3.6	9.0	1.6		
	アルバイト・パート(n=175)	<b>46.3</b>	39.4	16.0	29.1	29.7	25.7	20.6	14.9	12.0	15.4	10.9	15.4	4.0	3.4	4.0	7.4	3.4		
	派遣社員・契約社員(n=34)	41.2	<b>50.0</b>	17.6	<b>35.3</b>	17.6	17.6	23.5	20.6	<b>26.5</b>	23.5	8.8	14.7	11.8	2.9	5.9	5.9	2.9		
	学生・専門学校生(n=26)	<b>50.0</b>	<b>61.5</b>	11.5	<b>42.3</b>	<b>38.5</b>	<b>34.6</b>	15.4	<b>38.5</b>	<b>38.5</b>	19.2	<b>23.1</b>	19.2	3.8	<b>19.2</b>	7.7	3.8	-		
	家事専業(n=131)	33.6	<b>37.4</b>	31.3	19.1	25.2	19.8	18.3	14.5	8.4	10.7	16.8	16.0	4.6	6.9	0.8	10.7	8.4		
	無職(n=289)	<b>32.9</b>	31.5	27.0	11.8	23.2	22.5	14.9	15.2	12.5	13.5	13.8	14.2	13.1	7.3	4.8	10.4	15.6		
地域別	西条地区(n=419)	40.8	<b>42.0</b>	25.8	28.6	26.3	20.8	23.4	17.7	18.4	17.2	12.2	13.6	9.8	7.2	3.1	10.0	4.5		
	八本松地区(n=173)	<b>41.6</b>	35.3	21.4	25.4	19.7	26.0	19.1	15.6	15.0	13.3	15.0	15.0	12.1	8.7	6.4	7.5	6.4		
	志和地区(n=41)	29.3	<b>41.5</b>	34.1	26.8	29.3	<b>36.6</b>	22.0	22.0	12.2	14.6	<b>19.5</b>	19.5	2.4	2.4	7.3	4.9	7.3		
	高屋地区(n=216)	<b>39.8</b>	33.8	26.4	21.8	26.9	18.5	20.8	16.7	19.4	13.9	15.3	13.4	5.6	3.7	4.2	9.7	6.0		
	黒瀬地区(n=141)	<b>40.4</b>	34.0	29.1	19.9	17.7	17.0	12.8	17.0	11.3	14.9	16.3	11.3	7.1	4.3	2.8	12.1	7.1		
	福富地区(n=12)	25.0	25.0	16.7	-	25.0	25.0	<b>33.3</b>	8.3	-	25.0	<b>33.3</b>	8.3	8.3	8.3	-	16.7	16.7		
	豊栄地区(n=17)	35.3	<b>41.2</b>	<b>35.3</b>	23.5	17.6	17.6	23.5	11.8	11.8	23.5	-	11.8	11.8	-	-	11.8	11.8		
	河内地区(n=29)	<b>31.0</b>	27.6	17.2	20.7	17.2	27.6	20.7	6.9	10.3	<b>27.6</b>	17.2	6.9	13.8	3.4	3.4	-	13.8		
	安芸津地区(n=61)	<b>42.6</b>	36.1	14.8	19.7	23.0	23.0	14.8	18.0	11.5	4.9	11.5	14.8	11.5	6.6	1.6	9.8	<b>18.0</b>		

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

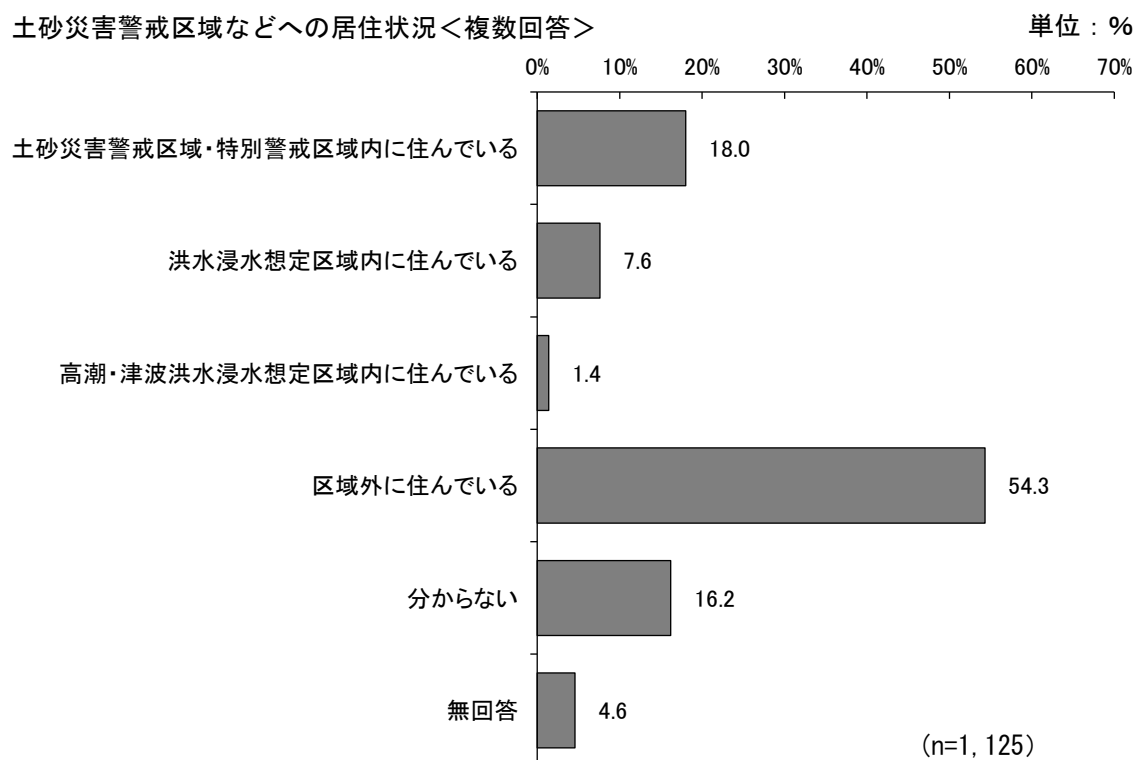
## 15. 防災について

### (1) 土砂災害警戒区域などへの居住状況

問30 土砂災害警戒区域など(※)にお住まいですか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

土砂災害警戒区域などへの居住状況については、「区域外に住んでいる」が54.3%と最も高く、過半を占めている。「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は18.0%、「洪水浸水想定区域内に住んでいる」は7.6%、「高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる」は1.4%となっている。

図30-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況<複数回答>



## 【属性別の傾向】

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『60～69歳』が23.1%と5.1ポイント、「区域外に住んでいる」は『50～59歳』が65.1%と10.8ポイント、全体より高い。「わからない」は『20～29歳』が31.8%と15.6ポイント、『30～39歳』が23.0%と6.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

職業別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『自営業』が6.6ポイント全体より高い。

居住地別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』が10ポイント以上全体より高い。「区域外に住んでいる」は『高屋地区』が10.5ポイント、『西条地区』が5.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表30-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況＜複数回答＞

単位：%

		土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる	洪水浸水想定区域内に住んでいる	高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる	区域外に住んでいる	分からない	無回答
全体(n=1125)		18.0	7.6	1.4	54.3	16.2	4.6
性別	男性(n=456)	18.0	8.6	1.1	<b>54.2</b>	16.4	4.4
	女性(n=651)	18.3	6.9	1.7	<b>55.0</b>	15.7	4.3
	その他(n=4)	25.0	25.0	-	50.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	30.8	-	-	<b>46.2</b>	23.1	-
	20～29歳(n=66)	6.1	6.1	-	<b>56.1</b>	<b>31.8</b>	-
	30～39歳(n=122)	13.9	8.2	-	<b>53.3</b>	23.0	1.6
	40～49歳(n=177)	15.8	9.6	1.1	<b>58.2</b>	18.1	-
	50～59歳(n=192)	17.2	5.2	1.6	<b>65.1</b>	9.9	2.1
	60～69歳(n=182)	23.1	7.7	2.2	<b>52.2</b>	13.7	3.3
	70歳以上(n=361)	20.5	8.3	1.7	<b>48.8</b>	14.4	10.0
職業別	自営業(n=65)	24.6	7.7	3.1	<b>58.5</b>	7.7	3.1
	会社員等(n=366)	14.5	7.1	1.6	<b>58.7</b>	17.8	1.4
	アルバイト・パート(n=175)	17.7	7.4	1.1	<b>53.7</b>	17.7	4.6
	派遣社員・契約社員(n=34)	14.7	5.9	-	<b>64.7</b>	14.7	-
	学生・専門学校生(n=26)	26.9	3.8	-	<b>50.0</b>	19.2	-
	家事専業(n=131)	18.3	6.9	1.5	<b>57.3</b>	15.3	1.5
	無職(n=289)	20.4	8.7	1.4	<b>48.4</b>	14.9	9.7
地域別	西条地区(n=419)	9.5	9.3	-	<b>60.1</b>	18.9	2.9
	八本松地区(n=173)	21.4	6.4	0.6	<b>53.8</b>	12.7	6.9
	志和地区(n=41)	<b>51.2</b>	2.4	-	26.8	14.6	4.9
	高屋地区(n=216)	17.1	2.8	-	<b>64.8</b>	13.0	2.8
	黒瀬地区(n=141)	11.3	7.8	-	<b>56.0</b>	19.9	7.8
	福富地区(n=12)	<b>41.7</b>	16.7	-	33.3	16.7	8.3
	豊栄地区(n=17)	<b>47.1</b>	5.9	-	<b>47.1</b>	11.8	-
	河内地区(n=29)	<b>62.1</b>	13.8	-	17.2	13.8	-
	安芸津地区(n=61)	<b>32.8</b>	14.8	24.6	19.7	14.8	4.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

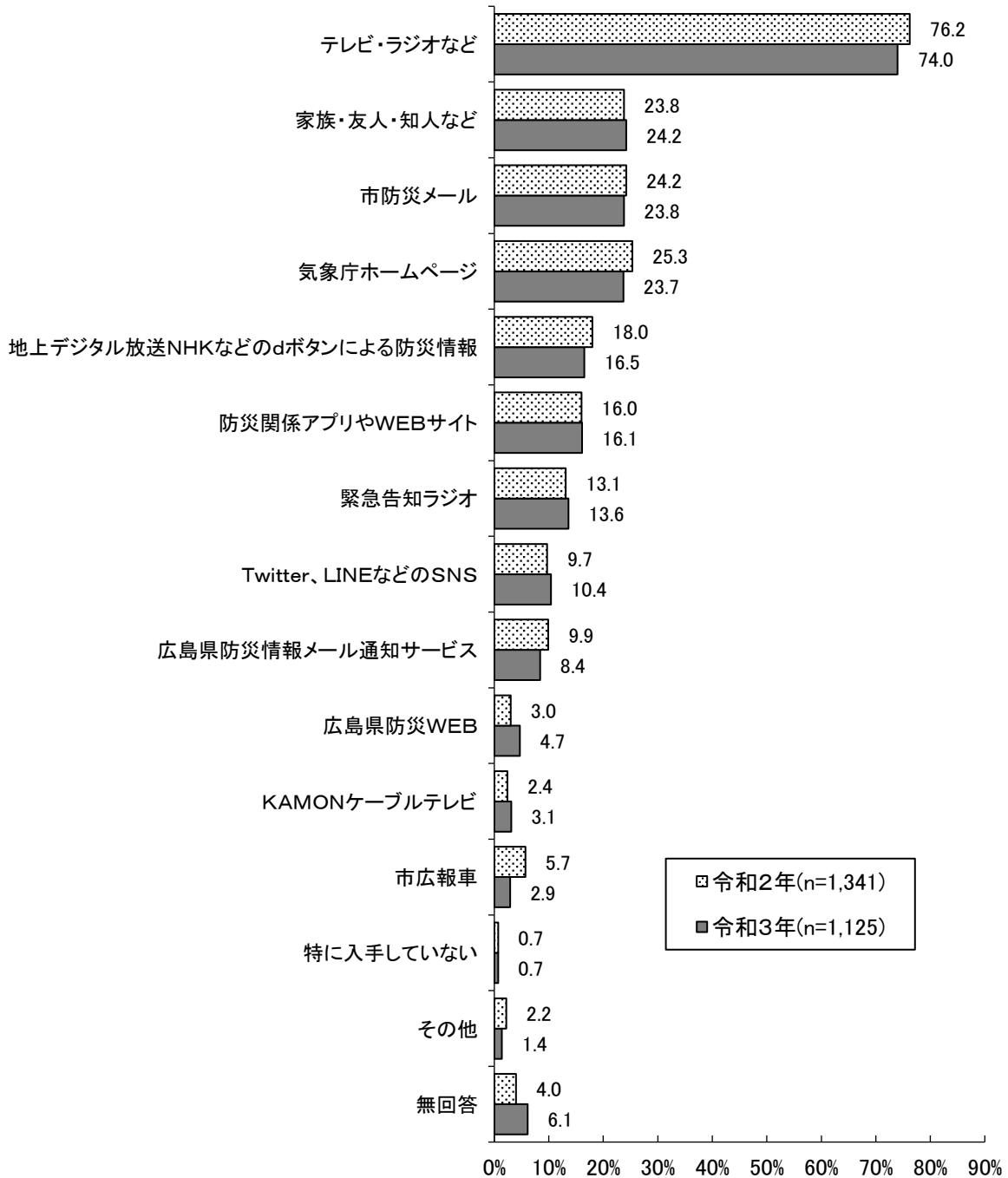
(2) 台風や大雨などの災害に関する情報の入手元

問31 台風や大雨などの災害に関する情報をどこから入手していますか。  
 (主なものを3つまで選んで○をお付けください)

台風や大雨などの災害に関する情報の入手元については、「テレビ・ラジオなど」が74.0%と最も高く、7割以上を占めている。次いで、「家族・友人・知人など」が24.2%、「市防災メール」が23.8%、「気象庁ホームページ」が23.7%と、それぞれ2割以上を占めている。

図31-1 台風や大雨などの災害に関する情報の入手元<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「家族・友人・知人など」は12.2ポイント『女性』が『男性』より高い。「気象庁ホームページ」は5.3ポイント、「地上デジタル放送 NHKなどのdボタンによる防災情報」は5.9ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「テレビ・ラジオなど」は『70歳以上』が7.7ポイント全体より高く、年齢が上がるほど高くなっている。「家族・友人・知人など」は『20～29歳』が13.7ポイント、『30～39歳』が9.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「市防災メール」は30歳以上60歳未満の年齢層、「気象庁ホームページ」60歳未満の年齢層、「防災関係アプリやWEBサイト」は40歳以上60歳未満の年齢層、「Twitter、LINEなどのSNS」は40歳未満の年齢層で、それぞれ全体より5ポイント以上高くなっている。

「緊急告知ラジオ」は『70歳以上』が16.9ポイント全体より高くなっている。

表31-1 台風や大雨などの災害に関する情報の入手元／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

	テレビ・ラジオなど	家族・友人・知人など	市防災メール	気象庁ホームページ	NHKなどのdボタンによる防災情報	地上デジタル放送	防災関係アプリやWEBサイト	緊急告知ラジオ	LINEなどのSNS	Twitter、LINEなどのSNS	広島県防災情報メール通知サービス	広島県防災WEB	KAMONケーブルテレビ	市広報車	特に入手していない	その他	無回答
全体(n=1125)	74.0	24.2	23.8	23.7	16.5	16.1	13.6	10.4	8.4	4.7	3.1	2.9	0.7	1.4	6.1		
性別	男性(n=456)	<b>76.5</b>	17.1	22.6	27.0	20.2	18.4	15.8	9.0	8.1	4.8	3.7	2.4	0.9	2.0	5.0	
	女性(n=651)	<b>73.7</b>	29.3	25.2	21.7	14.3	14.7	12.3	11.4	8.8	4.6	2.8	3.4	0.6	1.1	5.4	
	その他(n=4)	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	
年齢別	18～19歳(n=13)	84.6	30.8	-	46.2	7.7	23.1	7.7	23.1	-	15.4	-	-	-	-	-	
	20～29歳(n=66)	<b>66.7</b>	37.9	13.6	45.5	13.6	18.2	4.5	39.4	4.5	4.5	-	-	1.5	-	1.5	
	30～39歳(n=122)	<b>67.2</b>	33.6	29.5	36.1	11.5	17.2	3.3	21.3	7.4	6.6	1.6	-	0.8	1.6	4.1	
	40～49歳(n=177)	<b>68.4</b>	20.3	35.0	29.9	15.8	22.0	4.0	10.2	10.7	5.6	2.3	0.6	0.6	1.7	5.1	
	50～59歳(n=192)	<b>71.9</b>	16.1	30.2	31.8	15.1	24.5	3.6	12.0	16.7	7.8	2.6	-	1.0	2.1	3.6	
	60～69歳(n=182)	<b>76.9</b>	16.5	25.8	21.4	15.9	19.8	11.5	4.9	8.8	4.4	4.4	6.0	1.1	1.6	8.8	
	70歳以上(n=361)	<b>81.7</b>	28.5	15.5	9.1	21.1	6.4	30.5	3.3	4.2	1.7	4.4	5.8	0.3	1.1	5.8	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「テレビ・ラジオなど」は『無職』が7.3ポイント、『家事専業』が6.9ポイント、それぞれ全体より高い。「家族・友人・知人など」は『アルバイト・パート』が7.8ポイント、「市防災メール」は『アルバイト・パート』が6.5ポイント、『会社員等』が5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「気象庁ホームページ」は『会社員等』が12.9ポイント、「地上デジタル放送NHKなどのdボタンによる防災情報」は『自営業』が9.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「緊急告知ラジオ」は『無職』が14.4ポイント、『自営業』が9.5ポイント、それぞれ高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「地上デジタル放送 NHKなどのdボタンによる防災情報」は『志和地区』が15.2ポイント高い。「緊急告知ラジオ」は、「福富地区」が36.4ポイント『河内地区』が24.3ポイント、『豊栄地区』が15.8ポイント、『安芸津地区』が11.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「KAMONケーブルテレビ」は『福富地区』が13.6ポイント、それぞれ全体より高い。

表31-2 台風や大雨などの災害に関する情報の入手元／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		テレビ・ラジオなど	家族・友人・知人など	市防災メール	気象庁ホームページ	NHKなどのdボタンによる防災情報	防災関係アプリやWEBサイト	緊急告知ラジオ	L I N EなどのSNS	広島県防災情報メール 通知サービス	広島県防災WEB	KAMONケーブルテレビ	市広報車	特に入手していない	その他	無回答
全体(n=1125)		74.0	24.2	23.8	23.7	16.5	16.1	13.6	10.4	8.4	4.7	3.1	2.9	0.7	1.4	6.1
職業別	自営業(n=65)	<b>75.4</b>	23.1	23.1	21.5	26.2	15.4	23.1	6.2	7.7	1.5	3.1	3.1	-	1.5	4.6
	会社員等(n=366)	<b>69.4</b>	17.5	29.0	<b>36.6</b>	16.4	20.8	3.8	12.3	12.3	8.5	2.5	0.8	0.5	1.6	5.7
	アルバイト・パート(n=175)	<b>72.6</b>	32.0	30.3	20.0	13.1	16.0	8.6	12.0	9.1	1.1	4.0	2.3	1.1	1.1	5.7
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>70.6</b>	26.5	29.4	23.5	8.8	<b>32.4</b>	5.9	14.7	<b>14.7</b>	8.8	-	-	-	2.9	2.9
	学生・専門学校生(n=26)	<b>73.1</b>	<b>34.6</b>	7.7	<b>50.0</b>	11.5	11.5	7.7	<b>42.3</b>	3.8	<b>19.2</b>	-	-	-	-	-
	家事専業(n=131)	<b>80.9</b>	25.2	21.4	16.0	16.0	13.7	15.3	11.5	6.9	0.8	3.8	3.1	0.8	-	6.1
	無職(n=289)	<b>81.3</b>	27.0	15.9	12.1	19.4	11.1	<b>28.0</b>	3.8	3.8	3.1	4.2	6.6	1.0	2.1	4.5
地域別	西条地区(n=419)	<b>72.3</b>	21.0	27.9	26.0	18.1	18.4	8.8	12.4	10.3	6.7	2.9	1.7	1.2	1.7	4.5
	八本松地区(n=173)	<b>76.9</b>	28.3	24.3	<b>30.1</b>	12.7	18.5	15.6	14.5	8.7	1.7	1.7	1.2	1.2	1.2	2.9
	志和地区(n=41)	<b>78.0</b>	26.8	19.5	17.1	<b>31.7</b>	12.2	<b>22.0</b>	9.8	7.3	2.4	-	2.4	-	-	7.3
	高屋地区(n=216)	<b>78.2</b>	22.2	24.1	24.1	17.1	18.1	8.8	9.7	6.0	3.7	4.2	3.2	-	1.9	3.2
	黒瀬地区(n=141)	<b>80.9</b>	30.5	18.4	15.6	17.0	11.3	17.0	7.8	8.5	2.8	0.7	7.1	-	0.7	7.1
	福富地区(n=12)	41.7	25.0	<b>33.3</b>	16.7	8.3	8.3	<b>50.0</b>	8.3	8.3	-	<b>16.7</b>	-	-	-	8.3
	豊栄地区(n=17)	<b>58.8</b>	29.4	17.6	11.8	-	-	<b>29.4</b>	-	11.8	5.9	<b>11.8</b>	<b>11.8</b>	<b>5.9</b>	-	<b>11.8</b>
	河内地区(n=29)	<b>65.5</b>	20.7	20.7	13.8	17.2	13.8	<b>37.9</b>	6.9	-	6.9	<b>10.3</b>	3.4	-	3.4	<b>13.8</b>
	安芸津地区(n=61)	<b>73.8</b>	26.2	16.4	23.0	11.5	9.8	<b>24.6</b>	-	8.2	8.2	4.9	4.9	-	1.6	<b>11.5</b>

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

(3) 避難のきっかけとなる情報

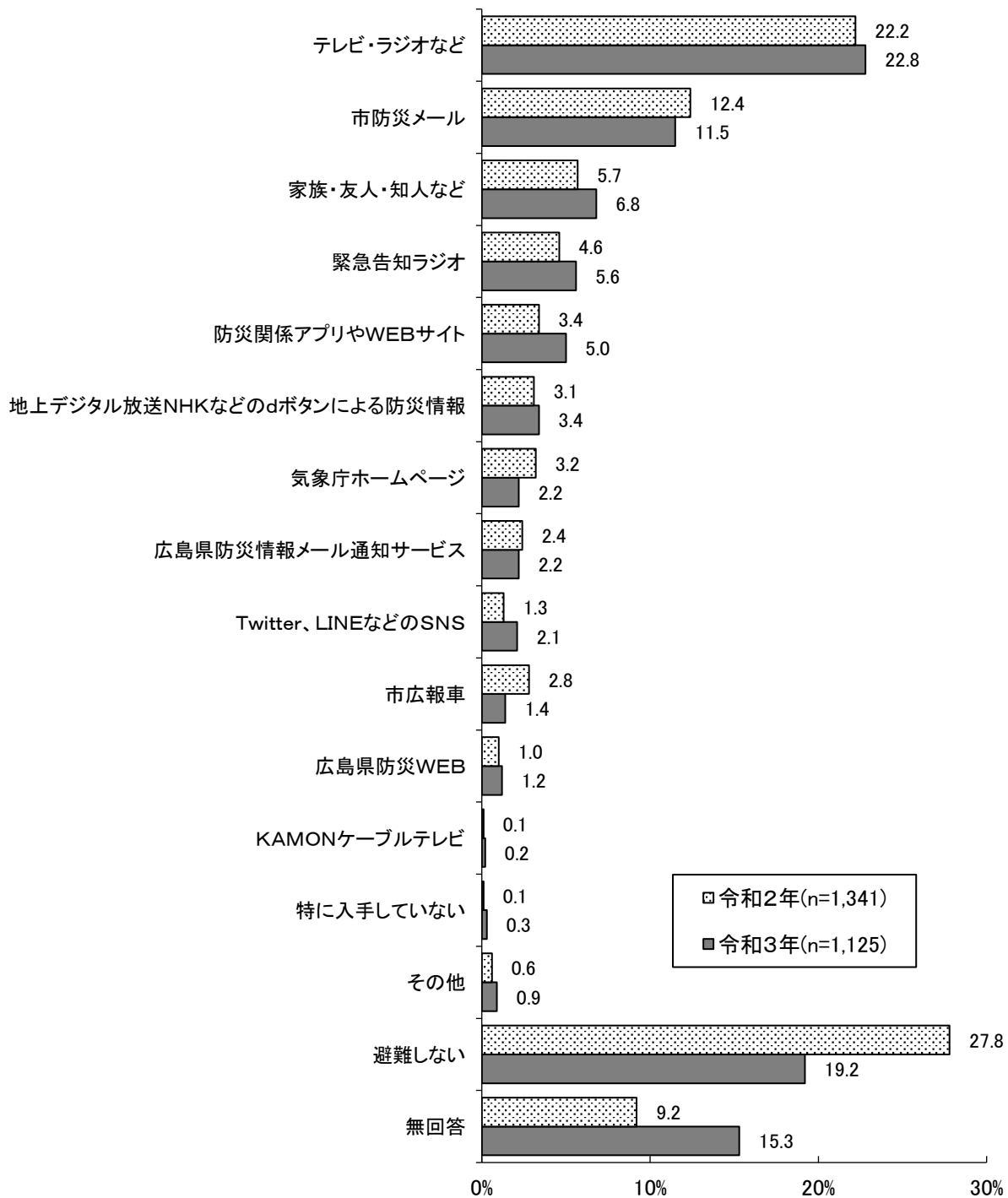
問31-1 問31で回答された情報のうち、避難のきっかけとなる情報はどれですか。  
1つだけ選んで、右の枠内に番号をお書きください。

避難のきっかけとなる情報については、「テレビ・ラジオなど」が22.8%と最も高く、次いで、「市防災メール」が11.5%、その他の項目は1割を下回っている。

「避難しない」との回答は19.2%と8.6ポイント、令和2年度調査(前回)より低くなっている。

図31-2 避難のきっかけとなる情報 [n=1,125]

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

「テレビ・ラジオなど」は『男性』27.2%、『女性』20.3%と、『男性』が『女性』より6.9ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「テレビ・ラジオなど」は『50～59歳』が28.6%と5.8ポイント、「市防災メール」は『60～69歳』が17.0%と5.5ポイント、「緊急告知ラジオ」は『70歳以上』が12.5%と6.9ポイント、それぞれ全体より高い。「気象庁ホームページ」は『20～29歳』が12.1%と9.9ポイント、「Twitter、LINEなどのSNS」についても『20～29歳』が7.6%と5.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

また、「避難しない」は『70歳以上』が24.7%と5.5ポイント全体より高い。

表31-3 避難のきっかけとなる情報／性別・年齢別

単位：%

		テレビ・ラジオなど	市防災メール	家族・友人・知人など	緊急告知ラジオ	防災関係アプリやWEBサイト	NHKなどの地上デジタル放送などのdボタンによる防災情報	広島県防災情報メール通知サービス	気象庁ホームページ	LINE、Twitter、SNSなどのSNS	市広報車	広島県防災WEB	KAMONケーブルテレビ	特に入手していない	その他	避難しない	無回答
全体(n=1125)		22.8	11.5	6.8	5.6	5.0	3.4	2.2	2.2	2.1	1.4	1.2	0.2	0.3	0.9	19.2	15.3
性別	男性(n=456)	<b>27.2</b>	10.1	5.0	7.2	5.7	4.8	1.1	2.4	1.8	1.1	1.5	0.4	0.4	0.7	18.6	11.8
	女性(n=651)	<b>20.3</b>	12.7	8.1	4.5	4.5	2.5	3.1	2.2	2.0	1.7	1.1	-	0.2	1.1	20.1	16.1
	その他(n=4)	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=13)	53.8	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	15.4	23.1
	20～29歳(n=66)	<b>24.2</b>	6.1	9.1	1.5	7.6	1.5	1.5	<b>12.1</b>	<b>7.6</b>	-	-	-	-	-	16.7	12.1
	30～39歳(n=122)	<b>22.1</b>	14.8	11.5	0.8	5.7	4.1	2.5	3.3	4.1	-	0.8	-	-	1.6	15.6	13.1
	40～49歳(n=177)	<b>24.9</b>	16.4	6.2	1.7	8.5	3.4	4.5	4.0	4.5	0.6	0.6	-	-	1.1	16.4	7.3
	50～59歳(n=192)	<b>28.6</b>	14.6	4.2	2.1	7.8	2.1	3.1	1.0	1.0	1.0	2.6	1.0	0.5	1.0	14.6	14.6
	60～69歳(n=182)	<b>26.9</b>	17.0	3.3	4.9	7.1	3.8	1.6	-	0.5	1.1	1.6	-	0.5	0.5	20.9	9.9
	70歳以上(n=361)	16.1	5.3	8.6	<b>12.5</b>	0.3	4.2	1.1	0.8	0.8	3.0	1.1	-	0.3	0.8	<b>24.7</b>	20.5

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。



【属性別の傾向】＜職業別＞

「テレビ・ラジオなど」は『自営業』が8.0ポイント、「緊急告知ラジオ」は『無職』が7.5ポイント、「避難しない」は『無職』が5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

居住地別では、「テレビ・ラジオなど」は『高屋地区』が8.7ポイント、「家族・友人・知人など」は『河内地区』が10.4ポイント、『安芸津地区』が6.3ポイント、それぞれ全体より高い。「緊急告知ラジオ」は『福富地区』が11.1ポイント、『河内地区』が8.2ポイント、『豊栄地区』が6.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「地上デジタル放送 NHKなどのdボタンによる防災情報」は『志和地区』が6.4ポイント、「Twitter、LINEなどのSNS」と「市広報車」は「福富地区」がそれぞれ5ポイント以上、全体より高い。

「避難しない」は『豊栄地区』が16.1ポイント、『志和地区』が5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表31-4 避難のきっかけとなる情報／職業別・地域別

単位：%

		テレビ・ラジオなど	市防災メール	家族・友人・知人など	緊急告知ラジオ	防災関係アプリやWEBサイト	NHKなどのdボタンによる防災情報	地上デジタル放送	広島県防災情報メール通知サービス	気象庁ホームページ	LINEなどのSNS	Twitter、LINEなどのSNS	市広報車	広島県防災WEB	KAMONケーブルテレビ	特に入手していない	その他	避難しない	無回答
全体(n=1125)		22.8	11.5	6.8	5.6	5.0	3.4	2.2	2.2	2.1	1.4	1.2	0.2	0.3	0.9	19.2	15.3		
職業別	自営業(n=65)	<b>30.8</b>	12.3	6.2	3.1	4.6	3.1	1.5	-	1.5	1.5	-	-	1.5	1.5	16.9	15.4		
	会社員等(n=366)	<b>27.6</b>	15.6	6.8	1.6	6.6	4.1	3.6	3.3	3.3	0.5	2.2	0.5	-	0.5	14.5	9.3		
	アルバイト・パート(n=175)	<b>23.4</b>	13.1	8.6	2.3	5.7	2.3	2.3	2.3	1.7	0.6	0.6	-	-	0.6	20.6	16.0		
	派遣社員・契約社員(n=34)	<b>20.6</b>	11.8	5.9	-	11.8	-	-	2.9	2.9	5.9	-	-	-	2.9	17.6	17.6		
	学生・専門学校生(n=26)	<b>34.6</b>	3.8	3.8	3.8	-	-	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-	11.5	<b>26.9</b>		
	家事専業(n=131)	17.6	8.4	3.1	9.2	3.8	4.6	2.3	2.3	1.5	2.3	0.8	-	0.8	-	<b>23.7</b>	19.8		
	無職(n=289)	17.6	6.2	7.6	<b>13.1</b>	3.1	3.8	1.4	1.0	1.0	2.1	1.0	-	0.3	1.4	<b>24.6</b>	15.6		
地域別	西条地区(n=419)	<b>21.5</b>	14.6	5.3	4.1	5.7	4.5	2.4	2.9	3.1	0.7	0.7	-	-	0.5	19.3	14.8		
	八本松地区(n=173)	<b>20.8</b>	12.7	8.7	5.8	6.9	3.5	1.2	3.5	2.3	1.2	0.6	-	-	1.2	16.8	15.0		
	志和地区(n=41)	<b>24.4</b>	4.9	2.4	9.8	2.4	<b>9.8</b>	2.4	-	-	2.4	-	-	2.4	-	<b>24.4</b>	14.6		
	高屋地区(n=216)	<b>31.5</b>	7.4	6.9	3.2	6.9	1.4	1.9	2.3	0.5	1.4	1.9	0.9	0.5	1.4	20.8	11.1		
	黒瀬地区(n=141)	<b>19.9</b>	11.3	5.7	8.5	2.1	2.1	5.0	0.7	2.8	2.1	2.8	-	0.7	-	<b>19.9</b>	16.3		
	福富地区(n=12)	<b>25.0</b>	8.3	-	<b>16.7</b>	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	-	-	8.3	16.7	-		
	豊栄地区(n=17)	11.8	5.9	5.9	<b>11.8</b>	-	-	-	-	5.9	5.9	-	-	-	-	<b>35.3</b>	17.6		
	河内地区(n=29)	13.8	10.3	<b>17.2</b>	<b>13.8</b>	-	-	-	-	-	3.4	3.4	-	-	3.4	<b>20.7</b>	13.8		
	安芸津地区(n=61)	<b>21.3</b>	11.5	<b>13.1</b>	8.2	-	4.9	1.6	1.6	-	1.6	-	-	-	1.6	14.8	19.7		

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付き全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。



<資料編>

令和3年度 東広島市市民満足度調査  
調査票



# 令和3年度 東広島市市民満足度調査

## ご協力のおねがい

～市民のみなさまのご意見をお聞かせください～



東広島市観光マスコット「のん太」

市民のみなさまには、日頃から本市の行政運営にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、少子高齢化など急激に変化する社会情勢の中、変化への対応と持続的な発展の両立を図りながら今後のまちづくりに取り組んでいくため、市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」を策定しました。

そこで、市の施策に対する満足度や重要度などについて、広く市民の皆様のお考えやご意見を反映していくため、「東広島市市民満足度調査」を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年7月

東広島市長 高垣 廣徳

### ■調査の概要とご記入上の注意点

1. この調査は、東広島市に住民登録をされている18歳以上の方（令和3年5月31日現在）の中から無作為に抽出した2,500人の方を対象に、郵送によりアンケート調査を行うものです。
2. この「調査票」は、どなたのものか分からないようになっています。回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。日頃、お考えのことやお感じになられていることなどをそのままご記入ください。なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用いたしません。
3. お送りしたあて名のご本人がお答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
4. ご回答は、当てはまるものの番号を指示された回答数だけ○で囲んでください。なお、「その他」に当てはまるときは、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
5. 記入後は、この「調査票」を同封の返信用封筒に入れて、令和3年7月26日（月）までに郵便ポストへ投かんしてください。（切手は不要です。）
6. ご不明な点などがありましたら、下記の担当までお問い合わせください。

### ■お問い合わせ先

東広島市役所 総務部 政策推進監（担当：上田）

〒739-8601 東広島市西条栄町8-29

TEL：082-420-0917

FAX：082-420-0402

E-mail：hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

# 令和3年度 市民満足度調査 調査票

## 1 現在の住環境についておたずねします。

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。(1つだけ選んで○をお付けください)  
※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 1年未満       | 2 1年以上5年未満   | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上30年未満 | 6 30年以上     |

問2 あなたは、東広島市の住み心地についてどう感じていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- |           |                 |                 |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 1 大変住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 4 住みにくい   | 5 どちらともいえない     |                 |

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 ずっと住み続けたい    | 2 当分の間住み続けたい |
| 3 市内の他の地域へ移りたい | 4 他市町村へ移りたい  |
| 5 わからない → 問5へ  |              |

→ 問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買い物などの日常生活が便利             | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全       | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他( )                   | 16 特に理由はない                     |

→ 問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。

問3-2 移転・転出したい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 通勤・通学が不便                   | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便 |
| 3 買い物などの日常生活が不便              | 4 文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実していない        | 6 都心など、もっと都会に住みたい                |
| 7 地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない)      | 8 発展途上であるなど、都市のイメージがよくない         |
| 9 保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない | 10 地価や家賃が高い                      |
| 11 騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない     | 12 気候が悪く(暑い、寒いなど)、住みにくい          |
| 13 犯罪や災害が多く、暮らしていて不安         | 14 家庭の都合により、転居したい                |
| 15 進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである |                                  |
| 16 その他( )                    | 17 特に理由はない                       |

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。

※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。

問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。

(主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利 |
| 3 買い物などの日常生活が便利             | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全       | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他（ ）                   | 16 特に理由はない                     |

## 2 市政運営についておたずねします。

問5 国をはじめとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。

あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない         |
| 2 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない |
| 3 行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい     |
| 4 その他（ ）                            |

## 3 市が実施している施策の満足度と今後の重要度についておたずねします。

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。

あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。

また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。

(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

(記入例)

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
5-1 防災の強化・推進 (取組み例) 「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	④	5	①	2	3	4	5

表に直接○をつけてください

## 1 産業分野について

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1-1 産学金官の連携による新産業の創出 「共同研究等による新事業・新産業の創出」、「試験研究機関等の誘致・連携」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-2 地元企業の創出・強化 「地域資源を活かした新たな事業の創出促進」、「中小企業の経営基盤の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-3 商業・サービス業の集積・強化 「商業・サービス業の集積」、「中小企業者の経営基盤強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-4 産業集積の推進 「企業誘致・留置活動の促進」、「産業用地の確保・創出」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-5 農業の強化 「農業の担い手育成」、「農業経営体制の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-6 森林の保全・整備 「林業生産基盤の整備」、「森林の保全」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-7 漁業・養殖業の推進 「漁業経営体の育成・強化」、「水産資源・漁場環境の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-8 地域資源を活かした観光地づくり 「魅力的な観光地づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-9 労働・雇用環境の充実 「多様な雇用・就業機会の創出」「働き方の改革による生産性の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## 2 生活・環境分野について

2-1 住みよい都市の形成 「良好な土地利用のための規制と誘導」、「良好な市街地の形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-2 緑あふれる環境整備 「安全で快適な公園、緑地空間の整備」、「斎場、墓地の利便性向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-3 良好な住宅ストックの形成 「良好な住宅・宅地の形成促進」、「市営住宅の整備」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-4 公共交通網の充実 「地域住民の移動手段の確保・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-5 道路網の整備 「日常的な生活道の整備、維持管理」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進 「廃棄物処理体制の充実」、「ごみの減量化・リサイクルの推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-7 良質な水の供給・整備 「安全な水の供給」「災害に強い水道の整備」「水道サービスの持続性の確保」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-8 汚水処理の推進 「公共下水道の整備、更新」、「浄化槽設置と適切な維持管理の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-9 環境汚染の防止 「水や大気などの環境汚染対策」、「環境保全意識の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-10 自然環境・動植物の保全 「環境や動植物の保全」、「まちの美化活動推進や不法投棄防止」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-11 地球温暖化防止の推進 「地球温暖化対策の推進」、「環境問題に対する意識啓発」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-12 市民主体の地域社会の形成 「地域コミュニティの活性化」、「市民主体のまちづくり活動の活性化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-13 市民参画の推進 「市民協働の推進」、「行政情報の積極的な提供」「多様な市民参画手法の確立」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-14 多文化共生の推進 「外国人市民の生活環境の充実」、「国際交流の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-15 国際貢献・留学生支援 「国際協力」、「留生活活動支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



### 3 人権・教育・芸術・文化・スポーツ分野について

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
3-1 人権・平和行政の推進 「人権教育の推進」、「男女共同参画の推進」、「平和行政の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-2 保育サービスの充実 「利用者ニーズに応じた保育環境・サービスの充実」、「児童の活動拠点づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-3 教育環境の整備・充実 「学校施設・設備の充実」、「就学・就園に関する経済的な支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-4 学校教育の充実 「学校教育内容の充実」、「教職員の指導力の向上」、「特別支援教育の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-5 青少年健全育成の推進 「青少年の健全育成を支える環境づくり」、「青少年問題への的確な対応」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-6 生涯学習活動の充実 「生涯学習機会の充実や情報提供」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-7 芸術・文化の活性化 「芸術・文化活動の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-8 歴史・文化財の保護と活用 「文化財の保護と活用」「文化財歴史展示施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-9 スポーツ環境の形成 「イベントによるスポーツ活動の活性化」、「スポーツ施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

### 4 都市機能・移住・定住分野について

4-1 大学や学生との交流・連携推進 「大学との連携推進」「学生の地域活動の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-2 移住・定住の促進 「移住・定住希望者への支援・情報発信」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化 「市内の都市拠点・地域拠点それぞれの機能強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-4 地域の景観の保全・形成 「地域の景観保全と形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-5 広域・高速交通体系の強化 「高速道路・幹線道路などの利便性向上」「市内外への円滑な移動手段の更なる改善」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-6 情報通信技術の整備・活用 「インターネット利用環境の整備」、「マイナンバー制度の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

### 5 防災・健康・医療・福祉分野について

5-1 防災の強化・推進 「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-2 市民の安全・安心社会の形成 「地域ぐるみの防犯対策の推進」、「安心できる消費者生活の実現」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-3 消防・救急・救助体制の強化 「迅速に対応できる消防体制の強化」、「救急体制の強化」、「火災予防の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-4 地域医療の構築 「地域医療の充実」、「救急医療体制の構築」、「医療保険の健全な運営」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-5 健康づくりの推進 「健康づくりの支援」、「介護予防の取り組み支援」、「感染症等の予防」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-6 高齢者支援の推進 「高齢者の在宅生活が継続できる環境づくり」、「認知症の地域支援の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-7 障害者支援の推進 「障害者の地域生活支援体制の形成」、「障害者の雇用・就労機会の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
5-8 地域福祉の形成 「地域福祉の推進体制の充実」、「生活困窮者への自立支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-9 子育て支援の充実 「子育てに関する切れ目ない支援の充実」、「子育てに伴う経済的負担の軽減」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## 6 行政運営分野について

6-1 市民本位のサービスの提供・充実 「市民本位のサービス提供」「インターネットを活用したサービス提供の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6-2 行政経営の向上 「計画的な財政運営」、「公共施設の適正配置」「近隣市町との機能分担」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## 4 「SDGs」についておたずねします。

問7 東広島市では、SDGsの達成に向けた取組を推進することとしています。あなたは、「SDGs」という言葉をどの程度知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

1 詳しく知っている	2 少し知っている	3 ほとんど知らない	4 全く知らない
------------	-----------	------------	----------

→ 問7 で「1 詳しく知っている」「2 少し知っている」とお答えの方におたずねします。

問7-1 あなたは、普段の生活の中で、SDGsの目標を意識した行動をしていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

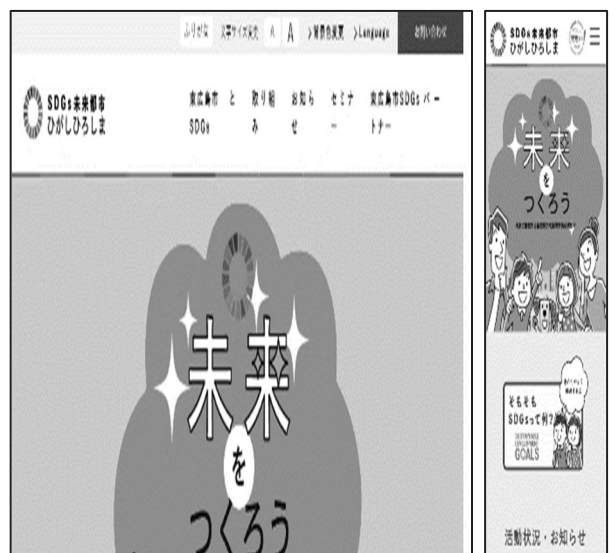
1 している	2 ある程度している	3 ほとんどしていない	4 全くしていない
--------	------------	-------------	-----------

問8 東広島市は、「SDGs未来都市ひがしひろしま」の特設ウェブサイトを令和3年3月よりオープンしています。あなたは、この特設ウェブサイトを知っていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

■ 「SDGs未来都市ひがしひろしま」の特設ウェブサイト (URL : <https://hh-sdgs.jp/>)





## 6 地域コミュニティ活動の参加状況についておたずねします。

問12 あなたの地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

項 目	過去1年間 以内に 参加した	過去1年間以内 ではないが 参加したことが ある	活動は知って いるが、 参加したこと はない	活動がない・ 活動があるか どうか 知らない
① 健康・福祉・医療 (お年寄りのお世話や子育て支援など)	1	2	3	4
② ふれあい・親睦行事 (地域おこし・まつりなど)	1	2	3	4
③ 文化・芸術・スポーツ (催しの運営など)	1	2	3	4
④ 環境活動 (美化活動、資源回収、清掃活動など)	1	2	3	4
⑤ 災害救援 (災害予防、被災者への支援など)	1	2	3	4
⑥ 地域安全 (犯罪や事故の予防)	1	2	3	4
⑦ 児童・青少年の健全育成 (体験学習・学童保育など)	1	2	3	4
⑧ 情報共有 (地域情報誌の発行など)	1	2	3	4
⑨ 地域経済の活性化 (バザー、特産品開発など)	1	2	3	4

## 7 住民自治協議会についておたずねします。

問13 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

※ 住民自治協議会 … 小学校区単位 (一部、旧小学校区) を基本に、住民個人のほか自治会などさまざまな団体で構成される組織のこと。

1 活動内容まで知っている      2 存在は知っているが活動内容は知らない      3 全く知らない

## 8 困りごとがあったときの相談先(相談相手)についておたずねします。

問14 日常生活で困りごとが発生したとき、家族(親族)以外では、誰(どこ)に相談しますか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| 1 友人、知人、職場の人             | 2 近所の人                             |
| 3 自治会の役員                 | 4 民生委員・児童委員                        |
| 5 見守りサポーター               | 6 病院などの医療機関、薬局                     |
| 7 ケアマネジャー・ヘルパー           | 8 市役所の各窓口                          |
| 9 地域包括支援センター (高齢者相談センター) | 10 福祉施設                            |
| 11 社会福祉協議会               | 12 生活支援センター                        |
| 13 保育所、認定こども園、幼稚園、学校     | 14 どこに相談したらよいかわからない<br>(相談する人がいない) |

## 9 人権男女共同参画についておたずねします。

問15 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。（それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。）

項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも 言えない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
① 日常生活の中で、人権が大切にされている。	1	2	3	4	5	6
② 差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある。	1	2	3	4	5	6
③ 自分は絶対に差別をしない自信がある。	1	2	3	4	5	6
④ 地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等と感じる。	1	2	3	4	5	6
⑤ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである。	1	2	3	4	5	6

## 10 消費生活についておたずねします。

問16 あなたは、消費者問題（消費者と事業者とのトラブルなどの問題）に関心がありますか。  
（1つだけ選んで○をお付けください）

1 大変関心がある	2 少し関心がある	3 あまり関心がない
4 全く関心がない	5 わからない	

問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。  
（1つだけ選んで○をお付けください）

1 利用したことがある	2 知っているが利用したことはない	3 知らない
-------------	-------------------	--------

問18 あなたは、消費者として次の行動をどの程度心がけていますか。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

項 目	かなり心がけている	ある程度心がけている	どちらともいえない	あまり心がけていない	ほとんど心がけていない
① 表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する	1	2	3	4	5
② トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする	1	2	3	4	5
③ 商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる	1	2	3	4	5
④ 収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている	1	2	3	4	5
⑤ 環境に配慮した商品やサービスを選択する	1	2	3	4	5
⑥ 食品ロス（本来食べられるのに捨てられた食品）問題を認知して削減に取り組んでいる	1	2	3	4	5

## 11 ごみの減量、資源化についておたずねします。

問19 次の行動の中で、あなたの家でごみの減量・資源化のために実施していることはありますか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

1 食品トレイや牛乳パックなどを小売店や販売店の店頭回収に出している
2 生ごみを乾燥させてから捨ている
3 生ごみの水分を絞ってから捨ている
4 生ごみのたい肥化を行い利用している
5 その他 ( )
6 特に実施していることはない

問20 生ごみのたい肥化を目的として、お住まいの地域の地域センター等で生ごみを集めることとなった場合、利用してみたいと思いますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

1 地球環境のために利用したい
2 ごみ袋を節約するために利用したい
3 地域センターが遠い等の理由で面倒に感じるため、利用したいとは思わない
4 すでに自分で生ごみのたい肥化を行い利用しているので、利用したいとは思わない
5 わからない
6 その他 ( )



問25 令和2年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 参加したことがある | 2 参加したことがない |
|-------------|-------------|

問26 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する         |
| 2 施設の使用料金を安くする                     |
| 3 スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う     |
| 4 スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす |
| 5 総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する       |
| 6 運動・スポーツの指導者を増やす                  |
| 7 地域のスポーツ組織を整備する                   |
| 8 その他 ( )                          |

## 14 生涯学習についておたずねします。

問27 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室          |
| 2 民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室 |
| 3 学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座      |
| 4 地域のサークルやグループでの活動                   |
| 5 職場、学校のクラブやサークルでの活動                 |
| 6 住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動    |
| 7 ボランティア活動                           |
| 8 美術館・図書館などの公共施設の利用                  |
| 9 本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習        |
| 10 特に行っていない                          |
| 11 その他 ( )                           |



問28 あなたは、問27の生涯学習に満足していますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 満足している           | 2 どちらかといえば、満足している |
| 3 どちらかといえば、満足していない | 4 満足していない         |

問29 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取組みに力を入れるべきだと思いますか。(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |  |
|--|
| 1 生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する          |
| 2 生涯学習の意義や必要性について啓発する                        |
| 3 超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる      |
| 4 大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる                   |
| 5 生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる            |
| 6 学んだ成果を発表する機会を充実させる                         |
| 7 仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる                |
| 8 生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる                    |
| 9 地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する  |
| 10 指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる           |
| 11 ボランティア活動に関する情報をもっと提供する                    |
| 12 生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる |
| 13 講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる               |
| 14 生涯学習をするために要する費用を助成する                      |
| 15 その他 ( )                                   |
| 16 現状のままでよい                                  |

## 15 防災についておたずねします。

問30 土砂災害警戒区域など(※)にお住まいですか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる |
| 2 洪水浸水想定区域内に住んでいる        |
| 3 高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる   |
| 4 区域外に住んでいる              |
| 5 分からない                  |

※土砂災害警戒区域など … 山麓部でのかけ崩れや土石流による土砂災害、市街地などでの洪水(河川氾濫)や海岸付近での高潮による浸水の危険性がある区域は、法令に基づき、県が調査し、指定・公表されています。市が発令する避難指示などの避難情報は、基本的に、これら危険な区域に対して発令します。

問31 台風や大雨などの災害に関する情報をどこから入手していますか。

(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

1 市防災メール	2 広島県防災情報メール通知サービス
3 広島県防災WEB	4 気象庁ホームページ
5 防災関係アプリやWEBサイト	6 Twitter、LINEなどのSNS
7 緊急告知ラジオ	8 地上デジタル放送NHKなどのdボタンによる防災情報
9 テレビ・ラジオなど	10 KAMONケーブルテレビ
11 市広報車	12 家族・友人・知人など
13 特に入手していない	
14 その他 ( )	

問31-1 問31で回答された情報のうち、避難のきっかけとなる情報はどれですか。

1つだけ選んで、右の枠内に番号をお書きください。

避難をされない方は「15」と回答して下さい。

## 16 最後に、あなた自身について教えてください。

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

(1) あなたの性別は	1 男性	2 女性	3 その他
(2) あなたの年齢は	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳
	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上
(3) あなたの家族構成は	1 1人世帯	2 1世代世帯(夫婦のみ)	
	3 2世代世帯(親と子)	4 3世代世帯(親と子と孫)	
	5 その他の世帯 ( )		
(4) あなたの家族(同居)に18歳未満の子どもはいますか	1 はい	2 いいえ	
	1 はい	2 いいえ	
(5) あなたの家族(同居)に65歳以上の方はいますか	1 自営業(農林水産業等従事者も含む)	2 会社員等(団体職員・公務員・会社役員・専門職も含む)	
	3 アルバイト・パート	4 派遣社員・契約社員	
	5 学生・専門学校生	6 家事専業	
	7 無職	8 その他 ( )	

(7) あなたの居住地は	1 西条地区 4 高屋地区 7 豊栄地区	2 八本松地区 5 黒瀬地区 8 河内地区	3 志和地区 6 福富地区 9 安芸津地区
(8) あなたの通勤(職場)・通学(学校)先は	1 市内	2 市外	3 なし
(9) あなたの主な移動手段は	1 徒歩(車椅子を含む) 4 自動車 7 タクシー	2 自転車 5 家族の送迎 8 その他( )	3 原付自動車・自動二輪車 6 バス・鉄道
(10) 現在のお住まいの種類は	1 戸建て持ち家 3 分譲マンション 5 社宅・官舎・寮 7 その他( )	2 戸建て借家 4 賃貸マンション・アパート 6 公営住宅	
(11) あなたがお持ちの端末を教えてください。 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)	1 スマートフォン 4 市が販売あるいは配布した緊急告知ラジオ 6 その他( ) 7 特に持っていない	2 携帯電話(従来型)	3 タブレット 5 パソコン

**17 市政に対するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。**

**ご協力いただき、ありがとうございました。**

同封の返信用封筒にて 令和3年7月26日(月)まで にご投函ください



令和3年度 東広島市市民満足度調査報告書

令和3年11月 発行

発行 東広島市  
編集 総務部 政策推進監  
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号  
TEL 082-420-0917  
E-Mail hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp